

十四回制覇の新記録を作った。

◇一部

〔トラック〕 △百米1鈴木開多(慶大)十秒七2矢澤(専大)3金田(慶大)△二百米1矢澤正雄(専大)二三秒三2鈴木(慶大)3窪田(早大)△四百米1窪田博芳(早大)五二秒八2森町(早大)3今井(慶大)△八百米1青地球磨男(立教)二分一秒七2中村(早大)3岩淵(日大)△千五百米1中村清(早大)四分〇秒六2大森(明大)3村社(中大)△一萬米1村社講平(中大)三二分二四秒2大森(明大)3樋口(早大)△高障碍1清水孝太郎(早大)一五秒二2村上(早大)3平井(文理大)△中障碍1小田洋水(文理大)五七秒2今井(慶大)3岡村(慶大)△四百米繼走1慶大(村上、金田、井後、鈴木)四三秒七2文理大3早大△千六百米繼走1早大(西田、森町、瀧澤、窪田)三分三六秒六2慶應3文理大(フイールド) △走高跳1朝隈善郎(明大)山下友城(文理)一米七五3加島(文理)△走巾跳1湯淺徹平(慶大)七米〇七2村上(早大)3原(立教)△三段跳1井上増吉(日大)一四米一五2三澤(文理)3木村(早大)△棒高跳1大江季雄(慶大)四米三〇2飯盛(文理)3安達(早大)中村(早大)△砲丸投1神代善郎(日大)一三米一二2松島(文理)3吉

田(文理)△圓盤投1本儀精(慶大)四〇米二七2松島(文理)3上條(早大)△鐵鎚投1永車孝道(明大)四三米七〇2吉澤(文理)3阿部(明大)△槍投1植野登(早大)五六米一三2鈴木(日大)3西澤(早大)

◇一部各校得点

1早大1〇五點五分の三2文理大八五點3慶大七〇點五分の一4日大三二點五明大三〇點半6中央一八點七立教一七點8専修一二點半9法政七點10帝大半點

◇二部各校得点

1横専六六點三分の二2農大六一點3横濱商専五三點三分の一4横高工三五點5拓大二七點三分の二6學習院二七點7青學二五點8慈惠大二四點、東商大10日齒一〇點

關西學生陸上

第十六回關西學生對抗陸上競技會は五月卅、卅一の兩日甲子園南運動場で舉行、結局一部では關大が三一點五分の一で六年連勝の覇業を遂げ、二部では同志社高商が九一點で優勝した。

◇一部

〔トラック〕 △百米1谷口睦生(關大)十秒七2榎本(京大)3川手(關大)△二百米1谷口睦生(關大)二二秒二榎本(京大)3山口(關學)△四百米1山口佛(關學)五二秒七2

本田(關學)

◇一部各校得点

1關大一三一點五分の一2京大九四點五分の三3關學八七點二分の一4和歌高商三九點5立命大二〇點6同志社大四點十分の七△トラック優勝關大八三點△フイールド優勝京大五一點五分の三

◇二部各校得点

1同志高商九一點2大商大六三點六分の一3神高商四四點4京醫大四四點半5大阪外語三二點半6神商大二二點7京藥專一五點8昭和高商一四點六分の五9日大專一三點10龍谷大一一點以下略 △トラック優勝、同志高商四六點△フイールド優勝、同志高商四五點

水上

世界水上競技界の王座を決定する第二回日米對抗水上競技は昭和十年八月十七、八、九の三日間神宮プールで舉行、選手権では日本七種、アメリカ五種目、總得点では三十六點對廿七點の差で日本が快勝した。

◇兩國得点表

スポーツ—水上

〔日本〕

〔米國〕

5	二百米平泳	1
3	二百米	3
6	千五百米	0
0	三百混繼泳	3
1	百米背泳	5
4	百米平泳	2
3	四百米	3
0	四百米繼泳	3
4	八百米	2
3	二百米背泳	3
4	二百米	2
3	八百米繼泳	0
36	總計	27

◇競技記録 △百米1フイック(米)五七秒二(日本國際新)2遊佐(日)3新井(日)△二百米1遊佐正憲(日)二分一三秒二2マシオニス(米)3リンテアグリン(米)△四百米1メデイカ(米)四分四五秒二(世界新)2根上(日)四分四五秒二(世界新)3牧野(日)△八百米1根上博(日)四分四六秒八2メデイカ(米)3石原田(日)△千五百米1石原田(日)一分九分一二秒2牧野(日)根上(日)△百米背泳1ドライス(米)一分一〇秒二2フランシ(米)3河津(日)△二百米背泳1吉田喜一(日)二分三五秒六(日本新)2セー

ア(米)3河津(日)△百米平泳1小池禮三(日)一分一三秒六(日本新)2カスレ(米)3葉室(日)△二百米平泳1小池禮三(日)二分四二秒六(日本新)2葉室(日)3ヒギンス(米)△三百米混繼泳1米國チム(ドライス)カスレ、フイック)三分二〇秒二(日本國際新)2日本(吉田、小池、遊佐)三分二〇秒八(日本新)△四百米繼泳1米國(クロストウスキ、リンテアグリン、ウォルフ、フイック)三分五三秒八(日本國際新)2日本△八百米繼泳1日本(遊佐、石原田、牧野、根上)八分五二秒二(世界新)2米國

日米交歡水上競技

東京に於ける日米競技に先立ち八月十一日大阪市立運動場プールで日本第二軍對アメリカの競技舉行、米國全種目に優勝した△百米1フイック(米)五八秒八2ウォルフ(米)3志村(日)△二百米1リンテアグリン(米)二分一四秒八2新間(日)3田口(日)△四百米1フナガ(米)四分五五秒一四秒二マシオニス(米)3メデイカ(米)△八百米1フナガ(米)一分一〇秒四2メデイカ(米)3寺田(日)△百米背泳1フランシ(米)一分一〇秒八2ドライス(米)3セーア(米)△二百米平泳1ヒギンス(米)二分四







澄(沼津商)△二百米混泳1高知商(二宮、小笠原、明神、脇坂)一分五秒六2濱松一中2修道中學△八百米混泳1岐阜商業(野口、岩田、淺野、堀)九分五秒四2中泉農3茨木中

女子三地方對抗競泳

關東、中部、關西三地方對抗女子水上競技會は八月十六日から十九日まで神宮プールで舉行、關西が優勝した。

◇三地方別得點表

	關西	中部	關東
百米背泳	25	14	6
百米平泳	18	15	13
四百米混泳	10	5	1
二百米平泳	19	19	8
五十米背泳	25	17	10
三百米混泳	5	15	6
五十米	19	12	1
四百米	18	16	15
飛込	41	0	35
計	199	123	107

△五十米1櫻井愛(西)三三秒六2谷口(西)3立松(中)△百米1小島一枝(中)一分一四秒六(日本新)2吉田(東)3守岡(西)△四百

二六點2大澤(F.D.C)3横山(無所屬)△高飛込1大澤禮子(美津濃)三〇・三〇點22香野(無)3林(無)

郷土對抗レース

〔男子の部〕△三百米混泳1廣島體協(兒島、長久、長谷川)三分二九秒二2名古屋體協3京都水上△八百米混泳1濱名灣游協(牧野、田端、寺田、鶴藤)九分一六秒四2京都水聯3横濱水協

府縣青年團競技

〔府縣得點〕1愛知二三點2京都二〇點3和歌山一六點4静岡一四點5廣島、茨木一點7兵庫九點8千葉七點9岩手、滋賀四點11東京三點12神奈川、山梨、北海道、山口二點15岐阜一點

米1守岡初子(西)五分五秒二小島(中)3古田(東)△五十米背泳1泉百合子(西)三九秒八2菱木(西)3小田(西)△百米背泳1泉百合子(西)一分二八秒四2小田(西)3菱木(西)△百米平泳1前畑秀子(中)一分二六秒〇(日本新)2眞下(西)3壺井(西)△二百米平泳1前畑秀子(中)三分四秒八2壺井(西)3眞下(西)△三百米混泳1中部(北島、前畑、小島)四分一三秒四(日本新)2關西3關東△四百米1關西(櫻井、谷口、竹村、守岡)五分一〇秒六2中部3關東

〔飛込〕

△飛板飛込1香野夫佐子(西)七六點三八2大澤政(東)3横山(西)△高飛込1大澤禮子(東)三三點一六2林(東)3香野(西)

神宮水上競技

第八回神宮大會水上競技は昭和十年度全日本選手權及びオリムピック第二次豫選を兼ね十月四日から三日間神宮プールで舉行青年團對抗は愛知縣、今回から加へられた海軍鎮守府對抗は佐世保、水球の中等學校は關西代表の茨木中學、一般はオリムピック候補B組が優勝した。

一般男子の部

△百米1田口正治(立教)五九秒2新井(濱川崎(和歌山)3魚井(兵庫)△二百米混泳1廣島縣(松田、吉田、新井、藤井)一分五秒八2京都、愛知△三百米混泳1愛知縣(大島、中川、伊藤)三分四六秒2静岡3和歌山

新人の部

〔男子記録〕△百米1大塚一止(臺南高工)一分三秒四2小谷(京師)3門井(日大工)△二百米1山崎峻(浦和中)二分二二秒2門井(日大工)3小谷(京師)△百米背泳1兒玉秀彦(佐伯中)一分一七秒八2藤田(四日市商)3山本(傳習館中)△百米平泳1菅野義忠(門司商)一分二〇秒2上見(明中)3遠藤(北海)

〔女子記録〕

△五十米1田中廣子(臺中女)三五秒2五十嵐(魚津高女)3鈴木(愛知淑徳)△百米1鈴木美代子(愛知淑徳)一分一八秒八2五十嵐(魚津高女)3小山(臺北一女)△百米背泳1北島靜子(相山女)一分三二秒八2時田(愛知淑徳)3金村(臺北一女)△百米平泳1村尾光子(長崎)一分三四秒八2山澤(臺中高女)3平石(長崎高女)

鎮守府對抗

〔各府得點〕1佐世保七一點2横須賀六五3點吳四九點

〔競技記録〕

松蠶糸)3平野(日大三中)△二百米1杉浦重雄(見付中)二分一八秒四2片岡(稻泳)3堀(岐阜商)△四百米1根上博(立教)四分五秒二2市野(立教)3堀(岐阜商)△千五百米1本田惣一郎(立教)一分九分四三秒八2鶴藤(立教)3永見(稻泳)△百米背泳1兒島泰彦(修道中)一分一秒二明(日立)3清川(東商大)△二百米背泳1兒島泰彦(修道中)二分三五秒四(日本新)2吉田(佐伯中)3明(日立)△百米平泳1葉室鐵夫(日大)二分四四秒六2山口(明治商)3柳澤(法政)△飛板飛込1柴原恒雄(日大)一三七・二七點2小柳(早大)3原(三田俱)△高飛込1原秀夫(昭和肥料)九七・五〇點2柴原(日大)3原(無所屬)

一般女子の部

△百米1古田つれ子(中泉高女)一分一四秒六(日本新)2櫻井(京二女)3小島(相山女)△二百米1守岡初子(茨木水泳團)二分五〇秒八2小島(相山女)3須藤(横濱一女)△四百米1守岡初子(茨木水)六分四秒四2古田(中泉)3須藤(横濱)△百米背泳1荒木ふさ子(京都府二女)一分三〇秒八2泉(奈二女)3小田(福岡)△二百米1前畑秀子(相山女)三分七秒八2壺井(女子體)3村尾(長崎高女)△飛板飛込1香野夫佐子(無所屬)七一・

分四秒八2才田(佐世保)3春田(横須賀)△四百米1松下昌澄(佐世保)五分一七秒八2代田(横須賀)3知念(佐世保)△八百米1知念繁雄(佐世保)一分二〇秒四2根本(横須賀)3山本(吳)△百米平泳1白重臣典(吳)一分二一秒四2佐藤(横須賀)3野口(横須賀)△二百米平泳1白重臣典(吳)三分〇秒八2佐藤(横須賀)3藤田(佐世保)△四百米平泳1蘆邊(佐世保)四分三一秒二2佐藤(横須賀)3藤田(佐世保)△五十米潜水1大龍徹夫(横須賀)三六秒三2境(佐世保)3藤井(吳)△四百米混泳1佐世保(知念、花柳、才田、松下)四分五八秒2横須賀3吳△八百米混泳1佐世保(松下、才田、原口、知念)九分五六秒二2横須賀3吳

立明日三大學對抗水上

第三回立、明、日三大學對抗水上競技會は六月六日神宮プールで舉行、日大二勝の後を受けて行はれた、本大會は立教陣の活躍目覚しく立教六一點で第一位を占め二位日大四七點三位明大四一點の順となった。△百米1新井義雄(立教)五八秒二2遊佐(日大)3田口(立教)△二百米1新井義雄(立教)二分一五秒二2田口(立教)3遊佐(日大)△四百米1鶴藤俊平(立教)四分四八秒二2石原田(明大)3本田(立教)△八百米



1 鶴藤俊平(立教) 一〇分四秒六 2 石原田(明大) 3 本田(立教) △百米背泳1 谷口利弘(日大) 一分二秒八 2 河津(明大) 3 山田(明大) △二百米平泳1 葉室鐵夫(日大) 二分四秒二 2 伊藤(明大) 野田(明大) △三百米混泳1 日大(秋吉、葉室、遊佐) 三分二秒六 2 明大 3 立教 △八百米混泳1 日大(佐々木、木村、杉本、遊佐) 九分四三秒四 2 明大

早慶對抗水上

第十回早大對慶應對抗水上競技會は六月七日神宮プールで舉行、結局早大十回連勝の記録を残した。

兩校得點

競泳早大二三點慶應一六點△飛込早大二二點慶應二二點△水球早大一點慶應零 △百米1 片岡寅次郎(早大) 一分〇秒四二秒浦(早大) 3 宮崎(慶大) △二百米1 杉浦重雄(早大) 二分五秒六 2 片岡(早大) 3 新間(早大) △四百米1 寺田登(慶應) 四分五秒四 2 牧野(早大) 3 永見(早大) △千五百米1 寺田登(慶應) 一分九秒四 2 永見(早大) 3 田中英(早大) △百米背泳1 兒島泰彦(慶應) 一分九秒六 2 吉田(早大) 3 谷口(早大) △二百米平泳1 小池禮三(慶應) 二分四三秒二 2 長久(慶應) 3 高島(慶應) △八百米混泳1

オリムピツク最終豫選

待望のオリムピツク水上日本の最終豫選兼全日本選手権大會は五月廿九日より三日間神宮プールで舉行、コンディションは氣温十九度、水温十八度と言ふ悪状態で期待された新記録も出ず殊に遊佐、根上、牧野等古豪選手の不振に比べ新井、鶴藤等新鋭選手の活躍振りは目覺しいものがあつた。

男子の部

△百米1 遊佐正憲(日大) 五七秒八 2 新井(立教) 3 田口(立教) △二百米1 田口正治(立教) 二分一四秒八 2 新井(立教) 3 杉浦(早大) △四百米1 鶴藤俊平(立教) 四分五秒四 2 寺田(慶應) 3 根上(立教) △千五百米1 鶴藤俊平(立教) 一分九秒四 2 石原田(明大) 3 寺田(慶應) △百米背泳1 兒島泰彦(慶應) 一分〇秒二 2 明(日立) 3 清川(商大出) △二百米平泳1 葉室鐵夫(日大) 二分四三秒四 2 小池(慶應) 3 伊藤(明大)

女子の部

△百米1 古田つれ子(中泉高女) 一分一四秒二(日本新) 2 小島(相山) 3 守岡(茨木) △四百米1 守岡初子(茨木) 五分五八秒四 2 古田(中泉) 3 福島(東京第四) △百米背泳1 泉百合子(京都府二) 一分二九秒八 2 北島(相山)

3 小田(筑紫) △二百米平泳1 前畑秀子(相山) 三分五秒四 2 壺井(女體専) 3 村尾(長崎)

オリムピツク飛込競技最終豫選會

オリムピツク飛込競技最終豫選會は五月廿九日から三日間神宮プールで舉行。

男子の部

△飛込飛込1 柴原恒雄(日大) 一四六・〇六點 2 小柳(早大) 3 片岡(慶大) △高飛込1 柴原恒雄(日大) 一〇一・九二點 2 細谷(日大) 3 伊藤(慶應)

女子の部

△飛込飛込1 香野夫佐子(無所屬) 七四・七六點 2 大澤政(F.D.C) 3 横山(樟蔭) △高飛込1 大澤禮子(美津濃) 三五・五〇點 2 香野(無所屬) 3 林(無所屬)

オリムピツク水上陣容

オリムピツク水上日本の光輝ある王座を護る水上陣編成の議は豫選終了の五月卅一日神宮プール會議室に於て末弘會長以下役員全部出席の上開會された結果選手は競泳男女合せて二十九名、飛込男女五名と水球十一名、堂々たる陣容を編成しこれに役員男女十三名を加へた五十八名を決定した。

男子選手

スポーツ—水上

早大(杉浦、新聞、田中一、牧野) 九分一四秒六 2 慶應 △飛込飛込1 小柳富男(早大) 一二三・四四點 2 片岡(慶應) 3 瓶子(早大) △高飛込1 伊藤眞吉(慶應) 八三・四三點 2 杉原(慶應) 3 小柳(早大)

早關對抗水上

第十三回早大對關西學院對抗水上競技は六月廿一日神戸市民運動場プールで舉行、結局一〇四對七三點で早大連勝す。

△五十米1 大井(關) 二八秒二 小野(早) 3 谷口(早) △百米1 五十嵐(早) 一分一秒四 2 大井(關) 3 串田(關) △二百米1 五十嵐(早) 二分二秒六 2 串田(關) 3 原田(早) △四百米1 田中(早) 五分二秒四 2 熊野(早) 3 佐藤(關) △八百米1 田中(早) 一〇分四一秒四 2 松浦(關) 3 庄田(關) △百米背泳1 谷口(早) 一分一四秒六 2 中村(早) 3 河野(早) △二百米平泳1 伊藤(早) 二分五秒六 2 大崎(關) 3 山田(早) △二百米混泳1 早大(五十嵐、原田、中村、小野) 一分五〇秒二 2 關學 △八百米混泳1 早大(五十嵐、熊野、原田、田中) 九分四七秒六 2 關學 △飛込飛込1 瓶子(早) 一〇四・五八點 2 加茂(早) 3 塊原(關) △高飛込1 加茂(早) 三三・四八點 2 山田(早) 3 方(關)

△自由形

遊佐正憲(日大) 田口正治(立教) 新井義雄(立教) 杉浦重雄(早大) 新聞六炳(早大) 宮崎康二(慶應) 鶴岡榮(立教) 根上博(立教) 牧野正藏(早大) 鶴藤俊平(立教) 寺田登(慶應) 石原田(明大) 田中一雄(早大) 永見達明(早大) 本田惣一郎(立教)

△平泳

小池禮三(慶應) 葉室鐵夫(日大) 伊藤三郎(明大)

△背泳

兒島泰彦(慶應) 明文一(日立) 吉田喜一(早大) 清川正二(商大OB)

女子選手

守岡初子(茨木) 水泳團(竹村) 令子(京都一) 小島一枝(相山) 古田つれ子(中泉高女) 松村昶子(山口高女)

△平泳

前畑秀子(相山) 壺井宇乃子(女子體専)

飛込選手

△男子 柴原恒雄(日大) 小柳富雄(早大) △女子 香野夫佐子(無所屬) 大澤禮子(美津濃) 大澤政代(三省堂) △水球選手 阪上安太郎(早大出) 高橋善次郎(早大出) 若

山瀧美(早大) 勝久重隆(早大出) 高木茂雄(早大) 前田倍三(早大) 片岡寅次郎(早大) 古莊次平(早大) 和田幸一(慶應) 高橋三郎(慶應) 田野耕清(立教)

水上役員

△總監督末弘殿太郎(東大教授) △外事委員 安部輝太郎(商大出) △庶務(主) 奥野良(早大出) 根來幸成(慶應出) △會計渡邊寛二郎(立教出) △男子競泳コーチ 松澤一鶴(東大出) 齋藤魏洋(立教出) 女子競泳コーチ 白山廣子(同志社高女出) 松澤初穂(市岡高女教員) △飛込コーチ 原秀夫(慶應出) △水球コーチ 松本隆重(早大出) 岡本勤一(早大出) △體操指導 柳田享(YMCA體育主事)

飛込競技

全國飛込選手権大會

昭和十年飛込選手権大會はオリムピツク第一次豫選を兼ね八月六、七の兩日神宮プールで舉行。 △飛込飛込1 柴原恒雄(日大) 一五〇・八四點 2 原西(三田) 3 原秀(三田) 4 西尾(弦泳會) 5 石川(明大) 6 小柳(早大) △高飛込1 原西(三田) 九一・三六二 原秀(三田) 林(明大) 4 伊藤(慶應) 5 杉原(慶應)







慶應	8	2	6	0	0	0
日大	5	3	2	2	1	1
慶應	3	1	2	0	2	2
東大	6	2	4	1	1	0
早大	6	2	4	1	1	0
慶應	10	4	6	1	1	0
明大	3	2	1	1	1	0
早大	8	5	3	0	0	0
東大	6	4	2	1	1	0
日大	2	1	1	1	1	0
慶應	2	0	1	0	0	1
東大	5	2	3	0	0	0

立教 5 (302) (011) 2 商大

第一部成績表

順位	1	2	3	4	5	6	7
早慶帝日立明商	●	●	●	●	●	●	●
早大	○	○	○	○	○	○	○
慶大	○	○	○	○	○	○	○
東大	○	○	○	○	○	○	○
日大	○	○	○	○	○	○	○
立大	○	○	○	○	○	○	○
明大	○	○	○	○	○	○	○
商大	○	○	○	○	○	○	○
勝	6	5	4	3	2	1	0

第二部成績

- 1 一高 (6勝1引分)
- 2 成城高校 (5勝1引分)
- 3 拓大 (5勝1敗)
- 4 東京高校 (3勝3敗)
- 5 文理大 (3勝4敗)
- 6 法政大 (2勝4敗)
- 7 中央大 (1勝6敗)
- 8 國學大 (6戦全敗)

氷上

オリムピック

ファイギュア代表決定

第四回冬季オリムピック競技、ファイギュア・スケート代表選手決定競技会は昭和十年十一月十六、七の両日山王及び芝浦スケートリンクに於て舉行された。

男子の部

- 1 長谷川次男(慶應)順位点9、スケール九〇・五、フリー六九〇、總得点一五九五
- 2 片山敏一(關學)順位9、ス九四四・九、フ六四二・〇 總一五八六・九
- 3 老松一吉(大阪)順位12、ス七九一・九、フ七四四・〇 總一五三五・九
- 4 渡邊善次郎(慶應)順位20、ス八三六・八、フ五二・五、總一三六〇・三
- 5 倉橋新(神戸)順位25、ス七〇五・七、フ五〇二・五、總一二〇八・二

女子の部

- 1 稲田悦子(大阪)順位5、ス九九九・八、フ七四〇・五、總一七四五・三
- 2 東郷球子(日本ス)順位6、ス八五八・八、

フ五六・五、總一四二七・三  
 3 手塚満子(日本ス)順位17、ス六七五・六、フ五三四・〇、總一二〇九・六  
 4 佐藤節子(大阪)順位18、ス七七四・六、フ四三二・六、總一二〇六・八  
 ◇氷上競技陣容  
 ◆團長：聯盟會長久保田啓一 ◆副團長：久保田晴光(滿洲聯盟會長) ◆マネジャー：平林博(主事)  
 ◆ファイギュア ▼監督：大石雄一郎 ▲選手：片山敏一、長谷川次男、老松一吉、渡邊善次郎、稲田悦子  
 ◆スピード ▼監督：青木末弘 ▼選手：金正淵、李聖德、河村泰男、石原省三、南洞邦文、張裕植、中村禮吉 ▼トレーナー：水谷辰巳  
 ◆ホッケー ▼監督：平塚俊一(關東) ▼トレーナー：藤野正彦(慶) ▼選手：平野進(滿醫)、庄司敏彦(滿醫)、木下稍(滿醫) 早間雅博(滿醫)、本間悌次(滿醫)、北澤正辰(王子製紙)、原信夫(王子製紙)、二瓶虎雄(王子製紙)、平元光喜(王子製紙)、須藤信夫(立教)、市川辰雄(早大)、古屋健一(慶大)、龜井信吉(慶大) ▼視察員：安田泰次郎(北海道)、西田信一(北海道)  
 全日本氷上選手権大會

日本氷上競技聯盟主催、第七回全日本氷上競技選手権大會スピード・レースは昭和十一年一月廿二、三の兩日日光細尾リンクに於て、ホッケー競技は廿四日から三日間東京芝浦リンクに於て、ファイギュアは廿四日から三日間東京山王リンクに於て舉行、スピードは安達選手及び江島嬢、ホッケーは早大チーム、ファイギュアは北川(大阪)選手と東郷嬢(關東)が優勝した。  
 ◇スピード競技 (得点)  
 1 安達 和男(滿洲) 二一〇・八五八  
 2 崔 龍 振(明大) 二二二・〇五一  
 3 李 仁 源(朝鮮) 二二二・一二五  
 4 安 重 熙(明大) 二二四・三八五  
 5 木 谷 清(滿洲) 二二五・五四八  
 6 金 永 河(明大) 二二八・四三〇  
 7 張 日 弘(明大) 二二八・九二三  
 8 朴 潤 哲(滿洲) 二二〇・七九三  
 9 三代 正勝(滿洲) 二二一・七一三  
 10 朱 鳳 德(明大) 二二三・一三八  
 11 潤 間 留十(諏訪) 二二四・二四〇  
 12 許 景 日(明大) 二二四・五六六  
 13 谷 田 貝 菊一(日光) 二二三・四五一  
 ◆競走記録  
 ▽五百米(タイムレース) 1 三代(滿洲) 四六秒四 2 安達(滿洲) 四七秒二 3 安(明

大) 四七秒三 4 金(明大) 四七秒五 5 木谷(滿洲) 四七秒八  
 ▽千五百米(タイムレース) 1 崔(明大) 二分二八秒 2 李(朝鮮) 二分三一秒八 3 安達(滿洲) 二分三二秒八 4 木谷(滿洲) 張(明大) 二分三三秒三  
 ▽五千米(タイムレース) 1 安達(滿洲) 九分五秒四 2 崔(明大) 九分一二秒一 3 李(朝鮮) 九分二二秒六 4 木谷(滿洲) 九分三一秒四 5 尹(明大) 九分三一秒八  
 ▽一萬米(タイムレース) 1 李(朝鮮) 一九分三秒三 2 安(明大) 一九分一九秒五 3 安達(滿洲) 一九分二二秒七 4 崔(明大) 一九分四一秒五 5 木谷(滿洲) 一九分四三秒五  
 ◇女子スピード競技 (得点)  
 1 江島八重子(滿洲) 一一二・〇六  
 2 今村 俊子(滿洲) 一一七・二三  
 3 村山 菊子(滿洲) 一一七・六六  
 4 村上 節子(滿洲) 一一三〇・九六  
 5 前田きよ子(朝鮮) 一四〇・三六  
 6 渡邊 光子(朝鮮) 一四一・〇三  
 7 和田すま子(朝鮮) 一四六・〇〇  
 ◆競走記録  
 ▽五百米(チャレトコース) 1 江島(滿洲) 五五秒四 2 今村(滿洲) 五五秒五 3 村







早大 12 3 10 4 1 2 満鐵

早大 4 2 1 0 1 1 3 立教

〔立教〕 田開櫻谷谷藤 中川村  
砂新小金熊後 谷 田西千

〔早大〕 所田田部田堀 本田山島  
別平富安小西 松安柴 中

FW 2 反則 2  
DW GK 2

全国高校氷上選手権

第六回全国高校氷上選手権大会は昭和十年十二月廿日から一月一日迄日光細尾リンクに於て舉行、スピード及びホッケイは成城勝ち、フイギユアは學習院優勝す。

スピード競技

▼五百米 1古澤(成城)五六秒八 2條(二高) 3光畑(松本)▼千五百米 1松平(成城)三分一五秒 2鈴木(成城) 3光畑(松本)▼五千米 1鈴木(成城)一分四四秒 2瀧口(二高) 3古澤(成城)▼一萬米 1瀧口(二高) 2四分三二秒八 2白石(成城) 3古澤(成城)▼二千米リレー 1成城チーム(白石、松平、白石宗、古澤) 三分五九秒四

2 松本チーム 3 二高チーム

フイギユア

1 東郷(學習院)順位點3、得點二二五點九  
2 辻村(北大豫)7、一七一點五 3 島津(學習院)9、一四九點七

ホツケイ

第一次試合

成城 14-0 松本

北大豫 4-3 二高

決勝試合

成城 1 0 1 0 0 0  
0 1 0 0 0 0  
0 0 0 0 0 0  
北大豫

全国中等選手権

第六回全国中等學校氷上選手権大会は昭和十年十二月廿七日から卅日迄日光細尾リンク及び芝浦リンクに於て舉行、スピードは初参加の奉天中學、ホツケイは苫小牧工業、フイギユアは學習院が優勝す。

スピード競技

▼五百米 1木谷(新義州商)四七秒九 2泉山(八戸商) 3小山(奉天中)▼千五百米 1木谷(新義州商)二分四二秒 2邊(三務學校) 3平田(奉天中)▼五千米 1平田(奉天中) 2木谷(新義州商) 3中(九分五〇秒六) 2木谷(新義州商) 3邊(三務校)▼一萬米 1泉山(八戸商) 2四分

五八秒 2 渡邊(三務校) 3 岩澤(奉天中)

▲二千米リレー 1 奉天中(橋本、齋藤、小山、平田) 四分二二秒四 2 諏訪蠶糸 3 北海中

フイギユア

1 前田(學習院)一〇六・八一 2 松方(慶應)一〇三・二七 3 中上川(慶普)九・九五

ホツケイ

準決勝試合

八戸 1 0 0 1 0 0  
0 1 0 0 0 0  
0 0 0 0 0 0  
京城 師 盛岡

決勝試合

苦工 5 0 1 0 0 4 0 0  
0 1 0 0 0 4 0 0  
0 0 0 0 0 0 0 0  
中 八戸

立教初の優勝

五大學氷上ホツケイ

第三回五大學アイスホツケイ・リーグ試合は四月廿日から廿八日迄八日間芝浦スケートリンクに於て舉行、事實上の優勝戦とも云ふべき早大對立大の試合は立大の一點が會場不備から試合時間経過後から得點せられたものであると早大側から抗議したが容れられず、此の爲早大は對慶應の試合

を棄權して三位となり、立大初の優勝となつた。

試合成績

Table with columns for teams (立大, 慶大, 早大, 明大, 帝大) and rows for various match statistics (win/loss, goals, etc.).

早慶對抗氷上ホツケイ

第五回早慶對抗氷上ホツケイ試合は昭和十一年一月十九日芝浦スケートリンクに於て舉行、共に善闘し延長戦を演じ慶應よく喰つたが八對六で惜しくも敗る。

早大 8 3 1 1 1 2 2 慶應 6 3 1 1 1 1 1

〔慶大〕 堤谷 菅羽 風澤 葉野  
加後 小丹 五玉 稲大

〔早大〕 田田 所堀 部田 山本 田島  
小富 別西 安平 柴松 安中

五帝大聯盟試合(一月一日)

第一次試合

北海 5 2 0 1 2 3 1 東北

準決勝試合

京都 5 2 3 1 0 0 0 東京  
3 0 2 1 0 1 0 0 1 0 1 0 1

決勝試合

京城 5 1 1 0 3 0 0 京都

東北高専ホツケイ(一月十九日)

二高 3 1 1 0 0 1 1 1 仙臺 高工

全滿中等ホツケイ(一月四日)

第一次試合

新京商業 13-0 撫順中學  
奉天中學 9-1 南滿中學

決勝試合

新京 7 5 0 1 1 2 1 1 3 奉天 中學

氷上ホツケイ對抗試合

京都帝大 11-3 東京帝大(十月十八日)  
盛岡中學 3-1 岩手工業(一月七日)  
岩手中學 2-1 岩手師範(同)  
二高 6-0 仙臺高工(一月廿二日)  
延禧專門 3-3 京都帝大(一月廿八日)  
慶應大學 6-2 東北帝大(二月一日)  
慶應大學 8-1 二高(二月一日)  
八戸中學 5-2 岩手中學(二月二日)  
東北中學 9-5 仙臺高工(二月四日)  
二高 6-1 東北帝大(二月五日)



スキー

全日本スキー選手権

兼神宮スキー大会

第十四回全日本スキー選手権大会兼第八回明治神宮體育大會スキー競技は二月九日から四日間新潟縣小千谷スキー場に於て舉行、第一日の莊嚴な入場式の後長距離レースから開始され十二日の耐久競技迄大接戦を演じ結局長距離では松橋(中央電氣)純シヤムプでは森(明大)複合競技では菊地(明大)リレーでは明大チーム、耐久レースでは桑原(豊原)最長不倒距離では伊藤(小樽中)の各選手が各杯を獲得した。(神宮は六等、全日本は十等迄入賞)

長距離競走

▼壯年組 1金野仁五郎(秋田林友)一時間四五分三〇秒 2五十嵐(山形) 3山田勝(青森林友) 4菊地(沼尻) 5島山(秋田林友) 6小林(秋田林友) 7吉成(村松) 8岡(日魯) 9中村(青森林友) 10高田(三菱美唄)
▼少年組 1峰村信治(日曹)一時間三四分

野) 10須賀(豊原中)

▼女子 1逸見かつ(妙高小)四分五秒一 2菅原(大館高女) 3松橋(妙高小) 4中山(大館高女) 5高橋(妙高小) 6藤澤(飯山高女) 7鳥潟(大館高女) 8郷土(妙高小) 9高橋(小千谷高女) 10大林(妙高小)
◆團體競技 1豊原(遠藤、市來、相馬、桑原、佐藤)一時間二一分一三秒 2新潟縣聯(松橋、岡田、増田、逸見、橋詰) 3山形、4會津中、5菅平、6京都府聯 7宇奈月、8福井縣聯、9愛知體協
◆女子廻轉 1菅原さかゝ(大館高女)三五秒六 2中山(大館高女) 3島津(大館高女) 4廣川(小千谷高女) 5永田(高田高女) 6駒村(高田高女) 7環貫(横手高女) 8薄葉(横手高女) 9廣川定(小千谷高女) 10同着井熊(湯澤小學)
◆軍隊競走 1大湊要港(小笠原、鈴木、鈴木、藤枝、後藤、樋口)一時間四四分五二秒
第三日(十一日)
◆ジャンプ
▼壯年組 1稻葉忠七(北大OB)一八七・七點 2川合(明峰) 3窪田(南越) 最長不倒距離 稻葉三二米
▼成年組 1森敏雄(明大)二一四・一點

一六秒 2逸見(高田) 3大坪(水上) 4山田直(青森林友) 5中川原(小樽商) 6佐藤(中電) 7外崎(青森林友) 8阿部(秋田林友) 9久慈(北海中) 10山田盛(青森林友)
▼成年組 1松橋朝一(中電)一時間二五分〇七秒 2岡田(日曹) 3増田(上古志) 4小嶋(中電) 5桑原(豊原) 6由月(早大) 7野崎(早大) 8阿部(尾去澤) 9岡村(明大) 10箕輪(小樽製鐵)
◆廻轉競技
▼壯年組 1川合(米峰)三一秒四 2田中(名鐵) 3鷹取(東京)三四秒 4秋山(諏訪) 5西尾(午嶽) 6宮下(高田フラタナル) 7吉岡(秋田林友) 8小林(東京) 9井上(東京) 10川上(宇奈月)
▼成年組 1次井(赤倉)二七秒三 2金子(日曹) 3富井英(野澤) 4安味(明大) 5富井義(野澤) 6高橋(水上) 7井熊(湯澤) 8北嶋(菅平) 9上野(平安) 10濱田(北丹) 11青木(早大)
▼少年組 1樋口順四郎(中魚沼)二九秒四 2豊田(高田) 3佐藤(豊原中) 4清水(飯山中) 5高橋(湯澤) 6宮津(長野) 7馬場(富山) 8小澤(中魚沼) 9富江(長野) 10伊藤(大泊中)
◆複合十八籽競走

2安藤(明大) 3若本(札鐵) 4白石(日魯) 5細谷(炭礦) 6佐藤(日大) 7丹内(大鯉) 8山口(水上) 9乙黒(明大) 10上嶋(北大) 最長不倒距離 菊地五六米五〇
▼少年組 1星野昇(北海商)二一四・五點 2坂田(札商) 3龜ヶ森(北海中) 4淺水(北海商) 5西(小樽中) 6渡邊(旭川) 7久慈(北海中) 8澤本(小樽商) 9木村(小樽中) 10中谷(川上) 最長不倒距離 坂田五五米
◆複合競技(前後半通算)
▼壯年組(参加一名) 1稻葉忠七(北大OB)二四・二點 飛躍一八四・二點
▼成年組 1菊地富藏(明大)四四五・三點 2水本(大鰐) 3須藤(水上) 4岡崎(早大) 5鈴木(泊居) 6山口(水上) 7吉田(早大) 8小嶋(真岡) 9工藤(水上) 10森田(豊原)
▼少年組 1逸見(高田)三九三・三點 2山形(弘前中) 3小泉(小樽商) 4澤本(小樽商) 5中谷(川上) 6久慈(北海中) 7坂田(札幌商) 8龍田(小樽中) 9高橋(飯山中) 10伊藤(小樽中)
◆リレー(卅二籽)
1明大(村井、前田、菊地、岡村)二時間三三分一秒 2豊原(遠藤、相馬、佐藤、桑原) 3中央電氣(後藤、佐藤、小嶋、

松橋) 4青森林友 5早大 6秋田林友 B組 7札幌商業 8日本曹達 9菅平 10會津中學
◆女子團體競走
1妙高小學(山田、逸見、松橋、曾根原) 二一分一七秒 2松保倉小學 3小千谷小學 4大館高女 5湯澤小學 6横手高女 7飯山高女 8小千谷高女 9野邊地實女 10日町實女
第四日(十二日)
◆耐久競走(四十八籽)
1桑原富雄(豊原)三時間二三分一〇秒 2山田(青森林友) 3三瓶(札鐵) 4蛭子(泊居) 5前田(明大) 6野崎(早大) 7北村(中魚沼) 8鈴木(泊居) 9納村(道廳) 10二政(押立)
全日本學生選手権
第九回全日本學生スキー選手権大會は昭和十一年一月十八、九の兩日米澤スキー場に於て舉行された、一部九校、二部五校が参加し第一日は北大リードしたが、第二日明大新人の奮闘は北大を抑へ二十點を離して優勝した、早大は長距離の不成績が致命となり複合にも影響して三年連覇の王座を粉碎され三位に落ちた、二部では米澤高工が優勝した。
◆第一部成績(参加校：早大、明大、慶大



北大、東京農大、日大、法政、弘前高校  
小樽高商)

〔一部得点表〕

計	46	26	24	11	2	1
走	7	4	5	3	2	1
飛	12	0	8	2	0	0
複	13	5	4	0	0	0
長	14	7	1	0	0	0
耐	0	10	6	6	0	0

明北早日法樽

- 耐久競走 1三上保(北大)四時間一分二秒 2高橋(日大) 3清水(早大) 4高橋(北大) 5坪内(早大) 6井浦(日大)
- 長距離 1上嶋宏(北大)二時間二六分三〇秒 2菊地(明大) 3村井(明大) 4乙黒秋(明大) 5前田(明大) 6廣川(早大)
- シヤンプ 1菊地富藏(明大)二一六・〇點 2森(明大) 3青木(早大) 4廣川(早大) 5佐藤(日大) 6村本(早大) 最長不倒距離 森(明大)三六米
- 複合競技 1菊地富藏(明大)四一四點 2上嶋(北大) 3廣川(早大) 4村井(明大) 5乙黒(明大) 6前田(明大)
- リレー 1明大(村井、乙黒、前田、岡村)二時間五分一七秒 2早大(野崎、

坪内、由月、清水) 3北大 4日大 5法政 6小樽高商

◇第二部(参加校:米澤高校、日本齒科、盛岡高農、山形高校、秋田礦専一列車遅延で第一日棄権)

〔二部得点表〕

計	34	30	25	14	1
走	7	5	0	4	1
飛	5	7	4	5	0
複	9	7	4	2	0
耐	7	4	8	3	0
長	6	7	9	0	0

米工 日齒 盛農 山高 秋嶺

- 耐久競走 1梅津(米工)五時間二〇分三秒 2北山(盛農) 3小林(日齒)
- 長距離 1坂本(盛農)二時間四三分二六秒 2新澤(米工) 3山本(日齒)
- シヤンプ 1寶田(日齒)一六五・六點 2佐藤(山高) 3一條(盛農)
- 複合競技 1寶田(日齒)三六七・八點 2新澤(米工) 3一條(盛岡高農)
- リレー 1米澤高工(井熊、山崎、梅津、新澤)二時間二八分五秒 2日齒 3山形高校

漕艇

全國中等競漕

京都帝大端艇部主催、第三十三回全國中等學校優勝競漕大會は八月四日大津市疏水沖、柳ヶ崎間千百米コースで舉行、参加校二十六校

- ◇一部決勝  
1松山中(五分三秒) 2宇和島中
- ◇二部決勝  
1滋賀師(五分二秒七) 2御影師
- 一高對三高競漕  
第十二回一高對三高競漕は八月十二日尾久三千二百米コースで舉行、一高は歴的に勝ち之に依つて十勝二敗の成績となつた
- 1一高(一〇分二四秒七) 2三高  
尾久レガッタ競漕大會は八月廿五日荒川尾久間千米コースで舉行。

- 〔エイト〕  
A組 1商大(三分三〇秒) 2早大  
B組 1東大(タイム不明) 2慶應A  
C組 1一高(三分二五秒) 2大倉

オリムピック・フオア競漕

オリムピック・フオア代表決定競漕決勝レースは十一月十日尾久小臺橋下流二千米コースで舉行、レースは準決勝の勝者早大對拓大の間に行はれ早大は七分三秒のタイムで拓大を抑へオリムピック大會へ出場することとなつた。

1早大(七分三秒) 2拓大(艇差カンパス)

〔大野山 山崎〕  
46 38.4 37.5 38.4 37 38 38 40 42

〔天登 小宮〕  
表ト十米十米十米十米十米

〔舵(三)軸〕  
チ一五 百五 百五 百五 百五

〔島藤 山田坂〕  
ツタ百 百 百 百 百

〔手遠 島山白〕  
ヒス二五 七千 千 千 千

〔早大〕  
43 43 41.5 41 41 40 44 41 43

第八回早慶對抗競漕

第八回早慶ボートレースは四月廿九日荒川放水路千住新橋、新川渡し間三千米コースで舉行、レースは大接戦を演じたが結局艇差二尺で慶應勝ち、之に依つて慶應五勝三敗、早大三勝五敗となつた。

(下げ逆潮、斜順風、波あり)

1慶應(一〇分五二秒) 2早大(艇差一尺)

- D組 1慶應B(三分三二秒) 2明大  
E組 1早大(三分一〇秒) 2東大  
F組 1商大(三分八秒五) 2慶應  
G組 1早大(三分六秒) 2大倉  
H組 1商大(三分六秒五) 2東大  
I組 1外語(三分一五秒) 2明大  
J組 1早大(三分九秒) 2慶應  
K組 1商大(三分一三秒) 2大倉  
L組 1一高(三分一八秒) 2明大
- 〔フオア〕  
1商大(三分二二秒) 2日本醫大
- 關東インター・カレッジ  
第十五回關東インター・カレッジ漕艇選手權大會第二日は九月十五日荒川尾久小臺橋下流二千米コースで舉行(順風・順潮強・逆航)

- 〔フオア準決勝〕  
A組 1日大(六分五〇秒) 2商大  
B組 1日醫大(七分一六秒五) 2文理大
- 〔エイト準々決勝〕  
A組 1早大(六分一一秒五) 2商大  
B組 1千葉醫大(六分四三秒) 2工大  
C組 1東大(六分二六秒) 2一高  
D組 1明大(六分五二秒五) 2外語
- 〔スカーレ決勝〕  
1鈴木善照(東大)八分二四秒 2篠田(日

- 本醫大) 3石塚(早大)
- 〔ロンドン杯決勝〕  
1商大専門部(六分二九秒) 2慶應B(カンパス)
- 〔ハフオア決勝〕  
1日大(六分五四秒) 2日本醫大(三艇身)  
第十五回關東インター・カレッジ第三日は九月十六日尾久コースで舉行(順潮・横風)

- 〔イト決勝〕  
1早大(六分三六秒) 2東大(三艇身)
- 全日本インター・カレッジ  
第十五回秩父宮賜杯全日本學生エイト選手權競漕決勝は九月廿二日荒川尾久小臺橋下流二千米コースで關東代表早大グループと關西代表關大グループの間で舉行された、早大はスタートからぐんぐんスピードを十艇身の大差で堂々關大を破つた。

〔關大〕 田井吉中 本田野田崎  
〔早大〕 岡遠島野 山阿井白

平均身長 5.68  
平均体重 16.200

平均身長 5.75  
平均体重 18.712







帝大	6	4	2	0	0	5	立教
早大	7	4	3	0	1	1	商大
文理大	2	1	1	1	2	慶應	
帝大	5	2	3	1	2	慶應	
文理大	3	1	2	1	1	立教	
文理大	2	0	2	0	2	帝大	
慶應	5	3	2	1	1	商大	
早大	13	6	7	1	1	立教	
商大	4	3	1	1	2	立教	
早大	4	2	2	2	0	帝大	
慶應	10	8	2	0	1	立教	
帝大	5	3	2	1	1	商大	
早大	5	1	4	2	1	文理大	

文理大	2	1	1	1	1	商大
早大	8	4	4	1	1	慶應

〔慶應〕

宮近田磨崎元川	藤藤宮	2	7	19
二右増播駒松石	伊加一	11	9	14
松本兄邑弟野原野木江破		11	9	14
平川加西加關立笹鈴堀不		11	9	14

關西學生リーグ

關西學生蹴球聯盟リーグ戦は十月十七日甲子園南運動場に於て行はれた第一部京都帝大對大阪外語、第二部大阪商大對同志社高商の試合から開始、第一部では久しく沈滞してゐた關大の擡頭目覚しく、對京大、關學應ともに1-1の引分といふ稀有の大熱戦を残し第二位を占め、最後の京大對關學戦が優勝争ひとなり關學四對〇で快勝、四年振りに關西の覇権を収めた。

勝引定	數分點	關學	關大	京大	神高	大外語	關學	關大	京大	神高	大外語
3	17	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	26	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	15	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	02	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
0	00	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

神商	11	3	8	2	外語	
關學	4	3	1	0	0	京大

〔關西學院〕

澤藤中井田邊井部川	20	4	0
梅野山田笠三田松宮西	24	5	10
FW	GK	FK	CK

一・二部入替試合

神戶商大	6	2	4	0	0	大商大
------	---	---	---	---	---	-----

二・三部入替試合

大阪商大	5	2	3	0	0	京都醫大
------	---	---	---	---	---	------

東西學生對抗戦  
全日本學生蹴球界の覇を決する第七回東西學生蹴球聯盟優勝校の對抗試合、關東代表の早大對關西代表關學の試合は十年十二月十五日神宮競技場に於て舉行、十二對二の大差で早大優勝す。

全日本選手権

第二回全日本蹴球選手権大會は六月十九日より行はれたが、最終日の廿一日決勝試合は關東代表慶應B R Bと朝鮮代表普成寺の間に、戸山學校で行はれ、前半1-1のシューティングの後、慶應は後半開始直後一點を加へリードすれば普成寺追撃し再び同點の熱戦を演じたが卅九分慶應辛くも貴重な一點を記録し3-2で覇権を握つた。

普成寺

4	0	2	1	1	2
13	6	7	1	0	0
0	0	0	0	0	0

關西大

〔早稻田大學〕

松本兄邑弟田原野木江野	12	6	20
平川加西加吉立笹鈴堀佐	4	5	20
FW	GK	FK	CK

〔關西學院〕

澤藤中井田邊井部川	1	15	17
梅野山田笠三田松宮西	13	18	4
FW	GK	FK	CK

各地豫選決勝  
關東(明大球場)  
慶應B R B 6 5 1 2 2 早大W M W  
東海(名古屋高商球場)  
名古屋藥專 3 1 0 岐阜藥專  
關西(神戸市民運動場)  
關學 5 1 0 京大  
朝鮮  
普成寺專門 1 1 0 延禧專門  
東北  
東北學院俱 推薦  
東西商專對抗  
關東代表東京商船、關西代表神戸高商の







〔京城蹴球團〕

蔡崔(永) 容祐(奎) 金李(李) 裴李(李) 鄭朴(李)

FW 宮近田磨崎元丸内崎宮  
HB 二右増播駒松石松竹岩一  
FB GK

FK 0  
CK 7  
GK 21  
PK 1

ラグビー

東京七大學ラグビー

東京七大學ラグビーリーグ戦は、十年九月廿四日早法戦をトップに開始、十二月十四日法帝戦を以て閉幕したが、明大全勝を記録し再制覇を遂げ、早大が二位、慶應三位、立教四位の順となった。

試合	勝	敗	数	明	早	慶	立	法	帝	商
明	×	1	1	1	1	1	1	1	1	1
早	0	×	1	1	1	1	1	1	1	1
慶	0	0	×	1	1	1	1	1	1	1
立	0	0	0	×	1	1	1	1	1	1
法	0	0	0	0	×	1	1	1	1	1
帝	0	0	0	0	0	×	1	1	1	1
商	0	0	0	0	0	0	×	1	1	1
敗	0	1	2	3	4	5	5			

慶應 37 2314 13 16 法政  
十月十二日(神宮球場)

野井尾澤藤井 崎間本村壽石岡方  
中三萩藤加長 岩本橋松惠大勝緒

西井田山川一浦部萬江井 岡尾井  
大酒永内田三財田大櫻 竹若石

明大 32 1814 7 立教  
十月十六日(神宮競技場)

海田倉本木浦正桐本崎藤本内三野  
浅横小榎高三鈴片松高加山柿鈴北

垣本田口本加島邊下 島澤(兄)崎原  
西山太山松鍋新渡木岡中佐岡野笠

スポーツ—ラグビー

早大 11 38 0 0 法政  
九月廿四日、神宮競技場で舉行

野井川川藤井 崎多本村壽石岡方  
中三小市加長 岩本橋松惠大勝緒

海木木藤井華崎本藤上口 越川  
西高松齋藤米田山伊野坂 川井

慶應 38 2216 3 3 商大  
九月廿四日(日吉壘球場)

上飼村川井友原野野内間田濃野  
村島野木浅淺大菅牧平櫻佐藤甘間

西岡田須川田一浦萬江井野田尾  
大森永中岡田三田大櫻北吉若

明大 28 1117 3 3 法政  
十月廿六日(神宮競技場)

野井尾本藤井 崎多本村壽石岡方  
中三萩宮加長 岩本橋松惠大勝緒

垣崎田島浦邊中島田岡多澤田 原  
西仙太加三渡山新秋大本佐辻 笠

慶應 6 6 5 立教  
十月廿七日(神宮競技場)

海田倉本木浦正桐本崎藤本内三藤  
浅横小榎高三鈴片松高加山柿鈴伊

倉井田川山田多一萬江野 島尾  
佐酒永内岡川田田大北 竹若

早大 17 6 8 11 法政  
十月五日(神宮競技場)

野井中川澤藤井崎多本村壽石岡方  
中三田小藤加長岩本橋松惠大勝緒

海田倉本木浦正桐本崎藤本内三野  
浅横小榎高三鈴片松高加山柿鈴伊

海木木藤井華崎本藤上口 添邊木  
西高松齋藤米田山伊野坂 川鈴

早大 49 29 0 立教  
十月八日(神宮競技場)

海山倉本木浦正桐本崎藤本内木藤  
浅下小榎高三鈴片松高加山柿鈴伊

立教 17 6 8 11 法政

野井中川澤藤井崎多本村壽石岡方

海田倉本木浦正桐本崎藤本内三野

明大 84 4539 9 商大

村飼上木川井賀原野野内間田濃野

垣藤田中本口村邊下 島岡田 原

早大 98 5543 0 商大

村飼上木川井村原野野内間田濃野

野島村鈴浅淺木菅牧島櫻佐藤甘間

海木木藤山華崎本藤上口 添邊木

早大 49 29 0 立教

海山倉本木浦正桐本崎藤本内木藤

海木木藤井華崎本藤上口 添邊木



明大 29 (623 | 119) 20 慶應

十一月十日(神宮競技場)

慶應	3	2	0	1	0	0
明大	1	1	4	0	0	1
T	前後					
G	前後					
P	前後					
G	前後					
計						29-20

(明大)

垣崎田島島加口邊田川岡澤原  
西仙太加新鍋山渡和堀辻大佐岡笠

FW HB TB FB

倉井田西川多浦一期江野岡尾  
喜中  
佐酒永大田川三田眞大北竹若邊

(慶應)

早大 111 (6447 | 100) 0 帝大

十一月十六日(神宮競技場)

慶應 72 (4423 | 100) 0 帝大

十一月卅日(神宮競技場)

(帝大)

川武森田田藤吹木上中川柄松  
市宮十池野永加矢青井田石眞峰

FW HB TB FB

西井田藤川多浦中部岡井野邊  
大酒永伊田川三田財竹櫻北向大

(慶應)

明大 18 (153 | 103) 13 早大

十二月一日(神宮競技場)

早大	0	0	0	2	1	0
明大	1	0	0	3	0	0
T	前後					
G	前後					
P	前後					
G	前後					
計						18-13

(帝大)

藤武井田藤田本吹木中原堤柄川  
神宮藤池加永塚矢青田眞石

FW HB TB FB

海木木地井華崎本藤上葉木越川  
西高松山杉米田山伊野千鈴川原井

(早大)

立教 59 (3425 | 100) 0 商大

十一月十六日(和泉球場)

村飼上田木井賀原野野内田田濃川  
野島村清鈴淺志菅牧平櫻藤島甘小

FW HB TB FB

海山倉本木浦正桐木崎藤藤内三野  
淺下小榎高三鈴片松高加伊柿鈴北

(立教)

立教 47 (2918 | 100) 3 帝大

十一月廿二日(神宮競技場)

(明大)

邊垣田島口加島下田原多田中谷  
渡西太加山鍋新木和笠本辻田長

FW HB TB FB

海木木藤井華崎本藤上口越木  
西高松齋藤米田山伊野坂川原鈴

(早大)

法政 22 (913 | 18) 14 商大

十二月七日(神宮競技場)

野井野野 泰壽崎井石村本方岡靜  
中三萩大 加惠岩長大松橋緒勝加藤

FW HB TB FB

村飼木田川井賀原野野内田田濃川  
野島鈴福淺淺志菅牧平櫻藤島甘小

(帝大)

明大 80 (4733 | 100) 0 帝大

十二月八日(神宮競技場)

(帝大)

藤武森田田藤吹藤中保柄川  
神宮十池野永加矢加田久眞石

FW HB TB FB

海山倉本木浦正桐木崎藤藤内三野  
淺下小榎高三鈴片松高加伊柿鈴北

(立教)

早大 19 (190 | 6) 6 慶應

十一月廿三日(神宮競技場)

早大 0 2 0 2 0 1 計 19-6

海木木藤井華崎本藤上口越木  
西高松齋藤米田山伊野坂川原鈴

FW HB TB FB

倉井田藤川多浦中期江野岡尾  
喜中  
佐酒永伊田川三田眞大北竹若邊

(慶應)

(帝大)

武森田川田吹木川中藤保松  
柏神 宮十池市永織矢青石田加久峰

FW HB TB FB

邊本田口中村島下隆原田信島原多  
渡山太山山新木岡藤辻岡中笠本

(明大)

法政 88 (5038 | 100) 0 帝大

十二月十四日(神宮競技場)

武森田田藤守木松川山柄本  
柏神 宮十池野永加香青峰石眞眞塚

FW HB TB FB

野野尾 藤壽崎井多石村方岡本  
中田萩 加惠岩永本大松緒濱勝橋

(法政)

關西各大學對抗試合  
關西に於ける各大學對抗試合は各チーム



とも非常に不振で淋しいものであつたが、僅かに朝鮮鐵道局チームの來征によつて一沫の清涼劑が投ぜられたにすぎぬ有様であつた、結局覇權は何等の波瀾もなく同志社が京大を退けて簡単に把握した。

同志社大 22 (1012 | 110) 11 朝鮮鐵道局

十月十七日(花園競技場)  
朝鮮鐵道局 23 (1310 | 133) 16 京大

十月廿日(花園競技場)  
京大 47 (2913 | 3) 3 關學

十一月十日(花園競技場)

〔京都帝大〕  
原口藤分 西山邊 藤澤野尾 野川施  
梅山安國 川永渡 伊齋平 天帝松 小  
岡本 田 剛島井 永島間 賀山 孝井  
林 西原  
富 石西大 松中安 荒青石 松  
〔關西學院〕

同大 31 (1813 | 0) 0 關學

十月廿四日(南甲子園競技場)  
〔關西學院〕  
岡本 永 剛島本邊 賀孝間 井島井  
林 西原  
山 松 石西石 渡荒石 安松 中土

北 田島垣 野川田 泉邊長 保口 原本田  
栗綱高 荻黒飯小 渡藤久 井稻美貴  
〔同志社大〕

立命館 24 (159 | 0) 0 關學

十月廿七日(花園競技場)

〔關西學院〕  
岡本 誠 原島井 英熊木 賀間島井  
林 永西  
山 松 石西土 松田 鈴荒安 中松  
本藤井 見城川 島附 脇田 方村 田正  
岡齋 藤江 宮中大 木森松 日北 山齋  
〔立命館大〕

同大 48 (2424 | 6) 6 關大

十月廿七日(花園競技場)  
〔關西大學〕  
林山西原 生元 茂瀬田 林田 田山 井子  
竹内大 石蒲山 加野 藤宏内 原瀧直金

田憲 垣源川 島泉邊長 保 原田口  
水北 水  
栗清 高 清黒寺小 渡藤久 稻菱井  
〔同志社大〕

同大 36 (2115 | 3) 8 立命館

十一月三日(花園競技場)

〔立命館大〕  
本藤井 見口川 島附 脇田 方村 田正  
岡齋 藤江 樋中大 木森松 日北 山齋  
田水島 垣野田 川泉邊長 保 原田口  
高 清綱高 荻黒飯小 渡藤久 稻菱井  
〔同志社大〕

神商大 35 (1421 | 3) 11 關大

十一月十三日(南甲子園競技場)

〔神戸商大〕  
澤水川 野邊中 島田斐 川山池 領本  
藤清中 荻渡田 飯水甲 黒杉小 國島

山藤生 原間元 茂瀬田 林本 田山 部子  
關伊 蒲石 張山 加野 藤宏 藪原 瀧岡金  
〔關西大學〕

神戸商大 22 (166 | 146) 20 關學

十一月卅日(南甲子園競技場)

〔關西學院〕  
岡本來 田永 原原 邊賀 原間 井島 井  
山山 朝飛 松石 西 渡荒 石安 松中 土

澤水川 野邊中 島田斐 川山池 領本  
藤清中 荻渡田 飯水甲 黒杉小 國島  
〔神戸商大〕

關大 27 (189 | 5) 10 關學

十二月八日(南甲子園競技場)

〔關西大學〕  
生山西 間原 茂元 本田 村瀬山 田山 子  
蒲内大 張石 加山 藪藤 廣野 瀧原 内金

岡本 田木 原島 井邊 賀原 間井 島山  
林 富三 石西 土渡 荒石 安松 中 青  
〔關西學院〕

大商大 14 (68 | 8) 14 關大

十二月廿二日(花園競技場)

〔大阪商大〕  
木崎島 瀬中山 田崎川 田西 田本 堀 野  
鈴神野 成田 内牧 尾古 黒今 永岡 牧

生藤西 間山 元茂 本尾 子田 田山 瀨林  
蒲伊大 張内 山加 藪中 金内 原瀧 野宏  
〔關西大學〕

同大 15 (105 | 3) 11 京大

十二月一日(花園競技場)

京大 10 0 1 0 0  
同大 0 2 1 0 0 1  
前後 前後 前後  
T G P G

〔同志社大〕  
田水島 垣野川 田泉邊長 保 原本口  
高 清綱高 荻黒飯小 渡藤久 稻杉井

原口男 分西 藤邊 藤藤 良尾 野川 尾  
梅山 岩國 川伊 渡佐 齋平 由平 松小 宮  
〔京都帝大〕

京大 47 (2324 | 3) 3 滿洲鐵道

十月十六日(花園競技場)  
京大 34 (1024 | 3) 3 關西俱  
十月廿七日(花園競技場)



























關東高校リーグ

關東高校排球リーグ試合は六月十三、四の兩日東京府立九中で舉行、武蔵高校が優勝した。

△リーグ成績

成城	56	21	東高
浦和	33	20	高蹊
武蔵	34	30	成蹊
武蔵	31	28	成城

立教Ⅱ同大定期戦

立教大學對同志社大學第三回定期排球試合は六月十三、十四の兩日京都一中體育館で舉行、立教連勝す。

△第一回戦

立教	63	29	同大
同志社	33	19	10

△第二回戦

立教	67	37	同大
同志社	39	21	16

オリムピック代表

大日本バスケットボール協會では昭和十一年四月十二日夜オリムピック代表選手銓衡委員會を開き第一期合宿練習の成績並に三橋コーチの意見を參照し種々協議の結果

十二名を決定發表した、其の後平塚選手は身體的故障で代表選手を辭退した。

代表選手

主將	田中秀次郎	27	東大出
前田昌保	23	立教出	
中江孝男	24	東大	
横山堅七	21	早大	
鹿子木健日子	23	東大	
廉殷鐵	23	延禧	
カイド	松井聰	22	京大
張利鎮	20	延禧	
李性求	26	延禧	
宗像卯一	22	早大	
吉井精三郎	20	東高師	
マネチャイ	高橋太郎	東大出	
竹崎道雄	早大		
コーチ	三橋誠	京大出	
監督	淺野延秋	早大出	
代表軍諸試合	代表對東大(5月22日)		

排球

代表	85	17	東大
代表軍對立教(6月2日)	34	18	9
代表	70	21	立教
代表對學生選拔軍(6月7日)	35	18	3
代表	62	33	學生軍
代表	102	27	學生軍
代表對同志社高商(1勝4敗)	58	18	9

大日本排球協會主催の昭和十年度全日本排球選手権大會は八月十、十一日の兩日、雨のため何れも神戸市内各學校の室内コートで舉行、一般男子は早大、男子中等は藤澤商業、女子中等は廣島縣女、一般女子は廣島專賣局が優勝した、成績次の通り。

△一般準決勝

早大	21	17	1
廣島縣女	8	2	15
早大	23	2	15
廣島縣女	2	15	

△兩部代表決勝

早大専門部	42	33	八高
野浦西	21	16	17
前衛	天三今	松百村中	後衛
中衛	上藤代	崎塚橋	田口屋
後衛	三加三	長手高	前山守

關西學生聯盟試合

關西學生排球聯盟春季リーグ試合は五月十二、十九の兩日大阪外語コートで舉行、第一部は神戸高商が優勝し、高工は對三高入替試合にも勝ち、來季より一部に入ることになった。

△春季成績(昭和十一年度)

第一部勝敗成績	神戸商	大阪外	京帝大	三高					
勝數	3	2	1	3					
敗數	0	1	2	0					
△同第二部成績	1	2	3	0					
1	神戸高工(4勝1敗)	2	關西學院(3勝2敗)	3	大阪高商(2勝2敗)	4	神戸商大(2勝3敗)	5	同志社高商(1勝4敗)

△同決勝

早大	21	11	17
廣島縣女	13	11	21

△中等準決勝

龍野中學	21	21	10	18
廣島二中	10	18		

藤澤中學

21 21 17 15

坂出商業

△同決勝

藤澤中學	26	20	21	24	22	12
龍野中學	24	22	12			

◇女子の部

△一般準決勝

愛知淑徳	21	15	21	18	21	11	15
錦華	18	21	11	15			

廣島專賣局

2 21 19 17

美東里會

△同決勝

廣島專賣局	21	21	16	14
愛知淑徳	16	14		

△中等準決勝

中村高女	21	13	21	14	21	17
金澤高女	14	21	17			

全國高專排球大會

東京帝大主催の第八回全國高專排球大會は七月十九日から三日間同大學コートで舉行、早大専門部優勝す。

△準決勝

大阪外語	21	21	16	10
長崎高商	16	10		

早大専門部

21 21 11 10

東京高師

△同決勝

早大専門部	21	21	10	14
大阪外語	10	14		

◇高等學校の部

△準決勝

五高	21	21	7	16
大阪	7	16		

△同決勝

八高	21	21	16	14
五高	16	14		

△兩部代表決勝

早大専門部	42	33	八高
野浦西	21	16	17
前衛	天三今	松百村中	後衛
中衛	上藤代	崎塚橋	田口屋
後衛	三加三	長手高	前山守

關西學生聯盟試合

關西學生排球聯盟春季リーグ試合は五月十二、十九の兩日大阪外語コートで舉行、第一部は神戸高商が優勝し、高工は對三高入替試合にも勝ち、來季より一部に入ることになった。

△春季成績(昭和十一年度)

第一部勝敗成績	神戸商	大阪外	京帝大	三高					
勝數	3	2	1	3					
敗數	0	1	2	0					
△同第二部成績	1	2	3	0					
1	神戸高工(4勝1敗)	2	關西學院(3勝2敗)	3	大阪高商(2勝2敗)	4	神戸商大(2勝3敗)	5	同志社高商(1勝4敗)







◇東西對抗試合

東軍	3	121	021
		1816	217
		1	
		西軍	

西軍 藤村 藤橋 上村 井田 原寺  
佐上 齋大 坂今 温多西(小)

東軍 前衛 中衛 後衛  
上藤中浦 崎田 崎崎 屋原部川口  
三加田(三) 長本(赤高) 守千(矢出山)

早慶定期排球

第二回早慶對抗排球試合は五月二日、濱松町コートで舉行、早大連勝す。

早大	3	2121	11
		11	06
		0	
		慶應	

關東排球選手権

昭和十一年度關東排球選手権大會男子一般男子中等、試合は六月七日濱松町コートで舉行、早大と藤澤中が優勝す。

早大	2121	115
	6	
	明大	

卓球

大學高專

日本卓球會主催の第五回東郷優勝旗爭奪全國學生對抗卓球大會は昭和十一年一月四五の兩日に亘り東京麻布小學校で舉行、参加一部十校、二部十七校、三部十八校、試合は一部三名以上の選手をもつて七名のメンバーを作り星取り法で行つた結果一部は早大、二部は青森商、三部は京都高女が優勝した。

◇大學高專準決勝

慶應大學 4—3 立教大學  
早稻田大學 4—2 日本大學

△決勝戦

早稻田大學 4—1 慶應大學  
吉住 3—0 藤井 島村 1—3 井上  
今 3—0 今井 吉住 3—2 井上

◇男子中等決勝

青森商業 4—0 横濱商業  
山中 3—0 南波 藤井 3—1 大谷  
工藤 3—1 西野 山中 3—2 南波

◇女子中等決勝

京都高女 4—3 四日市高女

成績次の通り。

◇春季成績(昭和十年度)

△一部 關西學院 3—1 京都帝大  
△二部 大阪高醫 4—1 彦根高商

◇秋季成績

△一部 大阪商大 3—2 京都帝大  
△二部 龍谷大學 4—1 神戸商大

關西學生卓球

昭和十一年度全關西卓球聯盟春季大會は五月廿四日京大學生集會所で舉行、一部は同大、二部は關學がそれぞれ優勝した、成績次の通り。

△一部決勝試合

同大 3—0 龍谷大學  
△二部決勝試合

關西學院 3—0 彦根高商

各地學生卓球大會

京都帝大主催第四回全國高校卓球大會は七月十六、七の兩日、第十回全國專門學校卓球大會は十八、九の兩日何れも京大學生集會所で舉行。

◇高校準決勝

廣島高校 3—1 福島高校  
弘前高校 3—2 八高

◇決勝戦

弘前高校 3—1 廣島高校

關東學生卓球大會

(昭和十年度)

關東學生卓球聯盟春季リーグ試合は五月十二日から二十六日まで各校コート、選手権大會は六月九日麻布小學校で舉行、成績

保原 3—1 早田 高橋 3—2 渡邊  
小澤 1—3 小畑 保原 3—2 渡邊  
小澤 0—3 川谷 高橋 0—3 小畑  
保原 3—0 渡邊

東西學生對抗

全國學生卓球聯盟主催の第五回東西學生對抗及び全日本選手権大會は七月十三、四の兩日神田YMCAで舉行、對抗試合は兩軍十一名宛で三回試合、十七點先取優勝法で行つたが關西振はず、個人も關東選手が一段強く日大山田優勝す。

△對抗試合

關東 7—3 關西

△個人決勝試合

山田(日大) 3—0 川村(立教)

東西優勝校試合

全日本學生卓球聯盟主催の第四回東西優勝校對抗卓球試合は十一月十五日、阪大醫學部記念館で舉行、9—3で立教優勝。立教大學 9—3 大阪帝大

春季リーグ成績

△第一部 1日大(5勝)2立教(4勝)3早大(3勝)4中大(2勝)5農大(1勝)6帝大(0敗) △第二部 1慶應(5勝)2東京齒專(3勝)3明大(3勝)4大正大(2勝)5拓大(2勝)6日本醫專(5敗) △第三部 1東京外語(5勝)2青山學院(4勝)3東京醫專(3勝)4文理大(2勝)5明治學院(1勝)6高千穂高商(5敗) △第四部 東京商大優勝 △第五部 大倉高商優勝

關東學生卓球(昭和十一年度)

全關東學生卓球聯盟春季リーグ戦は六月七日をもつて全試合を終了したが一部では早大が全勝の成績で優勝、二部は大正大學三部は商大がそれぞれ優勝した。

△一部順位

1早大 2立教 3慶應 4東齒專 5明大 6外語

關西學生卓球大會

全關西學生卓球聯盟主催の春季大會は五月十九、二十の兩日神戸小學校、秋季大會は十一月十日浪高及阪大記念館で舉行、



今井(高知) 3-1 齋藤(二高)

立命館科 3-0 東京外語

彦根高商 3-2 東京醫専

立命館科 3-0 彦根高商

今(早専) 3-1 高(立教)

岡山醫大主催の第九回高専卓球大会は六月一、二の両日同大畑講堂で舉行、参加十校。

関西學院 3-1 東京齒専

畑井(東商) 3-1 神(關學)

京城大學主催の大会は十年十月十三日學生控室で舉行。

朴(海高) 3-1 朴(邱農)

全日本學生遠征試合

全日本學生卓球聯盟選抜チームは三月廿五日大阪を出發滿鮮地方へ遠征、十一試合全勝の成績を残した。

試合成績 10-0 全釜山△8-1 全大邱

△8-0 全鮮學聯△8-0 京城實業△8-1

3 全京城△8-0 全鎮南浦△8-0 全安東

△8-0 滿洲國△8-2 全新京△8-0 奉天聯合△8-7 全大連

杉本 3 6-10 10-10 10-6 1

△決勝戦

杉本 3 10-10 10-8 10-7 1

△OBの部(準決勝試合)

高橋(東京) 3-2 川上(東京)

池田(大阪) 3-1 神田(大分)

△決勝戦

池田 3 10-10 10-9 10-5 0

△國際式の部

中川(大阪) 3 21-21 15-11 21-16 0

△同復決勝戦

山田(京東) 3 21-21 18-17 16-21 16-21 2

田村(京東) 3 21-21 18-17 9 21-22 2

△女子單決勝戦

境(京都) 3 21-21 19-13 21-12 0

△同復決勝戦

朝倉大(京阪) 3 21-18 21-16 21-14 15-21 2

吉井(京阪) 3 17-21 11-16 21-14 15-21 2

△同復決勝戦

全國女子卓球大會  
日本卓球社主催有馬伯夫人杯爭奪第六回

立教遠征試合

立教大學卓球部では上海に遠征、七月廿八日から八月三日までに五試合を行ひ四勝一敗の成績を残した。

試合成績 4-3 廣東隊△4-3 環瑯隊

△3-4 精武隊△5-2 郵工隊△立教優退

二人對中國聯合

全國中等卓球大會

全日本學生卓球聯盟主催の第二回全日本男女中等學校卓球選手権大會は昭和十一年一月六日東京YMCAで舉行。

男子準決勝

藤井(青商) 3-1 船木(函商)

山中(青商) 2-0 太田(青中)

同決勝

藤井(青商) 3-2 山中(青商)

保原(京都) 3-0 鹽谷(武藏野)

宮崎(武藏野) 3-1 高橋(京都)

同決勝

保原(京都) 3-1 宮崎(武藏野)

全日本選手権大會

全日本選手権は明治神宮體育大會卓球競技を兼ねて十月廿九日から十一月一日まで

全國女子卓球大會は八月廿五、六の兩日大阪櫻宮高女で舉行、成績次の通り。

準決勝試合

四日市高女 3-1 矢掛高女

勝山(郡山高女) 3-0 西山(天王寺高女)

全國都市對抗卓球

日本卓球會主催の第五回全國都市對抗卓球大會は五月十六、七の兩日大阪實業會館で舉行、参加は全國十四區の中十三代表都

市(臺灣棄權)で決勝試合は前回と同様大阪對青森となり大阪の復讐ならず青森二年連勝す。

準決勝試合

大阪市 3 0 吳市

青森市 3 1 東京市

決勝試合

青森市 3 2 大阪市

今 1 3 森田

小仲 3 2 川上

石井 1 3 中川

宮川 3 2 藤村繁

山中 3 0 藤村義

全國女子中等卓球

廣島文理大、高師共同主催第五回全國女子中等學校卓球大會は五月卅一日廣島高師附屬小學校で舉行、個人、團體共に濟美高

麻布小學校で舉行、参加は男子百一名、女子八十名、OB廿六名の多數に達し、男子は大阪代表の川上君、女子は神奈川代表の杉本嬢、OBは大阪の池田君優勝、今回より新たに國際式試合が加へられた。

一般男子の部(第五次試合)

程塚(東京) 3-2 森田(大阪)

川上(大阪) 3-0 井上(東京)

山本(兵庫) 3-0 大江(東京)

今(東京) 3-1 山田(東京)

準決勝

今 3 10-10 10-5 0 山本

川上 3 10-10 9-11 14-10 16-7 2 程塚

決勝戦

川上 3 14-12 12-10 10-7 0 今

一般女子の部(第五次試合)

小畑(大分) 3-1 菊地(岡山)

杉本(神奈川) 3-0 妹尾(岡山)

黒崎(東京) 3-1 李(朝鮮)

保原(京都) 3-2 眞田(大阪)

準決勝

保原 3 10-10 10-7 10-8 0 小畑

女が優勝す。

團體決勝試合

濟美 3-2 丸龜

個人決勝試合

相田(濟美) 3-1 伏見(丸龜)

庭球

全日本選手権大會

第十四回全日本庭球選手権大會は世界庭球界のナンバーワンを占むをチエツコのメソツエル選手及びヘヒト選手を迎へて十年十一月七日から十八日まで甲子園コートで舉行、チエツコ選手は試合を重ねる毎にますます調子を整へ、日本選手必死の防戦を軽くはずして單復共に決勝へ進んだが、我が山岸選手の奮闘によつて單復とも選手権を獲得した。

シングルス準々決勝

平井(慶應) 6-1, 6-2 藤倉(明大)

ヘヒト 6-2, 5-7 松岡(慶應)

チエツコ 6-0 倉光(關大)

メソツエル 6-4, 6-4 倉光(關大)

チエツコ 6-0 倉光(關大)



山岸(慶應) 6 6 1 1 6 1 1 村上(慶應)

◇同準決勝

山岸(慶應) 2 7 1 5 6 6 1 0 村上(慶應)

メンツエル 6 6 3 6 1 3 平井(慶應)

◇同決勝

山岸(慶應) 6 6 7 1 2 5 村上(慶應)

◇ダブルス準々決勝

佐藤(東朝) 6 9 7 田藤(早)

村上(昭和)

メンツエル 6 6 6 4 三津(早)

ヘヒト 6 6 6 4 三津(早)

(チエツコ) 6 6 6 4 三津(早)

川部(早)

安部(早)

山岸(慶應) 7 6 6 5 1 0 松本(法)

村上(慶應) 棄権 村上(京)

◇同準決勝

メンツエル 6 6 6 2 2 4 村上(東朝)

ヘヒト 6 6 6 2 2 4 村上(東朝)

(チエツコ) 6 6 6 2 2 4 村上(東朝)

△同準決勝

倉光(関大) 6 6 1 1 6 1 4 松岡(慶應)

村上(慶應) 3 6 2 6 8 6 3 三浦(早大)

藤倉(明大) 6 4 6 3 6 1 4 6 3 中野(法政)

△同決勝

倉光(関大) 6 1 8 6 5 1 7 藤倉(明大)

△ダブルス準々決勝

藤井(大) 6 6 8 6 2 4 10 2 藤井(大)

三津(早大) 6 6 6 3 3 2 大久保(早)

清川(学) 6 6 7 2 3 5 磯谷(専)

村上(慶應) 6 6 4 6 3 3 6 2 6 村上(京)

高橋(慶應) 6 6 4 6 3 3 6 2 6 村上(京)

ヘヒト(チ) 7 1 10 藤倉(明大)

山岸(慶應) 6 2 6 4 6 1 村上(慶應)

メンツエル 6 6 3 3 川部(早)

ヘヒト 6 6 3 3 川部(早)

(チエツコ) 6 6 3 3 川部(早)

山岸(慶應) 9 6 7 3 村上(慶應)

西村(慶應) 9 6 7 3 村上(慶應)

◇同決勝

山岸(慶應) 6 6 5 2 村上(慶應)

村上(慶應) 6 6 5 2 村上(慶應)

メンツエル 6 6 5 2 村上(慶應)

ヘヒト 6 6 5 2 村上(慶應)

(チエツコ) 6 6 5 2 村上(慶應)

川部(早)

安部(早)

山岸(慶應) 6 6 4 4 村上(慶應)

ヘヒト(チ) 6 6 4 4 村上(慶應)

チエツコ選手歓迎試合

十一月廿三日(名古屋ローンテニス倶コート)

ヘヒト(チ) 9 6 2 4 倉光(関大)

メンツエル 6 6 2 4 塚田(明大)

ヘヒト 6 6 2 4 塚田(明大)

(チエツコ) 6 6 2 4 塚田(明大)

安部(早)

安部(早)

藤倉(明大) 6 7 4 5 村上(慶應)

山岸(慶應) 6 6 4 4 村上(慶應)

△同準決勝

藤井(大) 6 6 6 3 4 1 三津(早)

村上(慶應) 6 6 6 3 4 2 清川(学)

△同決勝

村上(慶應) 6 6 1 6 3 2 6 2 藤倉(大)

高橋(慶應) 6 6 1 6 3 2 6 2 藤倉(大)

△同決勝

山岸(慶應) 6 1 1 6 1 2 塚田(明大)

平井(慶應) 5 1 1 6 1 3 三浦(早大)

◇同決勝

山岸(慶應) 6 1 1 6 1 2 塚田(明大)

山岸(慶應) 6 1 1 6 1 2 塚田(明大)

山岸(慶應) 6 1 1 6 1 2 塚田(明大)

山岸(慶應) 6 1 1 6 1 2 塚田(明大)

山岸(慶應) 6 1 1 6 1 2 塚田(明大)

山岸(慶應) 6 1 1 6 1 2 塚田(明大)

山岸(慶應) 6 1 1 6 1 2 塚田(明大)

山岸(慶應) 6 1 1 6 1 2 塚田(明大)

昭和十一年度関東学生選手権大会は五月十五日より早大、明大両コートで開催され六月三日のダブルス決勝に終了した、シングルでNO1山岸(慶應)断然強く楽々覇権を握り、ダブルスに於いても村上と組んで堂々優勝した。

△シングルス準決勝

山岸(慶應) 6 1 1 6 1 2 塚田(明大)

平井(慶應) 5 1 1 6 1 3 三浦(早大)

◇同決勝

山岸(慶應) 6 1 1 6 1 2 塚田(明大)

山岸(慶應) 6 1 1 6 1 2 塚田(明大)

山岸(慶應) 6 1 1 6 1 2 塚田(明大)

山岸(慶應) 6 1 1 6 1 2 塚田(明大)

山岸(慶應) 6 1 1 6 1 2 塚田(明大)

山岸(慶應) 6 1 1 6 1 2 塚田(明大)

全日本学生選手権

第七回全日本学生庭球選手権大会は八月廿二日から田園コートに連日行はれたが大

会中しばしば降雨に見舞はれ九月四日のシ

ングルス決勝を行つて閉幕した、今年は山

岸、西村、木下、塚田四君がテ杯に或はジャ

ワ遠征の爲出場出来ず一抹の寂しさを感じ

たが大会そのものは興味多い試合の連鎖で

あつた、結局ダブルスは慶應の村上、高橋

組が優勝しシングルスは藤倉(明大)が新進

鋭倉光(関大)に敗れ番狂はせを演じた。

△シングルス準々決勝

藤倉(明大) 7 1 5 7 1 5 高橋(慶應)

中野(法政) 6 1 2 6 1 4 藤井(関大)

高橋(東) 6 6 4 3 8 1 6 塚田(明)

村上(慶應) 6 4 4 6 6 6 1 4 三浦(早)

村上(慶應) 6 4 4 6 6 6 1 4 三浦(早)

△同決勝

村上(慶應) 6 1 0 6 1 4 高橋(東)

村上(慶應) 6 1 0 6 1 4 高橋(東)

△同決勝

村上(慶應) 6 1 0 6 1 4 高橋(東)

村上(慶應) 6 1 0 6 1 4 高橋(東)

村上(慶應) 6 1 0 6 1 4 高橋(東)

村上(慶應) 6 1 0 6 1 4 高橋(東)

村上(慶應) 6 1 0 6 1 4 高橋(東)

村上(慶應) 6 1 0 6 1 4 高橋(東)

村上(慶應) 6 1 0 6 1 4 高橋(東)

村上(慶應) 6 1 0 6 1 4 高橋(東)

村上(慶應) 6 1 0 6 1 4 高橋(東)

村上(慶應) 6 1 0 6 1 4 高橋(東)

村上(慶應) 6 1 0 6 1 4 高橋(東)

村上(慶應) 6 1 0 6 1 4 高橋(東)

村上(慶應) 6 1 0 6 1 4 高橋(東)

村上(慶應) 6 1 0 6 1 4 高橋(東)

村上(慶應) 6 1 0 6 1 4 高橋(東)

村上(慶應) 6 1 0 6 1 4 高橋(東)

村上(慶應) 6 1 0 6 1 4 高橋(東)

村上(慶應) 6 1 0 6 1 4 高橋(東)

村上(慶應) 6 1 0 6 1 4 高橋(東)



文理大 6—3 立教

農大 6—3 専修  
一高 5—4 農大  
一高 5—4 専修  
農大 6—3 東醫専  
一高 5—4 東醫専

全關東選手権

日本庭球協會關東支部主催、昭和十一年度一般男女、ミツクスド庭球大會は五月九日から十七日まで早大御茶ノ水其他のコートで舉行、男子は早大(早大)複平井、村上(慶應)女子は田園クラブの岡田嬢、山岸岡田組、ミツクスドは安部、山岸組がそれぞれ優勝す。

◇シングルス準決勝

佐藤(東朝) 6—3、8—6 塚田(明大)

三浦(早大) 6—1、6—1、2—6、6—3 平井(慶應)

◇同決勝

三浦(早大) 6—4、6—2 佐藤(東朝)

◇ダブルス準決勝

清川(學關) 6—1、6—6 村田(中京)  
4—6、2—1 村上(大)

◇同決勝

第十四回關西庭球選手権大會は甲子園コートの於て九月八日より開始、十五日終了した、シングルスは全日本の覇者倉光(關大)が堂々優勝、ダブルスは關學OBの堀越、鶴原組が優勝した。

◇シングルス準決勝

倉光(關大) 6—3、6—4 川村(關學)

戎(カシマ) 6—1、5—7、6—3 村上(京大)

◇同決勝

倉光(關大) 6—3、5—7、6—2 戎(カシマ)

◇ダブルス準決勝

清水(學關) 8—6、8—7 倉藤(井關)

堀越(甲子園) 6—4、4—6、6—3、3—3 村田(中京)  
鶴原(三越) 4—6、6—3、3—3 村上(大)

◇ミツクスド準決勝

山岸嬢部 6—6 高藤嬢  
佐藤夫人 6—7、3—5 岡田嬢

◇同決勝

山岸嬢部 7—5 佐藤夫人

關西學生選手権

第十五回關西學生庭球選手権大會は八月五日から十三日まで甲子園コートで舉行、ダブルスは關學の川村、清洲組、シングルスは神戸商大の新谷が優勝した。

◇シングルス準決勝

新谷(神商) 2—6、6—4 小野田

田中(京大) 棄権 村上(京大)

◇同決勝

新谷(神商) 6—4、2—6 田中(京大)

◇ダブルス準決勝

清川(學關) 6—9、6—3 小野田(神商)

村田(中京) 6—6、6—2 菊地(學關)

◇ダブルス

山岸(東) 7—4、6—8 倉光(西)  
日没中止

◇シングルス

中牟田(西) 6—4、7—6 諸浦(東)

江川(西) 6—4、7—6 諸浦(東)

林大久保(東) 6—6、10—8 小野田(西)

三浦(東) 9—7、6—1 村上(中京)

塚田(東) 7—6、4—6 清水(西)

山岸(東) 6—6、4—6 倉藤(井關)

村田(東) 6—6、4—6 倉藤(井關)

山岸(東) 6—6、4—6 倉藤(井關)

村田(東) 6—6、4—6 倉藤(井關)

村田(東) 6—6、4—6 倉藤(井關)

村田(東) 6—6、4—6 倉藤(井關)

村田(東) 6—6、4—6 倉藤(井關)

村田(東) 6—6、4—6 倉藤(井關)

村田(東) 6—6、4—6 倉藤(井關)

村田(東) 6—6、4—6 倉藤(井關)

村田(東) 6—6、4—6 倉藤(井關)

村田(東) 6—6、4—6 倉藤(井關)

村田(東) 6—6、4—6 倉藤(井關)

村田(東) 6—6、4—6 倉藤(井關)

村田(東) 6—6、4—6 倉藤(井關)

村田(東) 6—6、4—6 倉藤(井關)

村田(東) 6—6、4—6 倉藤(井關)



◆ダブルス

森岡(西) 8-6 藤倉(東)  
本岡(西) 6-3 佐々木(東)  
小野村(西) 6-6 高橋(東)  
森村(西) 6-3 中村(東)

◆東西女子對抗

第三回東西女子對抗試合は九月廿五日御茶ノ水コートで舉行、結局八對一で關東大勝す。

◆ダブルス

關東 2-1 關西  
關西 6-0 關東

◆シングルス

關西學生對抗(春季)

關西學生春季對抗庭球トーナメントは五月十日から京阪神各學校コートで行はれ、六月廿日を以て終了した、其結果高専の部では和歌山高商が甲南高校を辛くも破り二年連勝し、大學の部は關學斷然強く五連覇八回優勝の記録を収めた。

◆高専の部準決勝

甲南高校 5-4 神戸高商  
和歌山高商 9-0 大阪高商

◆同決勝

和歌山高商 5-4 甲南高校  
大學の部準決勝

京都帝大 5-4 大阪帝大  
關學大 9-0 同志社大

◆同決勝

關學大 9-0 京都帝大

關西學生對OB對抗

第三回關西OB、學生對抗庭球試合は四月廿六日甲子園コートで舉行、單は5-3とOB軍リードしたが復て4-1學生軍盛返し結局7-6で學生軍勝つ。

學生軍 7-6 OB軍

○倉光 8-6、6-1 布井

○村上 2-5、7-5 秋元

○藤井 6-3、6-1 吉岡

○新谷 3-6、4-6 上原

○清洲 3-4、6-1 齋藤

○河村 6-1、6-2 津田

○荻原 6-8、2-6 宮城

○井上 4-6、3-6 堀越

○藤井 5-5、7-7 堀越

○倉光 5-5、7-7 堀越

○木下 6-2、6-4 堀越

○村上 6-6、5-7 吉岡

○新谷 6-6、1-4 秋元

○桂野 6-6、2-4 小林

○河野 6-6、3-6 津田

○生島 6-6、0-2 齋藤

○河村 6-6、0-2 宮城

○吉田(早大) 6-4、8-10 加藤(早大)

◆ダブルス決勝

吉田(早大) 6-3、8-10 加藤(早大)

加藤(早大) 6-6、1-2 森(一)

松岡(慶) 6-1、6-3 高尾(早)

村上(慶) 6-2、6-1 藤田(早)

吉田(早大) 6-3、8-10 加藤(早大)

加藤(早大) 6-6、1-2 森(一)

松岡(慶) 6-1、6-3 高尾(早)

村上(慶) 6-2、6-1 藤田(早)

吉田(早大) 6-3、8-10 加藤(早大)

加藤(早大) 6-6、1-2 森(一)

松岡(慶) 6-1、6-3 高尾(早)

村上(慶) 6-2、6-1 藤田(早)

吉田(早大) 6-3、8-10 加藤(早大)

加藤(早大) 6-6、1-2 森(一)

松岡(慶) 6-1、6-3 高尾(早)

村上(慶) 6-2、6-1 藤田(早)

吉田(早大) 6-3、8-10 加藤(早大)

加藤(早大) 6-6、1-2 森(一)

松岡(慶) 6-1、6-3 高尾(早)

村上(慶) 6-2、6-1 藤田(早)

吉田(早大) 6-3、8-10 加藤(早大)

加藤(早大) 6-6、1-2 森(一)

松岡(慶) 6-1、6-3 高尾(早)

村上(慶) 6-2、6-1 藤田(早)

吉田(早大) 6-3、8-10 加藤(早大)

加藤(早大) 6-6、1-2 森(一)

松岡(慶) 6-1、6-3 高尾(早)

村上(慶) 6-2、6-1 藤田(早)

◆ダブルス

和歌山高商 3-1 六高  
同志社高商 3-1 神戸高商

◆準決勝

和歌山高商 3-1 六高  
同志社高商 3-1 神戸高商

◆決勝

和歌山高商 3-1 六高  
同志社高商 3-1 神戸高商

高橋(慶)	6-4、6-0	田中(早)
平井(慶)	6-1、6-4	津田(早)
西村(慶)	6-4、6-4	服部(早)
山岸(慶)	6-3、6-3	三浦(早)
岡松(慶)	6-6、2-6	服部(早)
村高(慶)	6-2、8-6	藤田(早)
西山(慶)	6-4、6-0	三浦(早)

全國高専大會

岡山醫大主催第七回全國高専大會は五月廿三、四の兩日醫大、六高兩コートで舉行和歌山高商が優勝した。

◆準決勝

和歌山高商 3-1 六高  
同志社高商 3-1 神戸高商

◆決勝

和歌山高商 3-1 六高  
同志社高商 3-1 神戸高商

和歌山高商 4-1 同志社高商

全國中等選手權

大毎主催第廿八回全國中等學校選手權大會は七月廿八日から八月一日まで濱寺コートで舉行、ダブルスは京都師範が六度、シングルスは明治中の藤倉が優勝す。

◆準決勝

高橋(慶) 6-2、6-3 堀越

藤倉(明治中) 6-6、0-3 堀越

横山(池田) 6-6、2-2 堀越

白井(師範) 6-6、2-2 堀越

小野村(京都) 6-6、1-1 堀越

藤倉(明治中) 6-4、6-7 堀越

小森(師範) 6-1、1-4 堀越

野村(京都) 6-1、1-4 堀越

小森(師範) 6-1、1-4 堀越

野村(京都) 6-1、1-4 堀越

小森(師範) 6-1、1-4 堀越

野村(京都) 6-1、1-4 堀越

小森(師範) 6-1、1-4 堀越

野村(京都) 6-1、1-4 堀越

小森(師範) 6-1、1-4 堀越

野村(京都) 6-1、1-4 堀越

小森(師範) 6-1、1-4 堀越

野村(京都) 6-1、1-4 堀越

小森(師範) 6-1、1-4 堀越

野村(京都) 6-1、1-4 堀越

小森(師範) 6-1、1-4 堀越

野村(京都) 6-1、1-4 堀越

小森(師範) 6-1、1-4 堀越

野村(京都) 6-1、1-4 堀越

小森(師範) 6-1、1-4 堀越

野村(京都) 6-1、1-4 堀越



◇ダブルス準決勝

上原(關學) 1—6、8—6 平井(慶  
堀越(OB) 6—3、6—3 村上(應)  
倉井(大關) 9—11、6—13 川村(關)  
藤井(大關) 9—7、6—1 生島(學)

◇同決勝

上原(關學) 8—6、6—3 倉光(關)  
堀越(OB) 6—4 藤井(大)

全日本軟式選手権

昭和十年度全日本軟式選手権大会は十一  
月一日から四日間戸山學校で舉行

▼準決勝

熊野御堂(鮮朝) 6—4 瀬戸(東)  
堀池(京)

安井(愛) 4—1 森(愛)  
村瀬(知)

▼決勝

熊野御堂(鮮朝) 4—2 安井(愛)  
山名(知)

全國軟式選手権

昭和十年度全國軟式庭球選手権大会は十  
一月廿三日東京日比谷公園コートで舉行、  
長崎の古川、水蘆組優勝す。

▼準決勝

古川(長) 4—2 吉利(大卒)  
水蘆(崎)

木場(學習院) 5—3 麻生義(九大)

▼決勝戦

木場(學習院) 7—5 古川(關學)

關西アマ選手権

關西アマゴルフ選手権大会は十一月八日  
から三日間、茨木倶コースで舉行。

▼準決勝戦

佐藤(廣野) 6—5 松山(鳴尾)  
柴田(茨木) 1—アツプ ヨーンス(鳴尾)

▼決勝戦

佐藤(廣野) 7—5 柴田(茨木)

全日本アマ選手権

第廿九回全日本アマゴルフ選手権大会は  
六月三日より三日間我孫子コースで舉行、  
佐藤儀(廣野)が三年連勝の鍋島を破り選手  
権を獲得した。

▼準々決勝戦

佐藤儀(廣) 6—5 新田(武)  
鍋島(東) 1—アツプ 古川(廣)

▼準決勝戦

成(宮(茨) 4—2 赤星(東)  
木場(我) 5—3 佐藤武(我)

▼準決勝戦

成(宮(茨) 1—アツプ 木場(我)  
佐藤儀(廣) 1—アツプ 鍋島(東)

▼決勝戦

ホツケ

オリムピック代表決定

第十一回オリムピック・ホツケ選手最  
終銜審員會は四月廿九日午後七時半から  
東朝會議室で開催、正選手十四名及び役員  
監督を次の如く決定した。

◇役員

▼監督 加藤 眞一(協會副會長)  
▼マネージャー 石川 周策(協會理事)

▼選手監督

宇佐美敏夫(協會理事)

◇代表選手

▼FW: 脇坂貞夫(臺北一中、商大) 田中  
昇(成田中、商大) 伊藤越夫(東京府立四  
中、商大) 菊地信(札商、早大卒) 柳武彦  
慶普、慶大) ▼HB: 上野安夫(東京府  
立八中、慶大) 倉内大次(東京府立六中、  
商大) 酒井義雄(明治中、明大、臺灣) 村  
岡敏(山陽中、明大) 武智治(旅順中、商  
大) ▼FB: 大津敏雄(山陽中、明大卒)  
伊藤通弘(慶商、慶大) ▼GK: 濱田駿吉  
(慶普、慶大卒)

代表軍各試合成績

オリムピック・ホツケ代表軍は五月十

佐藤儀(廣) 1—アツプ 成(宮(茨)

東西對抗戦

第十回關東、關西對抗ゴルフ競技は六月  
一日千葉縣我孫子コースで舉行、八點五對  
六點五で關西惜敗、結局關東九勝一敗の成  
績となった。

▼ダブルス

關東 2.5—2.5 關西

▼シングル

關東 6—4 關西

全日本プロ選手権

全日本プロゴルフ選手権大会は十月廿三  
日から廿六日まで相模コースで舉行、参加  
五十名、三六ホールスメダルプレーのラオ  
リファイランドで藤澤の中村君が一四三で  
メダリストとなった。

▼準決勝戦(三六マツチ)

戸田(廣野) 8—7 小池(霞ヶ關)

▼決勝戦(三六マツチ)

戸田(廣野) 7—3 陳(武藏野)

全日本オープン選手権

全日本オープンゴルフ選手権大会は十月  
卅日から三日間朝霞コースで舉行。  
1 宮本(茨木) 二九六 2 戸田(廣野) 3 藤井  
(霞ヶ關) 4 岩倉(程ヶ谷) 5 淺見(程ヶ谷)



六日の對早大戦を始め各大学チームと對戦優勝した。

◇對早大戦(五月十六日、勸銀球場)

代表軍 6 (3|0) 0 早大

◇對明大戦(五月十八日、勸銀球場)

代表軍 16 (8|0) 0 明大

◇對明大第二戦(五月廿日、勸銀球場)

代表軍 4 (2|0) 0 明大

◇對慶應戦(五月廿一日、勸銀球場)

代表軍 7 (3|0) 0 慶應

◇對東商大戦(五月廿二日、勸銀球場)

代表軍 5 (2|0) 0 東京商大

◇對立大戦(六月二日、勸銀球場)

代表軍 9 (6|0) 1 立大

◇對早大第二戦(六月五日、勸銀球場)

代表軍 5 (3|0) 0 早大

◇對慶應第二戦(六月十日)

代表軍 3 (2|1) 1 慶應

代表軍對學生選抜軍

オリムピック代表對學生選抜軍の試合は六月八日、勸銀球場に於て舉行、代表軍勝つ。

代表軍 3 (1|2) 0 學生選抜軍

選抜 (早立帝立明慶早慶早慶) 原山路南田木田邊森原川

菅富北長増廣山渡金河小

FW 2 0 0

HB 4 3 1

FB 4 3 1

GK 1

代表 坂中藤地山智井津藤田

脇田伊菊柳村酒倉大伊濱

代表軍對全關東軍

オリムピック代表軍對全關東の試合は六月十三日、神宮球場に於て舉行、代表軍勝つ。

代表軍 4 (0|4) 1 全關東

和村水繩田尾木本田野森川

高山清松(西)榎廣重境金小

FW 7 12 4

HB 11 1 0

FB 11 1 0

GK 0

代表 坂(美)中藤地(菊)智(井)藤津田

脇(宇)田伊(山)柳(武)岡(柳)内(上)野(藤)津田

脇田伊(山)柳(武)岡(柳)内(上)野(藤)津田

脇田伊(山)柳(武)岡(柳)内(上)野(藤)津田

脇田伊(山)柳(武)岡(柳)内(上)野(藤)津田

脇田伊(山)柳(武)岡(柳)内(上)野(藤)津田

脇田伊(山)柳(武)岡(柳)内(上)野(藤)津田

脇田伊(山)柳(武)岡(柳)内(上)野(藤)津田

脇田伊(山)柳(武)岡(柳)内(上)野(藤)津田

◇決勝試合

東京商大 4 (4|0) 0 京都帝大

◇第一次試合

京大 2 (2|0) 0 愛知商俱

全日本ホッケー選手権

昭和十年度全日本ホッケー選手権大會は十一月廿三日、四日の兩日戸山學校で舉行關東代表東京商大は關西代表の京都帝大を破り全日本の選手権を把握した。

商大 坂中藤地谷智内邊里江川

脇田伊菊縫武倉渡中堀谷

FW 25 3 5

HB 30 1 1

FB 30 1 1

GK 1

京大 飯岡熊良田 田田輕尾水

飯岡柏相太 上井津丸清

京大 4 (1|3) 1 北大

東大 9 (5|4) 1 九大

北大 5 (2|3) 1 九大

東大 2 (1|1) 2 京大

京大 11 (8|2) 0 九大

東大 5 (3|2) 1 北大

關東ホッケー

全日本ホッケー選手権關東豫選大會は學

スポーツ——ホッケー

生實業團がそれ、リーグ戦を舉行、十一月廿三日戸山學校で兩リーグ代表が決勝戦に出場し東京商大が優勝した。

東京商大 3 (2|1) 1 一橋俱

中國ホッケー選手権

中國ホッケー支部主催の第一回中國ホッケー選手権大會は十一月廿三日山陽中學球場に於て舉行、山陽中學優勝す、参加四チーム。

◇第一次試合

山陽中學 17 (6|11) 0 山口高商OB

山口高商 5 (3|2) 0 廣島俱

◇決勝戦

山陽中學 9 (4|5) 1 山口高商

名古屋ホッケー秋季大會

ホッケー協會名古屋支部主催の一般秋季大會は十一月廿四日、名古屋高商で舉行、名古屋高商俱優勝す。

◇準決勝試合

名古屋俱 3 (1|1) 1 愛知商俱

名古屋俱 1 (0|0) 0 南友俱

◇決勝

名古屋俱 4 (2|2) 2 名古屋俱

臺灣ホッケー選手権

全臺灣ホッケー選手権大會は十一月廿三、四の兩日、臺北一中球場で舉行、臺北高校優勝す。

◇中等リーグ試合

臺北高尋 2 (2|0) 2 臺北一中

臺北高尋 9 (9|0) 0 臺北商業

臺北一中 9 (9|3) 3 臺北商業

◇一般第一次試合

臺北高校 6 (6|1) 1 臺北俱樂部

專賣團 15 (15|1) 1 臺北帝大

◇決勝試合

臺北高校 4 (3|1) 2 專賣團

名古屋ホッケー

大日本ホッケー協會名古屋支部秋季大會決勝試合は十二月八日學生部代表愛知商業と一般代表名古屋高商俱の間に行はれ名古屋俱優勝す。

名古屋俱 5 (3|2) 4 愛知商

高校ホッケー大會

第七回全國高校ホッケー大會は一月一日から三日間學習院、戸山學校兩球場で舉行



◆臺北高校優勝す。

◆第一次試合

臺北高校 6 3 3 1 0 成城高校

學習院 4 4 0 1 1 北大豫科

浦和高校 2 1 0 1 0 七高

◆準決勝

臺北高校 3 1 2 0 0 學習院

浦和高校 2 1 0 0 1 三高

◆決勝戦

臺北高校 5 1 4 0 0 浦和高校

◆東海聯盟ホッケー

東海ホッケー春季俱樂部トーナメントは五月九、十の兩日愛商球場で舉行、名古屋高商俱優勝す。

名高商俱 7 5 0 0 名醫大俱

愛知商俱 棄權 商友俱

◆決勝戦

名高商俱 6 5 1 0 1 愛知商俱

◆高専ホッケー大會

大日本ホッケー協會主催第二回全國日本高専ホッケー大會は五月卅、卅一の兩日名古屋市營グラウンドに於て舉行、關大豫科優勝す。

◆準決勝

關大豫科 3 0 3 1 0 名古屋高商

山口高商 1 0 1 0 0 慶應豫科

◆決勝

關大豫科 2 1 1 0 1 山口高商

◆ホッケー對抗試合(七月)

東京商大 13 0 小樽協會(十三日)
名高商 2 0 山口高商(十三日)
山口高商 5 3 關大二軍(十四日)
山口高商 4 1 關西OB(十四日)
東京商大 4 2 全北海道(十四日)
東京商大 4 0 札幌OB(十四日)
東京商大 6 0 札幌商業(十五日)
東京商大 11 2 北大豫科(十五日)
東京商大 6 1 名古屋商(十五日)
東京商大 8 0 北海中學(十六日)

東京商大 12 0 北 大(十六日)

札幌商業 10 0 北海中學(二十日)

三 高 7 1 1 一 高(二日)

關 大 7 1 1 神戶商大(廿四日)

臺北一中 5 4 臺北高專(廿五日)

臺北高校 9 1 臺北帝大(廿五日)

東京商大 6 1 東京帝大(廿九日)

浦和高校 4 2 一 高(廿九日)

◆ホッケー對抗試合(十月)

慶 大 2 1 1 東 大(五日)

東京農大 5 0 一 高(五日)

東京商大 2 0 立教大(六日)

法政大 5 0 成城高校(六日)

早 大 8 3 東 大(八日)

法政大 6 0 一 高(十二日)

明 大 3 2 慶 大(十三日)

橫濱商業 5 1 學習院中(十三日)

北大豫科 6 2 小樽協會(十三日)

早 大 6 3 戶山學校(十五日)

關 大 2 1 神戶外人(十九日)

東京商大 9 0 戶山學校(十九日)

浦和高校 8 1 東京農大(廿日)

慶 大 2 0 立教大(廿六日)

京 大 3 2 關西神宮(廿七日)

早 大 2 1 明 大(廿八日)

十月廿九日(中等學校)卅日(女子)十一月一日、二日(地方對抗選手権大會)の四日間、山學校及び神宮競技場で舉行、地方競技は關東チーム、中等學校は山陽中學、女子は成城がそれ々々優勝した。

◆中等學校

▼第一回戦

山陽中學 6 3 3 0 0 橫濱商業

名古屋商 2 1 1 1 0 1 札幌商業

▼決勝戦

山陽中學 6 2 4 1 0 1 名古屋商

木切全田出 瀨藤井崎
高小木堀小 森濱 成加坪長

FW HB FB GK FHLSC

根田口谷澤本津田田口原 8 5 2

◆女子對抗

成城女子 2 2 1 0 0 0 東京女大

東商豫科 7 1 1 名高商(卅日)

全關西 4 1 3 早 高(二日)

東京商大 6 1 1 早 大(三日)

立教大 3 1 2 東 大(四日)

法政大 3 1 2 東京農大(七日)

京 大 7 1 0 名古屋醫(九日)

浦和高校 2 1 0 成城高校(九日)

關 大 5 1 1 名古屋醫(十日)

名古屋醫 8 1 3 神戶商大(十日)

關 大 4 1 1 神戶商大(十日)

早 大 5 1 3 立教大(十日)

東京商大 2 1 1 關 大(十日)

旅順工大 3 1 3 南滿工專(十日)

法政大 1 1 0 浦和高校(十三日)

東京商大 8 1 0 明 大(十六日)

慶 大 5 1 3 早 大(十七日)

神戶外人 1 1 1 關大OE(卅日)

關東學生 7 1 2 關東OB(一日)

神戶外人 2 1 1 三 高(七日)

愛知商業 4 1 3 名古屋商(八日)

神戶外人 2 1 1 全關西(十八日)

三田俱 4 1 2 一ツ橋俱(十九日)

稻門俱 12 1 0 ミカド俱(十九日)







◇ウエルター級  
白井(關大) KO 澁谷(慶大)

六大學拳闘リーグ

(日大6—3專修)(九月十九日、市政講堂)

◇フライ級

佐々木(專大) 判定 小林(日大)  
中野(專大) 判定 三好(日大)  
小泉(日大) 判定 川井(專大)

◇パンナム級

青木(日大) 判定 館(專大)  
高橋(日大) 棄權 熊(專大)

◇フェザー級

藍川(日大) 判定 佐々木(專大)  
前田(日大) TKO 海老原(專大)

◇ライト級

木原(日大) TKO 飯島(專大)

◇ウエルター級

齋藤(專大) KO 椎島(日大)  
[專大6.5—2.5中央](九月廿八日、日比谷新音樂堂)

◇フライ級

佐々木(專大) KO 佐野(中大)  
川井(專大) 判定 中園(中大)  
中野(專大) 判定 兒島(中大)

(法政5—4專大)(十月八日、日比谷新音樂堂)

◇フライ級

江口(法政) 引分 佐々木(專大)  
三矢(法政) 引分 川井(專大)  
中野(專大) TKO 鶴岡(法政)

◇パンナム級

橋岡(法政) 判定 館(專大)  
荒木(法政) 棄權 熊(專大)

◇フェザー級

海老原(法政) 判定 海老原(專大)  
佐々木(專修) 判定 武内(法政)

◇ライト級

李(法政) 棄權 飯島(專大)

◇ウエルター級

齋藤(專大) 棄權 藤堂(—)  
[農大5—4中央](十月八日、日比谷新音樂堂)

◇フライ級

中園(中央) 引分 保科(農大)  
佐野(中央) 判定 和田(農大)  
鈴木(中央) 判定 權(農大)

◇パンナム級

渡邊(農大) 判定 茂木(中央)  
三浦(農大) 判定 金(中央)

◇フェザー級

陶(早大) 判定 鍵野(明大)  
近藤(明大) 判定 豊田(早大)

◇ライト級

永松(明大) KO 福岡(早大)

◇ウエルター級

黃(明大) 判定 西村(早大)

立教對關學定期戰期

第一回立教大學對關西學院大學定期拳闘  
試合は一月廿四日東京市政講堂で舉行、四五對四五で引分に終る

◇フライ級

石童(立教) KO 佐藤(關學)  
和田(立教) 判定 駒井(關學)

◇パンナム級

田邊(立教) 引分 淺井(關學)  
松川(立教) 判定 葛馬(關學)

◇フェザー級

山本(關學) KO 金原(立教)

◇ウエルター級

藤澤(立教) 引分 長谷川(關學)  
藤後(關學) TKO 江口(立教)

◇ライト級

坂本(關學) 棄權 野治(立教)  
ウエルター級 引分 仲田(關學)

◇ウエルター級  
白井(關大) KO 澁谷(慶大)

六大學拳闘リーグ

(日大6—3專修)(九月十九日、市政講堂)

◇フライ級

佐々木(專大) 判定 小林(日大)  
中野(專大) 判定 三好(日大)  
小泉(日大) 判定 川井(專大)

◇パンナム級

青木(日大) 判定 館(專大)  
高橋(日大) 棄權 熊(專大)

◇フェザー級

藍川(日大) 判定 佐々木(專大)  
前田(日大) TKO 海老原(專大)

◇ライト級

木原(日大) TKO 飯島(專大)

◇ウエルター級

齋藤(專大) KO 椎島(日大)  
[專大6.5—2.5中央](九月廿八日、日比谷新音樂堂)

◇フライ級

佐々木(專大) KO 佐野(中大)  
川井(專大) 判定 中園(中大)  
中野(專大) 判定 兒島(中大)

(法政5—4專大)(十月八日、日比谷新音樂堂)

◇フライ級

江口(法政) 引分 佐々木(專大)  
三矢(法政) 引分 川井(專大)  
中野(專大) TKO 鶴岡(法政)

◇パンナム級

橋岡(法政) 判定 館(專大)  
荒木(法政) 棄權 熊(專大)

◇フェザー級

海老原(法政) 判定 海老原(專大)  
佐々木(專修) 判定 武内(法政)

◇ライト級

李(法政) 棄權 飯島(專大)

◇ウエルター級

齋藤(專大) 棄權 藤堂(—)  
[農大5—4中央](十月八日、日比谷新音樂堂)

◇フライ級

中園(中央) 引分 保科(農大)  
佐野(中央) 判定 和田(農大)  
鈴木(中央) 判定 權(農大)

◇パンナム級

渡邊(農大) 判定 茂木(中央)  
三浦(農大) 判定 金(中央)

◇フェザー級

陶(早大) 判定 鍵野(明大)  
近藤(明大) 判定 豊田(早大)

◇ライト級

永松(明大) KO 福岡(早大)

◇ウエルター級

黃(明大) 判定 西村(早大)

立教對關學定期戰期

第一回立教大學對關西學院大學定期拳闘  
試合は一月廿四日東京市政講堂で舉行、四五對四五で引分に終る

◇フライ級

石童(立教) KO 佐藤(關學)  
和田(立教) 判定 駒井(關學)

◇パンナム級

田邊(立教) 引分 淺井(關學)  
松川(立教) 判定 葛馬(關學)

◇フェザー級

山本(關學) KO 金原(立教)

◇ウエルター級

藤澤(立教) 引分 長谷川(關學)  
藤後(關學) TKO 江口(立教)

◇ライト級

坂本(關學) 棄權 野治(立教)  
ウエルター級 引分 仲田(關學)

◇パンナム級  
茂木(中大) TKO 諸熊(專大)  
鈴木(中大) 引分 館(專大)

◇フェザー級

大谷(中大) 判定 海老原(專大)  
佐々木(專大) 判定 深海(中大)

◇ライト級

飯島(專大) KO 李(中大)

◇ウエルター級

齋藤(專大) 判定 李永(中大)  
[法政6—3立教](九月廿八日、日比谷新音樂堂)

◇フライ級

松川(立教) 判定 井口(法政)  
三矢(法政) 判定 石堂(立教)

◇パンナム級

和田(立教) 判定 鶴岡(法政)

◇フェザー級

笹川(法政) TKO 若山(立教)  
辻川(法政) 判定 田邊(立教)

◇ウエルター級

荒木(法政) 判定 金杉(立教)  
海老原(法政) 判定 額川(立教)

◇ライト級

竹内(法政) KO 佐々木(立教)

◇ウエルター級

澤田(立教) KO 藤堂(法政)

◇フライ級  
松島(明大) 判定 山本(慶應)  
伊藤(明大) KO 長谷川(慶應)  
小倉(明大) 判定 野口(慶應)

◇パンナム級

朴(明大) 棄權 堤(慶應)  
鍵野(明大) 引分 平井(慶應)  
廣川(慶應) 判定 水上(明大)

◇フェザー級

早川(慶應) 判定 荒賀(明大)  
近藤(明大) KO 佐藤(慶應)

◇ライト級

永松(明大) 棄權 澁谷(慶應)

◇ウエルター級

黃(明大) 棄權 永井(慶應)  
[明大6—4早大](十月十四日、日比谷新音樂堂)

◇フライ級

柳(早大) 判定 松島(明大)  
小倉(明大) 引分 市原(早大)  
伊藤(明大) 引分 濱口(早大)

◇パンナム級  
水上(明大) KO 原川(早大)  
朴(明大) KO 加藤(早大)  
中田(早大) 判定 伊藤(明大)

尹(農大) 引分 深海(中央)  
河原(農大) TKO 大谷(中央)

◇ライト級

古閑(農大) 判定 相川(中央)

◇ウエルター級

李(中央) 不戦勝  
早慶明對抗拳闘  
[早大5—5慶應](九月十九日、市政講堂)

◇フライ級

柳(早大) 判定 鍵和田(慶應)  
三枝(慶應) 判定 市原(早大)  
濱口(早大) 引分 野口(慶應)

◇パンナム級

堤(慶應) 判定 原川(早大)  
中田(早大) 引分 平井(慶應)  
廣川(慶應) 判定 陶(早大)

◇フェザー級  
早川(慶應) 判定 井上(早大)  
福岡(早大) KO 澁谷(慶應)

◇ライト級

豊田(早大) KO 佐藤(慶應)

◇ウエルター級

西村(早大) 棄權 永井(慶應)  
[明大7.5—2.5慶應](十月四日、日比谷公會堂)



オリズムピツク豫選

〔朝鮮豫選〕全朝鮮アマチュア拳闘聯盟主催、第十一回オリズムピツク選手朝鮮拳闘豫選は一月十八日朝鮮日報社講堂に於て舉行

- ◇フライ級 金亨中(朝鮮) 判定 朴春緒(朝鮮)
◇バンナム級 洪在浩(青拳) 判定 宗徳鐘(朝鮮)
◇フェザー級 朴龍辰(朝鮮) 判定 韓龍河(平壤)
◇ライト級 崔龍徳(青拳) 判定 李利植(平壤)
◇ウェルター級 李奎煥(朝鮮) 棄権 權重濤(青拳)
〔東海豫選〕オリズムピツク中部拳闘豫選決勝は一月廿五日名古屋市公會堂に於て舉行
◇フライ級 木村(國華) 判定 渥美(濱松)
◇バンナム級 中村(國華) 判定 淺井(濱松)
◇フェザー級 宮間(港俱) TKO 巽 (協和)
◇ライト級

オリズムピツク代表決勝

オリズムピツク大會派遣選手決定全日本本選選決勝戦は全日本アマチュア選手權大會を兼ねて四月八日、日比谷公會堂に於て舉行試合終了後直ちにオリズムピツク選手銓衡委員會が開催され別項の五代表を決定した

- ◇ウェルター級 栗田(豊橋) 判定 近藤(金城)
木村(濱松) KO 金山(日進)
〔關西豫選〕全關西アマチュア拳闘聯盟主催のオリズムピツク全關西豫選の決勝試合は一月十五日大阪朝日會館に於て舉行
◇フライ級 大山(OABC) 判定 吉岡(熊本拳)
◇バンナム級 手島(OABC) 棄権 濱口(關大)
◇フェザー級 南(關大) 棄権 藤本(日勝)
◇ライト級 關本(關大) TKO 木村(大星)
◇ウェルター級 仲田(關學) 判定 中村(OABC)
中野(關東) 判定 金 (朝鮮)
▼延長一回

オリズムピツク代表決る

全日本アマチュア拳闘聯盟では四月八日オリズムピツク代表決定戦終了後、芝朝陽館に於て派遣選手並に役員銓衡委員會を開催、銓衡の結果派遣選手五名及び役員二名を決定した

- ◇フライ級 中野千代人(専大) 全關東
◇バンナム級 橋岡俊平(法大OB) 關東
◇フェザー級 宮間佐治郎(港俱) 中部
◇ライト級 永松英吉(明大) 關東
◇ウェルター級 李奎煥(朝鮮) 朝鮮
役員…鹿毛善光(全日本アマチュア拳闘聯盟理事)
坂口信夫(同上)
六大學拳闘リーグ
〔日大6.5—2.5立大〕(五月十一日、日本)

- 青年館)
◇フライ級 水谷(日大) 判定 野口(立大)
小林(日大) TKO 奈木(立大)
小泉(日大) 判定 石堂(立大)
◇バンナム級 藤澤(立大) 判定 三好(日大)
金杉(立大) 引分 小島(日大)
◇フェザー級 藍川(日大) 判定 江口(立大)
青木(日大) KO 穎川(立大)
◇ライト級 横山(日大) 判定 ミサ(立大)
◇ウェルター級 澤田(立大) TKO 松田(日大)
〔農大6—3中大〕(五月十一日、日本青年館)
◇フライ級 山田(中大) KO 金 (農大)
權(農大) 判定 佐野(中大)
平沼(農大) 判定 金 (中大)
◇バンナム級 鈴木(中大) 判定 清水(農大)
三浦(農大) 判定 中園(中大)
◇フェザー級 尹(農大) 判定 大谷(中大)

- 河原(農大) 判定 深海(中大)
◇ライト級 古閑(農大) TKO 李 (中大)
◇ウェルター級 林(中大) 判定 金 (農大)
〔専大5—4法政〕(五月二十日、日本青年館)
◇フライ級 佐々木成(専大) TKO 羽田(法政)
川井(専大) 判定 河島(法政)
中野(専大) 判定 松丸(法政)
◇バンナム級 辻川(法政) 不戦勝 金 (専大)
荒木(法政) 判定 堀 (専大)
◇フェザー級 佐々木市(専大) 判定 手島(法政)
館(専大) 引分 藤堂(法政)
◇ライト級 李(法政) TKO 橋本(専大)
◇ウェルター級 金錫(専大) 引分 金鐘漢(法政)
〔日大6.5—2.5中大〕(五月二十日、日本青年館)
◇フライ級 小林(日大) 判定 兒島(中大)
水谷(日大) 判定 中園(中大)

- 小泉(日大) 不戦勝 佐野(中大)
◇バンナム級 鈴木(中大) 判定 横山(日大)
小島(日大) KO 金 (中大)
◇フェザー級 藍川(日大) 判定 大谷(中大)
青木(日大) 判定 深海(中大)
◇ライト級 金澤(日大) 引分 相川(中大)
◇ウェルター級 林(中大) KO 松田(日大)
〔専大5—4立教〕(六月十八日、日本青年館)
◇フライ級 川井(専大) 判定 奈木(立大)
佐々木(専大) 判定 野口(立大)
石堂(立大) 判定 淺川(専大)
◇バンナム級 金杉(立大) 引分 金 (専大)
藤澤(立大) 不戦勝 海老原(専大)
◇フェザー級 館(専大) TKO 野路(立大)
佐々木(専大) 引分 穎川(立大)
◇ライト級 ミサ(立大) KO 山西(専大)
◇ウェルター級



金 (専大) 不戦勝澤 田(立大)  
〔日大6.5—2.5農大〕(六月十八日、日本青年館)

- ◇フライ級
  - 小林(日大) 判定 福地(農大)
  - 水谷(日大) 判定 平沼(農大)
  - 小泉(日大) TKO 權 (農大)
  - ◇パンナム級
    - 小島(日大) 判定 清水(農大)
    - 三浦(農大) 判定 三好(日大)
    - ◇フェザー級
      - 藍川(日大) 判定 尹 (農大)
      - 青木(日大) 引分 河原(農大)
      - ◇ライト級
        - 古閑(農大) 判定 横山(日大)
        - ◇ウェルター級
          - 金澤(日大) TKO 金 (農大)
          - 〔法政5.5—3.5農大〕(六月廿五日、日本青年館)
          - ◇フライ級
            - 鶴岡(法政) 判定 權 (農大)
            - 松丸(法政) 判定 平沼(農大)
            - 鶴岡達(法政) 引分 福地(農大)
            - ◇パンナム級
              - 江口(法政) 判定 三浦(農大)
              - 荒木(法政) TKO 清水(農大)

五點對一・五點で關大勝つ

- ◇フライ級
  - 河原(農大) 判定 手島(法政)
  - 尹 (農大) TKO 木村(法政)
  - ◇ライト級
    - 古閑(農大) KO 李 (法政)
    - ◇ウェルター級
      - 金 (法政) 不戦勝 下島(農大)
      - 〔中大7.5—1.5立大〕(六月廿五日、日本青年館)
      - ◇フライ級
        - 山田(中大) KO 勅使河原(立大)
        - 佐野(中大) 引分 石堂(立大)
        - 兒島(中大) 判定 野口(立大)
        - ◇パンナム級
          - 鈴木(中大) 判定 金杉(立大)
          - 中園(中大) 判定 藤澤(立大)
          - ◇フェザー級
            - 大谷(中大) 不戦勝 江口(立大)
            - 深海(中大) 判定 ミサ(立大)
            - ◇ライト級
              - 額川(立大) 反則 相川(中大)
              - ◇ウェルター級
                - 林 (中大) 不戦勝 木村(立大)

プロフェッショナルの部

甲子園大日拳主催拳闘

大日拳主催拳闘試合は七月十三日甲子園庭球場に於て舉行、主なる成績は次の通り

- ◇六回戦
  - 山崎(國華) 判定 矢島(大日拳)
  - 神田(大日拳) 引分 久富(帝拳)
  - 山中(帝拳) KO セヨンド(比人)
  - 服部(東拳) 判定 橋本(帝拳)
  - ◇八回戦
    - 高田(日東) 引分 ベントレロ(比人)

ピネタ選手歓迎拳闘  
全日本拳闘聯盟主催のクリス・ピネタ歓迎拳闘試合は十月七日品川八ツ山下特設リングに於て舉行、主なる成績左の通り

- ◇六回戦
  - 花田(帝拳) 判定 牧野(東邦)
  - 光山(帝拳) 引分 山岡(躍進)
  - ピネタ(比人) 判定 小池(大日拳)

英國艦隊歓迎拳闘

- 大日拳主催、英國艦隊歓迎拳闘試合は九月廿八日大阪甲子園庭球場に於て舉行
- ◇六回戦
  - 中村(大日拳) 判定 エジリー(英)
  - 清川(銀拳) KO アクフィールド(英)
  - ◇八回戦
    - 有賀(東邦) 判定 ウヨツソン(英)
    - ◇十回戦
      - 支 (帝拳) 判定 フェリス(英)

全日本拳闘選手権

- 全日本拳闘聯盟、東日共同主催の第二回全日本拳闘選手権大會決勝は一月五日國技館に於て舉行
- ◇フライ級
  - 花田(帝拳) 判定 伊藤(銀拳)
  - ◇パンナム級
    - 支 (帝拳) 判定 大津(帝拳)

全日本拳闘選手権

- 全日本拳闘聯盟、東日共同主催の第二回全日本拳闘選手権大會決勝は一月五日國技館に於て舉行
- ◇フライ級
  - 花田(帝拳) 判定 伊藤(銀拳)
  - ◇パンナム級
    - 支 (帝拳) 判定 大津(帝拳)

國際俱主催拳闘

- 國際俱主催の拳闘試合は十二月十九日、日比谷公會堂に於て舉行
- ◇六回戦
  - 小池(大日拳) KO 高津(オリム)
  - ◇ライト級
    - 光山(帝拳) TKO 鈴木(帝拳)
    - ◇ウェルター級
      - 名取(東拳) 判定 佐藤(東邦)

六回戦

- 北英(港俱) 判定 楠本(不二)
- 西郷(日俱) TKO 桐畑(不二)
- 相川(不二) 判定 梅野(日俱)
- 金子(不二) 引分 椎名(國際)
- 坂本(新興) KO 高見周(新日本)
- 笹崎(日俱) 無判定 神山(國際)
- ◇八回戦
  - 堀口(無所屬) 引分 高田(日東)

ピストン堀口送別拳闘

大阪拳協、帝國拳俱共同主催の堀口ハロー遠征送別拳闘試合は一月四日天王寺公園音樂堂に於て舉行

- ◇六回戦
  - 青木(東京) 判定 東 (京阪神)
  - 相川(東京) TKO 伊差川(京阪神)
  - 楠本(東京) KO 武澤(京阪神)
  - 吉田(東京) TKO 強羅(京阪神)
  - 金子(東京) 判定 茂木(京阪神)
  - 桐畑(東京) KO 林 (京阪神)
  - 堀口(無所屬) KO 茨木(大阪)

帝拳主催拳闘

徐廷權對關齊をメイン・イベントとする帝拳主催拳闘試合は二十日午後六時半から日比谷公會堂に於て舉行



小林(帝拳) TKO 清川(銀拳)  
 ◇八回戦  
 牧野(東邦) 引分 花田(帝拳)  
 ◇十回戦  
 關(帝拳) 判定 徐(無所屬)

全關西拳闘選手権

關西拳闘聯盟主催第一回關西拳闘選手権大會決勝試合は三月七日大阪中央公會堂に於て舉行

◇フライ級  
 安井(大星) 失格 伊差川(神戸)  
 ◇バンナム級  
 林(正道) KO 山田(中外)  
 ◇フエザー級  
 東(中外) 判定 茂木(帝俱)  
 ◇ライト級  
 西田(日東) 判定 島田(帝俱)  
 ◇ウェルター級  
 茨木(松竹) KO 中西(日東)  
 ◇小池對松岡拳闘戦  
 小池對松岡をメイン・イベントとする大日拳主催拳闘試合は三月二十二日甲子園に於て舉行  
 ◇六回戦  
 増村(大日拳) KO 平野(日米)

金子(縦横) 判定 松山(海國)  
 河合(大日支) 引分 神田(大日支)  
 矢島(大日拳) 反則 本地(縦横)  
 中村(大日拳) KO 山崎(瑞穂)  
 ◇八回戦  
 小池(大日拳) 引分 松岡(瑞穂)  
 銀拳東邦兩俱主催拳闘  
 銀拳、東邦兩俱共同主催拳闘試合は三月十日、日比谷公會堂に於て舉行

◇六回戦  
 菊地(極東) 判定 須田(瑞穂)  
 金(城南) 判定 大野(銀拳)  
 山岡(躍進) 判定 細井(城南)  
 ◇十回戦  
 高見(日米) TKO 牧野(東邦)  
 伊藤(銀拳) 引分 大津(極東)  
 帝拳主催拳闘試合は四月十六日、日比谷公會堂に於て舉行

◇六回戦  
 伊藤(東拳) 判定 康(帝拳)  
 須田(瑞穂) 判定 須地(帝拳)  
 藤田(帝拳) 判定 矢島(大日拳)  
 小林(帝拳) 判定 小林(大日拳)  
 ◇八回戦  
 高見(日米) 判定 關(帝拳)

小池對松岡再引分  
 小池對松岡の決戦をメイン・イベントとする大日拳、瑞穂兩俱主催拳闘試合は五月卅一日、日比谷公會堂に於て舉行  
 ◇六回戦  
 山口(大日拳) KO 兒玉(瑞穂)  
 須田(瑞穂) 判定 高橋(大日拳)  
 増村(大日拳) 判定 山本(瑞穂)  
 山崎(瑞穂) 引分 細井(城南)  
 ◇八回戦  
 小池(大日拳) 引分 松岡(瑞穂)

日比對抗拳闘試合  
 國際俱主催、日比對抗拳闘試合は六月八日、日比谷公會堂に於て舉行

◇六回戦  
 石田(新興) KO 北村己(國際)  
 北見(日協) 判定 森本(國興)  
 眞田(港俱) 反則 神山(國際)  
 ◇八回戦  
 長原(國際) 反則 ヴィダール(比人)  
 左右田(港俱) 判定 ハラルタ(比人)  
 堀口歸朝第一戦  
 ハワイ遠征にB・D・グズマンを破り歸朝したヒストン堀口歸朝第一戦の對高田との試合は六月廿五日午後六時から芝浦スケート場特設リングに於て舉行

連日夜間營業

(定休日ハ八日十八日廿八日)

御買物には

谷東横百貨店





スポーツ—拳闘

- 小林(帝拳) TKO 清川(銀拳)
- 八回戦
- 牧野(東邦) 引分 花田(帝拳)
- 十回戦
- 關(帝拳) 判定 徐(無所屬)

全關西拳闘選手権

關西拳闘聯盟主催第一回關西拳闘選手権大會決勝試合は三月七日大阪中央公會堂に於て舉行

- フライ級
- 安井(大星) 失格 伊差川(神戸)
- バンナム級
- 林(正道) KO 山田(中外)
- フエザー級
- 東(中外) 判定 茂木(帝俱)
- ライト級
- 西田(日東) 判定 島田(帝俱)
- ウェルター級
- 茨木(松竹) KO 中西(日東)
- 小池對松岡拳闘戦
- 小池對松岡をメイン・イベントとする大日拳主催拳闘試合は三月二十二日甲子園に於て舉行
- 六回戦
- 増村(大日拳) KO 平野(日米)

六〇八

小池對松岡再引分

小池對松岡の決戦をメイン・イベントとする大日拳、瑞穂兩俱主催拳闘試合は五月卅一日、日比谷公會堂に於て舉行

- 六回戦
- 山口(大日拳) KO 兒玉(瑞穂)
- 須田(瑞穂) 判定 高橋(大日拳)
- 増村(大日拳) 判定 山本(瑞穂)
- 山崎(瑞穂) 引分 細井(城南)
- 八回戦
- 小池(大日拳) 引分 松岡(瑞穂)

日比對抗拳闘試合

國際俱主催、日比對抗拳闘試合は六月八日、日比谷公會堂に於て舉行

- 六回戦
- 石田(新興) KO 北村己(國際)
- 北見(日協) 判定 森本(國際)
- 眞田(港俱) 反則 神山(國際)
- 八回戦
- 長原(國際) 反則 ヴイダル(比人)
- 左右田(港俱) 判定 マラルタ(比人)
- 堀口歸朝第一戦
- ハワイ遠征にB・D・グズマンを破り歸朝したピストン堀口歸朝第一戦、對高田との試合は六月廿五日午後六時から芝浦スケート場特設リングに於て舉行

- 金子(縦横) 判定 松山(海國)
- 河合(大日支) 引分 神田(大日支)
- 矢島(大日拳) 反則 本地(縦横)
- 中村(大日拳) KO 山崎(瑞穂)
- 八回戦
- 小池(大日拳) 引分 松岡(瑞穂)
- 銀拳東邦兩俱主催拳闘
- 銀拳、東邦兩俱共同主催拳闘試合は三月十日、日比谷公會堂に於て舉行
- 六回戦
- 菊地(極東) 判定 須田(瑞穂)
- 金(城南) 判定 大野(銀拳)
- 山岡(躍進) 判定 細井(城南)
- 十回戦
- 高見(日米) TKO 牧野(東邦)
- 伊藤(銀拳) 引分 大津(極東)
- 帝拳主催拳闘
- 帝拳主催拳闘試合は四月十六日、日比谷公會堂に於て舉行
- 六回戦
- 伊藤(東拳) 判定 康(帝拳)
- 須田(瑞穂) 判定 須地(帝拳)
- 藤田(帝拳) 判定 矢島(大日拳)
- 小林(帝拳) 判定 小林(大日拳)
- 八回戦
- 高見(日米) 判定 關(帝拳)

連日夜間營業

(定休日ハ八日十八日廿八日)

御買物には

谷東横百貨店





貨物一般運輸請負業

新古自動車  
賣買仲介

# 中村自動車商會

東京市芝區櫻川町廿五番地  
電話芝(43)二九六五番

街頭に募進する

## 挺身宣傳隊

取扱種目

ポスター配付（街頭貼付、浴場、理髮店、カフェー、

シヨールウインド、喫茶店、旅館、俱樂部等掲示）

立看板製作配付（商品用、催し物用、演說會用）

裝飾請負、空中廣告、鐵道廣告、電車廣告

取扱區域

東京、横濱、静岡、名古屋、京都、大阪  
東京近縣

東京市芝區琴平町一番地

黎 明 社

電話芝六三五番

# 東京名物



# 千代田の新案母型

各社の大好評を受く

千代田の活字	千代田のケケラス	千代田の罫輪廓	千代田の	千代田の	千代田の新案母型
字母豊富、四十二、卅五、廿八、廿一、十八、十四、十ボ、七ボ、其他	東京に於て最大の生産力を有するケース、ゲラ、文撰箱等	東京に於て最も古く堅實なる信用を有す眞鍮及鉛輪廓眞鍮及鉛インテル	6. 種字七ホルビ付より四十二ボ迄各種豊富	5. 手動自働機共使用することを得	3. 字面書體は全然本字母と同一のものを使用するを以て鮮明にして美麗 4. 價格本字母の半價以下

千代田印刷機材料製造株式會社  
 東京市神田區三河一丁目八番地

電話神田(25) 1264番 附工 千代田母型製造所  
 振替東京 1274番 3890番 屬場 千代田寫眞製版所

各種印刷・和洋封筒

三優堂  
 印刷部

東京・下谷・南稻荷町・五二  
 電話 下谷 (83) 五六三七番

尖端を行く  
 破格の廉價

彦三優堂商店  
 店主 高野彦三郎

三優堂  
 紙部

紙截所 東京・淺草・阿部川町一・二三  
 紙部 東京・下谷・南稻荷町・五二

各種寸法・輪轉更紙



寫真製版用藥品  
各種工業用藥品



# 甲子商店

工場

東京市京橋區銀座西三丁目三番地五號  
東京市葛飾區小菅町六一二番地  
電話 京橋 (56) 〇七二七番  
振替口座東京六八六九五番

## 營業品目

銅。真鍮。砲金。亞鉛。  
唐金。亞鉛板。鉛。錫。  
安質母尼。活版用地金類。  
モノタイプ用地金類。  
半田類。パビットメタル類。  
電池用亞鉛類。  
其他鑄造原料。

地金問屋

合名 西廣商店  
會社

東京市京橋區築地四丁目八番地  
電話京橋 (56) 二三三七番  
長三六五四番

御入用の節は是非一度御照會被下度願上候

## 營業品目

機 揮 石 輕 重  
械 發 油 油 油 油  
油 油 油 油 油 油  
油 油 油 油 油 油

東京市京橋區銀座西六丁目五番地

福興商會

電話銀座一八二五番



美濃原産 鉛版紙型用紙 雁皮紙、地氈紙 輪轉機胴張紙 膽寫版用原紙 生産 販賣

岐阜縣美濃町一四二六

田中製紙工場

場主 田中治助

東京支店

電話 振替 名古屋 大阪 東京 電話

省線 越美線美濃町驛 電話 振替 名古屋 大阪 東京 電話



組版紙型鉛版... 木版凸版寫真版... 其他各種製版...

関口製版所

東京市京橋区銀座西五丁目二番地 電話銀座(57)六二六五番

◇六回戦

大森(城東) 判定 青木(不二)  
濱田(日東) 引分 楠本(不二)  
高野(日東) TKO 金子(不二)  
桐畑(不二) KO 茨木(松竹)  
坂本(新興) 判定 相川(不二)

◇十回戦

堀口(無) TKO 高田(日東)  
日米倶主催拳闘試合は六月廿六日、日比谷公會堂に於て舉行

◇六回戦

山口(大日拳) TKO 菊地(極東)  
金(城南) KO 佐藤(日米)  
山崎(瑞穂) 反則 藤田(日米)  
松岡(瑞穂) TKO 山岡(躍進)  
高津(オリム) KO 高見(日米)

堀口長原をKOす

大阪拳闘協會主催、堀口歡迎拳闘試合は七月四日大阪天王寺公園音楽堂に於て舉行  
◇六回戦  
西田(京日) 判定 青木(不二)  
丸山(中外) 判定 強羅(大阪)  
セコンド(比人) 判定 茨木(無)

スポーツ—レスリング

◇八回戦

堀口(無) KO 長原(國際)

海外の部

ルイス、ペアをKO

ジョー・ルイス對マックス・ペアの十五回戦は一九三五年九月廿四日、ニューヨーク・ヤンキース・スタジアムに於て舉行された、ルイスは四回目二分五〇秒ペアをKOす

シユメリング、ルイスをKO

ジョー・ルイス對マックス・シユメリングの十五回戦は一九三六年六月十九日ニューヨーク・ヤンキース・スタジアムに於て舉行された、シユメリングは十二回目二分二九秒ルイスをKOす。

レスリング

渡歐選手歡迎試合

渡歐レスリング選手歡迎試合は十年九月十七日東京神田YMCAで舉行。  
◇パンナム級

尾野(早大) フォール 長谷川(慶大)

金(早大) フォール 松岡(慶大)

松尾(早大) フォール 寺田(慶大)

丹波(渡歐) 判定 倉恒(明大)

川守田(早大) フォール 江崎(中大)

吉岡(明大) フォール 井上(早大)

秋田(早大) フォール 千野(明大)

水谷(明大) フォール 菊間(渡歐)

風間(渡歐) フォール 武田(慶大)

堀田(明大) 判定 半田(早大)

早慶レスリング

渡歐選手歸朝歡迎早慶對抗レスリング試合は十月十九日名古屋市公會堂に於て舉行七對一で早大勝つ。

三大學レスリング

早慶明レスリング・リーグ戦は十月五日十一月十五日、十二月五日神田YMCAで舉行、早大慶明兩校を破り二連勝す。

〔明大6—3慶大〕

◇フライ級

入江(慶大) 判定 西山(明大)



美濃原産 鉛版紙型用紙 雁皮紙、地氈紙 輪轉機胴張紙 膽寫版用原紙 生産 販賣

岐阜縣美濃町一四二二六

田中製紙工場

場主 田中治助

(省線) 越美線美濃町驛

電話 園六六八

振替 名古屋六八八番

東京支店

東京神田錦町三ノ二四  
電話神田七七八番



組版紙型鉛版  
木版凸版寫真版  
其他各種製版

開口製版所

東京市京橋区銀座西五丁目二番地  
電話銀座(57)六二六五番

◇六回戦

大森(城東) 判定 青木(不二)  
濱田(日東) 引分 楠本(不二)  
高野(日東) TKO 金子(不二)  
桐畑(不二) KO 茨木(松竹)  
坂本(新興) 判定 相川(不二)

◇十回戦

堀口(無) TKO 高田(日東)

日米倶主催拳闘

日米倶主催拳闘試合は六月廿六日、日比谷公會堂に於て舉行

◇六回戦

山口(大日拳) TKO 菊地(極東)  
金(城南) KO 佐藤(日米)  
山崎(瑞穂) 反則 藤田(日米)  
◇八回戦  
松岡(瑞穂) TKO 山岡(躍進)  
高津(オリム) KO 高見(日米)

堀口長原をKOす

大阪拳闘協會主催、堀口歡迎拳闘試合は七月四日大阪天王寺公園音楽堂に於て舉行

◇六回戦  
西田(京日) 判定 青木(不二)  
丸山(中外) 判定 強羅(大阪)  
セヨンド(比人) 判定 茨木(無)

スポーツ—レスリング

◇八回戦

堀口(無) KO 長原(國際)

海外の部

ルイス、ベアをKO

ジョー・ルイス對マックス・ベアの十五回戦は一九三五年九月廿四日、ニューヨーク・ヤンキース・スタジアムに於て舉行された、ルイスは四回目二分五〇秒ベアをKOす

シユメリング、ルイスをKO

ジョー・ルイス對マックス・シユメリングの十五回戦は一九三六年六月十九日ニューヨーク・ヤンキース・スタジアムに於て舉行された、シユメリングは十二回目二分二九秒ルイスをKOす。

レスリング

渡歐選手歡迎試合

渡歐レスリング選手歡迎試合は十年九月十七日東京神田YMCAで舉行。  
◇パンナム級

尾野(早大) フォール 長谷川(慶大)

金(早大) フォール 松岡(慶大)

松尾(早大) フォール 寺田(慶大)

丹波(渡歐) 判定 定倉 恒(明大)

◇フェザー級

川守田(早大) フォール 江崎(中大)

吉岡(明大) フォール 井上(早大)

秋田(早大) フォール 千野(明大)

◇ライト級

水谷(明大) フォール 菊間(渡歐)

風間(渡歐) フォール 武田(慶大)

◇ウェルター級

堀田(明大) 判定 半田(早大)

早慶レスリング

渡歐選手歸朝歡迎早慶對抗レスリング試合は十月十九日名古屋市公會堂に於て舉行七對一で早大勝つ。

三大學レスリング

早慶明レスリング・リーグ戦は十月五日十一月十五日、十二月五日神田YMCAで舉行、早大慶明兩校を破り二連勝す。

(明大6—3慶大)

◇フライ級

入江(慶大) 判定 西山(明大)



- 倉 恒(明大) フォール 長谷川(慶大)
- ◇パンナム級
  - 北 原(慶大) フォール 松 代(明大)
  - 松 内(慶大) フォール 山 村(明大)
- ◇フェザー級
  - 清 水(明大) 判 定 西 野(慶大)
  - 吉 岡(明大) フォール 關 根(慶大)
- ◇ライト級
  - 水 谷(明大) フォール 菊 間(慶大)
  - 水 野(明大) 判 定 武 田(慶大)
- ◇ウェルター級
  - 豊 田(明大) フォール 澤 原(慶大)
  - [早大8-1慶大]
- ◇フライ級
  - 寺 田(慶大) 判 定 堂 東(早大)
  - 金 田(早大) 判 定 入 江(慶大)
- ◇パンナム級
  - 渡 邊(早大) フォール 北 原(慶大)
  - 丹 波(早大) フォール 松 内(慶大)
- ◇フェザー級
  - 西 出(早大) フォール 矢 澤(慶大)
  - 秋 田(早大) フォール 西 野(慶大)
- ◇ライト級
  - 井 土(早大) フォール 菊 間(慶大)
  - 風 間(早大) フォール 三 輪(慶大)
- ◇ウェルター級

- 増 富(早大) フォール 澤 原(慶大)
- [早大8-3明大]
- ◇パンナム級
  - 中 村(早大) 判 定 倉 恒(明大)
  - 丹 波(早大) 判 定 清 水(明大)
  - 松 代(明大) 判 定 金 田(早大)
- ◇フェザー級
  - 林 (早大) 判 定 松野内(明大)
  - 水 谷(明大) 棄 権 金 (早大)
  - 西 出(早大) フォール 吉 岡(明大)
- ◇ライト級
  - 貝 藤(早大) 判 定 水 野(明大)
  - 風 間(早大) フォール 金 (明大)
  - 井 土(早大) 判 定 千 野(明大)
- ◇ウェルター級
  - 伊 庭(明大) 判 定 津野田(早大)
  - 増 富(早大) フォール 豊 田(明大)
- ◇パンナム級
  - オリズムピック最終選
  - オリズムピック・レスリング代表決定最終選は二月八日早大道場で舉行、試合終了後直ちに銓衡委員会を開催し左記代表候補八名を決定した。
  - オリズムピック代表候補
    - 丹波幸次郎(早大)
    - 住 吉 壽(帝俱)
    - 水 谷 光三(明大)
- ◇フェザー級
  - 水 谷 光三(明大)

候補選手試練會

オリズムピック候補選手對學生選抜軍の試練會は五月三日神宮外苑相撲場に於て舉行代表軍はパンナム級丹波選手が病氣缺場した外八選手は堂々全勝した。

- ◇ライト級
  - 吉 岡 秀一(明大)
  - 西 出 武(早大)
  - 風 間 榮一(早大)
  - 矢 田 部 勇治(専修)
  - 増 富 省一(早大)
  - 平 松 俊男(早大)
- ◇ウェルター級
  - 平 松 俊男(早大)
- ◇パンナム級
  - 渡 邊(早大) 判 定 中 村(明大)
  - 住 吉(帝俱) フォール 山 村(明大)
  - 住 吉(帝俱) 判 定 渡 邊(早大)
  - 渡 邊(早大) 判 定 山 村(明大)
  - 住 吉(帝俱) 判 定 渡 邊(早大)
- ◇フェザー級
  - 吉 岡(明大) 判 定 西 出(早大)
  - 吉 岡(明大) 判 定 西 出(早大)
- ◇ライト級
  - 矢 田 部(専修) フォール 金 (明大)
  - 矢 田 部(専修) フォール 金 (明大)
  - ウエルター級
    - 平 松(早大) 不戦勝負 貝 藤(早大)

相 撲

關東學生選抜大會

東日主催第四回關東選抜相撲大會は十月五、六の兩日神宮外苑土俵で舉行、拓殖大學が優勝した。

- ▲各校勝敗
  - 1 拓大七勝2 明大六勝3 日大五勝4 慶應四勝5 早大三勝6 中大二勝7 東京醫專一勝8 日本齒專七敗
- ▲全國中等大會
  - 大毎主催第十七回全國中等學校大會は十月廿七、八の兩日堺市大濱土俵で舉行、參加五十八校、團體は御影師範、個人は此花商業の中尾君優勝す。

- ◇團體競技
  - ▲準決勝戰
    - 長崎師範 2-1 和歌山商業
    - 御影師範 2-1 帝京商業
  - ▲決勝戰
    - 御影師範 2-1 長崎商業
  - ◇個人競技
    - ▲準決勝戰
      - 中尾(此花商) 突出し 岡田(高知農)

全國學生大會

大毎主催第十七回全國學生相撲大會は十一月九、十の兩日堺市大濱土俵で舉行、參加四十四校、團體、個人とも拓大優勝す。

- ◇團體競技
  - ▲準決勝戰
    - 關西學院 3-2 明治大學
    - 拓殖大學 5-0 慶應大學
  - ▲決勝戰
    - 拓殖大學 4-1 關西學院
  - ▲三位決定戰
    - 慶應大學 4-1 明治大學

代表選手最終決定

大日本レスリング協會では五月廿日丸ビル内體育協會事務所に協理理事並びに各候補選手を招集しオリズムピック代表選手の最終的決定をした。

- ◇パンナム級
  - 丹波幸次郎(早大)
  - 水 谷 光三(明大)
- ◇フェザー級
  - 吉 岡 秀市(明大)
  - 風 間 榮一(早大)
  - 増 富 省一(早大)
- ◇ライト級

◇パンナム級

住 吉(候補) フォール 松 内(慶大)

◇フェザー級

西 出(候補) フォール 吉 田(帝俱)  
吉 岡(候補) 判 定 井 土(早大)  
水 谷(候補) フォール 川 田(早大)

◇ライト級

矢 田 部(候補) フォール 武 田(慶大)  
風 間(候補) フォール 橋 村(専大)

◇ウェルター級

平 松(候補) 判 定 金 (明大)  
増 富(候補) フォール 永 野(専修)



◇個人競技

- ▲準決勝戦
  - 石山(拓大) 浴介し 城崎(拓大)
  - 橋(東醫) 撓介し 吉田(明大)
- ▲決勝戦
  - 白山(拓大) 吊出し 橋(東醫)
- ▲三位決定戦
  - 吉田(明大) 渡込み 城崎(拓大)

軍人對學生對抗試合

第十一回軍人對關東學生選抜軍對抗相撲試合は四月廿九日午前十時から靖國神社土俵に舉行、八四對六九で軍人側勝ち、七勝三敗の成績となつた、個人も横濱の芦田君が優勝した。

- 軍人 84—69 學生
- 第一回 軍人 36—15 學生
- 第二回 學生 27—24 軍人
- 第三回 學生 27—24 軍人
- ◇個人準決勝戦
  - 芦田(横 港) 寄介し 大垣(明 大)
  - 大丸(佐世保) 押切り 花田(佐世保)
- ▲決勝戦
  - 芦田(横 港) 渡込み 大丸(佐世保)
- ◇三位決定戦
  - 大垣(明 大) 叩込み 花田(佐世保)

關東學生選手権

第十七回關東學生相撲聯盟春季大會は五月九、十の兩日兩國々技館に於て舉行、参加廿一校、團體は日大初めて制覇、個人は拓大の佐藤が優勝した。

- ◇團體試合
- ▲優勝八校第一次戦
  - 拓大 4—1 農大
  - 日大 3—2 東醫
  - 早大 3—2 慶應
  - 明大 5—0 法政
- ▲準決勝戦
  - 日大 3—2 拓大
  - 明大 4—1 早大
- ▲三位決定戦
  - 拓大 3—2 早大
  - 日大 3—2 明大
- ◇個人試合
- ▲準決勝戦
  - 佐藤(拓大) 出投げ 梅澤(慶應)
  - 白山(拓大) 寄介し 淺野(立教)
- ▲三位決定戦
  - 梅澤(慶應) 小股掬 淺野(立教)
- ▲決勝戦

關西學生選手権

第十二回關西學生聯盟大會は五月十七日堺市大濱土俵に舉行、團體、個人とも關西學院優勝す。

- ◇團體試合
- ▲優勝八校第一次戦
  - 大阪高醫 3—2 神戸商船
  - 立命館大 5—0 龍谷大學
  - 同志社大 3—2 同志社高商
  - 關西學院 4—1 名古屋高商
- ▲準決勝戦
  - 立命館大 3—2 大阪高醫
  - 關西學院 4—1 同志社大
- ▲三位決定戦
  - 同志社大 4—1 大阪高醫
  - 關西學院 5—0 立命館大
- ◇個人試合
- ▲準決勝戦
  - 山下(關學) 突出し 池澤(關學)
  - 木村(關學) 上手投 橋本(同大)
- ▲三位決定戦
  - 橋本(同大) ひねり池 (關學)
- ▲決勝戦

山下(關學) 突出し 木村(關學) 選手権大會

第六回大日本相撲選手権大會は五月廿日國技館に於て舉行、第三部(十兩幕下)は星甲、第二部(十兩、幕内の下位)は前田山、第一部では玉錦の優勝となつた。

- ◇第一部準決勝戦
- 双葉山(寄切り) 玉ノ海
- 玉錦(寄切り) 出羽湊
- ▲決勝戦
  - 玉錦(寄切り同) 双葉山
- 關西學生對抗戦
- 第十二回關西學生選抜對抗戦は六月廿一日大阪藤井寺新設土俵で舉行、一校七人づつの對抗總當り戦を行ひ關西學院が全勝して優勝個人では同大の橋本が優勝した。
- ◇學校對抗
  - 1 關西學院全勝 2 同志社高商五勝 3 同大五勝 4 名古屋高商四勝 5 大阪高醫三勝 6 立命館大、龍谷大二勝 8 神戸商船全敗
- ◇個人試合
  - 1 橋本(同大) 2 山下(關學) 3 木村(關學)

第八回明治神宮大會

十年十月卅日から三日まで神宮外苑相撲

場で舉行、中等學校は札幌師範と個人に安藝中の前田君、大學専門は拓大と慶應の梅澤君、海軍對抗は佐世保、府縣對抗青年團は大阪府、力士選手権は男女ノ川がそれぞれ優勝した。

- 大學高專の部
- ◇團體準決勝
  - 拓大 3—2 早大
  - 立教 3—2 明大
- ▲決勝戦
  - 拓大 5—0 立教
- ◇個人準決勝
  - 梅澤(慶應) 小股掬 金子(早大)
  - 野々村(中大) 打棄り 野村(關學)
- ▲決勝戦
  - 梅澤(慶應) 渡込み 野々村(中大)
- 中等學校の部
- ◇團體準決勝
  - 札幌師範 3—0 長崎師範
  - 高知農業 2—1 裡里農林
- ▲決勝戦
  - 札幌師範 2—1 高知農業
- ◇個人準決勝
  - 池澤(高知) ひねり 大西(御影師)
  - 前田(安藝) 寄切り 林(和商)
- ▲決勝戦

前田(安藝) 押出し 池澤(高知) 青年團競技の部

- 優秀府縣得点 8 宮崎、東京、廣島、新潟7 愛知、宮城、鳥取、北海道6 富山、福岡、青森、秋田、静岡、兵庫5 島根、鹿児島、長崎、滋賀
- ▲準決勝
  - 廣島縣 2—0 宮崎縣
  - 大阪府 1—1 新潟縣
- ▲決勝戦
  - 大阪府 2—0 廣島縣
- ◇團體試合全勝者 大崎(廣)小林(大阪)桶橋(廣)田村(青)上村(新)鬼頭(愛知)高見(富)西村(大阪)高月(宮崎)阿部(宮城)前川(北)酒井(新)米山(鳥)水泉(宮崎)河野(兵)
- ▲全勝者準決勝
  - 西村(大阪) 突出し 小林(大阪)
  - 前川(北海) 吊出し 河野(兵庫)
- ▲決勝戦
  - 西村(大阪) 突出し 前川(北海)
- 鎮守府對抗
- ◇團體リーグ戦
  - 横須賀府 4—3 吳鎮守府
  - 佐世保府 5—2 横須賀府
  - 佐世保府 6—1 吳鎮守府



個人準決勝

富井(横) 打棄り 安部(練)
中村(練) 叩込み 中澤(横)
同決勝
中村(練) 寄出し 富井(横)
力士選士権

準決勝

武藏山 (上手投) 清水川
男女ノ川 (寄切り) 玉 錦

第三位決定戦

玉 錦 (突出し) 清水川

決勝戦

男女ノ川 (寄出し) 武藏山

馬術

全日本選手権

昭和十一年度全日本馬術選手権大会は四月十八、九の両日谷津及び習志野原で舉行呼物の陸軍選抜將校選手権競技は谷津砲兵學校落合特務曹長が優勝し竹田宮殿下賜杯を獲得した。

◇第一日 自馬馬場馬術(乙班)馬杉喜久子(東京馬研)(甲班)渡邊正夫(東京馬研)

第五回關東學生馬術大會は七月廿二日から廿七日まで陸士馬場で舉行。

甲組決勝戦
東京商大 二三五—二七一 立教大學

乙組決勝戦
學習院 四一—一五五 高等獸醫

第十二回全國高校馬術大會は七月廿一日陸大馬場で舉行。
1 成城(市川、中西、木原) 2 四高(平塚、大島、大澤) 3 學習院(前田、松村、松平) 4 三高5 山口

全國高等大會
京大主催第三回全國高等對抗馬術大會は十二月一日同大原馬場で舉行、参加廿九校

團體 1 京高工五點 2 大阪外語十點 3 大阪醫專十二點 4 和歌山高商十三點 5 八高一六點(減點法)

個人 1 關(同大豫) 2 中原(大阪外語) 3 安藤(京高工) 4 石立(岐阜藥專) 5 宮本(和歌山高商)

全國中等大會
全國中等馬術大會は七月廿七日陸士馬場で舉行、慶應普通部優勝す。

1 慶應〇點 2 東京府一中二八點 3 東京府團藝二九點 4 麻布獸醫五一點 5 盛岡中五

二點

三都學生對抗競技

關東、關西、京都三都學生對抗馬術競技は十年九月廿八日京都練兵場で舉行。

關西 一四八—三三七 關東
關西 二八〇—四一六 京都
關東 八〇—一八〇 京都

全國學生大會

關西學生乘馬聯盟主催、第四師團後援の第十二回全國學生馬術大會は五月卅一日堺市外金岡練兵場で舉行、聯盟内對抗では昨年度の優勝校關大が等外に落ち大高醫が優勝、全國學生對抗では京都軍優勢にて一、二位を奪ひ法政、明大が三、四位に喰ひ込んだ、成績左の通り(減點法)

△聯盟内個人障碍 宮尾(天相語)△聯盟外個人障碍 熊田(報國)△OB對學生學生軍96—9 OB軍△自馬速歩 宮川(堺愛馬)△自馬連續障碍 福井(清交)△聯盟内團體對抗 大高醫△同個人 嬉野(大高醫)△全國乘馬團體對抗 阪急驥△同個人 長村(阪急驥)△全國學生團體對抗 京醫豫科△同個人 伊藤(京醫豫)△自馬單一高度障碍 金澤(阪急驥)

全國學生大會

學生馬術聯盟主催第十三回全國學生馬術大會は六月十四日京都練兵場で舉行した。

△團體優勝 1 大阪商大五點 2 關學八點 2 大高醫十四點△個人 1 安田(大阪義勇) 2 波多野(龍大OB) 3 橋内(日齒)△卷乘り 1 A組關大B組天理外語C組關西百騎會D組大阪高醫△自馬卷乘 A松下(三高)B今津(清交)△自馬障碍飛越 1 平林(清交)△學生對OB對抗 OB 97—118學生軍△難路通過 1 尾崎(同大)

關東乘馬大會

十月十三日陸士馬場で舉行。學生連續障碍飛越 1 竹内(青學)△琴平競技(各班勝者)前田(明大)梅田(農大)坂本(東齒)高澤(中大)外村(早大)稻田(東馬研)△子供琴平勝者 石井(駿道)太刀川(成蹊尋)△OB對抗障碍飛越 1 中央△全國團體 1 東鐵△少年障碍飛越 1 阿部(東研)△自馬障碍飛越 1 山田(一驥)△准士官、下士官障碍 1 山崎曹長(陸士)△將校大障碍飛越 1 天野大尉(近騎)

第八回明治神宮大會

十一月三日、牛込河田町永野ヶ原馬場で舉行、参加は一般軍人學生等百八十餘名に達し、勇壯な諸競技に人氣を集めた。
乙種純馬術(自馬班) 1 中村(愛知個人) 〇八點 2 奥(東京馬研) 3 緒方(東京馬研)
甲種純馬術(自馬班) 1 牧田(東京乘馬) 2 渡邊(東京馬研) 3 長崎(佐々木乘馬)
小障碍連續飛越(生徒班) 1 清水(弘前工) 2 久保(弘前工) 3 小田島(宮城農)
中障碍連續飛越(學生班) 1 藤野(東商大) 2 和田(東大) 3 鈴木(立教)△自馬班) 1 金澤(阿部野乘馬) 2 伊東(個人) 3 西脇(名古屋乘馬俱) 下士官 1 谷口(騎學) 2 奥(士官) 3 松下(士官) (紳士班) 1 桐野(北海道乘馬俱) 2 鈴木(一驥會) 3 日原(關西百騎會)
大障碍連續飛越(自馬班) 1 仲本(東京乘馬) 2 山田(一驥會) 3 田山(菱蹄會) (教職班) 1 村上(村上馬術練習所) (下士官) 1 手塚(陸大) 2 飯沼(士官) 3 藤原(士官) (將校班) 1 森(野砲學) 2 落合(野砲學) 3 田中(騎十六)
單一高度障碍 自馬、教職者、將校の各班共に失格す











### 全國警官武道大會

第七回全國警官武道大會は十月廿四日五日の兩日戸山學校道場に於て舉行、參加全國二府、一道、四十縣、二廳

#### 柔道

##### ◇團體第三次試合

警視23—13 神奈 熊本40—3 岡山  
愛媛26—10 秋田 樺太50—0 香川  
(技一〇點、優勢七點、稍優勢三點)

##### ◇同準決勝試合

警視37—0 熊本 樺太23—10 愛媛

##### ◇同決勝試合

(警視廳26—3 樺太廳)

○菊地 稍優勢 丹尾

○新保 大外刈 中島

○淺見 稍優勢 荒野

○黒岩 稍優勢 清谷

○大澤 釣込足 中鉢

##### ◇個人準決勝試合

神原(大阪) 優勢 柿崎(神奈川)

高橋(山口) 背負投 中神(愛知)

大澤(警視) 横掛 中島(樺太)

##### ◇同決勝リーグ試合

神原(大阪) 背負投 高橋(山口)

神原(大阪) 背負投 大澤(警視)

### 神宮大會

第八回明治神宮大會柔道は昭和十年十月廿九日から三日間日本青年館に於て舉行

#### ◇中等學校(參加三十三校)

##### ▼準決勝戦

長野中學 2—1 田村中學

鹿兒島商業 3—1 大多喜中學

##### ▼決勝戦

長野中學 3—1 鹿兒島商業

#### ◇大學高等の部

##### ▼第四回戦

船山(拓大專) 大外落 加藤(拓大)

木村(拓大豫) 送足拂 沼田(日大)

矢田部(專大) 抽籤勝 石(立命館)

井(早大) 一本背負 岩科(早大專)

##### ▼準決勝戦

木村(拓大豫) 腕挫 船山(拓大專)

井(早大) 一本背負 矢田部(專大)

##### ▼決勝戦

木村(拓大豫) 崩上四方 井(早大)

#### ◇一般選士

▼各組代表リーグ  
新原五段(福岡) 引分 保科五段(宮城)

遠藤六段(京都) 引分 吉浦五段(臺灣)

新原五段(福岡) はね腰 吉浦五段(臺灣)

保科五段(宮城) 引分 遠藤六段(京都)

新原五段(福岡) 引分 遠藤六段(京都)

保科五段(宮城) 大外刈 吉浦五段(臺灣)

▼同成績決勝戦

新原五段(福岡) 横四方 保科五段(宮城)

#### ◇青年團對抗

##### ▼決勝リーグ試合

熊本縣 2—0 神奈川縣

神奈川縣 2—0 佐賀縣

熊本縣 2—0 佐賀縣

▼團體試合全勝者：黒田(山形) 飯沼(岐)

早(辻本(熊本) 中島(佐賀) 金高(北海)

道(武田(神奈川) 渡邊(栃木) 小倉(宮)

崎(河地(香川) 宮川(千葉) 庭野(新潟)

堀野(東京) 相良(佐賀) 深町(神奈川) 内

藤(熊本)

##### ▼同準決勝戦

辻本五段 移り腰 渡邊四段

堀野五段 内股 深町五段

##### ▼同決勝戦

辻本五段 崩上四方 堀野五段

### 全國高等專門學校劍道大會

全國高等專門學校劍道大會は七月十三日

から東北帝大主催外各帝大主催にそれ〴〵  
單獨に舉行

#### ◇東北帝大主催

##### ▼準決勝 (不戦者)

早大専門 六名 東北學院

二 高 五名 國大高師部

##### ▼決勝

早大専門 六名 二 高

#### ◇東京帝大主催

##### ▼二勝者一次試合

早大専門 6—2 早 高

國大高師 7—3 日 體

明大専門 6—4 福島高商

弘前高校 5—5 東北學院

##### ▼準決勝

早大専門 6—4 國大高師

明大専門 5—5 弘前高校

##### ▼決勝

早大専門 8—2 明大専門

#### ◇京都帝大主催

##### ▼二勝者一次試合

大分高商 不戦一名 同志社高商

京都高蠶 一名 四 高

七 高 一名 大阪齒專

長崎高商 四名 彦根高商

二 高 〇名 武藏高校

スポーツ—武道

關西學院 〇名 姫路高校

三高、八高、不戦勝

##### ▼準々決勝試合

三高 〇名 二 高

關西高蠶 二名 八 高

關西學院 四名 大分高商

七 高 〇名 長崎高商

##### ▼準決勝試合

關西學院 四名 七 高

三 高 〇名 京都高蠶

三 高 (大勝試合) 關西學院

九州帝大主催

山口高商 〇名 臺北高商

九州齒專 〇名 明治専門

準決勝試合

福岡高商 一名 山口高商

九州齒專 〇名 大分高商

##### ▼決勝試合

福岡高商 三名 九州齒專

#### ◇岡山醫大主催

##### ▼二勝者試合

關大専門 二名 六 高

關西學院 〇名 高松高商

##### ▼準決勝試合

山口高校 一名 松山高校

關大専門 一名 關西學院

##### ▼決勝試合

山口高校 一名 關大専門

### 全日本學生劍道大會

第八回全日本學生劍道聯盟優勝大會は六月九日、日本青年館で舉行、參加選手を十六に分け各組優勝者で決勝を行つた結果慶應の小林三段が優勝した

#### ◇決勝第一次試合

北里(早大) メメー〇 高見(日 齒)

榊(早專) コー〇 古川(靜 高)

佐藤(東北大) メコー〇 富田(高商)

小林(慶大) メコーメ 渡邊(東高師)

大岡(早高) コメーコ 田村(關學高)

藤村(神商大) コメーメ 松中(國士)

大村(日大齒) メコー〇 土屋(東高蠶)

森(專大) メメー〇 鹽崎(東農大)

#### ◇準々決勝試合

北里 メメーコ 榊

小林 フメー〇 佐藤

大岡 メコーメ 藤村

森 メメーコ 大原

小林 フメーメ 北里



大岡 メヨー 森  
△決勝試合  
小林 ドメモ 大岡

神宮大會剣道

第八回神宮大會剣道競技は昭和十年十一月一日から三日間日本青年館に於て舉行された

◇在郷軍人

- ▼銃剣術準決勝戦  
渡邊(大分) 下洞下洞— 大野(旭川)  
竹下(濱田) 上洞上洞— 吉田(滿聯)
- ▼同決勝試合  
竹下(濱田) 上洞上洞— 渡邊(大分)
- ▼軍刀術準決勝戦  
植田(丸龜) コメモ 藤川(新發田)  
美馬(徳島) メメモ 相内(京城)
- ▼同決勝戦  
植田(丸龜) メメモ 美馬(徳島)
- ◇現役軍人  
▼軍刀術準決勝戦  
池田(足柄) コメモ 根本(士官)  
細川(戸山) コメモ 南條(陸奥)
- ▼同決勝戦  
池田(足柄) コメモ 細川(戸山)
- ▼銃剣術準決勝戦

作道(戸山) 上洞上洞— 川上(砲工)  
岡林(戸山) 上洞上洞— 上洞 菊地(士官)  
▼同決勝戦  
作道(戸山) 咽喉上洞— 岡林(戸山)

◇青年團對抗戦

▼府縣得點 鹿兒島八、愛知八、佐賀七  
福岡七、神奈川、北海道、鳥取、大阪  
廣島、京都七)
- ▼決勝戦  
[愛知縣 2—1 鹿兒島縣]  
○山田 メメモ 夏迫  
野田 ○—メド 石塚○
- ▼代表戦  
○山田 ココード 石塚
- ▼個人準決勝戦  
長野(群馬) メメモ 岡田(神奈川)  
川添(香川) コメモ 野田(愛知)
- ▼決勝戦  
川添(香川) ドコー 長野(群馬)
- ◇一般選士  
▼少年決勝戦  
浅流(東京) フドー 井上(福岡)  
▼青年決勝戦  
渡邊(東京) ドコー 荒木(千葉)  
▼成年決勝戦  
鈴木(栃木) ココード 須藤(東京)

全國中等劍道大會

全日本劍道聯盟主催、第六回全國中等學校劍道大會は八月三、四日大阪中央公會堂で舉行、参加十九地方から選出された十九校に依つてリーグ戦を行ひ各組の一位が決勝を行つた結果九州熊本縣の代表中學濟々齋優勝す

- A組リーグ勝者：鹿兒島師範(四勝零敗)
- B組リーグ勝者：大田原中學(四勝零敗)
- C組リーグ勝者：中學濟々齋(四勝零敗)
- D組リーグ勝者：岡山師範(四勝零敗)
- 準決勝試合  
鹿兒島師範 (不勝三人) 大田原中學  
中學濟々齋 (不戦二人) 岡山師範
- 決勝試合  
中學濟々齋 (一人残) 鹿兒島師範

全國警官武道大會

第七回全國警官武道大會は十月廿四日五日の兩日戸山學校道場に於て舉行、参加

全國二府、一道、四十縣、二廳

(劍道)

◇團體第三次試合

警視廳 3—2 京都 千葉 3—2 埼玉  
愛媛 3—2 岩手 島根 3—2 香川

◇同準決勝試合

千葉 4—1 警視廳 愛媛 3—2 島根

◇同決勝試合

[千葉縣 5—0 愛媛縣]  
○遠山 フドー 禾光  
○宇井 フドー 酒井  
○松戸 メメモ 玉井  
○田中 メメモ 山上  
○藤代 メメモ 井手

◇個人準決勝試合

佐藤(香川) 2—1 高橋(埼玉)  
朝倉(愛知) 2—0 池谷(香川)  
阿部(警視) 2—1 杉本(滋賀)  
同決勝リーグ試合  
朝倉(愛知) メメモ 佐藤(香川)  
阿部(警視) コメモ 朝倉(愛知)  
阿部(警視) メメモ 佐藤(香川)

全國學生弓道選手権

全日本學生弓道選手権大會は十月廿九日

スポーツ—武道

廿日の兩日早大道場に於て舉行

◇第二次試合

東京商大 15—8 東洋大學  
東京帝大 17—10 岐阜藥專  
高野山大 10—9 國學院大  
明治大學 16—12 日本大學

◇準決勝試合

東京商大 16—11 東京帝大  
明治大學 14—14 高野山大

◇決勝試合

東京商大 14—11 明治大學

神宮大會弓道

第八回明治神宮大會弓道競技は昭和十年十一月一日から三日間外苑特設弓場に於て舉行された

◇府縣對抗戦

▼團體對抗決勝戦  
1 東京第七(十一中) 2 東京第六(十中)  
3 大阪第二(八中)

▼個人決勝戦

1 野口(千葉一) 2 鈴木(早稻田實業) 3  
藤田(愛知二)

◇大學高專競射

▼準決勝戦

明大(十一中) 早大(十一中) 慶大(十中)  
國大(十中) 東商(八中) 一高(七中)

▼決勝戦

1 早大(八中) 2 慶大(七中) 3 明大(七中)

▼個人皆中者

長谷川(立命) 杉山(濱松高工) 古谷(成蹊高校) 古瀬(横專) 上杉(立正大) 三好(東醫專) 青柳(四高) 鈴木(日大) 平野(一高) 日登(一高) 稻垣(早大) 上田(明大) 宮部(岐阜藥專) 前田(東北大) 濱口(東商大) 佐々間(同) 元山(同) 岩本(山口高商)

◇男子中等競射

▼團體決勝戦

1 沼津商業(十一中) 2 早實(十中) 3 天王寺商業(六中)

▼個人皆中者

五島(福島商) 淺沼(小諸商) 望月(沼津商) 土岐(北海中) 古川(青山師) 千葉(府立六中) 鈴木(早實)

◇女子中等競射

▼決勝戦

1 愛知第一高女(十中) 2 忍高女(八中)  
3 奈良高田高女(七中)



### 全國中等弓道大會

東京文理大主催、第六回全國中等學校弓道大會は八月廿四、廿五日の兩日文理大道場で舉行、参加校三十校(選手一校三名、一名六射)

#### 團體競射

- 1 早實(三〇中) 2 沼津中(二四中)
- 2 千葉師範(二三中)

#### 個人賞

- 1 鈴木(早實) 2 田谷(附屬中) 3 河野(名古屋商)

#### 女子の部

##### 團體競射

- 1 忍岡高女(二二中)

##### 早大對關學弓道

第六回早大對關學弓道試合は十一月四五の兩日早大道場で舉行

##### 源平試合

- 早大 一一四—九三 關學

##### 紅白試合

- 早大 三人殘 關學

##### 三田稻門弓道

第六回三田稻門對抗弓道競射は十二月一日早大道場に於て舉行、各十名、一人二十射 三田俱樂部 一一九—稻門俱樂部

## 射 擊

### 高專射擊諸大會

京都帝大主催の全國高專射擊大會は七月十二日深草射撃場で舉行、参加廿六校、成績左の如し

- 團體 1 甲南高校二二五點 2 福井高工一九九點 3 立命大豫科、三高一七四點 5 龍大專門部

#### 個人

- 1 吉田(關學高商)四三點 2 長尾(關大專)四〇點 3 野村(甲南) 4 戸田(金澤高工)三八點 5 高田(彦根高商)三七點

東北帝大主催の第六回北日本高專射擊大會は七月十二日仙臺追廻陸軍射撃場で舉行参加七校

- 團體 1 仙臺高工一六四點 2 東北學院一四三點 3 二高一三七點 4 北海大豫科一三二點 5 桐生高工一二〇點

個人 1 菊地(東北學院)四〇點 2 神谷(仙臺高工)三九點 3 越中(東北學院)

東京帝大主催の第九回全國高專射擊大會は七月十四日大久保射撃場で舉行

- 團體 1 甲南高校三二七點 2 學習院三一三

- 3 農大專門部二八五點 4 名古屋高工二七三點 5 松本高工二六七點

### 關東學生大會

第十一回關東學生射擊大會は九月廿九日大久保射撃場で舉行

- 團體 1 帝大二八九點 2 早大二八一點 3 拓大二五一點 4 農大二四九點 5 明大二四九點

個人 伏射 1 江村忠保(拓大) 2 金井(東大) 3 安部(拓大)

個人 膝射 1 平野美木(東大) 2 桑高(國學院大) 3 高下(文理大)

一般 1 柳笛(照櫻會) 2 小菅(駿臺) 3 保田(紅陵)

### 北海學生大會

北海道學生射擊大會は七月卅日、月寒射撃場で舉行、参加十七校

- 團體 1 瀧川中二七・八三點 2 小樽中二七・二七點 3 室蘭商二六・八四點

個人 1 森佐(北大豫科) 四二點 2 宮木(北海大) 3 石川(札幌商) 四〇點

### 京都市立學生大會

立命館大學主催の全國學生生徒射擊大會は十月十三日深草射撃場で舉行

- 中等校(團體) 1 京一工一九七點 2 京桃

中一九三點 3 奈良中一八九點 4 平安中一八九點

個人 1 上野(同志社中) 四六點 2 大谷(奈良中) 四五點 3 津田(京三中) 四四點

大學高專(團體) 1 關大一八六點 2 同大一八五點 3 關大專一八三點

個人 1 多木(同大) 四八點 2 玉置(關大專) 四五點 3 鹽見(關大) 四一點

### 全國中等大會

關西大學主催の第九回全國中等學校射擊大會は十月六日大阪城南射撃場で舉行

- 團體 1 今宮職工一八九點

- 個人 森本(五條中) 四六點

### 全國學生大會

第五回全國大學高專射擊大會は十月廿七日大久保射撃場で舉行

- 團體 1 早大三一點 2 金澤高工 3 東京帝大

個人 1 林(金澤高工) 四二點 2 香月(成蹊高) 3 井上(學習院)

### 關西學生大會

第十回關西學生射擊聯盟秋季大會は十一月十日大阪城南射撃場で舉行、参加十六校

- 團體 1 甲南高校三〇八點 2 立命館大三

- 五點 3 關大專門

- 個人 1 竹島(關大) 四四點 2 三木(龍大)

玉置(關大) 三九點

### 關西三大學射擊

第五回關西三大學秋季射擊は十一月十一日大阪南射撃場で舉行

- 團體 1 關大 四四點 2 立命館大 四三點 3 同志社大 三三點

個人 1 近藤(同大) 四一點 2 鹽見(關大) 三九點 3 福田(立命館) 三九點

### 廣島學生大會

第一回廣島市内高專射擊大會は十一月十七日江波陸軍射撃場で舉行、参加四校

- 團體 1 廣島高工 四一六點 2 文理大三

- 八九點 3 廣島高師 三六二點 4 廣島高校 二八九點

個人 1 仲上(高師) 四三點 2 平川(高工) 四〇點 3 中村(高工) 三九點 4 森田(高工) 三九點 5 林(文大) 三九點

### 鳥取中等大會

鳥取縣體協主催の縣下中等學校射擊大會は十一月十日鳥取市外岩倉射撃場で舉行

- 團體 1 倉吉農學二六二點 2 倉吉中二四

- 一點 3 日野農林二四一點

個人 1 土井(日農) 四三點 2 田中(倉中) 四二點 3 谷本(米子中) 四一點 4 住田(米工) 四一點

### 千葉中等大會

第十一回國際オリムピック器械體操日本代表選手第二次豫選會は七月卅日東京市立一中體育館で舉行、参加卅三名、次の十六名が入選した

- 1 武田義孝二三〇點 2 佐々野(日體出) 二三五點 3 遠山(熊本) 二二一點 4 三宅(日體出) 二〇二點 5 松延博(東高師) 二〇二點 6 有本(日體出) 7 曾根(日體出) 8 角田(YMCA) 9 野原(東高師) 10 金井(教員) 11 南

## 體 操

### オリムピック體操

第十一回國際オリムピック器械體操日本代表選手第二次豫選會は七月卅日東京市立一中體育館で舉行、参加卅三名、次の十六名が入選した

- 1 武田義孝二三〇點 2 佐々野(日體出) 二三五點 3 遠山(熊本) 二二一點 4 三宅(日體出) 二〇二點 5 松延博(東高師) 二〇二點 6 有本(日體出) 7 曾根(日體出) 8 角田(YMCA) 9 野原(東高師) 10 金井(教員) 11 南







知(球)齋藤、梶上、関口(壘)

帝大 0003000010000000  
一三三四五六七八九十十二十三十四  
法政 0000003010000000  
4—4

◇バッテリー {帝大 久保田—緑川  
法政 森近、伊藤—藤田

立教 {6—3 明 治

第一回戦は九月七日午後二時半から立教先攻に開始結局六對三で立教先勝す、閉戦四時卅四分、審判宮武(球)森、片桐、長澤

明治 0110000010  
一三三四五六七八九  
立教 3020000100  
6—3

◇バッテリー {明治 田所、吉田—櫻井  
立教 鹽田、景浦—成田

第二回戦は九月八日正午から明治先攻で開始、結局十對三の大差で明大雪辱す、閉戦二時五分、審判伊丹(球)長澤、片桐、森

立教 1000000020  
一三三四五六七八九  
明大 214020100  
10—3

◇バッテリー {明大 山脇—室井  
立教 有村、石澤—成田

第二回戦は九月廿六日午後二時五分から帝大先攻で開始、八對三で帝大雪辱成る、閉戦四時十分、審判藤田(球)関口、齋藤、伊丹(壘)

明大 2000000100  
一三三四五六七八九  
帝大 2000000402  
8—3

◇バッテリー {帝大 久保田—緑川  
明大 吉田、山脇—迫畑  
櫻井

立教 {5A—4 早 大

第一回戦は九月廿五日午後二時十分から早大先攻に開始、五A對四で早大敗る、閉戦四時卅五分、審判野本(球)片桐、長澤、梶上(壘)

立教 000040001  
一三三四五六七八九  
早大 000001120  
4—5A

◇バッテリー {立教 景浦、鹽田—成田  
早大 近藤、若原—鶴飼  
藤堂

第二回戦は十月一日午後二時三分から立教先攻で開始、十一A對八で早大雪辱す、閉戦四時廿五分、審判天知(球)長澤、梶上野本(壘)

慶 應 {4—1 法 政

第一回戦は九月十四日午後零時五分から慶應先攻で開始、四對四で引分けとなる、閉戦二時卅九分、審判天知(球)齋藤、片桐伊丹(壘)

法政 000010003  
一三三四五六七八九  
慶應 010200010  
4—4

◇バッテリー {法政 伊藤、鶴澤—藤田  
慶應 土井、中田—櫻井

第二回戦は十一月九日午後一時四十分から法政の先攻で開始、二A對一で慶應勝つ、閉戦三時四十分、審判伊丹(球)片桐、野本森(壘)

法政 002000000A  
一三三四五六七八九  
慶應 000100000  
1—2A

◇バッテリー {慶應 中田—大澤  
法政 鶴澤、伊藤—藤田

第一回戦は九月十六日午後二時五分から早大先攻で開始、結局九對三で早大勝つ、閉戦四時四十分、審判横澤(球)関口、宮武藤田(壘)

早 大 {19—3 帝 大

早大 00410024A  
一三三四五六七八九  
立教 020015000  
8—11A

◇バッテリー {立教 景浦、鹽田—成田  
早大 若原、近藤—鶴飼

第一回戦は九月廿八日午後零時七分から慶應の先攻に開始、結局六對零で先勝、閉戦一時五十分、審判藤田(球)横澤、長澤齋藤(壘)

帝大 000000000  
一三三四五六七八九  
慶應 103001001  
6—0

◇バッテリー {慶應 土井—大澤  
帝大 久保田、杉本、緑川

第二回戦は九月廿九日午後三時から帝大の先攻に開始、九A對零で帝大再敗す、閉戦四時五十四分、審判天知(球)関口、伊丹、藤田(壘)

帝大 00000603A  
一三三四五六七八九  
慶應 000000000  
0—9A

◇バッテリー {帝大 久保田、杉本—緑川、濱野  
慶應 土井、中田—大澤

帝大 20000000100  
一三三四五六七八九十  
早大 0002000100006  
9—3

◇バッテリー {早大 遠藤、若原—鶴飼  
帝大 久保田—緑川  
藤堂

第二回戦は十月三日午後二時半から帝大先攻で開始、十一A對零で早大再勝す、閉戦四時十八分、審判天知(球)宮武、関口、藤田(壘)

早大 00025301A  
一三三四五六七八九  
帝大 000000000  
0—11A

◇バッテリー {帝大 杉本—濱野  
早大 近藤—藤堂

第一回戦は九月廿三日午後二時四十八分から明大先攻で開始二對零で明大勝つ、閉戦四時十分、審判宮武(球)森、齋藤、藤田

帝大 000000000  
一三三四五六七八九  
明大 0010000001  
2—0

◇バッテリー {明大 山脇—櫻井  
帝大 久保田—緑川

早 大 {6—0 法 政

第一回戦は九月廿八日午後二時卅八分から早大の先攻で開始、六對零で早大勝つ、閉戦五時八分、審判天知(球)片桐、梶上、関口(壘)

法政 000000000  
一三三四五六七八九  
早大 021100020  
6—0

◇バッテリー {早大 若原—鶴飼  
法政 伊藤、鶴澤、早川—藤田

第二回戦は九月廿九日午後零時五分から法政の先攻で開始、結局九A對零で早大再勝、閉戦二時廿分、審判野本(球)横澤、梶上、宮武(壘)

早大 61010001A  
一三三四五六七八九  
法政 000000000  
0—9A

◇バッテリー {法政 鶴澤、劉—藤田  
早大 若原—鶴飼

第一回戦は十月五日午前十一時卅五分から法政先攻で開始、八A對四で明大先勝、閉戦一時卅八分審判宮武(球)森、野本、梶



上(壘)

明大 00026000A  
一二三四五六七八九  
法政 000100300  
4-8A

◇バッテリー 法政 鶴澤、森近—藤田  
竹内  
明大 山脇—櫻井

第二回戦は十月六日午後一時五十六分  
から明大先攻で開始、五對二で明大二勝、閉  
戦三時四十七分、審判伊丹(球)野本、齋藤  
関口(壘)

法政 002000000  
一二三四五六七八九  
明大 300002000  
5-1

◇バッテリー 明大 山脇—櫻井  
法政 三森、伊藤—藤田  
立教 教 8-2 帝 大

第一回戦は十月五日午後二時半から立教  
先攻で開始、八對二で帝大敗る、閉戦四時  
廿五分、審判横澤(球)長澤、伊丹、天知(壘)

帝大 020000000  
一二三四五六七八九  
立教 000240200  
8-1

◇バッテリー 立教 西郷—成田、町田  
帝大 久保田—緑川

第二回戦は十月六日午前十一時半から帝  
大先攻で開始、五A對三で帝大惜敗す、閉  
戦一時十五分、審判藤田(球)梶上、天知、  
森(壘)

立教 10021100A  
一二三四五六七八九  
帝大 000102000  
3-5A

◇バッテリー 立教 石田、有村、鹽田  
成田  
帝大 杉本、久保田—濱  
野、緑川

立教 教 9-2 法 政

第一回戦は十月十二日午前十一時廿五分  
から立教先攻で開始、九對二で立教快勝、  
閉戦一時四十五分、審判伊丹(球)横澤、天  
知(壘)

法政 000020000  
一二三四五六七八九  
立教 400002102  
9-1

◇バッテリー 立教 景浦—成田  
伊藤、森近—藤田  
法政 伊藤、森近—藤田

第二回戦は十月十三日午後二時四十五分  
から法政先攻で開始延長十一回の後三對三  
で引分となる閉戦五十分、審判宮武(球)  
横澤、片桐、梶上(壘)

閉戦四時七分、審判宮武(球)齋藤、長澤、  
関口(壘)

明大 100001000  
一二三四五六七八九  
早大 002101110  
6-2

◇バッテリー 早大 若原—鶴飼  
明大 山脇、吉田—櫻井  
第二回戦は十月廿日午前十一時半から明  
大の先攻に開始、結局八A對三で早大再勝、  
優勝確定となる、閉戦一時五十二分、審判  
野本(球)齋藤、梶上、宮武(壘)

早大 21000221A  
一二三四五六七八九  
明大 001010010  
3-8A

◇バッテリー 明大 吉田、野口—櫻井  
室井  
早大 若原—鶴飼

第一回戦は十月廿八日午後二時八分  
から慶應先攻で開始、結局四對四の引分となる  
閉戦四時五十四分、審判野本(球)横澤、齋  
藤、関口(壘)

慶應 34-14 早 大  
早大 100000201  
一二三四五六七八九  
慶應 100003000  
4-4

立教 030000000  
一二三四五六七八九十  
法政 000300000  
3-1

◇バッテリー 法政 劉、鶴澤—藤田  
石澤、石田、鹽田  
成田

明大 大 6-1 慶 應

第一回戦は十月十二日午後二時廿五分  
から明大先攻で開始六對一で明大先勝す、閉  
戦四時五十分、審判藤田(球)長澤、森、伊  
丹(壘)

慶應 000000010  
一二三四五六七八九  
明大 000030003  
6-1

◇バッテリー 明大 山脇—櫻井、大澤  
慶應 土井—櫻井

第二回戦は十月十三日午前十一時半  
から慶應先攻で開始、結局七A對二で明大再勝  
す、閉戦二時五分、審判野本(球)森、長澤  
片桐(壘)

明大 004000012A  
一二三四五六七八九  
慶應 001100000  
2-7A

◇バッテリー 慶應 土井、楠本—櫻井  
早大 若原—鶴飼

第二回戦は十月廿九日午後二時五分  
から早大先攻で開始、慶應は冒頭の三點を死守  
して結局三A對一で勝つ、閉戦四時廿分、  
審判藤田(球)片桐、長澤、横澤(壘)

慶應 30000000A  
一二三四五六七八九  
早大 000000010  
1-3A

◇バッテリー 早大 近藤、遠藤—鶴飼  
藤堂  
慶應 土井、中田—櫻井

秋季リーグ戦成績

引分	勝	敗	帝大	法政	慶應	明大	立教	早大
1	7	6	2	2	1.5	2	1	1.5
2	6	5	2	2	1.5	2	1	0.5
3	6	5	1	1	1.5	2	1	0
4	6	5	1	1	1.5	2	1	0
5	6	5	1	1	1.5	2	1	0
6	6	5	1	1	1.5	2	1	0
7	6	5	1	1	1.5	2	1	0
8	6	5	1	1	1.5	2	1	0

◇バッテリー 慶應 土井、飯塚—櫻井  
大澤、網島  
明大 吉田—櫻井

第一回戦は十月十九日午前十一時廿分  
から立教先攻で開始五A對一で慶應快勝、閉  
戦一時卅分、審判野本(球)横澤、森、片桐  
(壘)

慶應 01001003A  
一二三四五六七八九  
立教 000001000  
1-5A

◇バッテリー 立教 景浦、鹽田—成田  
慶應 土井—櫻井  
第二回戦は十月廿日午後二時四十分  
から慶應先攻で開始、二A對一で立教辛くも雪  
辱す、閉戦四時四十七分、審判藤田(球)長澤  
森、横澤(壘)

立教 01001000A  
一二三四五六七八九  
慶應 000000100  
1-2A

◇バッテリー 慶應 土井、楠本—櫻井  
立教 鹽田、西郷—成田

第一回戦は十月十九日午後二時廿分  
から早大先攻で開始、六對二で早大先勝つ、



チーム守備率

守備率	失策	補殺	刺殺	試合数
早大	16	147	271	10
明大	15	117	267	10
立教	16	121	270	10
帝大	17	123	279	10
法政	19	154	282	10
慶應	19	120	264	10

チーム打撃率

打率	四死	三振	盗塁	犠打	壘打	打撃	本塁	三塁	二塁	安打	得点
早大	.316	68	22	6	4	156	68	13	8	115	69
立教	.267	42	25	13	8	134	46	9	3	92	50
明大	.251	45	34	23	10	117	42	6	1	84	49
慶應	.199	47	34	11	2	85	31	8	0	64	37
法政	.185	48	41	9	3	81	20	2	1	64	23
帝大	.158	47	48	5	5	55	19	0	0	52	20

ベストテン(打席24以上)

打率	四死	三振	盗塁	犠打	壘打	打撃	本塁	三塁	二塁	安打	得点	出場	打方
.474	12	5	1	0	15	25	0	0	3	18	11	10	右
.378	12	5	2	1	16	16	1	0	2	14	10	10	右
.375	5	3	0	0	18	18	0	0	2	15	7	10	右
.366	4	3	3	2	21	21	0	0	2	15	5	10	右
.366	3	4	6	2	4	7	0	0	3	6	6	10	右
.349	6	1	0	0	12	23	0	0	2	15	8	10	右
.343	8	1	5	0	5	16	1	0	1	12	7	10	右
.333	7	6	1	1	8	15	1	0	2	11	7	10	右
.318	3	3	0	0	4	10	1	0	1	7	6	10	右
.308	11	1	2	0	7	16	0	0	4	12	11	10	右

明大優勝(十一年春)

春季リーグ試合は四月十一日、法政対立教戦によつて開幕された、秋の覇者早大が米國遠征の爲、各大學と一回の送別試合を行つたのみで多少興味を殺したが、慶明法立が技術的、更に帝大の一勝主義の奮戦に各試合とも相變らず激戦熱戦を展開した、明大は充實した陣容に十分威力を發揮し、雌伏八年久し振りに優勝を握つた、二位は立教、法政は三位、慶應は豫想を裏切つて四位となり帝大又投手力に恵まれず最下位となつた、春季シーズンの成績は左の如くである。

立教 5A-2 法政

第一回戦は四月十一日、午後零時半から立教先攻に開始、結局七對五で立教先づ勝つ、閉戦三時、審判三谷(球)梶上、錢村、西村(壘)

法政 2220000000  
一二三四五六七八九  
立教 1001400017

第二回戦は四月十二日午後三時三十分から帝大先攻で開始、五A對四で明大辛勝

ら法政先攻で開始、五A對二で立教再勝す閉戦五時五十分、審判伊丹(球)坪井、錢村梶上(壘)

立教 00000023A  
一二三四五六七八九  
法政 00000020  
2-5A

第一回戦は四月十一日午後三時四十三分から明大先攻で開始、結局五對二で明大先勝す、閉戦四時四十七分、審判伊丹(球)齋藤、關口、長澤(壘)

慶應 2000000000  
一二三四五六七八九  
明大 0040100000  
5-2

第二回戦は四月十二日、午後零時三十分から慶應先攻に開始、四對零で慶應雪辱す閉戦二時四十三分、審判藤田(球)西村、片桐、關口(壘)

明大 0000000000  
一二三四五六七八九  
慶應 0000001003  
4-0

第一回戦は四月十八日午後零時三十分から慶應先攻で開始、結局十八A對一で慶應惨敗す、閉戦三時十五分、審判伊丹(球)錢村片桐、齋藤(壘)

法政 10502631A  
一二三四五六七八九  
慶應 0000100000  
1-18A

第二回戦は四月十九日午後三時から法政先攻で開始、四對一で法政連勝す、閉戦五時十五分、審判伊丹(球)坪井、西村、片桐(壘)

慶應 1000000000  
一二三四五六七八九  
法政 1000100002  
4-1

第一回戦は四月十八日午後三時四十五分から帝大先攻で開始、五A對四で明大辛勝

明大 185A-4 帝大  
一二三四五六七八九  
法政 1000100002  
4-1

閉戦五時廿五分、審判三谷(球)梶上、長澤關口(壘)

明大 00031001A  
一二三四五六七八九  
帝大 3000001000  
4-5A

第三回戦は四月十九日午後零時廿五分から帝大先攻で開始、十八A對零で帝大大敗す、閉戦二時廿分、審判藤田(球)關口、梶上、長澤(壘)

明大 04600206A  
一二三四五六七八九  
帝大 0000000000  
0-18A

第一回戦は四月廿六日午後零時廿分から立教先攻で開始、結局七A對零で明大勝つ閉戦二時三十分、審判藤田(球)西村、三谷坪井(壘)

明大 00210400A  
一二三四五六七八九  
立教 0000000000  
0-7A



立教 石田、有村、西郷  
明大 吉田、室井

第二回戦は四月廿九日午後二時四十七分  
から明大先攻に開始、三對一で明大連勝す  
閉戦五時二十分、審判三谷(球)梶上、坪井  
片桐(壘)

立教 001000000  
明大 010101000

◇バッテリー 明大 吉田—室井  
立教 西郷—別井

慶應 3—4A 帝大  
第一回戦は四月廿六日午後三時十二分  
から慶應先攻に開始、結局四A對三で帝大快  
勝す、閉戦五時十四分、審判伊丹(球)錢村  
齋藤、關口(壘)

帝大 300000001  
慶應 000030000

◇バッテリー 慶應 楠本—櫻井  
帝大 久保田—野村

第二回戦は四月廿九日午後零時卅分  
から帝大先攻に開始、三A對零で慶應雪辱す、  
閉戦一時五十八分、審判藤田(球)西村、關  
口、齋藤(壘)

立教 103—23 帝大

第一回戦は五月二日午後三時四十分  
から立教先攻に開始、帝大よく健闘し三對三  
で引分、閉戦六時十五分、審判伊丹(球)錢村  
長澤、西村(壘)

帝大 300000000  
立教 000010000

◇バッテリー 立教 鹽田、西郷—成田  
帝大 久保田—野村

第二回戦は五月三日午後零時卅五分  
から帝大先攻に開始、十A對二で立教大勝す、  
閉戦二時十六分、審判伊丹(球)長澤、梶上  
西村(壘)

立教 201010006  
帝大 000011000

◇バッテリー 帝大 津田、久保田—今  
立教 井—別井

第一回戦は五月九日午後三時五分  
から立教先攻に開始、結局六對三で立教先勝、閉  
戦五時五十四分、審判藤田(球)坪井、長澤

立教 003100100  
慶應 000000041

◇バッテリー 慶應 中田—櫻井  
立教 西郷、有村—別井

第二回戦は五月十日午後零時卅二分  
から慶應の先攻に開始五對五で引分となる、閉  
戦二時四十五分、審判藤田(球)錢村、長澤  
坪井(壘)

立教 101010000  
慶應 000000003

◇バッテリー 立教 西郷—別井、成田  
慶應 楠本、中田—櫻井

第一回戦は五月九日午後零時卅分  
から帝大先攻に開始、結局八A對四で帝大敗る、  
閉戦二時廿五分、審判伊丹(球)關口、西村  
錢村(壘)

法政 3—4 帝大  
立教 00300005A  
帝大 000020002

各校勝敗表

明大	立教	法政	慶應	帝大	勝	引
×	2	2	1	2	7	0
0	×	2	1.5	1.5	4	2
0	0	×	2	2	4	0
1	0.5	0	×	1	2	1
0	0.5	0	1	×	1	1
敗	1	2	4	5	6	

春季リーグ戦成績

◇バッテリー 帝大 久保田—緑川  
法政 鶴澤、三森—藤田

第二回戦は五月十日午後三時卅分  
から法政先攻に開始結局三對二で法政辛勝す、閉  
戦五時十分、審判三谷(球)齋藤、梶上、西  
村(壘)

帝大 100000001  
法政 010100001

◇バッテリー 法政 鶴澤—藤田  
帝大 久保田—緑川

守備率

守備率	失策	補殺	刺殺	試合数	明大	立教	法政	帝大	慶應
.970	8	225	90	8	8	8	8	8	8
.941	21	115	115	21	8	8	8	8	8
.940	23	149	149	23	8	8	8	8	8
.938	21	107	107	21	8	8	8	8	8
.925	24	81	81	24	8	8	8	8	8



ベストテン(打数20以上)

打率	.395	.394	.364	.360	.348	.310	.308	.303	.300	.300
四死	4	7	0	3	2	7	4	5	1	10
三振	3	7	2	1	2	3	2	1	1	1
盗塁	4	0	0	1	0	4	3	2	0	0
機打	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1
壘打数	22	22	11	10	8	9	9	11	11	10
打撃点	13	11	3	4	5	3	4	7	8	4
本塁打	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
三塁打	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0
二塁打	5	1	1	1	0	0	1	1	0	1
安打	15	13	8	9	8	9	8	10	9	9
得点	10	4	4	8	3	5	4	8	4	7
打数	38	33	25	23	29	26	33	30	30	30
出場数	8	3	7	8	7	8	8	8	8	8
打方	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右
打方	(法)	(法)	(明)	(立)	(立)	(法)	(明)	(法)	(法)	(法)
打方	(法)	(明)	(立)	(立)	(法)	(明)	(法)	(明)	(法)	(法)
打方	田谷	井田	井摩	村本	浦岡	藤森	室吉	別志	勝岩	杉鶴

早大遠征送別試合

早大野球部は五月一日横濱出帆の龍田丸でアメリカ遠征の途に上つたが、その送別試合成績は左の如くである。

四月十四日(神宮)

早大	0	0	3	0	0	0	0	0	0
立教	1	0	1	0	1	1	1	1	0
早大	0	0	2	0	0	0	2	A	
帝大	1	0	0	0	0	0	0	0	0
早大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
帝大	1	0	0	0	0	0	0	0	0
早大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
帝大	1	0	0	0	0	0	0	0	0
早大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
帝大	1	0	0	0	0	0	0	0	0

四月十五日(神宮)

早大	0	0	2	0	0	0	0	2	A
帝大	1	0	0	0	0	0	0	0	0
早大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
帝大	1	0	0	0	0	0	0	0	0
早大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
帝大	1	0	0	0	0	0	0	0	0

四月廿一日(神宮)

早大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
帝大	1	0	0	0	0	0	0	0	0
早大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
帝大	1	0	0	0	0	0	0	0	0

四月廿三日(神宮)

早大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
帝大	1	0	0	0	0	0	0	0	0

東京大学新人野球

昭和十一年より開始される事となつた東京大学新人戦は帝大を除き五月十三日から神宮で開催、法政新人が優勝した。

早大	0	0	0	4	1	0	3	0	A
慶應	1	0	4	0	0	0	0	0	0
早大	0	1	0	0	0	0	0	0	0
法政	2	1	0	0	0	0	0	0	0
早大	0	1	0	0	0	0	0	0	0
法政	2	1	0	0	0	0	0	0	0
早大	0	1	0	0	0	0	0	0	0
法政	2	1	0	0	0	0	0	0	0
早大	0	1	0	0	0	0	0	0	0
法政	2	1	0	0	0	0	0	0	0

五大學リーグ(秋季)

東都大學野球聯盟の昭和十一年秋季リーグ戦は九月十日から神宮球場及び月島球場に於て舉行され、専修と日大が王座を競ひ結局専修が優勝した。

九月十一日、神宮球場、第一回戦

専修	11	4	A	3	商	大
日大	6	A	3	商	大	

九月十二日、神宮球場、第二回戦

専修	11	4	A	3	商	大
日大	6	A	3	商	大	

九月十六日、月島球場、第一回戦

専修	7	2	1	國	大
日大	8	7	2	商	大

九月廿八日、中大球場、第一回戦

専修	7	2	1	國	大
日大	8	7	2	商	大

九月廿九日、吉祥寺球場、第二回戦

専修	7	2	1	國	大
日大	8	7	2	商	大

十月一日、阿佐ヶ谷球場、第一回戦

十月三日、阿佐ヶ谷球場、第二回戦

日大	12	11	7	中	大
専修	9	2	1	中	大

十月五日、月島球場、第二回戦

日大	13	9	5	商	大
専修	9	2	1	中	大

十月六日、神宮球場、第一回戦

日大	13	9	5	商	大
専修	9	2	1	中	大

十月八日、神宮球場、第二回戦

日大	13	9	5	商	大
専修	9	2	1	中	大

十月九日、神宮球場、第一回戦

日大	13	9	5	商	大
専修	9	2	1	中	大

十月十五日、神宮球場、第一回戦

日大	7	4	5	國	大
専修	8	1	5	國	大

十月廿日、月島球場、第二回戦

日大	7	4	5	國	大
専修	8	1	5	國	大

十月廿二日、神宮球場、第一回戦

日大	7	4	5	國	大
専修	8	1	5	國	大

十月廿三日、神宮球場、第二回戦

日大	7	4	5	國	大
専修	8	1	5	國	大

五大學リーグ(春季)

東都大學野球聯盟の昭和十一年五大學春季リーグは四月廿六日から開始、六月十八日専修對日大の決勝戦を以て閉幕したが、専修は九戦七勝一敗一引分、勝率八割三分三厘で三シーズン連続優勝した。

専修	2	3	5	5	8
日大	0	2	2	2	6
中大	0	1	2	2	5
日大	0	2	2	2	5
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
中大	0	0	0	0	0
日大	0	0	0	0	0
専修	0	0	0	0	0



専修 1122—17 大

◇第一回戦(五月五日、月島球場)、第二回戦(五月六日、月島球場)

國大 198—37 大

◇第一回戦(五月十日、月島球場)、第二回戦(五月十一日、月島球場)

専修 82—10 大

◇第一回戦(五月十六日、神宮球場)、第二回戦(五月十七日、神宮球場)

中大 63—55 大

◇第一回戦(五月十六日、神宮球場)、第二回戦(五月十七日、神宮球場)、決勝(五月十八日、神宮球場)

日大 178—147 大

◇第一回戦(五月廿日、神宮球場)、第二回戦(六月一日、神宮球場)、決勝(六月三日、神宮球場)

専修 154—44 大

關西六大學(十年秋季)

關西六大學野球聯盟の秋季リーグ戦は九月十四日から甲子園球場に於て開幕、試合なかば優勝候補の隨一に推された關大が豫想通り断然たる強味を發揮して優勝した、試合は十一月六日の立命館對神商大戰に終了、順位は立命二位、京大三位、關學四位、同大五位、神商大六位となつた、成績左の如し。

關大	913—21	神商大
關學	449—68	同大
立命	115—00	關學
京大	66—51	神商大
關學	84—14	同大
京大	102—12	立命
關學	9A—45	立命
京大	87—33	同大
關大	1A—10	立命
關大	70—11	立命

試合勝敗率		勝率	
専修	9	×1.5	2
中大	9	0.5	×2
日大	11	1	×2
國大	9	0	1
商大	8	0	0
引分	1	7	8
勝數	7	6	3
敗數	6	3	0
率	.833	.722	.545
	.333	.000	

◇第一回戦(六月十日、神宮球場)、第二回戦(六月十一日、神宮球場)

専修 197—85 大

◇第一回戦(五月廿日、神宮球場)、第二回戦(六月二日、神宮球場)

中大 93—32 大

エール大學野球成績

早大野球部の招聘に應じて來朝したエール大學野球部は八月十七日の對早大戦を皮切りに八試合、關西で三試合を行ひ十一戦三勝一引分、七敗の香ばしからぬ成績を残した。

◇八月十七日(神宮)

早大 40100030A

エール 001000400

◇八月十八日(神宮)

早大 000000000

エール 111110101

◇八月廿四日(戸塚)夜間

早大 100500200

エール 110103200

◇九月三日(神宮)

早大 003000000

エール 000010051

關大 61—10 大

立命 114—39 大

同大 710—810 大

關大 136—00 大

關大 108—414 大

關學 337—76 大

關學 127—37A 大

立命 86—61 大

關西連覇(十一年春季)

關西六大學リーグ戦春季試合は四月十一日から開幕五月廿五日を以て終了し、關西連覇成る、成績は左の如し。

關大 37—10 神商大

立命	615—57	神商大
關大	49—26	京大
立命	43—3A	立命
關大	85—23	神商大
關大	92—21	關學
立命	139—54	同大
關大	93—41	京大
神商大	613—123A	京大
同大	72—31	關學
神商大	76—637	關學
立命	35—20	京大
關大	1016—50	同大
立命	1611—74	關學



◇八月廿日(神宮)

慶應 02025010A  
エール 一二三四五六七八九  
00000000000

◇八月廿二日(戸塚)夜間七回戦

東京俱 10000040  
エール 一二三四五六七  
2010301

◇八月廿五日(戸塚)

明大 041000000A  
エール 一二三四五六七八九  
00000000000

◇八月廿八日(神宮)

立教 00011200A  
エール 一二三四五六七八九  
00100000000

◇九月七日(甲子園)

エール 0000000000  
早大 030051005  
一二三四五六七八九

◇九月八日(甲子園)

エール 001001010  
早大 001105011  
一二三四五六七八九

◇決勝戦

東京俱 00300000A  
川崎 一二三四五六七八九  
00000000000

◇バッテリー

川崎 若林、鈴木、紅谷  
東京 宮武、伊藤

◇全國中等學校大會(第廿一回)

第廿一回全國中等學校優勝野球大會は八月十三日から八日間甲子園球場で舉行、参加は二十二代表、結果は四國代表松山商業が優勝した。

◇地方選優勝試合

- ◇北海道大會 北海道中學 3—2 旭川師範
- ◇奥羽大會 秋田商業 7—1 盛岡中學
- ◇東北大會 福島師範 4—3 福島商業
- ◇北關東大會 桐生中學 6A—0 前橋中學
- ◇南關東大會 千葉中學 5A—4 茨城工業
- ◇東京大會 早實 7—2 日大三中

◇九月九日(甲子園)

エール 000001020  
關大 一二三四五六七八九  
2100000022

高専大會

實業專門(同志社高商優勝)

第一回全國實業專門大會は七月廿三日から戸塚球場で舉行、出場八校。

◇準決勝

同志社高商 9—3 高松高商  
京城醫專 13A—10 福島高商

◇決勝

同志社 000000006  
京城 一二三四五六七八九  
0001200011

全國高校(一高優勝)

第二回全國高校大會は七月十七日から廿四日まで三高、京都西京極球場で舉行した

◇準決勝

一高 4A—1 三高  
靜岡 7A—1 高知

◇決勝

靜岡 001000002  
一高 一二三四五六七八九  
110131101

都市對抗(第九回)

東日、大毎主催第九回都市對抗野球大會は八月三日から十二日まで神宮で舉行、東京俱樂部優勝す。

◇第一次戦

大阪市	12A—4	函館市
川崎市	2—0	神戸市
奉天	4A—2	仙台市
大連	6A—2	米子
京城	6A—3	千里
東京	3A—0	新臺
名古屋	13A—2	幡瀨
大宮	3—1	八幡

◇第二次戦

川崎	3—2	大阪
大連	3—0	奉天
東京	6—5	京城
大宮	9—7	名古屋

◇準決勝戦

川崎 1—0 大宮

◇臺灣大會

嘉義農林 7—4 臺北商業

◇朝鮮大會

新義州商 22A—3 大邱商業

◇滿洲大會

青島中學 (リーグ戦優勝)

◇第一次戦

甲府中學	10A—3	青島中學
育英商業	5—4	米子中學
日新商業	3—1	福島師範
千葉中學	16—9	石川工業
大分商業	10A—0	北海中學
吳港中學	3A—2	飯田商業

◇第二次戦

愛知商業	13—0	新義州商
嘉義農林	4A—1	平安中學
松山商業	3—0	海草中學
早稻田實	7—1	佐賀商業
吳港中學	11A—10	日新商業
大分商業	3—2	千葉中學
育英商業	11A—0	甲府中學

◇準々決勝戦

愛知商業 5A—2 秋田商業

◇準々決勝戦

松山商業 5—4 嘉義農林

◇準々決勝戦

育英商業 5A—0 大分商業



スポーツ—野球

早稲田實 5—0 吳港中學

準決勝 育英商業 4A—3 早稲田實  
松山商業 4—0 愛知商業

決勝戦 育英商 1000000000  
松山商 1005000000 6—1

パツテリイ 松山 中山—筒井良  
育英 佐藤—西谷

關東中等大會 第三回關東中等學校選抜野球大會は八月廿三日から六日間神宮球場で舉行、桐生中三年連勝す。

準決勝戦 桐生中學 5A—4 水戸商業  
早稲田實 9A—1 前橋中學

決勝 桐生中學 2A—1 早稲田實  
米國アマ野球團成績

十一月三日來朝した米國アマチュア野球團は七日の對明大戰を最初に八試合を行ひ五勝三敗の成績を収めた。  
十一月七日(神宮)  
明 大 5A—4 米 國  
十一月八日(神宮)

立 教 7A—1 米 國

十一月九日(横濱公園) 米 國 9—0 横濱高商  
十一月十日(神宮) 米 國 7—0 早 大

十一月十二日(神宮) 法 政 5A—4 米 國  
十一月十六日(神宮) 米 國 5—4 慶 應

十一月十八日(神宮) 米 國 6A—4 東 鐵  
十一月廿日(神宮) 米 國 6—0 東京俱

プレップス野球團成績 四月十一日(横濱公園) プレップス 4—2 横濱高商  
四月十二日(横濱公園) プレップス 7A—0 コロムビア

四月十四日(横濱公園) 横濱高工 4A—0 プレップス  
四月十八日(鳴海) プレップス 3—1 大東京軍

四月十九日(鳴海) 名古屋軍 4—1 プレップス  
四月廿三日(山本球場) プレップス 14—8 大東京軍

第一回リーグ戦(甲子園)

第一日(四月廿九日) 名古屋 8—5 大東京

開始十一時十分、審判金政(球)澤、川久保(壘)三氏、名古屋先攻、閉戦一時廿分。

大東京 100100201 5  
名古屋 030030200 8

パツテリイ 名古屋 ノリス、牧野—ハリス  
大東京 近藤—村川

タイガース 3—0 金鯨軍  
開始一時五十分、審判澤(球)川久保、金政(壘)三氏、タイガース先攻、閉戦三時廿五分

金鯨軍 000000000  
一三三四五六七八九  
タ 軍 000200010 3—0

パツテリイ 藤村—小川  
セネタース 9—2 阪急軍

開始三時五十分、審判川久保(球)金政、澤(壘)三氏セネタース先攻、閉戦五時廿五分。

スポーツ—野球

六四二

四月廿四日(山本球場) プレップス 4—2 名古屋軍  
四月廿六日(静岡) 名古屋軍 6—1 プレップス  
大東京軍 4A—2 プレップス

四月廿九日(谷津) プレップス 11A—6 千葉運輸  
全 大 宮 9—7 プレップス

職業團野球

昭和九年十二月、東京巨人軍の結成を見て我が球界に大センセーションを起して僅か一ヶ年、澎湃たる職業野球時代の要求に東京セネタース、大東京、金鯨、名古屋、阪急、タイガースの六チームが矢繼早々に結成され、日本野球界は急轉直下多年の懸案であり、待望であつた職業野球時代を現出するに至つた、かくて昭和十一年四月廿九日天長の佳節を卜して、日本最初の職業野球リーグ戦を開始した(巨人軍遠征)甲子園、鳴海、寶塚の各球場に展開された未曾有の熱戦は新時代來るの感を深くした、第一回リーグ戦(甲子園)ではセネタースが四勝一敗の成績で優勝した。

第三日(五月一日)

金鯨軍 7—1 七 軍  
開始午後一時、審判川久保(球)金政、澤(壘)三氏金鯨軍先攻、閉戦二時四十分。

七 軍 1000000000 1  
一三三四五六七八九  
金鯨軍 031200010 7

パツテリイ 古谷—廣田  
七 軍 石原、野口、淺岡—北浦

阪 急 3A—2 七 軍  
開始三時八分、審判金政(球)澤、川久保(壘)三氏、七軍先攻、閉戦四時五十七分。

阪 急 0020000001 1  
一三三四五六七八九十  
七 軍 10000000010 2

パツテリイ 藤村—小川  
阪 急 北井—倉本

第四日(五月二日) 金鯨軍 5A—1 名古屋  
開始午後一時、審判澤(球)川久保、金政(壘)三氏、名古屋先攻、閉戦二時廿五分。

金鯨軍 203000000A  
一三三四五六七八九  
名古屋 0000000001 1—5A

六四三



スポーツ—野球

◇バッテリー 名古屋 ノリス、牧野

金 鮫 木下—廣田

セ 軍 4—3 大東京

開始三時五分、審判澤(球)金政、川久保  
(壘)三氏、七軍先攻、閉戦四時四十分

大東京 0000000003

セ 軍 0220000000

◇バッテリー 七軍 淺岡、石原—北浦

大東京 櫻井—筒井、村

◇第五日(五月三日)

名古屋 11—8 阪急軍

開始一時卅分、審判金政(球)澤、川久保  
(壘)三氏、名古屋先攻、閉戦三時五分

名古屋 0201302000

阪急 000333023

◇バッテリー 名古屋 ノリス、牧野

阪急 丸尾、山田—松

セ 軍 9A—4 大東京

開始三時卅分、審判川久保(球)金政、澤  
(壘)三氏、大東京先攻、閉戦五時卅分

六四四

開始一時、審判川久保(球)澤、金政(壘)

三氏、大東京先攻、閉戦三時卅五分

金 鮫軍 401002000000

大東京 021001030000

◇バッテリー 大東京 櫻井—村川、筒

井、伊藤

金 鮫 木下、金子、古

谷—廣田

セ 軍 6—2 名古屋

開始四時五分、審判金政(球)川久保、澤

(壘)三氏、七軍先攻、閉戦五時五十分

名古屋 0000000020

セ 軍 0100000230

◇バッテリー 七軍 野口—北浦

名古屋 ノリス—ハリス

◇第一日(五月十六日)

阪急 7A—6 大東京

開始午前十一時、審判川久保(球)澤、金

政(壘)三氏、大東京先攻、閉戦一時二分

阪急 10001014A

大東京 2021010000

鳴海球場

◇第二日(五月廿三日)

セ 軍 13—5 大東京

開始一時七分、審判金政(球)澤、川久保

(壘)三氏、七軍先攻、閉戦五時廿五分

大東京 1022000000

セ 軍 1204213000

◇バッテリー 大東京 淺岡、石原—北

浦、近藤、櫻

井—村川

◇第三日(五月廿四日)

大東京 02000220A

名古屋 002000011

◇バッテリー 七軍 藤村—門前

名古屋 ノリス—ハリス

スポーツ—野球

◇第二日(五月十七日)

セ 軍 6A—5 大東京

開始十一時、審判川久保(球)澤、金政(壘)

三氏、大東京先攻、閉戦三時五十分

セ 軍 10101120A

大東京 100200110

◇バッテリー 七軍 野口—北浦

大東京 藤村—小川

◇第七日(五月廿五日)

阪急 6A—5 大東京

開始三時、審判川久保(球)金政、澤

壘球場

◇第一日(五月廿二日)

阪急 6A—5 大東京

開始三時、審判川久保(球)金政、澤

(壘)三氏、大東京先攻、閉戦四時四十八分

◇バッテリー 七軍 御園生—小川

阪急 北井—倉本

◇第六日(五月四日)

セ 軍 5—3 大東京

開始一時、審判澤(球)金政、川久保(壘)

三氏、七軍先攻、閉戦二時四十五分

大東京 1000100001

壘球場

◇第一日(五月十六日)

阪急 7A—6 大東京

開始午前十一時、審判川久保(球)澤、金

政(壘)三氏、大東京先攻、閉戦一時二分

大東京 2021010000

◇第二日(五月廿三日)

セ 軍 13—5 大東京

開始一時七分、審判金政(球)澤、川久保

(壘)三氏、七軍先攻、閉戦五時廿五分

大東京 1022000000

◇第三日(五月廿四日)

壘球場

◇第一日(五月廿二日)

阪急 6A—5 大東京

開始三時、審判川久保(球)金政、澤

(壘)三氏、大東京先攻、閉戦四時四十八分

◇バッテリー 七軍 御園生—小川

阪急 北井—倉本

◇第六日(五月四日)

セ 軍 5—3 大東京

開始一時、審判澤(球)金政、川久保(壘)

三氏、七軍先攻、閉戦二時四十五分

大東京 1000100001

壘球場

◇第七日(五月五日)

阪急 6A—5 大東京

開始三時、審判川久保(球)金政、澤

(壘)三氏、大東京先攻、閉戦四時四十八分

◇バッテリー 七軍 御園生—小川

阪急 北井—倉本

◇第五日(五月三日)

名古屋 11—8 阪急軍

開始一時卅分、審判金政(球)澤、川久保

(壘)三氏、名古屋先攻、閉戦三時五分

名古屋 0201302000



セ 軍 13A—2 名古屋  
開始一時、審判川久保(球)金政、澤(壘)  
三氏、閉戦二時三十分

セ 軍 420250000A  
一二三四五六七八九  
名古屋 0002000000 2—13A

◇バッテリー {セ軍 石原、野口—北浦  
名古屋 牧野、ノリス、鈴木  
ハリス—ハリス、鈴木

阪 急 10—2 大 軍  
開始三時六分、審判澤(球)金政、川久保  
(壘)三氏、阪急先攻、閉戦四時五十分

大 軍 10000001000  
一二三四五六七八九  
阪 急 4000114000 10—2

◇バッテリー {大 軍 御園生、若林—門  
前、佐藤  
阪急 北井—倉本

全日本職業野球選手権大會

待望された全日本職業野球選手権大會は  
東京巨人軍の第二回米岡遠征からの帰朝を  
待って此處に加盟全俱樂部参加の許に七月  
一日から五日間東京戸塚早大球場に於て華  
々しく輝く歴史的大争覇戦の幕を切て落し

◇バッテリー {巨人軍 前川、澤村、畑  
福—中山  
金 鯨 内藤、平川—廣田

開始三時十分、審判澤(球)金政、川久保  
(壘)三氏、七軍先攻、閉戦四時五十分

金 鯨 0002000001  
一二三四五六七八九  
七 軍 0006000200 8—3

◇バッテリー {金 鯨 平川、内藤、金子  
—廣田  
七 軍 淺岡、野口—北浦

◇第四日(七月五日)  
名古屋 13—3 阪 急

開始一時、審判澤(球)金政、川久保(壘)  
三氏、名古屋先攻、閉戦三時

阪 急 2010000000  
一二三四五六七八九  
名古屋 0310002421 13—3

◇バッテリー {阪急 北井、山田、丸尾  
—倉本  
名古屋 ハリス、松浦—

七 軍 9—8 大 軍  
開始三時三十分、審判川久保(球)金政、澤  
(壘)三氏、七軍先攻閉戦五時三十分

七月九日から五日間の大阪甲子園球場、七  
月十五日から五日間の名古屋山本球場と三  
都市で舉行、東京に於ては名古屋、大阪で  
は阪急、名古屋に於ては七軍とそれぞれ聯  
盟結成記念大會の覇権を握つた。

東京戸塚球場

◇第一日(七月一日)

名古屋 9—8 巨人軍

開始正午、審判澤(球)金政、川久保(壘)  
三氏、名古屋先攻、閉戦一時四十五分

巨人軍 030010130  
一二三四五六七八九  
名古屋 0052200000 9—8

◇バッテリー {巨人軍 澤、前川、畑福  
—中山、内堀  
名古屋 ノリス、松浦、  
牧野—ハリス

阪 急 5A—0 大 東京  
開始二時十分、審判川久保(球)金政、澤  
(壘)三氏、大東京先攻、閉戦三時三十分

阪 急 021011000A  
一二三四五六七八九  
大 東京 0000000000 0—5A

◇バッテリー {阪 急 北井—倉本  
大 東京 遠藤—村川

◇第二日(七月三日)

大 軍 6—2 金 鯨

開始一時七分、審判澤(球)金政、川久保  
(壘)三氏、大軍先攻、閉戦三時五分

金 鯨 0010000001  
一二三四五六七八九  
大 軍 000001122 6—2

◇バッテリー {金 鯨 内藤、古谷、金子  
—廣田  
大 軍 若林—小川

巨人軍 10A—1 大 東京  
開始三時三十分、審判川久保(球)金政、澤  
(壘)三氏、大東京先攻、閉戦五時

巨人軍 200062000A  
一二三四五六七八九  
大 東京 0001000000 1—10A

◇バッテリー {巨人軍 畑福、スタルヒ  
—中山、倉  
大 東京 遠藤、近藤—伊  
藤、筒井

◇第三日(七月四日)

金 鯨 4—2 巨人軍

開始一時、審判川久保(球)金政、澤(壘)  
金鯨先攻、閉戦二時三十分

巨人軍 0000200000  
一二三四五六七八九  
金 鯨 0000000211 4—2

◇バッテリー {大 軍 御園生、藤村—小  
川、門前  
七 軍 野口—北浦

開始一時三十分、審判金政(球)澤、川久保  
(壘)三氏、大東京先攻、閉戦二時三十分

金 鯨 020000000A  
一二三四五六七八九  
大 東京 0000000000 0—2A

◇バッテリー {金 鯨 古谷—廣田  
—遠藤、筒井  
大 東京 遠藤—筒井

阪 急 8—1 巨人軍  
開始三時、審判澤(球)川久保、金政(壘)  
阪急先攻、閉戦五時三十分

巨人軍 0000000001  
一二三四五六七八九  
阪 急 4002020000 8—1

◇バッテリー {巨人軍 畑福、澤村、前  
川—中山  
阪 急 北井—松本

◇第二日(七月十二日)  
七 軍 9A—1 金 鯨  
開始一時、審判澤(球)川久保、金政(壘)  
金鯨先攻、閉戦二時三十分

大阪甲子園球場

◇第一日(七月十日)

七 軍 8—1 大 軍

開始十一時、審判川久保(球)金政、澤(壘)  
三氏、七軍先攻、閉戦零時四十分

大 軍 0000001000  
一二三四五六七八九  
七 軍 2020001030 8—1

◇バッテリー {大 軍 若林、御園生—小  
川、石原、野口  
七 軍 淺岡、北浦

優勝戦(七月七日)  
名古屋 1—0 七 軍

開始三時、審判澤(球)金政、川久保(壘)  
三氏、名古屋先攻、閉戦四時三十分

七 軍 0000000000  
一二三四五六七八九  
名古屋 0001000000 1—0

◇バッテリー {七 軍 野口—北浦  
名古屋 松浦—ハリス







法	政	6	—	3	關	大	甲子園
法	政	4	A	—	3	關	學 甲子園
六	六	東	東	都	東	都	兩聯盟野球)
中	大	9	—	1	立	教	神 宮
早	大	23	A	—	2	國	大 戸 塚
六	七	日	大	12	—	5	立 教 神 宮
六	八	中	大	11	—	1	早 大 戸 塚

六	三	明	大	9	—	2	專 修 神 宮	
法	政	9	A	—	3	國	大 神 宮	
六	二	法	政	12	—	4	專 修 神 宮	
日	大	4	—	4	明	大	神 宮	
七	二	四	全	國	鐵	道	決	勝
名	鐵	2	A	—	1	東	鐵 神 宮	

### 第十一回國際オリムピック大會

第十一回國際オリムピック大會は昭和十一年八月一日から八月十六日までの十六日間、互つて中歐獨逸ベルリン市に於て開催された。我が日本からは陸上競技、水上競技、端艇、ホッケー、蹴球、籠球、ヨット拳闘、レスリング、體操、馬術、各選手が参加、陸上競技にあつては大會第六日三段跳に於て田島選手一六米の驚異的新記録をもつて、第九回アマステルダム大會の織田第十回羅府に南部と此處に三連覇をなし優勝、マラソンにあつては廿四ヶ年の宿願を達し孫選手が感激の日章旗をスタンド中央ホールに掲げる等の偉業をなせば水上軍にあつても羅府以來復讐に精進した米國軍を

見事最後に打棄り王座を揺がせず優勝し、他種目に於ても同様好成績を示し堂々凱旋した、今大會の最大收穫は何と言つても招致委員の次期第十二回國際オリムピック大會を東京に開催の事だ

### 陸上競技

#### 百 米

◇第一豫選(大會第二日)  
【第一組】1 ストランドベリ(瑞西)一〇秒七 2 吉岡隆徳(日) 3 ヘルゲル(和)一〇秒八 4 ダンナアヘル(南阿) 【第三組】1 ベヴェレン(和)一〇秒八 2 グリンベック

(南阿) 【第四組】1 ゲイネシユ(洪)一〇秒七 2 鈴木開多(日) 【第五組】1 マクフエー(加)一〇秒八 2 リンドグレン(瑞西) 【第六組】1 ツイニツセン(南阿)一〇秒七 2 ヒュムベル(加) 【第七組】1 メトカルフ(米)一〇秒八 2 シール(洪) 【第八組】1 ホルヒマイヤー(獨)一〇秒七 2 ホルンベルゲル(獨) 【第九組】1 ワイコフ(米)一〇秒六 2 スヴィーニイ(英) 【第十組】1 オセングル(和)一〇秒五 2 ヘニントン(英) 【第十一組】1 ヘンニ(瑞西)一〇秒七 2 ホームス(英) 【第十二組】1 オウエンス(米)一〇秒三 2 佐々木吉藏(日)

◇第二豫選(大會第二日)  
【第一組】1 ホルンベルゲル(獨)一〇秒五 2 オツセングル(和) 3 ワイコフ(米) 【第二組】1 オウエンス(米)一〇秒二 2 オリムピック並に世界新記録 2 ヘンニ(瑞西) 3 シル(洪) 4 吉岡隆徳(日) 【第三組】1 メトカルフ(米)一〇秒五 2 ヘニントン(英) 3 ヴァンヴェレン(和) 6 佐々木吉藏(日) 【第四組】1 ホルマイエル(獨)一〇秒五 2 スウィーニイ(英) 3 マクフエー(加) 4 鈴木開多(日)  
▼：百米第二豫選第二組吉岡第五コースオウエンス第二コースでスタートするや吉岡とオウエンスは共に並び他を二米ばかり

#### 二 百 米

◇第一豫選(大會第四日)  
【第一組】1 ヴエレン(和)二一秒四 2 ペック 3 谷口陸生(日) 【第二組】1 オツセンダルブ(和)二一秒七 2 シヤイン(獨) 3 ニン トン(英) 4 矢澤正雄(日) 5 落選 【第三組】1 オウエンス(米)二一秒一 【オリムピック新記録】2 オール(加) 3 ネットカーマン(獨) 【第四組】1 ヒュムベル(加)二一秒一 2 ヤーネス(洪) 3 リンナー(濠) 4 鈴木開多(日) 5 棄權

◇第二豫選  
【第一組】1 ヴエレン(和)二一秒七 2 トイニツセン(南阿) 3 ヒュムベル(加) 6 谷口陸生(日) 【第二組】1 オウエンス(米)二一秒一 【オリムピック新記録】2 マクフエー(加) 3 グラムベック(南阿) 【第三組】1 オール(加)二一秒二 2 ハンニ(瑞西) 3 パツカード(米) 【第四組】1 ロビインソン(米)二一秒二 【オリムピックタイ記録】2 オツセングル(和) 3 ネットケルマン(獨)  
▼：第一組出場の谷口スタートから、不調で八十米で既に遅れ百二十米を過る頃より完全に離されて最後の追走も及ばず第六位となり落選  
◇決勝(大會第五日)

#### 四 百 米

◇第一豫選(大會第六日)  
【第一組】1 ロバーツ(英)四八秒一 2 ダニエルソン(瑞西) 3 ローリング(加) 【第二組】1 アンリー(佛)四九秒二 2 クネニスキー(チェッコ) 3 ショアア(南阿) 【第三組】1 アラウ(英)四八秒八 2 ランチ(伊) 3 メツツナラウ(獨) 【第四組】1 スモールウツド(米)四九秒二 2 ライモン(加) 3 ベダス(洪) 6 窪田博芳(日) 7 落選 【第五組】1 ヴアル(米)四九秒一 2 アンダーソン(亞) 3 シドヴェイ(洪) 5 今井慶二(日) 7 落選 【第六組】1 プラツエツアツク(獨) 2 ランブリンカ(英) 3 ストラン ドヴァル(芬) 【第七組】1 ウイリアムス(米)四七秒八 2 フリツツ(加) 3 クリステンソン(丁) 4 相原豊次(日) 7 落選 【第八組】1 スカプインスキー(佛) 2 ヴアツケンフェルト(瑞西) 3 クルツアシュ(獨)  
◇第二豫選(大會第七日)  
【第一組】1 ロバーツ(英)四七秒七 2 スモールウツド(米) 3 ランチ(伊) 【第二組】1 ア

離してリードしたが六十米邊からオウエンスが速度の加はつた物凄いスピードで吉岡を見る見るうちに離れ續いてヘンニ、シールも進出し、オウエンス、吉岡を追走しゴール寸前に吉岡を抜いて遂に我等のホープ吉岡は意外の敗退をなす  
▼：第三組の佐々木は第四コースでスタート悪く最初から置かれ全コースを通じ快調を見せる事なく落選した。  
▼：第四組の鈴木は第二コース、ホルヒマイエル(獨)は第四コースでホルヒマイエルラストト好く四十米迄先頭、此の邊りより鈴木頑張つて先頭と並び猛烈に競つたが軟弱のユースの不利は遂に鈴木に全能力發揮を妨げ最後にホルヒマイエル(獨)と同時(英)に離され加奈陀のマクフエーと同時にゴールに飛込んで審判の判定を苦しめた結果審判寫眞の現象後三位を發表される事となり鈴木失格が發表茲に日本は第二豫選で全部落選意外の惨敗に終る  
◇決勝(大會第三日)  
1 オウエンス(米)一〇秒三 【オリムピック並に世界新記録】2 メトカルフ(米)一〇秒四 3 オツセングル(和)一〇秒五 4 ワイコフ(米) 5 ホルヒマイエル(獨) 6 シュエトランドベルグ(瑞典)



ラツエツアツク(獨)四八秒二二アラウン  
【英】3フリツツ(加)【第三組】1ウイリアム  
ス(米)四八秒二アンダーソン(亞)3ローリ  
ンガ(加)【第四組】1ルヴァル(米)四七秒六  
2スカブアンスキー(佛)3ランブリンダ  
(英)

◇決勝(大會第七日)  
1ウイリアムス(米)四六秒五2アラウン  
(英)四六秒七3ルヴァル(米)四六秒八4ロ  
バーツ(英)5フリツツ(加)6ローリン(加)

八百米  
◇第一豫選(大會第二日)  
【第一組】1エドワード(加)一分五三秒七  
2ホーンボステル(米)3フェルアハルト  
(白)4テメシユヴェリ(洪)【第二組】1ウイ  
リアムソン(米)一分五六秒二2ゴンヴェイ  
(加)3アト(新西蘭)4シェーブシエ  
(獨)【第三組】1マツケイブ(英)一分五四秒  
五2ベテ(佛)3ヨハネツソン(諸)4メルテ  
ンス(獨)6富江利直(日)落選【第四組】1パ  
ルクハウス(濠)一分五七秒七2シヤブ(洪)  
3ウツドラフ(米)4ハンドレー(英)【第五  
組】1ホウエル(英)一分五六秒二2ランチ  
(伊)3アイヒベルゲル(獨)4パラス(洪)6  
青地球磨男(日)落選

▼:第三組出場の富江前半の速いスピー  
ドに早くも落され殿りとなり一周を終り第  
二周に力走好く三人を抜いたが積勢を挽回  
するに至らず先頭と五十米遅れ六着となる  
▼:第五組の青地も善戦甲斐なくテセツ  
ケル(獨)グチャルスキー(波)等にはさまれ  
て遂に富江同様落選する

◇第二豫選(大會第三日)  
【第一組】1ウツドラフ(米)一分五二秒七  
2クハルススキー(波)3アンダーソン(亞)  
【第二組】1ウイリアムソン(米)一分五三秒  
一2バックハウス(濠)3エドワード(加)

◇決勝(大會第四日)  
1ウツドラフ(米)一分五二秒九2ランチ  
(伊)一分五三秒三3エドワード(加)一分五  
三秒六4クハルススキー(波)5ホーンボステ  
ル(米)9ウイリアムソン(米)

千五百米  
◇豫選(大會第五日)  
【第一組】1ニイ(瑞西)三分五四秒八2カ  
ニンガム(米)3ベツチエ(獨)【第二組】1  
ヴェンツケ(米)四分〇四秒2エーネス(英)  
3ラヴロツク(新西蘭)5中村清(日)落選  
【第三組】1ベツカリ三分五五秒六(伊)2シ  
ヤボ(洪)3エドワード(加)【第四組】1ゴア  
(佛)三分五四秒2サンロマニ(米)3シヤウ  
ンブルグ(獨)

【第一組】1レーヴェリ(南阿)一五秒二  
オツコナー(加)【第二組】1ボラード(米)一  
四秒七2ソーントン(英)【第三組】1フィ  
ン(英)一四秒七2村上正(日)【第四組】1  
スタレイ(米)一五秒二2ラヴェナス(亞)【第  
五組】1タウンス(米)一四秒五2ヴァグネ  
ル(獨)【第六組】1リッドマン(瑞典)一四秒九  
2カルダーナ

◇第二豫選(大會第五日)  
【第一組】1タウンス(米)一四秒一【オリ  
ムピック並に世界新記録】2リッドマン(瑞  
典)一四秒五3ソーントン(英)6村上正(日)  
落選【第二組】1フィン(英)一四秒五  
2ボラード(米)一四秒六3オツコナー(加)

◇決勝(大會第六日)  
1タウンス(米)一四秒二2フィン(英)  
一四秒四3ボラード(米)一四秒四4ソーン  
トン(英)5リッドマン(瑞典)6オツコナー  
(加)

三千米障壁  
◇決勝(大會第八日)  
1イソホロ(芬)九分三秒八【オリムピック  
並に世界新記録】2ツオミネン(芬)九分六  
秒八【オリムピック並に世界新記録】3デン  
ハルト(獨)九分七秒二【オリムピック並に  
世界新記録】4マナライネン(芬)九分九秒

◇決勝(大會第六日)  
1ラヴロツク(新西蘭)三分四七秒八【世界  
新記録】2カニンガム(米)三分四八秒四【世  
界新記録】3ベツカリ(伊)三分四九秒二【オ  
リムピック新記録】4ロマニ(米)三分五〇  
秒【オリムピック新記録】5エドワード(加)  
三分五〇秒四【オリムピック新記録】6コー  
ネス(英)

五千米  
◇豫選(大會第四日)  
【第一組】1セラナ(伊)一五分一秒2ジ  
1フェルト(丁)3ラツシユ(米)4ザルミ  
ネン(芬)5リーヴ(英)【第二組】1ヘツケ  
ト(芬)一五分一〇秒二2クローズ(英)3ノ  
ザ(波)4ヘルストロム(瑞典)5ハンセン  
(諸)田中秀雄(日)落選【第三組】1ヤン  
ソン(瑞典)一四分五四秒2村社講平(日)一  
四分五六秒六【日本新記録】3ワード(英)4  
レチネン(芬)5ザムベリ(米)

◇決勝(大會第七日)  
1ヘツケルト(芬)一四分二二秒二【オリム  
ピック新記録】2レヒチネン(芬)一四分二  
五秒八【オリムピック新記録】3ヤンソン  
(瑞典)一四分二九秒【オリムピック新記録】  
4村社講平(日)一四分三〇秒【オリムピック  
クタイ並に日本新記録】5ノヤ(波)6サル

【オリムピック並に世界新記録】5マニング  
(米)九分一秒二【オリムピック並に世界  
新記録】6ラルソン(瑞典)

▼:田中秀、今井兩選手出場せるも豫選  
で落選失格す  
五萬米競歩  
◇決勝(大會第五日)  
1ホイットロツク(英)四時間三〇分四一秒  
2シュワープ(瑞西)四時間三二分九秒二3  
ヴヘンコ(ラトヴィヤ)四時間三二分四二秒  
4ストルク(チエツコ)四時間三三分〇秒二  
5アルン(諸)四時間三四分四三秒二6ブラ  
イヴァイス(獨)四時間三六分四八秒四【以  
上オリムピック新記録並に世界最高記録】  
▼:此の種目初出場の奈良岡選手は五時  
間四分二七秒【日本最高記録】で惜しくも第  
十九位となる

マラソン(大會第九日)  
1孫基禎(日)二時間二九分一九秒二【オリ  
ムピック新記録】2ハーバー(英)二時間三  
一分二九秒二【オリムピック新記録】3南昇  
龍(日)二時間三一分四二秒4タミラ(芬)5  
ムイネン(芬)6コールマン(南阿)

四百米障壁  
◇豫選(大會第八日)  
【第一組】1米國(オウエンス、メトカル

【第一組】1エドワード(加)一分五三秒七  
2ホーンボステル(米)3フェルアハルト  
(白)4テメシユヴェリ(洪)【第二組】1ウイ  
リアムソン(米)一分五六秒二2ゴンヴェイ  
(加)3アト(新西蘭)4シェーブシエ  
(獨)【第三組】1マツケイブ(英)一分五四秒  
五2ベテ(佛)3ヨハネツソン(諸)4メルテ  
ンス(獨)6富江利直(日)落選【第四組】1パ  
ルクハウス(濠)一分五七秒七2シヤブ(洪)  
3ウツドラフ(米)4ハンドレー(英)【第五  
組】1ホウエル(英)一分五六秒二2ランチ  
(伊)3アイヒベルゲル(獨)4パラス(洪)6  
青地球磨男(日)落選

▼:第三組出場の富江前半の速いスピー  
ドに早くも落され殿りとなり一周を終り第  
二周に力走好く三人を抜いたが積勢を挽回  
するに至らず先頭と五十米遅れ六着となる  
▼:第五組の青地も善戦甲斐なくテセツ  
ケル(獨)グチャルスキー(波)等にはさまれ  
て遂に富江同様落選する

◇第二豫選(大會第三日)  
【第一組】1ウツドラフ(米)一分五二秒七  
2クハルススキー(波)3アンダーソン(亞)  
【第二組】1ウイリアムソン(米)一分五三秒  
一2バックハウス(濠)3エドワード(加)

◇決勝(大會第四日)  
1ウツドラフ(米)一分五二秒九2ランチ  
(伊)一分五三秒三3エドワード(加)一分五  
三秒六4クハルススキー(波)5ホーンボステ  
ル(米)9ウイリアムソン(米)

ミーン(芬)  
一萬米  
◇決勝(大會第二日)  
1サルミーン(芬)三〇分一五秒四2アス  
コラ(芬)三〇分一五秒六3イソホロ(芬)三  
〇分二〇秒二4村社講平(日)5バーンス  
(英)6ザバラ(亞)

低障壁  
◇豫選(大會第三日)  
【第一組】1コヴァツチ(洪)五三秒七2ホ  
スマンス(白)【第二組】1ノットアロツク  
(獨)五四秒七2シヨフイーロルド【第三組】  
1ホワイト(芬)五三秒四2ローリンガ(加)  
【第四組】1パターソン(米)五四秒四2ラブ  
エナス(亞)【第五組】1マンテイカス(米)五  
三秒八2バデイリア(伯)【第六組】1ハーテ  
イン(米)五三秒九2キユルテン(獨)

▼:第一組、第三組出場の福田時雄、市  
原正雄選手は共に第四位で落選  
◇決勝(大會第四日)  
1ハーティン(米)五二秒四2ローリンガ  
(加)五二秒七3ホワイト(比)五二秒八4パ  
ツターソン(米)5バデイテ(伯)6マンテイ  
カス(希)

高障壁  
◇第一豫選(大會第五日)







ヤース(米)

◆決勝(大會第四日)

1 ステフェンス(米) 二一秒五 【オリムピック並に世界新記録】 2 ヴラシエヴィツナ(波) 二一秒七 【オリムピック並に世界新記録】 3 クラウス(獨) 二一秒九 【オリムピックタイ記録】 4 ドリッゲル(獨) 5 ロザヤース(米) 6 アルプス(獨)

八十米障礙

◆豫選(大會第五日)

【第一組】1 テストニ(伊) 二一秒二 【テイヘン(英)】 3 ランティスカ(希) 【第二組】1 ウエツプ(英) 二一秒八 2 エツケルト(獨) 3 ピケット 【第三組】1 テイラー(加) 二一秒二 オブライエン(米) 3 シュトイエル(獨) 【第四組】1 シヤラー(米) 二一秒八 2 ヴアラ(伊) 3 プラーケテル(和)

◆第二組出場の我が三井嬢は第二コースを走りスタート同時に出了が第一ハードルから遅れ一着のウエツプ(英)との差四米で四着となり落選す

◆第二豫選(大會第五日)

【第一組】1 ヴアラ(伊) 二一秒六 【世界タイ並にオリムピック新記録】 2 テイラー(加) 二一秒七 【オリムピックタイ記録】 3 シュトイエル(獨) 二一秒七 【オリムピックタイ記録】

イ記録【第二組】1 プラーケテル(和) 二一秒八 2 エツケルト(獨) 3 シヤラー(米)

◆決勝(大會第六日)

1 ヴアラ(伊) 二一秒七 【オリムピックタイ記録】 2 シュトイエル(獨) 二一秒七 【オリムピックタイ記録】 3 テイラー(加) 二一秒七 【オリムピックタイ記録】 4 テストニ(伊) 5 プラーケテル(和) 6 エツケルト(獨)

四百米續走

◆豫選(大會第八日)

【第一組】1 米國(アランド、ロザヤース、ロビンソン、ステフェンス) 四七秒一 2 加奈陀 3 和蘭 【第二組】1 獨逸(アルプス、クラウス、ドツリンケル、テールフェルト) 四六秒四 【オリムピック並に世界新記録】 2 英國、伊太利

◆決勝(大會第九日)

1 米國(プラーザ、ロザヤース、ロビンソン、ステフェンス) 四六秒九 2 英國 四七秒六 3 加奈陀 四七秒八 4 伊太利 5 和蘭

◆獨逸は第三走者バトンを落し中止す

◆決勝(大會第二日)

1 テイリフライシエル(獨) 四五米一四 【オリムピック並に世界新記録】 2 ルイゼクリューゲル(獨) 四三米二九 3 カジネフスカ

(波) 四一米八〇 4 バウマ(獨) 5 山本定子(日) 四一米四五 6 エメルハルト(獨) ◆山本嬢は最初好調に四十米ラインを越しリードを續けたが各國選手の立直に追撃を許し遂に四一米八〇で三位のまゝベストシックスに入り決勝最後の投擲に四一米四五の日本記録を出して五位となる

◆決勝(大會第四日)

1 マウエルマイエル(獨) 四七米三六 【オリムピック並に世界新記録】 2 ヴイツウナ(波) 四六米二二 【オリムピック並に世界新記録】 3 モレンハウエル(獨) 三九米八〇 4 中村コウ(日) 三八米二四 5 峯島秀(日) 三七米三五 6 ルンドストレーム(瑞典)

◆中村、峯島兩嬢の記録は共に豫選の第三投目に投げたもので、ベストシックスに入つてからは中村は二回目に三二米七二後二回はフアウルで三位入賞のチャンスな失つた、峯島もベストシックスに入つてから三五米七三、三二米七二、三三米九八と記録が伸びず惜くも五位にとゞまる

走高跳

◆決勝(大會第九日)

1 ザツク(洪) 一米六二 2 オダム(英) 一米六〇 3 カウン(獨) 一米六〇 4 ラトエン(獨) 一米六〇

米五八六カター(濠) 一米五五六 ロザヤース(米) 一米五五五 ヨエス(和) 一米五五五 ◆我が西田順子選手は一米四〇を三回目に跳んだが五〇を失敗し遂に等外となる尚四者共に一米五五を跳び三者共に一米六〇を跳び三者順位決定を行つた結果ザツクは一米六〇を跳び一等オダム、カウン共に落し六〇に下げ兩者落し五八をオダム跳んで二位に入る、四等は二名、六等は三名である

各國陸上選手權獲得數

〔國名〕	〔得點〕	〔選手權〕
1 米國	一五五	一二
2 芬蘭	六九	三
3 獨逸	五七	三
4 日本	四三	二
5 英國	三六	二
6 加奈陀	二二	〇
7 伊太利	一一	〇
8 瑞典	一一	〇
9 和蘭	一一	〇
10 瑞西	九	〇
11 新西蘭	六	〇

スポーツ—第十一回國際オリムピック大會

女子の部

12 諾威	五	〇
13 波蘭	五	〇
14 比島	四	〇
15 ラトビア	四	〇
16 濠洲	四	〇
17 亞爾然丁	四	〇
18 チエツコ	三	〇
19 希臘	二	〇
20 希國	二	〇
21 洪牙利	一	〇
22 南阿	一	〇
1 獨逸	四五	二
2 米國	四三	二
3 波蘭	一四	〇
4 伊太利	一二	〇
5 英國	一〇	〇
6 加奈陀	八	〇
7 日本	七	〇
8 日蘭	六	〇
9 洪牙利	四	〇
10 和蘭	三	〇
11 瑞典	三	〇
12 濠洲	一	〇

水上競技

百米自由型

◆第一豫選(大會第八日)

【第一組】1 フイツク(米) 五七秒七 【オリムピック新記録】 2 チツク(洪) 3 ガアリエルソン(英) 【第二組】1 遊佐正憲(日) 五七秒八 【オリムピック新記録】 2 ハイランド(米) 3 ケンドール(濠) 【第三組】1 ウイリアムス(英) 六〇秒七 2 アジャルテイン(比) 3 シェワルツ(獨) 【第四組】1 新井茂雄(日) 五七秒七 【オリムピック新記録】 2 フイツク(獨) 3 フイツク(獨) 【第五組】1 田口正治(日) 五七秒五 【オリムピック新記録】 2 クリステンセン 【オリムピック新記録】 3 クリステンセン 【第六組】1 ウイルフア(獨) 2 ユーゴ(獨) 3 ハイベル(獨) 3 オビアイ(比) 【第七組】1 リンデグレン(米) 五八秒八 2 アエイネメス(洪) 3 ヒータネン(芬)

◆準決勝(第八日)

【第一組】1 田口正治(日) 五七秒九 【オリムピック新記録】 2 チツク(洪) 3 フイツク(米) 【第二組】1 遊佐正憲(日) 五七秒五 【オリムピック新記録】 2 新井茂雄(日) 五七秒







デフオンズ(比)3ハイナ(獨)

◇準決勝(第十四日)

【第一組】1小池禮三(日)一分四四秒五  
【オリムピック新記録】2バルケ(獨)3伊藤  
三郎(日)二分四五秒五4ケイ(米)【第二組】  
1葉室鐵夫(日)二分四三秒四【オリムピック  
新記録】2ヒギンス(米)二分四四秒【オリ  
ムピック新記録】3ジータス(獨)二分四四  
秒八【オリムピック新記録】4イルデフオン  
ズ(比)二分四六秒六ベストフオース

◇決勝(第十五日)

1葉室鐵夫(日)二分四二秒五【オリムピック  
新記録】2ジータス(獨)二分四二秒九【オ  
リムピック新記録】3小池禮三(日)二分四  
四秒二【オリムピック新記録】4ヒギンス  
(米)二分四五秒二5伊藤三郎(日)二分四七  
秒六6バルケ(獨)二分四七秒八

▼：スタートでは日本三選手滑り二十米  
でジータス、ヒギンス一線に並び接戦を續  
けるも、葉室力強いストロークで出て、五  
十米ターンでは葉室トップ、次いでヒギン  
ス、ジータス共にタツチの差で續き、小池  
は一米の差で續く、葉室まず／＼出で百米  
のターンでは一分一四秒八で他を一米離し  
悠々たる處を見せる、ジータス、ヒギンス  
小池の三者殆んど同時にターン、ヒギンス

不調で二米遅れ、百五十米をターン、葉室  
百七十米邊で疲勞氣味となり、二位のジ  
ータスのスタート物凄くぐん／＼葉室を追泳  
するが葉室よく抑へてタツチの差でゴール  
小池は最後に力泳鋭くジータスに追つたが  
及ばず三位、續いてヒギンスゴール、伊藤  
はラストスタートよくバルケを抜いて五位  
に喰込む

八百米總泳

◇準選(第十日)

【第一組】1フランス(ナカツシユ、タリ  
カヴァレロ、タリス)九分二一秒七2カナ  
ダ3ブラジル【第二組】1アメリカ(ハッハ  
ー、ギルマン、ウォルフ、メデイカ)九分  
一〇秒四2ハンガリー3イギリス【第三組】  
日本(遊佐、杉浦、田口、新井)八分五六秒  
一【オリムピック新記録】2ドイツ3スエー  
デン

◇決勝(第十一日)

1日本(遊佐、杉浦、田口、新井)八分五  
一秒五【オリムピック新記録】2米國(フラナ  
ガン、マシオニス、ウォルフ、メデイカ)  
九分〇三秒3ハンガリー九分一二秒四4フ  
ランス九分一八秒二5ドイツ九分一九秒6  
カナダ八分二一秒五  
▼：遊佐スタート好く直ちに先頭を切り

飛板飛込

◇決勝(第十日、第十一日)

1デゲナー(米)一六三點五七(規定飛七四  
點八六、選擇飛八八點七一)2ウエイン(米)  
一五九點五六(規定飛七二點四七、選擇飛  
八七點〇九)3グリーン(米)一四六點二九  
(規定飛六八點六四、選擇飛七七點六五)4  
柴原恒雄(日本)一四四點九二(規定飛七〇  
點〇二、選擇飛七四點九〇)5ワイス(獨)  
一四一點二四(規定飛六六點七一、選擇飛  
七四點五三)6ドレツセル(獨)一三七點九  
八(規定飛六二點三一、選擇飛七五點六八)  
8小柳富男(日)一三三點〇七(規定飛六三  
點二九、選擇飛六九點七八)

高飛込

◇決勝(第十四日、第十五日)

1ウエイン(米)一一三點五八(規定飛四六  
點六五、選擇飛六六點九三)2ルート(米)

一一〇點六〇(規定飛四四點〇三、選擇飛  
六六點五七)3シュトルク(獨)一一〇點三  
一(規定飛四四點五三、選擇飛六五點七八)  
4ヴァイス(獨)一一〇點一五(規定飛四六  
點〇九、選擇飛六四點〇六)カーツ(米)一  
〇八點六一(規定飛四一點七一、選擇飛六  
六點九〇)6柴原恒雄(日)一〇七點四〇(規  
定飛四三點四九、選擇飛六三點九一)8小  
柳富男(日)九四點五四(規定飛三八點八一、  
選擇飛五五點七三)

水球

我がチームは力量の差いかんともしたがた  
く豫選に敗退した

◇豫選(大會第八日)

チエツコ	4	1	3	0	日	本
佛	8	3	5	0	日	本
獨	13	8	5	0	日	本
		0	1	1		

◇優勝國

1 洪牙利 2 獨逸 3 白耳義

女子競技

百米自由型

◇豫選(第八日)

スポーツ—第十一回國際オリムピック大會

【第一組】1 マステンプロエク(和)一分六  
秒四2 アレント(獨)3 ロールス(米)【第二  
組】1 オウテン(和)一分八秒一 2 テラシイ  
(獨)3 マツキーン(米)【第三組】1 キヤンペ  
ル(亞)一分六秒八 2 ヴグネル(和)3 アセベ  
ド(亞)【第四組】1 フェーゲル(丁)一分九秒  
六 2 小島一枝(日)一分一秒【日本新記録】  
3 ヴグナム(英)【第五組】1 ラツプ(米)一分九  
秒二 2 レンケイ(洪)3 ストーン(加)

◇準決勝(第九日)

【第一組】1 マステンプロエク(和)一分六  
秒四【オリムピック新記録】2 アーレント  
(獨)3 ロールス(米)4 ヴグネル(和)ベスト  
フオース【第二組】1 キヤンベル(亞)一分六  
秒六【オリムピック新記録】2 オウテン(和)  
一分六秒七【オリムピック新記録】3 マツキ  
ーン(米)

▼：我が小島嬢は第一組に出場したが、  
マステンプロエク、アーレントの兩強豪に  
挟まれスタート悪く五十米のターンで二米  
遅れ、最後頑張つたが如何せん七着で落選

【第一組】1 フェーゲル(丁)五分二八秒  
【オリムピック新記録】2 ウインガード(米)  
3 グウティンホ(伯)【第二組】1 ヴグネル  
(和)五分五七秒五 2 ヴテイ(洪)【第三組】1  
フレデリックセン(丁)五分三九秒五 2 チム  
メルマン(和)3 フルーレ(佛)4 守岡初子  
(日)五分五一秒【ベストフオース】で入選【第  
四組】1 マステンプロエク(和)五分三八秒  
六 2 シュラメツコフア(チエツコ)3 小島一  
枝(日)五分五〇秒【日本新記録】

◇準決勝(第十四日)

【第一組】1 マステンプロエク(和)五分四  
〇秒 2 ウインガード(米)フレデリックシ  
ン(丁)4 ヴグネル(和)【第二組】1 フェー  
ゲル(丁)五分三三秒七 2 クウティンホ(伯)3



小島一枝(日)五分四三秒五【日本新記録】4  
ペテイ

▼第一組に出場した守岡嬢は力泳大いに  
つとめ、五分四九秒一の日本新記録を出  
したが及ばず五着となり落選した

◇決勝(第十五日)

1 マステンプロエク(和)五分二六秒四【オ  
リムピック新記録】2 フェーゲル(日)五分  
二七秒五【オリムピック新記録】3 ウィンガ  
ード(米)4 ペテイ(日)五分三二秒二【ク  
テイホ(伯)五分三三秒二】6 小島一枝(日)  
五分四三秒一【日本新記録】

▼小島嬢スタートからラストを続け三  
百米すぐる頃、フレデリクセンに追いつき  
兩者猛烈に競り合つてワグネルを制し、日  
本新記録で堂々女子選手として自由型最初  
の入賞した

二百米平泳

◇豫選(第八日)

【第一組】1 セーレンガン(日)三分六秒一  
【オリムピック新記録】2 イスベルグ(瑞典)  
3 ワールベルグ(和)4 ヘルツネル(獨)【第  
二組】1 ゲネンゲル(獨)三分三秒【オリムピ  
ック新記録】2 カスタイン(和)3 壺井宇乃  
子(日)三分一五秒 4 ラツパライネン(芬)  
【第三組】1 前畑秀子(日)三分一秒九【オリ

ムピック新記録・長水路世界最高記録】2  
クリステンセン(日)3 ゴムス(英)【第四組】  
1 ヴオルシュラーゲル(獨)三分八秒五【ス  
トリレイ(英)】3 レンク(伯)

◇準決勝(第九日)

【第一組】1 前畑秀子(日)三分三秒一【オ  
リムピック新記録】2 セーレンセン(日)三  
分六秒【オリムピック新記録】3 ヘルツネル  
(獨)4 ワールベルグ(和)ベストフオース  
【第二組】1 ゲネンゲル(獨)三分二秒八【オ  
リムピック新記録】2 カスタイン(和)3 スト  
レイ(英)

▼我が壺井嬢は三分一八秒四のタイム  
で六着となり惜しくも落選した

◇決勝(第十一日)

1 前畑秀子(日)三分〇三秒六【オリムピ  
ック新記録】2 ゲネンゲル(獨)三分〇四秒  
二【オリムピック新記録】3 セーレンセン  
(日)三分〇七秒八 4 ヘルツネル(獨)三分〇  
九秒五 5 ワールベルグ(和)三分〇九秒五 6  
ストレイ(英)三分〇九秒七

▼スタートは同時でワールベルグや、  
出たが、ゲネンゲル、前畑漸次トップに出  
て五十米では前畑タッチだけ先んじ、百米  
では一ストロークリード、百五十米で再び  
タッチとなり前畑依然リードしたが、それ

よりゲネンゲル力泳し、猛烈な競り合ひ、  
百八十米邊でゲネンゲルはラストスパート  
鋭く前畑を追ひ差は僅か半米となつたが前  
畑よく頑張つてそのまゝゴール、こゝに我  
が女子選手最初の覇権を獲得すると共に、  
前畑の宿願は見事達せられた

百米背泳

◇豫選(第十二日)

【第一組】1 センフ(和)一分一七秒一【オ  
リムピック新記録】2 モートリツヂ(米)3  
アランストローム(日)4 ハーディング(英)  
【第二組】1 マステンプロエク(和)一分一九  
秒一 2 フラムトン(英)3 プリツヂ(米)4  
ケルクメステル(和)

◇決勝(第十三日)

1 センフ(和)一分一八秒九 2 マステンプロ  
エク(和)一分一九秒二 3 プリツヂ(米)一  
分一九秒四 4 モートリツヂ(米)一分一九秒  
六 5 アランストローム(日)一分二〇秒四 6  
フラムトン(英)一分二〇秒六

四百米背泳

◇豫選(第十二日)

【第一組】1 米國四分四七秒一 2 英國3 加  
奈陀 4 洪牙利【第二組】1 和蘭四分三八秒一  
2 獨逸3 丁抹 4 日本(小島、守岡、古田、  
竹村)四分五八秒一

▼日本三コース、トップの小島は前半  
遅れたが後半張り殆んど同時に引継いだ  
が次の守岡は四米離され、更に古田は先頭  
のオランダに一三米抜かれ、アンカーの竹  
村に至つて遂に廿五米の大差で第四位とな  
る

決勝(第十四日)

1 和蘭(セルバツハ、ワグネル、デンウー  
テン、マステンプロエク)四分三六秒【オ  
リムピック新記録】2 獨逸(ハルプスグート  
ローマル、シユミツツ、アレント)四分三  
六秒八【オリムピック新記録】3 米國四分四  
〇秒三 4 洪牙利、加奈陀四分四八秒 6 英國

飛板飛込

◇決勝(第十二日)

1 ゲストリング(米)八九點二七二ロウルス  
(米)八八點三五三 3 ホイントヒル(米)八二點  
三六四 4 ウメルラング(獨)七八點二七五 イ  
エンシユヨルダン(獨)七七點九八六 大澤政  
代(日)七三點四九七 八 インツエ(獨)8 香野  
夫佐子(日)七〇點二七

▼大澤嬢は涙ぐましい奮闘振りに七三  
點四九で堂々六位に入賞、前羅府大會に日  
本が初参加して鎌倉悦子嬢が第七位になつ  
て以来初めての入賞である、又香野嬢は中  
耳炎を押して出場したが惜しくも第八位と

なつた

高飛込

◇決勝(第十三日)

1 ホイントヒル(米)三三點九三二 2 ダン(米)  
三三點六三三 3 ケーレル(獨)三三點四三三 4 大  
澤禮子(日)三二點五三三 5 ギリセン(米)三〇  
點四七六 6 香野夫佐子(日)三〇點二四四 大澤  
政代(日)二八點一

▼我が三嬢は米獨の強豪に伍して奮闘  
を續けた、前回の覇者ホイントヒル(米)夫  
人は流石に毎回鮮やかなフオームを見せて  
またも優勝し我が大澤禮子嬢は確實な技術  
を見せて米のギリセンを抑へ、獨のケーレ  
ルに迫つたが惜しくも入賞を逸し第四位と  
なつた

各國競泳選手權獲得數

(水球、飛込を除く)

國名	得點	選手權
1 日本	六一	三
2 米國	三九	二
3 洪牙利	一〇	一
4 獨逸	一〇	一
5 佛蘭西	四	〇
6 英國	二	〇

女子の部

1 和蘭	三六
2 日本	七
3 獨逸	七
4 米國	一七
5 丁抹	一九
6 亞爾然丁	一一
7 英國	五
8 加奈陀	三
9 洪牙利	二・五
10 伯國	二

拳闘

躍進目覚しい我が拳闘軍はアマム級の  
橋岡俊平選手が準決勝にセテルベルグ(瑞  
西)に判定で敗れたが第五位に入りフライ  
級の中野千代人、また第二回戦に出場、日  
本選手の成績及び優勝者次の如くである

◇第一回戦

フライ級

中野(日) 判定 サアオライネン(芬)  
▼中野正確な左ジャフ左フック右スト  
レートの連打で終始リードしホイントでは  
明に中野が勝つてゐたが意外にも判定はサ  
アオライネンに下り、日本側抗議を申出で



審議の結果中野の判定勝となる

- ◇フェザー級
    - アリエタ(ウルグワイ) 判定 宮間(日)
    - ライト級
      - 永松(日) 反則 チェトリ(チエツコ)
      - バンナム級
        - 橋岡(日) 判定 クンメル(瑞西)
        - ウエルター級
          - スヴィオ(芬) 判定 李(日)
    - ◇第二回戦
      - フライ級
        - カルロマーニヨ(亞) 判定 中野(日)
- ▼:カルロマーニヨは老獪に試合を進め僅少の差で判定を得中野無念の敗退をなす尚バンナム級第二回に於て橋岡選手は不戦勝となる
- ◇準々決勝
    - バンナム級
      - セテルベルグ(瑞西) 判定 橋岡(日)
      - 各クラス優勝者
        - フライ級
          - 1カイゼル(獨) 2マツタ(伊) 3ローリー(米)
        - バンナム級
          - 1セルゴ(伊) 2ウイリソン(米) 3オルチス(メキシコ)

に於てカールソン(瑞典)に敗る日本選手の戦績及び優勝者次の如し

- ◇バンナム級
  - カロウ(英) 判定 丹波(日)
- ▼:丹波最初の立術でカロウの強方に壓せられ二度危機に陥つたが次の寝技立技では必死の攻防を續けてカロウを乗せしめず健闘したが結局力負けの體で敗る
- ◇フェザー級
  - 水谷(日) 判定 スピーヘル(瑞西)
  - ライト級
    - 風間(日) フォール プルテツク
    - ウエルター級
      - フォツクス(英) 判定 増富(日)
    - フライ級
      - 1リースマイル二回戦
      - ライト級
        - 風間(日) 判定 トーツ(エストニア)
        - ウエルター級
          - ジュールラン(佛) フォール 増富(日)
          - ライト級
            - エール(獨) フォール 風間(日)
            - フェザー級
              - ベツチグルル フォール 水谷(日)

レスリング

大會第二日から獨逸ホールに於て開催、フライスタイルに於て我が風間、丹波、増富、水谷四選手健闘、五位風間、六位水谷と入賞しグレコローマン型に於ては試金石として出場の吉岡選手不戦一勝を得二回戦

- ◇フェザー級
  - 1キヤサノヴァス(亞) 2カツターオール(南阿) 3マイナー(獨)
  - ライト級
    - 1ハラング(洪) 2ステプロフ(エストニア) 3アグレン(瑞典)
    - ウエルター級
      - 1スプイオ(芬) 2ムーラツハ(獨) 3ペテルセン(丁抹)
      - ミドル級
        - 1デスポ(佛) 2テイレル(諸) 3ヴィラレアル(亞)
        - ライトヘヴィ級
          - 1ミシエロー(佛) 2フォークト(獨) 3リジリオネ(亞)
          - ヘヴィ級
            - 1ルンゲ(獨) 2ラウエル(亞) 3ニールセン(諸)

◇フリースタイル四回戦

- ◇フェザー級
  - ヨソソ(瑞典) 判定 水谷(日)
  - ライト級
    - 風間(日) 判定 ストロング(米)
  - バンナム級
    - 1ソンボリ(洪) 2フラツド(米) 3ヘルベルト(獨)
    - フェザー級
      - 1ヒーラヤメキ(芬) 2ミラード(米) 3ヨソソ(瑞典) 6水谷(日)
      - ライト級
        - 1カルパチイ(洪) 2エールル(獨) 3イイラヤキイ(芬) 5風間(日)
        - ウエルター級
          - 1レウイス(米) 2アンダーソン(瑞典) 3キレシ(土耳其)
          - ミドル級
            - 1ポアルヴ(佛) 2ヴォヴィラ(米) 3キレシ(土耳其)
            - ライトヘヴィ級
              - 1フリタル(瑞典) 2ネオ(エストニア) 3ジヘル(獨)
              - ヘヴィ級
                - 1ベルサル(エストニア) 2クラブス(チエ)

ツコ) 3ニストロエム(芬)

- ◇グレコローマン型一回戦
  - ▼:吉岡秀一(日)選手は不戦一勝を得る
  - グレコローマン型二回戦
    - カールソン(瑞典) 判定 吉岡(日)
  - ▼:カールソンの執拗なる攻撃を吉岡好く防ぎホールは免れたが結局毎回敵にリードされて惨敗を喫す
  - グレコローマン型優勝者
    - バンナム級
      - 1レーリンス(洪) 2スヴェンソン(瑞典) 3ブレन्दル(獨)
      - フェザー級
        - 1エルカン(土耳其) 2カールソン(瑞典) 3ライニ(芬)
        - ライト級
          - 1コステラ(芬) 2ヘルダ(チエツコ) 3ヴァエリ(エストニア)
          - ウエルター級
            - 1スヴェドベルグ(瑞典) 2シエルフェル(獨) 3フキールター(芬)
            - ミドル級
              - 1ヨハンソン(瑞典) 2レウヴァイケルト(獨) 3パラタス
              - ライトヘヴィ級
                - 1ガテイエル(瑞典) 2ビータリス(ラトビ)

籠球

此の種目も我が國は初出場、第三回戦メキシコと對戦惜しくも敗れたが、籠球日本の眞價を示した、参加チーム多数の爲豫定より早めて大會第七日から籠球場に於て舉行、主なる成績次の如し

イア) 3ネオ(エストニア)	佛國
◇ヘヴィ級	1バルサル(エストニア) 2ニイマン(瑞典)
3ホルンフィシエル(獨)	土耳其
◇第一回戦	エストニア 34-29
智 利	20-16
瑞 西	25-18
日 本	35-19
◇第二回戦	中華民國
比 島	32-21
ウ 島	36-23
瑞 西	25-13
智 利	20-18
加 奈	39-23
伊 太	29-21
米 國	52-28
	獨逸
	中華民國
	埃及
	伯國
	ラトビア
	中華
	獨逸
	エストニア



日本 45 (2223 | 2013) 33 波蘭

第三回戰

加奈陀 27-0 瑞西
ウルガイ 28-19 チェッコ
波蘭 33-25 伯國
メキシコ 28 (1612 | 148) 22 日本

前半劈頭日本細かく攻め七對零とリードしたがメキシコの追撃好く逆にリードされ後半戦に入り日本軍追撃を續けその差を三點に縮めたが遂に廿八對廿二で日本敗る尙米國、ハルは不戦勝となる

準決勝

米國 25-10 メキシコ
比島 32-14 伊太利
五六位決定戰
比島 33-23 ウルガイ

三四位決定戰

メキシコ 26-12 波蘭

決勝戰(大會)

米國 19 (415 | 44) 8 加奈陀

に追詰めたが三着となり望みは敗者戦に、これも二着で期待された活躍は見られなかつた

ヘアにあつては豫選五着、敗者戦四位で決勝に臨めず、我がチームの成績及優勝クル1次の如くである

エイト豫選(大會第十二日)

第一組 1米國六分〇秒八(英國) 3佛國 4日本六分一二秒三(チェッコ)

スタートが協定で艇首を揃へる爲艇尾が凡そ十尺も前にあり四八の急調で飛出してトツプを切り三百米では二位の英國を半艇身離しリードしたが千百米邊から英、米共にスパートして我が艇を追抜き、以後次第に差が増し千五百米で水が入り萬事休止惜くも敗る

敗者戦(大會第十三日)

第一組 1デンマーク八分九秒一 2日本八分一四秒四

優勝クル

1米國 2伊太利 3獨逸

フオア豫選(大會第十一日)

第一組 1和蘭六分五九秒二 伯國 3日本 4丁抹

敗者戦(大會第十三日)

第二組 1伊太利六分三五秒二 日本六分四

スポーツ—第十一回國際オリムピック大會

蹴球

宿望達しオリムピックの檜舞臺を踏んだ蹴球團は第一戦北歐の勇士瑞典を仆し第二回戦に覇者伊太利と顔が合ひ八對零で敗れ世界四強の列に雄圖は挫かれたとは云へ最後の一瞬まで祖國の名譽の爲に血みどろの試合を續けた事は賞讃に値ひする主なる成績次の如し

第一回戰(大會第三日)

Table with 4 columns: Country, Goals, Points. Rows include England, Belgium, Japan, and others.

ベルギー、埃國戰に於て誤審問題から試合無勝負の宣告に端を發し遂にベルギーの再

試合拒否から失格宣告を受ける

三位決定戰(大會第十三日)

諾威 3 (12 | 2) 2 波蘭

決勝戰(大會第十三日)

伊太利 2 (1010 | 0010) 1 埃國

漕艇

漕艇オリムピック代表にはエイト帝大クルー及びフオア早大クルーが選拔され國産艇をもつてエイト代表は六月五日早くもベルリン郊外グリウナウ・オリムピック漕路に於て練習を試み直ちに英京ロンドンに乘込みヘンリー・レガッタの最大チャレンザ・レース、マローレガッタに出場、決勝に於てタイムズ・ロイニング・クラブと顔が合ひ一艇身半の差を付けて堂々優勝意氣昂らかにオリムピックに臨んだが豫選第一組に出漕第四位となり望みは敗者レースに懸けられたが敗者戦に於てデンマークに敗れ決勝出場権を失ふ

フオアもエイト同様第一豫選に於て力漕また力漕ゴール間際で一着和蘭を一艇身半

二秒三(差一艇身半) 3 ユーゴ 4 伯國

優勝クル

1獨逸 2英國 3瑞西

ヘア(舵付)豫選(大會第十二日)

第二組 1佛國七分三八秒四 2丁抹 3瑞西 4ユーゴ 5日本 6和蘭

日本に好く佛國と並びトツプを切つたが三百米邊で佛國に一艇身遅れ丁抹、瑞西と並び五百で丁抹、瑞西に一艇身抜かれ最後の力漕も空しくユーゴにも抜かれて第五位となる

敗者戦(大會第十三日)

第二組 1伊太利八分五〇秒二 ユーゴ 3ポーランド 4日本九分六秒三

優勝クル

1獨逸 2伊太利 3丁抹 4舵無 1獨逸

丁抹 3亞爾然丁

優勝スカル

1シエフェル(獨) 2ハーゼンエール(埃) 3パウウ(米) 復 1英國 2獨逸 3ポーランド

ヨット

從來單なる歐米の模倣として顧みられなかつた我がヨット界は近年著しく發展し今

回オリムピックにスター級(財部、三井)ヨ

レ級(藤村)が多なる期待裡に出場スター級第十一位、ヨレ級第廿二位の成績を得た我が代表出場の成績及び優勝者次の如し

モノダイブ・レース決勝(大會第十日) 1ヘラン(和)一六三點二クログマン(獨)一五〇點三スコット(英)一三一點二藤村(日)五五點

スター級決勝(大會第十日)

1獨逸八〇點 2瑞典六四點 3和蘭六三點 11日本(財部、三井)一九點

六米級決勝(大會第十一日)

1英國六七點 2諾威五三點 3瑞典六二點

八米級決勝(大會第十一日) 1伊太利五五點 2諾威五三點 3獨逸五三點

ホツケ

前羅府大會には日本、印度、米國の三ヶ國出場であつたが本大會は十四ヶ國の多數参加を見試合はリーグ、システムに據り、大會第二日目の八月二日から十日の九日間互つて舉行、我がホツケーチームは歐洲初出場にもか、はらず好戦第一戦見事強豪米國を六對一で破り第二戦に印度には敗れたりとは云へ敗者慰安戦に於て歐洲の雄丁







となり、岩橋大尉は九番目に出場障碍四個を落し減點十九點廿五と計算され、前大會の優勝者西大尉は卅七番目に出場したが障碍四個を落し飛び直し一個で減點廿點七五と計算されその成績は岩橋大尉より悪く結局我が馬術團は敗退した

◇綜合馬術成績

▼個人

- 1 スツツベンドルフ大尉(獨)三七點七(ヌルミ號) 2 トムソン大尉(米)九九點九(ジエニイ・カンブ號) 3 ルンデイング大尉(丁)一〇二點二(ヤソン號) 4 グランヂヤン(丁)5 エンドロデー少佐(洪)6 リッセル大尉(獨)

▼團體

- 1 獨逸 2 波蘭 3 英國
◇優勝國賞典(大障碍飛越競技)成績
1 ハツセ中尉(獨)四點(トラ號) 2 ランク中尉(ルー・マニア)四點(デルフイス號) 3 プラツタイ大尉(洪)八點(セローエ號) 4 ヴァンデル・メルシユ大尉(白)八點(イブラヒム號) 5 ラグース大尉(米)八點(ダゴタ號) 6 ヒザール大尉(佛)一二點(バガテル號) 14 岩橋大尉(日)一五點二五(フアレーズ號) 20 西大尉(日)二〇點七五(ウラヌス號) 30 稻波大尉(日)三九點(朝富士號)

テ 杯 戦

テ杯チャレンヂ・ラウンド英國對濠洲の試合は七月廿五、廿七、八日の三日間に亘つてウインブルトンで舉行、十八年振りでチャレンヂヤーとなつた濠洲は老巧クロフォードが第一日オースチン戦を失ひ此れが英濠戦の勝負を決する鍵となつた。オースチンの殊勳は遂にテ杯を四度英國に留めたと云つても過言ではない、三對二の結果は濠洲としては本年度の力量を最大限度に實現したものである

◇第一日(七月廿五日)

Table showing scores for the first day of the Te Cup match between England and Australia.

Table showing scores for the second day of the Te Cup match between England and Australia.

▼：オースチン(英)此の日目醒しい當りを見せ濠洲のNO1クロフォードを壓倒的に降す、ペリー對オースト戦は新進オースト慎重なプレーを示したが實力の差は如何ともしがたく敗る

◇第二日(七月廿七日)

Table showing scores for the second day of the Te Cup match between England and Australia.

▼：英國側はヒューズ、タツキ共ハイヴオレーはなか／＼堅實味を示したが、常にクロフォードにロツプの機会を與へ敵の作戦に乗せられる結果となつた最初試合は平凡に終始したが第三、四セットと進むにつれ雙方善戦、勝負容易に決しなかつた

◇第三日(七月廿八日)

Table showing scores for the third day of the Te Cup match between England and Australia.

▼：オースト對オースチン戦は前半オースチン調子良／＼雙方善戦第一セット・オーストと五角の勝負に見えたが後半弱身のオースチンは疲勞現れ屢々コート上で轉び技に於ては勝つべき試合を體力に制せられた恨みがある

美術・文藝

美術界

帝院再改組

所謂松田改組は一年後に平生文相の手で再改組が行はれ結局今秋文展を開く事となつたがこれは「試案」と稱するもので將來はどうなるか解らない。所謂畫壇の統制は不可能であると見るの外なく、松田改組で乗り込んだ在野の首領作家は平生再改組で脱退したものが多く、美術界の混亂は尙ほ持ち越した儘となつて居る。

即ち帝國美術院定員五十名の會員中平生再改組で横山大觀、安田靉彦、小林古徑、富田溪仙(七月逝去)、前田靉邨、平櫛田中、佐藤朝山(以上院展系)、川合玉堂、橋本關雪、錦木清方、菊池契月、和田英作(以上舊帝展系)、梅原龍三郎、富本憲吉(以上國畫會系)の十四會員が連袂聲明書を發表し

美術・文藝——美術界

て辭表を提出し傍ら青龍社の川端龍子、南畫院の小室翠雲兩氏の分を合算すると十六名となり此ため帝院總會は開催不可能となつたので文相は總會に諮問した「試案」を殘留會員の懇談會に移し一年限りといふ建前のもとに前記の如く文展としたのである。

右文展は十月から十一月に跨り前半期を新人展と稱し鑑別し、後期を招待展となしたもので其結果として松田改組で資格を剝脱された舊帝展系の無鑑査委員は大部分資格を復活招待作家として出品する事となつた。

尙ほ脱退した會員中の院展、國畫會、青龍社、南畫院は皆夫々に在野團として展覽會を開く事としたので、何とかして辭表を取戻させるべく苦心はして居るがすでに在野團として舊態に復し又は新たに其決意をなせる以上は齟齬は絶対にしないのであら

従つて帝院と展覽會とは將來如何に取扱

ふべきが豫測に困難だが、文部省は展覽會を飽くまで開催進行する模様だから帝院はタトヒ展覽會の母體としないでも存置しておく以上は定員減少をなす場合は別として若干の會員の補充を必要として居る。因に文展の開期は次の如く東京閉會後京都にゆくことは年來通りである。

- 十月十六日から十一月三日まで鑑査展
○十一月六日から二十三日まで招待展
但し工藝は全會期で陳列替せず

- 文部次官を委員長とする展覽會委員は一二部各二五名、三部九名、四部一八名
○招待作家は一人一點縦十尺、横二五尺即ち屏風一双可能、鑑査展は一人二點縦十尺横十三尺
○鑑査展の搬入受付は十月一日から五日まで、招待展は十月二十一日から同三十一日まで、四部に限り十月一日から同十二日まで

文展の招待作家

文展の招待作家は總數六百六十三名でうち五百五名は文相支持、舊帝展系であつて残る百五十四名が在野團である。在野團に對して出品勧誘にも等しき招待者となすところ常に在野の動搖は免れぬであらう、



しかし結束の固い在野團體は招待作家として発表されても大部分は勿論出品はしない、出品もしないのに招待作家となすといふ事は筋が通つて居ないが事實は左様になつて居るのである。ソノ在野團體の招待作家は左の通り

日本美術院二七名(日本畫近藤浩一路脱退のため)同彫刻一七名計四四名△自由畫壇二名△日本美術協會二名△青龍社一名△明朝美術一名△南畫院一名△無所屬一名△二科會二名△春陽會二名△五名△獨立美術二〇名△國畫會一名△構造社八名△國畫會五名△二科會二名

### 松田改組の帝展入場者

今秋文展の前の松田改組の帝展は昭和十一年二月といふ嚴寒の時期も悪かつたが最初から散々の不評と舊帝展系が擧つて不出品とした爲に總入場者は五萬六千五百二十三人(内有料三萬九千九百人)で昭和九年秋の前回二十一萬餘人に較べ約四分の一に過ぎず、入場券賣上は六萬圓減の一萬四千圓、雜收入を加えて漸やく一萬八千圓にか達しなかつた。勿論文部省としては未曾有の大赤字であつた。

### 常設美術館建設計畫

平生文相は外國では二三流國でも殆んど主要都市には常設美術館を有し自國文化の宣揚に努力して居るのに反し我國では奈良東京兩帝室博物館、恩賜京都博物館の三つしか無く而もこれらは何れも古美術の陳列展覧を目的として居るので現代美術の陳列展覧のためパリのルーヴル博物館にも比すべき大常設美術館建設の脚を固め政府民間協力してこれが實現に劣むべく目下三通りの設計圖の裝作中である。

### 帝國美術略史印刷

躍進日本の美術を世界に誇るべく上野の帝室博物館では昭和十三年十一月落成記念として帝國美術略史を豫算三萬圓をもつて發行することに決定、原稿は本年一ぱいに整理し明春勿々印刷に附する計畫である。内容は時代別に繪畫建築彫刻工藝の各部門に分割記述全卷八百頁、コロタイプ寫眞版二百五十枚添附

### 主要團體展覽會々期

上野府美術館での文展を除く主要團體の展覽會左の通り  
○日本美術院 搬入八月二十六日より二

十八日まで、鑑別二十九三十兩日、九月二日から十月四日まで  
○二科會 搬入八月二十一、二兩日、九月二日から十月四日まで  
○第三部會 搬入八月二十九三十兩日、九月二日から三十日まで  
○青龍社 搬入八月十八九兩日、九月一日から二十八日まで  
○明朝美術 搬入九月八日、同十日から二十九日まで

### 日本畫家

雅 號 本名 生年 所屬・歴  
赤松 雲嶺 好亮 明治三 南畫院同人  
荒井 寛方 寛十郎 二 美術院同人  
荒木 十畝 悌二郎 五 帝院會員  
穴山 勝堂 義平 三 帝展特選  
今中 素友 善藏 元 帝展推薦  
入江 波光 藤次郎 三 元國展同人  
磯田 長秋 孫三郎 三 元帝展審査員  
池田 遙村 昇一 六 帝展推薦

生田 花朝 二七 帝展出品  
岩田 正己 二六 帝展特選  
今尾 景春 三〇 帝展出品  
石崎 光瑤 一七 元帝展審査員  
伊東 紅雲 三三 元帝展委員  
伊藤 小坡 二〇 帝展推薦  
池上 秀畝 七 元帝展審査員  
伊東 深水 三〇 元帝展審査員  
板倉 星光 二六 帝展推薦  
猪飼 嘯谷 四 帝展出品  
植中 相齋 八 帝展出品  
上田 萬秋 二 自由畫壇同人  
宇田 萩邨 二九 元帝展審査員  
梅崎 朱雀 八 元帝展委員  
上村 松園 常子 二 元帝展出品  
上村 松篁 信太郎 三 帝展推薦  
牛田 鷄村 三 美術院々友  
榎本 千花 三 帝展出品  
小野 竹喬 三 帝展出品  
小川 芋錢 三 帝展出品  
織田 觀湖 三 帝展出品  
大河内 野江 三 帝展出品  
大村 廣陽 三 帝展出品  
尾竹 國觀 三 帝展出品  
岡田 晴峰 三 帝展出品  
小川 翠村 三 帝展出品

大智 勝觀 恒一 二五 美術院同人  
小川 千麿 二五 美術院々友  
太田 天泉 七 帝展推薦  
荻生 天泉 三 帝展推薦  
奥村 土牛 三 美術院々友  
片山 牧羊 三 帝展出品  
鳴下 晃湖 三 帝展出品  
川端 龍子 三 帝展出品  
川北 霞峰 八 元帝展委員  
川村 曼舟 三 帝展出品  
金島 桂華 三 帝展出品  
勝田 清方 三 帝展出品  
鍋木 玉堂 三 帝展出品  
川合 芳三郎 三 帝展出品  
川船 水棹 三 帝展出品  
勝田 焦琴 三 帝展出品  
川崎 小虎 三 帝展出品  
梶原 絳子 三 帝展出品  
川上 拙以 三 帝展出品  
堅山 南風 三 帝展出品  
加藤 洵綾 三 帝展出品  
歸山 千蒼 三 帝展出品  
狩野 光雅 三 帝展出品  
木谷 千種 三 帝展出品  
北野 恒富 三 帝展出品  
菊池 華秋 三 帝展出品

菊池 契月 宗爾 三 帝國美術院會員  
木村 武山 信太郎 九 美術院同人  
菊澤 武江 六兵衛 五 帝展推薦  
木村 斯光 健吉 六 帝展推薦  
小林 柯白 茂雄 六 帝展推薦  
小林 勝爾 權三郎 六 帝展推薦  
小林 大雲 權三郎 六 帝展推薦  
小林 大月 光造 六 帝展推薦  
小林 觀爾 光造 六 帝展推薦  
小林 古徑 茂 六 帝展推薦  
近藤 一路 浩 七 帝展推薦  
五島 耕畝 貞雄 七 帝展推薦  
小山 榮達 政治 三 帝展推薦  
兒玉 希望 省三 三 帝展推薦  
河野 秋邨 盈 三 帝展推薦  
小早川 秋聲 盈 三 帝展推薦  
小松 均 貞次郎 七 帝國美術院會員  
小室 翠雲 貞次郎 七 帝國美術院會員  
小谷 任牛 三 帝展出品  
郷倉 千靱 三 帝展出品  
木島 櫻谷 文次郎 三 帝展出品  
小早川 清 文次郎 三 帝展出品  
榊原 苔山 秀次 三 帝展出品  
佐藤 光華 長三郎 三 帝展出品  
榊原 紫峯 安造 三 帝展出品  
佐々木 尙文 武郎 三 帝展出品



酒井三良	白倉二峰	島田墨仙	庄田鶴友	眞道成園	菅重彦	杉山楠彦	田中咄哉	田中嘲風	竹原頼璋	田中頼璋	高木保之助	田畑秋濤	玉舎春輝	竹内栖鳳	高橋周桑	武田鼓葉	谷角日婆春	常岡文龜	津端道彦	堂本印象	富取風堂	德岡神泉	德田隣齋	登内微笑		
欣一郎	豐常喜	成榮	重彦	兼次郎	大治郎	松次郎	秀次郎	恒吉元治	千惠松	音次郎	三之助	次郎	時次郎	其太郎	正義											
○ 美術院同人	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	
長山はく子	中村岳陵	中村大三郎	中村貞以	永田春水	長野草風	西村五雲	西澤信敬	西山翠嶂	根上富治	野添平米	野田九浦	橋本關雪	橋本文塘	林永邦	服部有恒	島山錦成	橋本秀邦	橋本静水	花岡朝生	平井榊仙	東原方僊	廣島晃浦	人見少華	平田松堂	廣田百豊	
恒吉	清貞	源次郎	守敏	卯三郎	卯三郎	卯三郎	卯三郎	卯三郎	卯三郎	卯三郎	卯三郎	卯三郎	卯三郎	卯三郎	卯三郎	卯三郎	卯三郎	卯三郎	卯三郎	卯三郎	卯三郎	卯三郎	卯三郎	卯三郎	卯三郎	卯三郎
○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選
廣本進	飛田周山	古谷一晃	福田平八郎	筆谷等觀	福田豐四郎	福田惠一	福田青嵐	古屋正壽	福田正壽	不動白映	堀井立山	堀井香坡	堀井香坡	堀井香坡	堀井香坡	堀井香坡	堀井香坡	堀井香坡	堀井香坡	堀井香坡	堀井香坡	堀井香坡	堀井香坡	堀井香坡	堀井香坡	堀井香坡
正雄	正雄	正雄	正雄	正雄	正雄	正雄	正雄	正雄	正雄	正雄	正雄	正雄	正雄	正雄	正雄	正雄	正雄	正雄	正雄	正雄	正雄	正雄	正雄	正雄	正雄	正雄
○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品

三宅鳳白	水越松南	三木翠山	溝上遊龜	三谷十子	宮田隆子	村島西一	村岡應東	村上華岳	村田泥牛	森白甫	森宜稻	森月城	森守明	望月春江	森山良	山口華揚	安田米次郎	山口半圃	山口蓬春	山下竹齋	山口玲燕	山口草平	矢澤弦月	山本紅雲	山本耕雲	山本倉丘	
清一	達也	齋一郎				震一	茂男	喜久雄	寬太郎	尙雄	米次郎	太次郎	三太郎	三太郎	三太郎	三太郎	三太郎	三太郎	三太郎	三太郎	三太郎	三太郎	三太郎	三太郎	三太郎	三太郎	三太郎
○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品
山村耕花	山川永雅	山野鐵山	山野橋村	安田靱彦	山川秀峰	山元春汀	山内信一郎	八木岡春山	結城素明	幸松春浦	横山春夫	吉村忠夫	吉岡堅二	吉田秋光	横尾翠田	渡邊公觀	雅號・本名	阿以田治修	青山義雄	赤城泰針(水)	赤松麟作	安宅安五郎					
豐成	峰太郎	民雄	一智	新三郎	嘉雄	信一郎	亮之助	貞松	貞松	貞松	貞松	貞松	貞松	貞松	貞松	貞松	生年	生年	生年	生年	生年	生年	生年	生年	生年	生年	
○ 美術院同人	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	○ 帝展特選	
安達眞太郎	足立源一郎	跡見泰	阿部金剛	荒井陸男	新井完	有岡一	有馬生馬	有馬とえ	池上浩	池田永治	石井柏亭	石川欽一郎	石川寅治	石川寅治	石川寅治	石川寅治	伊藤慶之助	伊藤慶之助	伊藤慶之助	伊藤慶之助	伊藤慶之助	伊藤慶之助	伊藤慶之助	伊藤慶之助	伊藤慶之助	伊藤慶之助	
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	○ 帝展出品	



上野山清貢	梅原龍三郎	江藤純平	小穴隆一	大内青坡	大久保作次郎	太田喜二郎	太田三郎	大野五郎	大野隆德	大森商二	大森義夫	大森啓助	岡田三郎助	岡田七藏	岡野榮	小栗哲郎	奧瀨英二	奧村博史	織田一磨(水)	織田恒雄	鬼塚金華	大澤鉦一郎	梶原貫吾	片岡銀藏	加藤靜兒	
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推
金澤重治	金山平三	鹿子木孟郎	川合修二	川口軌外	川島理一郎	河合正光	河上左京(水) 慶應	笠置季男	木下孝則	木下義謙	木村莊八	北島淺一	鬼頭慶二	國枝金三	國盛義篤	熊岡美彦	熊谷守一	倉田白羊	栗田忠二	栗原重二	栗田重太郎	桑重儀一	小泉源太郎	小柴錦侍		
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
同帝展推	元帝展推	元帝展推	元帝展推	元帝展推	元帝展推	元帝展推	元帝展推	元帝展推	元帝展推	元帝展推	元帝展推	元帝展推	元帝展推	元帝展推	元帝展推	元帝展推	元帝展推	元帝展推	元帝展推	元帝展推	元帝展推	元帝展推	元帝展推	元帝展推	元帝展推	元帝展推
小島善太郎	小杉放庵	小寺健吉	小林喜一郎	小林萬吾	小林霞村	小山敬三	兒島善三郎	香田勝太	神津港人	高野二三男	五味清吉	河野通勢	權藤種男	齊藤與里	佐伯米子	佐藤武造	坂口右左衛門	坂本繁二郎	里見勝藏	眞田久吉	清水登之	清水良雄	白瀧幾之助			
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
獨立美術會	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推

鈴木信太郎	鈴木千久馬	鈴木亞夫	鈴木保徳	須田國太郎	妹尾正彦	相馬其一	會宮一念	田中善之助	田中萬吉	田邊至	高岡徳太郎	高島達四郎	高間惣七	高村眞夫	多々羅義雄	田村孝之介	武田芳雄	田中佐一郎	田中行一	津田青楓	辻愛造	辻永	士屋義郎	椿貞雄		
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	
鶴田吾郎	寺内萬治郎	東郷青兒	富田温一郎	鳥海青兒	永地秀太	中川一政	中川紀元	中野弘光	中野和	中村研一	中村不折	中山克之	鍋井克之	野口彌太郎	野間仁根	野口謙藏	磯伊之助	橋本邦助	長谷川昇	濱田葆光	林重義	林俊衛	林武	早川巍一郎	橋本はな	
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推
橋本節哉	橋本八百二	平岡權八郎	平塚運一	福澤一郎	藤島武二	藤田嗣治	別府貫一郎	堀田清治	堀野虎雄	牧野三郎	正宗得三郎	松村巽	三上知治	三宅克久	水谷清	南薰造	宮坂勝	宮本三郎	向井潤吉	矢崎千代二	矢島堅士	安井曾太郎	山下省三	山下新太郎	山本鼎	
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推
春陽會	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推	帝展推



山下 繁雄	六	帝展推
山下 品藏	六	國畫會員
横井 久太	六	元帝展審査員
横井 禮市	六	二科會員
横堀角次郎	六	春陽會員
吉田 苞	六	帝展推
吉田 博	六	元帝展審査員
吉村 芳松	九	帝展推
若山 爲三	九	春陽會員
和田 英作	七	帝國美術院會員
和田 三造	七	同

工 藝 家

飯塚 鳳齋	本名 生年	東京竹工會長
石田 英一	九	帝展指
石野 龍山	九	舊帝展推
板谷 波山	七	帝展會員
伊東 陶山	四	元帝展審査員
岩田 藤七	六	舊帝展推
磯崎 美亞	七	元帝展審査員
梅澤 龍眞	順三郎	舊帝展推
梅野 清	一七	帝展參
大國 柏齋	安政三	舊帝展推

小野島知文	慶應三	舊帝展推
鹿島 英二	明治七	帝展指
桂 光春	米次郎	舊帝展推
香取 秀眞	秀治郎	帝展推
河井寛次郎	三	舊帝展推
河村 蜻山	半次郎	元帝展審査員
北原 千祿	三	帝展指
北原 三佳	三	舊帝展推
清風 成山	與平	佛國サロ準會員
清水 六兵衛	八	帝展會員
迎田 秋悦	嘉一郎	元帝展審査員
佐々木岩次郎	嘉永六	帝展推
佐々木象堂	文藏	帝室技藝員
佐藤 功一	明治七	國民美術會員
清水 龜藏	二	元帝展審査員
杉浦 非水	朝武	光風會員
杉田 禾堂	精二	帝展指
高村 豐周	三	同
龍村 平藏	九	元帝展審査員
堆朱 楊成	三	帝展指
津田 信夫	八	元帝展審査員
富本 憲吉	一	帝展推
沼田 一雅	勇次郎	舊帝展推
畑 正吉	六	同
濱田 庄司	五	帝展指
廣川松五郎	三	帝展指

彫 刻 家

舟橋 岩次郎	安政六	舊帝展推
松田 權六	明治元	帝展指
宮川 香山	牛之助	元帝展審査員
森川 茂吉	明治六	舊帝展推
山鹿 清華	健吉	元帝展審査員
山本 安曇	菊一	舊帝展推
四谷 正美	八	舊帝展推
六角 紫水	注多良	舊帝展推
渡邊 松華	傳吉	選匠會技藝員
朝倉 文夫	明治天	帝展推
安達 貫一	三	舊帝展推
安藤 照	三	帝展推
雨田 禎之	外次郎	帝展推
雨宮 治郎	三	帝展推
池田 勇八	三	元帝展審査員
石井 鶴三	三	帝展推
石川 鶴治	三	元帝展審査員
石本 曉海	恒竹	舊帝展推
飯島三四二	三	二科會員
上田 貞次	三	舊帝展推
大内 青圃	正	帝展推
大國 貞藏	三	元帝展審査員

岡本金一郎	四	舊帝展推
小倉右一郎	六	帝展指
小笠原貞弘	六	舊帝展推
荻島 安二	六	構社會員
太田 三郎	三	二科會員
開發 芳光	角五郎	舊帝展推
笠置 季男	三	二科會員
加藤 顯清	七	帝展指
金子九平次	六	國畫會員
河村目呂二	弘	明治九
木村 威夫	明治三	同
木村 五郎	三	美術院同人
喜多武四郎	三	帝展指
北村 西望	三	帝展指
北村 正信	三	帝展指
杵谷 精一	三	美術院同人
國方 林三	三	帝展指
小室 達	三	元帝展審査員
後藤 清一	三	構社會員
後藤 良	三	元帝展審査員
齋藤 素巖	知雄	帝展推
佐崎 霞村	宗二	舊帝展推
佐々木大樹	長次郎	元帝展審査員
佐藤 朝山	清藏	美術院同人
澤田 寅	寅吉	元帝展審査員
澤田 晴廣	六	帝展參

清水多嘉示	三	國畫會員
新海 竹藏	三	帝展指
鈴木 聖雲	三	構社會員
關野 杜芽	慶應三	帝展指
曾村 光太郎	明治三	帝展指
高村 直也	三	美術院同人
武井 大夢	彌一郎	帝展指
建昌 彌一郎	三	帝展指
都賀田 勇馬	三	二科會員
士田 實	三	帝展指
寺畑助之丞	三	構社會員
富永 朝堂	三	帝展指
内藤 桂樹	三	帝展指
中野 桂樹	三	帝展指
中野 直人	三	美術院同人
中村 貞良	三	帝展指
夏目 貞良	三	帝展指
新田 雅之	三	同
西村 雅之	三	同
長谷川 榮作	三	帝展推
長谷川 義起	三	舊帝展推
濱田 三郎	三	帝展指
榎本 平八	三	同
日名子 實三	三	同
平櫛 田中	三	美術院同人
藤井 浩祐	三	帝展參

文 藝 界

昭和十年七月十五日改正著作權法施行 十五日から改正著作權法が施行されることになった。内務省に著作權審査會が設けられ、二十三名の委員のなかに文壇からは島崎藤村、徳田秋聲、山本有三が加はつた。これに對して文藝統



制の準備と観る批判をなしたものがあつた。

**文藝懇話會賞授與** 第一回の文藝懇話會賞が室生犀星の「あにいもうと」と横光利一の「紋章」に與へられた。

**モラエスの降興** 四國の徳島で病歿したホルトガルの文學者モラエスの著作がさかんに翻譯され、七周忌が徳島で行はれ、モラエス圖書館設立の議が起つた。

**作品** 尾崎士郎の「鬼になる眼」(中央公論)、武田麟太郎の「日月ホール」(改造)、阿部知二の「樂園」(新潮)、眞船豊「狐舎」(改造)などが好評を博した。

**八 月**  
**私小説論** 小林秀雄、尾崎士郎、龜井勝一郎などによつてさかんに論じられた、これとともに偶然論が再び數人によつて論じられた。

**文藝懇話會賞の紛擾** 島木健作が賞に洩れたことが機縁となつて紛争を捲き起し、このため佐藤春夫は脱退を宣した。

**作品** 丹羽文雄の「煩悩具足」(文藝春秋)、島木健作の「壊滅後」(文藝春秋)坪田譲治の「晩春懷郷」(文藝)、室生犀星の「獅子と人」(改造)が代表的なもの。

吉村冬彦 隨筆家吉村冬彦と寺田寅彦博士は三十一日自宅で逝去。

**昭和十一年一月**  
**獨立作家クラブ生る** 文藝戦線や作家同盟の作家九十五名によつて獨立作家クラブが創立された、十九日の創立總會の席上で、クラブ員の範圍をプロレタリア作家のみとするか、あるひば廣く自由主義的作家をも入れるかが紛糾した。

**三田文學賞** 三田文學賞の第一回授賞は「若い人」の作者石坂洋次郎に與へられた。  
**雑誌「文藝懇話會」創刊** 文藝懇話會の機關誌たる「文藝懇話會」が創刊された。  
**作品** 中野重治の「小説の書けぬ小説家」(中央公論)、室生犀星の「破落戸の首」(中央公論)、横光利一の「青春」(改造)、谷崎潤一郎の「猫と庄造と二人の女」(改造)、新田潤の「崖」(文藝)が問題になつた。  
**生田長江** 十一日逝去。

**二 月**  
**學藝自由同盟の復活** 折にふれては論じられてきた學藝自由同盟の復活がこの月は特に活潑に論じられた。  
**ロレンスの流行** D・H・ロレンスの代表作「チャタレー夫人の戀人」は舊臘伊藤整によつて翻譯出版されたが、二月に至つ

の「ダスゲマイネ」(文藝春秋)、伊藤整の「馬喰の果」(新潮)、島木健作の「一轉機」(改造)が問題になつた。

**千葉龜雄** 四日自宅で逝去。  
**濱尾四郎** 二十九日自宅で逝去。

**十一月**  
**日本ペン俱樂部發會式** 外務省の斡旋で國際ペン俱樂部の日本支部が創立されることになり、二十六日その發會式が行はれた結果、會長島崎藤村、副會長有島生馬、堀口大學、主事勝本清一郎、會計芹澤光治良が就任。

**作品** 久板栄二郎の「斷層」(文藝)、眞船豊の「山鳩」(文藝春秋)、丹羽文雄の「古い恐怖」(經濟往來)、野上彌生子の「哀しき少年」(中央公論)など。

**十二月**  
**編譯權問題** 音楽の演奏權料で樂壇を荒したプララゲが翻譯權の委任業を開始し、版權料の取り立てを初めたので、十七日外國文學關係者や内務省、外務省の當局者によつて翻譯權問題協議會が催された結果「翻譯家協會」が組織されることになつた。  
**作品** 武田麟太郎の「一の酉」(改造)、高見順の「私生兒」(中央公論)、大谷藤子の「血縁」(中央公論)など。

て、自殺論、文士の生活問題などが論じられた。

**横光利一外遊** 東京出發渡歐。  
**作品** 岸田國士の「風俗時評」(中央公論)、川端康成の「花のワルツ」(改造)がもつとも問題になつた。

**四 月**  
**新短歌クラブの結成** 新しい短歌の樹立に精進してゐる人々によつて新短歌クラブが前田夕暮、石原純、金子薫園、土岐善麿の肝煎りで結成された。

**プロ作家の内紛** 獨立作家クラブ問題の論争が再燃したり、葉山嘉樹との應酬によつて林房雄はプロレタリア作家を廢業すると聲明するやうなことも起つた。

**雑誌「明朗」創刊**  
**長篇小説運動** 雑誌に閉ぢこめられて短篇本位になつてしまつてゐる現代文學を打開するために武田麟太郎、徳永直、立野信之によつて長篇小説刊行會を設立し運動が起された。

**作品** 眞船豊「裸の町」(改造)、細田民樹の「蒼白い風」(中央公論)、川端康成の「花のワルツ」

**五 月**  
**ジャン・コクトー來朝** 八十日世界一周

てロレンス論延いては新しいモラルが盛んに説かれ出し、「戀愛」、「論翼ある蛇」、「ロレンス詩集」、「ロレンスの手紙」などが逐次出版された、後になつて流行した戀愛論はこゝに胚胎してゐるものと見る事ができる。

**作品** 島木健作の「第一義の道」(中央公論)、武田麟太郎の「若い環境」(中央公論)、丹羽文雄の「この絆」(改造)、村山知義の「母・兄・弟」(新潮)、牧野信一の「風流旅行」(新潮)、林房雄の「サルタンの花嫁」(文藝春秋)などが評判がよかつた。

**三 月**  
**雑誌「人民文庫」の創刊** 武田麟太郎の主宰で雑誌「人民文庫」が創刊された。

**批評論** 小林秀雄が匿名批判が健全に發達した曉は文藝時評の必要はなくなると云つたのに端を發し、匿名批評論、文藝時評論、本格的批評論、延いては局外批評論が踵を接して現はれた。

**リアリズム論** 武田麟太郎の長篇小説「下界の眺め」が出版されたのを端緒にリアリズムやデカダン論が行はれ出した、しかしこれが盛んに論じられたのは五月、六月の交だつた。  
**自殺論** 牧野信一、佐分眞の自殺によつ



の途次コクトーは日本に寄り一週間滞在  
文學者の社會的關心の問題 二・二六事  
件以後論じられてきたがこの月に至つて盛  
んになり、「新潮」は座談會を、七月には  
「文學界」で特輯を行つた。

雜誌「行動文學」發刊

作品 芹澤光治良の「大鷲」(改造)、藤  
森成吉の「火」(改造)、島木健作の「時勢」  
(日本評論)、丹羽文雄の「文鳥と鼠と」(新  
潮)、檀一雄、伊藤佐喜雄、宮内寒彌、小山  
祐士の芥川賞次點者の作品(文藝春秋)が  
問題になつた。

六月

文藝懇話會賞 徳田秋聲の「勳章」と關  
根秀雄の「モンテエメ感感録」に授賞され  
た。

文藝家協會 初代の會長に菊池寛を推し  
積極的に動くことになつた。

短篇小説論 名作短篇小説全集が出た  
り、長篇小説運動に對抗して、短篇小説形  
式擁護の聲が諸所にあげられた。

戀愛論その他 文學の問題よりも戀愛論  
や青年論が盛んに行はれた。

雜誌「文學界」 文學界社から離れて文藝  
春秋社から發行されることになつた。  
作品 石川達三の「豺狼」(中央公論)、

丹羽文雄の「女人禁制」(中央公論)、内田  
百閒の「相剋記」(中央公論)、岡本かの子  
「鶴は病みき」(文學界)、三好達治の「暮  
春記」(改造)などが好評だつた。  
南部修太郎 二十二日逝去。

文藝家一覽

飯島 正 卅五年三月、東京、東大佛文科  
卒、「映畫の研究」、「新映畫論」、「西班牙  
狂想曲」(ルイス)。東京市世田谷區北澤  
三ノ九七五。

井汲清治 卅五年十月、岡山縣津山市、慶  
大文科卒、文藝批評や佛文學研究の評論  
がある、慶大教授、東京市大森區田園調  
布二ノ八四三。

池崎忠孝 卅四年二月、岡山縣萬歲村、東  
大文科卒、曾て赤木楢平と號し文藝評論  
を書いた、「太平洋戰略論」英米現勢論」

代議士、大阪府北河内郡四條村野崎。  
伊集院齊 本名相良徳三、卅八年八月、鹿  
兒島市、東大美學科卒、中間物を書く、  
成城高校教授、東京市外碓町成城北八  
六。

石川達三 卅八年七月、秋田縣横手町、早  
大英文科卒、「蒼氓」、東京市淀橋區戸塚  
町三ノ一二〇アサヒハウス。

葉山嘉樹 卅七年三月、福岡縣豐津村、中  
學卒、「新選葉山嘉樹集」、長野縣上伊那  
郡赤穂村。  
林 芙美子 卅七年十二月、下關市、尾道  
高女卒、「泣虫小僧」、「牡蠣」、支那と歐  
洲に遊ぶ、東京市淀橋區下落合四ノ二ノ  
一三三。  
林 房雄 卅六年五月、大分市、東大文科  
卒、「青年」、「少年」、神奈川県鎌倉町淨  
明寺宅間谷。  
秦 豊吉 卅五年一月、東京、東大文科卒、  
「フアウスト」(ゲーテ)、丸木砂土の筆  
名による隨筆多し、渡歐數回に及ぶ、東  
京寶塚劇場支配人、東京市大森區山王一  
ノ二七八一。

「伊原青々園集」歌右衛門自傳、文學  
博士、東京市赤坂區青山南町五ノ三七。  
井伏鱒二 卅一年、福山市外加茂村、早大  
佛文科卒、「頓生菩提」、「川」、東京市杉  
並區清水町二四。  
今井邦子 卅三年五月、徳島市、隨筆集「茜  
草」歌集「紫草」、東京市澁谷區千駄ヶ  
谷三ノ五二七。  
岩田豊雄 卅六年七月、横濱市、慶大卒、  
佛に遊ぶ、劇、評論、演出に携はる、獅  
子文六の筆名あり、東京市澁谷區千駄ヶ  
谷二ノ四七四。  
番匠谷英一 卅八年八月、大阪府佐野町、  
京大獨文卒、「戲曲源氏物語」、「上高地抄」  
立大教授、東京市豊島區雜司ヶ谷六ノ一  
一四五。  
馬場孤蝶 三年十一月、高知市、明治學院  
卒、「戦争と平和」(トルストイ)、隨筆  
集數種、東京市芝區三田豐岡町二。  
春山行夫 卅五年七月、名古屋市、商業學  
校卒、「詩の研究」、「ジョイス中心の文學  
運動」、雜誌「セルパン」編輯、東京市  
中野區高根町二八。  
原 久一郎 卅三年四月、新潟縣水原町、  
早大文科卒、翻譯「トルストイ全集」東  
京市豊島區長崎南町三ノ三八八五。

石坂洋次郎 卅三年六月、弘前市、慶大國  
文科卒、「石坂洋次郎短篇集」、「金魚」、  
女學校教師、秋田縣横手町島崎三。

石濱金作 卅二年二月、東京、東大英文科  
卒、短篇が多い、東京市澁谷區幡ヶ谷本  
町二ノ三三六。

板垣鷹穂 卅七年十月、東京、東大美學卒  
美術、藝術思潮に關する著書多し、法大  
その他の講師、東京市淀橋區上落合二ノ  
五九九。

泉 鏡花 六年十一月、金澤市、「鏡花全  
集」その他、東京市麴町區下六番町一三。

伊藤 整 卅八年一月、北海道、東京商大  
卒、「生物祭」、「ユリシイズ」(ジョイス)、  
「チャタレイ夫人の戀人」(ロレンス)、東  
京市杉並區和田本町七一四。

井東 憲 伊井藤吉郎の筆名あり、卅八年  
八月、東京、明大文科卒、「地獄の出來  
事」、「重役病患者」、東京市荒川區日暮里  
鷺谷アパート。

稻垣足穂 卅三年十二月、大阪市、關西學  
院中學部卒、「一千一秒物語」、「天體嗜  
好症」、兵庫縣明石市錦江町。

犬養 健 卅九年七月、東京、東大哲學科  
卒、「犬養健集」、衆議院議員。  
伊原青々園 三年四月、松江市、一高卒、

坂區檜町三。  
土師清二 本名赤松靜太、卅六年九月、岡  
山縣國府村、學歷なし、「砂繪呪縛」  
「維新歴史小説全集」、東京市澁谷區代々  
木初臺五三六。  
橋本英吉 卅一年十一月、靜岡縣井田町、  
獨學、「坑夫」、「勞働市場」、靜岡縣田方  
郡函南村八ッ溝。  
萩原朔太郎 卅一年十一月、前橋市、六高  
卒、「月に吠える」、「廊下と室房」、東京  
市世田谷區世田谷一ノ六三五。  
新居 格 卅一年三月、徳島縣撫養町、東  
大政治科卒、「アナキズム藝術論」、「生活  
の窓ひらく」、東京市杉並區高圓寺五ノ八  
一一。  
新關良三 卅二年八月、山形縣谷地町、東  
大文科卒、「希臘悲劇論」、「西洋演劇研  
究」、學習院教授、東京市豊島區長崎南町  
三ノ四〇一五。  
西脇順三郎 卅七年一月、新潟縣小千谷町、  
慶大、オクスフォード大學卒、「ヨロロ  
ツバ文學」、「現代英吉利文學」、慶大教授、  
東京市澁谷區宇田川町六三。  
丹羽文雄 卅七年十一月、三重縣四日市、  
早大國文科卒、「鮎」、東京市中野區文園  
町四〇。



本間久雄 十九年十月、米澤市、早大文科卒、「文學概論」歐洲近代文藝思潮概論、早大教授、東京市小石川區雜司ヶ谷一四四。

本多顯彰 卅一年十月、名古屋、東大英文科卒、「ロミオとジュリエット」(シエクスピア)、「世界文學」(モールトン)、法政大學講師、東京市杉並區天沼一ノ二八六。

本庄陸男 卅八年二月、北海道石狩、師範學校卒、「白い壁」、東京市中野區上高田一ノ一四八。

堀口大學 卅五年一月、東京、慶大、海外に十餘年を送る、「堀口大學詩集」(關牛師)(モンテルラン)、東京市牛込區新小川町江戸川アパート。

堀 辰雄 卅七年十二月、東京、東大文科卒、「聖家族」物語の女、東京市本所區向島一ノ一。

細田民樹 卅五年一月、東京、早大英文科卒、「眞理の春」犬吠岬心中、東京市外吉祥寺旭小路二六五八。

細田源吉 卅四年六月、川越市、早大英文科卒、「大都」巷路過程、東京市杉並區上荻窪六五五。

逸見 廣 卅二年一月、山形縣西里村、早

大獨文科卒、「村の倫理」雜誌「早稻田文學」編輯、東京市杉並區上荻窪六五五。

豐島與志雄 卅三年十一月、福岡縣福岡市、東大佛文科卒、「新選豊島與志雄集」書かれざる作品、法大教授、東京市本郷區千駄木町五七。

富田碎花 卅三年十一月、盛岡市、日大植民科卒、「地の子」「草の葉」(サイツトマン)、兵庫縣武庫郡蘆屋。

戸坂 潤 卅三年九月、東京、京大哲學科卒、前法大教授、技術の哲學、「現代哲學講話」、東京市杉並區阿佐ヶ谷町三ノ二五〇。

徳永 直 卅二年一月、熊本市、學歷なし、「太陽のない街」「失業都市東京」、東京市世田谷區經堂五二。

徳田秋聲 四年十二月、金澤市、四高卒、「新選徳田秋聲集」「勳章」、東京市本郷區森川町一四。

戸川秋骨 三年十二月、熊本縣彌富村、東大英文科選科、「文鳥」「英國史」、慶大教授、東京市杉並區荻窪二ノ一一九。

土居光知 十九年八月、高知縣十市村、東大英文科卒、「文學序説」「英文學の感覺」、東北大学教授、仙臺市北五番町一七二。

張赫 宙 卅八年十月、大邱、大邱高等普

通學校卒、「權といふ男」、世田谷區世田谷二ノ一九二〇。

中條百合子 卅二年二月、東京、日本女子大卒、「伸子」新しきシベリヤを横切る、東京市澁橋區上落合二ノ七四〇。

近松秋江 九年五月四日、岡山縣前野村、東京專門學校卒、「二人の獨り者」「子の愛のため」、東京市大森區新井宿二ノ一五九四。

茅野蕭々 十六年三月、長野縣上諏訪町、東大獨文科卒、「リルケ詩抄」「グロエテ研究」、慶大教授、東京市荏原區中延一一二五。

龍膽寺 雄 卅四年、茨城縣下妻町、慶大醫學部卒、「放浪時代」「アパートと女たちと女」、東京市杉並區高圓寺一ノ四三。

小田巖夫 三十三年、高田市、東京外語支那科卒、「大過渡期」(矛盾)、芥川賞を受く、東京市杉並區馬橋三ノ二八三。

大木惇夫 廿八年四月、廣島市、廣島商業學校卒、「風光木の葉」「千夜一夜詩集」、東京市品川區南品川三ノ一五一七。

大下字陀兒 廿九年十一月、長野縣中箕輪村、九大應用化學科卒、「毒環」「奇蹟の處女」、東京市豊島區雜司ヶ谷五ノ七一。

太田千鶴夫 卅九年三月、鹿兒島市、千葉醫大卒、「警察醫の日記」、東京市澁谷區猿樂町一六。

大谷藤子 卅六年十一月、埼玉縣兩神村、高女卒、東京市世田谷區北澤町四ノ三〇〇。

大森義太郎 卅一年、東京、東大經濟學部卒、「まてりありすむ。みりたんす」唯物史觀、神奈川縣鎌倉町塔ノ辻二〇〇。

大宅壯一 卅三九年、大阪、東大社會學科卒、「文學的戰術論」「四十年」(ゴルキー)、東京日々新聞囑託、東京市杉並區阿佐ヶ谷町二ノ五八九。

岡田三郎 卅三年二月、北海道福山町、早大英文科卒、佛に數年遊ぶ、「黃金草」「舞臺裏」、東京市大森區山王二ノ一九一二。

岡田禎子 卅五年三月、愛知縣石井村、東京女子大卒、「正子とその職業」、東京市牛込區田町三ノ一九。

岡本綺堂 五年十月、東京、學歷なし、「綺堂戲曲集」「猫やなぎ」、東京市目黒區上目黒一ノ一一三。

小川未明 十五年四月、高田市、早大英文科卒、「小川未明選集」「ゴドモエバナシ」、東京市杉並區高圓寺一ノ五一二。

沖野岩三郎 九年一月、和歌山縣寒川村、明治學院神學部卒、「いづこへ行く」「歐洲物語」、東京市澁橋區下落合三ノ五〇七。

荻原井泉水 十七年六月、東京、東大言語學科、「第十の牛」俳誌「層雲」主宰、東京市麻布區新堀町三。

小栗虫太郎 卅四年三月、東京、中卒、「黒死館殺人事件」、東京市世田谷區太子堂町一〇六。

尾崎喜八 廿五年一月、東京、商業學校卒、「高層雲の下」「山の繪本」、東京市杉並區荻窪一ノ一二八。

尾崎士郎 卅三年三月、愛知縣橫須賀村、早大政經科卒、「人生劇場」「河鹿」、東京市大森區山王二ノ一八七二。

大佛次郎 本名野尻清彦、卅年十月、横濱、東大文科卒、「大久保彦左衛門」「大楠公」、神奈川縣鎌倉町雪ノ下四二八。

尾上柴舟 九年八月、津山市、東大國文科卒、歌集「朝ぐもり」「日本文學史」、歌誌「水鏡」を主宰、文學博士、早大講師、東京市小石川區白山御殿町一二七。

尾山篤二郎 廿二年二月、金澤市、金澤英學院卒、歌集「草籠」「西行法師傳」、歌誌「自然」主宰、東京市本郷區弓町一ノ

一九近藤方。

折口信夫 別名釋道空、廿二年二月、大阪市、國大國文科卒、歌集「春のことぶれ」「古代研究」、文學博士、慶大教授、東京市品川區大井出石町六〇五二。

和辻哲郎 廿二年三月、兵庫縣仁豐村、東大哲學科卒、「偶像再興」「日本精神史研究」、文學博士、東大教授。

蒲原有明 九年三月、東京、中卒、詩集「春鳥集」「有明詩抄」靜岡市鷹匠町三。

河東碧梧桐 六年二月、松山市、高橋中、句集、評論集、隨筆集多し、東京市牛込區加賀町一ノ九。

川端康哉 卅一年六月、大阪市、東大國文科卒、「禽獸」「小説の研究」、東京市下谷區谷中坂町七九。

川路柳虹 廿一年七月、東京、東京美術學校日本畫科卒、「川路柳虹詩集」「マチス以後」、東京市澁橋區上落合二ノ五六九。

川田 順 十五年一月、東京、東大文科卒、歌集「鵲」「旅雁」、大阪住友社員、兵庫縣御影町字掛田。

川口松太郎 卅二年十月、東京、學歷なし、「鶴八鶴次郎」「愛憎流轉」、東京市麻布區筈町一五五。

川口 浩 卅八年一月、横濱、東大獨文科



卒、「プロレタリア文藝辭典」、東京市世田谷區三ノ二二三二。  
 河上徹太郎 卅五年一月、長崎、東大經濟學部卒、「思想の秋」シエストヲ選集、東京市品川區五反田五ノ七八ノ一。  
 河井醉茗 七年五月、堺市、早稻田專門學校文科卒、詩集數種あり、東京市目黒區中目黒四ノ一四八〇。  
 龜井勝一郎 四十年十二月、函館市、東大美術學科卒、「轉形期の文學」、東京市外三鷹村下連雀が一九一。  
 上司小劍 七年十二月、奈良市、學歴なし、前讀賣新聞編輯長、「東京」上司小劍集、東京市大森區北千束町六一九。  
 上泉秀信 卅二年二月、山形縣長井町、早大英文科卒、戯曲集「村道」、都新聞文化部長、東京市杉並區清水町二四。  
 加能作次郎 十九年一月、石川縣西海村、早大英文科卒、「幸福」處女時代、東京市牛込區藥王寺町二二。  
 金親 清 四十年五月、千葉市、小卒、「早魁」、千葉縣東院内一〇三八。  
 金子洋文 廿七年四月、秋田縣港町、工業學校卒、「新選金子洋文集」、「魚河岸」、東京市杉並區上荻窪六四八。  
 加藤武雄 廿一年五月、神奈川縣川尻村、

小卒、「白虹」三つの眞珠、東京府碓村成城學園前。  
 加藤一夫 廿二年二月、和歌山縣大都河村、明治學院神學部卒、「農本主義理論」、「老子」、神奈川縣川崎市小杉八三三。  
 海音寺潮五郎 本名末富東作、三十四年、鹿兒島縣、國大卒、「天正女合戦」、直木三十五賞を受く、東京市澁谷區代々木上原一二一五。  
 勝本清一郎 卅二年五月、東京、慶大文科卒、滯獨五年、「前衛の文學」、「赤色戦線を行く」、東京市牛込區新小川町江戸川アパート。  
 片岡鐵兵 廿七年二月、岡山縣芳野村、慶大英文科卒、「花嫁學校」、「續・花嫁學校」、東京市杉並區西高井戸一〇一。  
 加賀歌二 本名谷口善太郎、卅二年十月、石川縣國府村、小卒、「工場」、京都市東山區清閑寺靈山町二二。  
 横光利一 卅一年二月、大分縣長峰村、早大文科卒、「横光利一全集」、東京市世田谷區北澤二ノ一四五。  
 横山美智子 卅二年七月、尾道市、「嵐の小夜曲」、「緑の地平線」、東京市澁谷區代々木一〇六〇。  
 與謝野晶子 十一年十二月、堺市、堺高女

卒、「與謝野晶子全集」、文化學院學監、東京市杉並區下荻窪七三二。  
 吉井 勇 十九年十月、東京、早大文科卒、「吉井勇集」、「獨體舞」、市川市市川七五七。  
 吉江喬松 十三年九月、長野縣鹽尖町、早大英文科卒、「フランス古典劇研究」、「フランス文學概観」、文學博士、早大文學部長、東京市世田谷三ノ二三一八。  
 吉川英治 廿五年八月、横濱市、高小卒、「吉川英治全集」、東京市赤坂區表町三ノ二四。  
 吉田絃二郎 十九年十一月、佐賀縣西郷村、早大英文科卒、「吉田絃二郎全集」、東京市世田谷區玉川瀨田五四五。  
 吉屋信子 廿九年一月、新潟市、栃木縣立高女卒、「吉屋信子全集」、東京市牛込區佐土原町三の一八。  
 米川正夫 廿四年十一月、岡山縣高梁町、東京外語露語科卒、「カラマツフ兄弟」(ドストイェフスキー)「戦争と平和」(トルストイ)、陸軍大學教授、東京市杉並區西高井戸三〇。  
 高須芳次郎 十三年四月、大阪、早大英文科卒、「類聚期爛熟期の江戸文學」、「明治大正昭和文學講話」、日大講師、東京市澁

野川區西ヶ原五一七。  
 高田 保 廿八年三月、茨城縣土浦、早大文科卒、「人魂黄表紙」、東京日々囑託、東京市大森區新井宿一ノ二三〇〇。  
 高橋邦太郎 卅一年九月、東京、東大佛文科卒、翻譯數種、東京中央放送局員、東京市下谷區上野花園町一四。  
 高濱虚子 七年二月、松山市、高小卒、「高濱虚子全集」、俳誌「ホトトギス」主宰、神奈川縣鎌倉原ノ臺。  
 瀧井孝作 廿七年四月、岐阜縣、學歴なし、「無限抱擁」句集「折柴句集」、八王子市子安町四七。  
 武田麟太郎 卅七年五月、大阪、東大佛文科卒、「銀座八丁」、「好色の戒」、東京市日本橋區茅場町茅場町會館。  
 武林無想庵 十三年二月、札幌、東大文科卒、滯佛十五年、東京府下北多摩郡保谷村下保谷二一田村方。  
 太宰施門 廿二年四月、岡山縣小田村、東大佛文科卒、「バルザック總説」、文學博士、京大助教授、京都市左京區下鴨川原町四六。  
 辰野九紫 本名小堀龍二、廿五年七月、鳥取市、東大文科卒、「青バスの女」、「パトロン百面相」、東京市本郷區向ヶ丘彌生町

三ノはノ一。  
 辰野 隆 廿一年三月、東京市、東大佛文科並に佛法科卒、「ボアドレエル研究」、「どんく」、文學博士、東大助教授、東京市目黒區駒場町九二八。  
 立野信之 卅六年十月、千葉縣五井町、東京外語科卒、「軍隊病」、「情報」、東京市四谷區番衆町三六青葉莊。  
 田中貢太郎 十三年三月、高知縣三里村、小卒、「旋風時代」、「朱鳥」、東京市目黒區原町一三六七。  
 谷川徹三 廿八年五月、愛知縣常滑町、京大哲學科卒、「生活・哲學・藝術」、「享受と批評」、法政大學教授、東京市杉並區東田町一ノ五七。  
 谷崎潤一郎 十九年七月、東京市、東大文科卒、「谷崎潤一郎全集」、兵庫縣武庫郡精道村打出下宮坂一六。  
 谷崎精二 廿三年十二月、東京市、早大英文科、「地に頼つて」、「ボオ傑作集」、「早稻田文學」主宰、早大教授、東京市牛込區原町一ノ六七。  
 高見 順 三十年二月、福井縣、東大英文科卒、「起承轉々」、東京市大森區入新井町三ノ一四一六。  
 外村史郎 卅四年六月、濱松市、東京外語

露語科卒、「藝術論」(プレハノフ)社會主義的リアリズムの問題、東京市杉並區大宮前一ノ三馬場方。  
 相馬御風 十六年七月、新潟縣大町、早大英文科卒、「良寛さま」、「一人想ふ」、新潟縣糸魚川大町。  
 土屋文明 廿四年一月、群馬縣上野村、東大文科卒、歌集「往還集」、「萬葉集年表」、東京市赤坂區青山南町六ノ一八。  
 鶴田知也 三十五年二月、小倉市大阪町、中學卒、文藝戰線同人、芥川賞を受く、東京市澁谷區代々木西原八六三。  
 坪田讓治 廿三年、岡山縣石井村、早大英文科卒、「正太の馬」、東京市豊島區雜司ヶ谷六ノ八六六。  
 内藤 濯 十六年七月、熊本市、東大佛文科卒、「思はざる收穫」追つめられる男(カルコ)、東京商大教授、東京市世田谷區下馬町二ノ九五九。  
 中河與一 卅二年二月、香川縣坂出町、早大英文科卒、「レドモア島誌」、「愛戀無限」、東京市外千歲村成城學園宅地。  
 中里介山 十四年、東京府下奥多摩、大菩薩峠、雜誌「隣人の友」主宰、東京府下高尾妙音谷。  
 中塚一碧樓 廿年九月、岡山縣玉島町、早



大半、句集「芝生」併誌「海紅」を主宰、  
東京市世田谷區若林三三七。

中西悟堂 廿八年十一月、金澤市、曹洞宗  
學林卒、「山岳詩集」「野鳥とともに」、  
日本鳥の會主宰、東京市杉並區井荻町三  
ノ四一。

中野重治 卅五年一月、福井縣高根村、東  
大獨文科卒、「藝術に關する走り書」の覺  
え書、「論議と小品」、東京市淀橋區柏木  
町五ノ一一三〇。

中村吉藏 十年五月、島根縣津和野町、早  
大英文科、哲學科卒、プリストン、コロ  
ンビア大學に學ぶ、「井伊大老の死」「大  
鹽平八郎」、早大教授、東京市豊島區西集  
鴨町二ノ一九六九。

中村星湖 十七年二月、山梨縣河口村、早  
大英文科卒、「失はれた指環」「死の如く  
強し」(モウバスマン)、東京市杉並區上  
井草一四五六。

中村白葉 廿三年十一月、名古屋市、東京  
外語露語科卒、「アンナ・カレニナ」(トル  
ストイ)、「チエボフ全集」、東京市世田谷  
區新町三ノ四三一。

中村正常 卅四年十一月、東京市、七高半、  
「ボア吉の求婚」「隕石の寢床」、東京市  
杉並區下高井戸一ノ二五一。

大英文科卒、「人のアラ世間のアラ」、東  
京市杉並區高圓寺五ノ八〇六。

海野十三 本名佐野昌一、卅年十二月、徳  
島市、早大電氣科卒、「赤外線男」、東京  
市世田谷若林町三七三。

野上豊一郎 十六年九月、大分縣臼杵町、  
東大英文科卒、九大講師、東京市荒川區  
日暮里渡邊町一〇四〇。

野上彌生子 十八年五月、同上、明治女學  
校卒、「新しき命」「眞知子」、同上。

野口雨情 十五年十二月、茨城縣磯原町、  
東京專門學校卒、「波浮の港」「童謡十講」  
東京府下吉祥寺七八七。

野口米次郎 八年十二月、愛知縣津島町、  
慶大卒、渡米ミラーに就く、「野口米次  
郎詩論」「印度は語る」、慶大教授、東京  
市中野區櫻山町四一。

昇 曙夢 十一年七月、鹿兒島縣實久村、  
正教神學校卒、「露西亞近代文藝思想史」  
「藝術社會學」(フリーチエ)、陸軍教授、  
神奈川縣鎌倉町稻村ヶ崎五二七。

野村胡堂 十五年一月、岩手縣彦部村、「青  
五郎青春話」「藤半平」、報知新聞社編輯  
局相談役、東京市外碓村字奈根七九五。

陸 直次郎 本名野澤嘉哉、卅一年一月、  
東京市、早稻田實業卒、「やくざ地獄」

中村武羅夫 十九年十月、北海道岩見澤町、  
「嘆きの都」「文壇隨筆」、新潮社員、神奈  
川縣藤澤町辻堂海岸。

永井荷風 十二年十二月、東京市、外國語  
學校支那語科卒、米、佛に遊ぶ、「永井  
荷風全集」「すみだ川」、東京市麻布區市  
兵衛町一ノ六。

長田秀雄 十八年五月、東京市、獨逸協會  
卒、「大佛開眼」「石山開城記」、東京市牛  
込區新小川町江戸川アパート五三。

長田幹彦 廿年三月、東京市、早大英文科  
卒、百二十七冊の著作、流行歌多種、東  
京市四谷區東信濃町一〇。

長與善郎 廿一年八月、東京市、東大英文  
科卒、「春田の小説」「自然とともに」、東  
京市目黒區下目黒二ノ一九一。

橋崎 勤 卅四年十一月、山口縣萩町、「神  
聖な裸婦」「グレンダ・ガルボ」、雑誌「新  
潮」編輯、東京市牛込區砂土原町三ノ八。

成瀬無極 十七年一月、東京、東大獨文科  
卒、「人生劇場」「無極隨筆」、文學博士、  
京大教授、京都市中京區室町丸太町下ル。

室生犀星 廿二年八月、金澤市、「聖處女」  
「あにいもうと」、東京市大森區馬込町三  
ノ七六三。

村山知義 卅四年一月、東京市、東大宗教

東京市小石川區竹早町七〇。  
楠山正雄 十七年十一月、東京市、早大英  
文科卒、「近代劇十二講」翻譯多し、東京  
市麻布區霞町一九ノ三。

邦枝完二 廿六年一月、東京市、慶大文科  
卒、「歌麿をめぐる女」「お傳地獄」、東京  
市麹町區平河町四ノ七。

國枝史郎 廿年十月、長野縣宮川村、早大  
英文科卒、「國枝史郎集」、東京市大森區  
馬込東一ノ一二六四。

久野豊彦 卅一年九月、名古屋市、慶大經  
濟學部、「青年の設計」(ヒトキンス)、東  
京市杉並區阿佐ヶ谷二ノ五四七。

窪川鶴次郎 廿六年二月、靜岡縣中内田村、  
四高半、小説評論多し、東京市淀橋區阿  
佐ヶ谷二ノ五四七。

窪川稻子 卅七年六月、長崎市、學歴なし、  
「キヤラメル工場から」「研究會挿話」、同  
上。

窪田空穂 十年六月、長野縣和田村、東京  
專門學校卒、歌集「楓の木」「青朽集」、  
東京市小石川區雜司ヶ谷八八。

久保田萬太郎 廿二年十一月、東京市、慶  
大文學部卒、「新選久保田萬太郎集」「雨  
後」、日本放送協會參事、東京市芝區三田  
小山町六。

哲學科卒、獨逸に遊學、「東洋車輛工場」  
「白夜」、東京市淀橋區上落合一ノ一八六。

村松梢風 廿二年九月、靜岡縣飯田村、中  
卒、「本朝畫人傳」「正傳清水次郎長」、東  
京市澁谷區千駄ヶ谷二ノ四二四。

村上鬼城 慶應元年五月、高崎市、「鬼城句  
集」、群馬縣高崎市並榎町。

武者小路實篤 十八年五月、東京、東大社  
會學科卒、「武者小路實篤全集」「釋迦」、  
東京府下碓村喜多見臺一三五。

椋 鳩十 本名久保田彦穂、廿八年二月、  
長野縣喬木村、法大國文科卒、「鷲の唄」、  
鹿兒島縣始良郡加治木町鹽入。

白田亞浪 十二年二月、長野縣小諸町、法  
大卒、「亞浪句鈔」併誌「石楠」を主宰  
す、東京市中野區西町四〇。

内田百閒 廿二年五月、岡山市、東大獨文  
科卒、「鶴」「有頂天」、法大教授、東京  
市牛込區市ヶ谷仲之町九。

宇野浩二 廿四年七月、福岡市、早大英文  
科卒、「子の來歴」「文學の眺望」、東京市  
下谷區上野櫻木町一七。

宇野千代 卅年十一月、山口縣岩國町、岩  
國高女卒、「オペラ館サクラ座」「色ざん  
げ」、東京市四谷區大番町一〇四。

生方敏郎 十五年八月、群馬縣沼田町、早

久米正雄 廿四年十一月、上田市、東大英  
文科卒、「久米正雄全集」「龍涎香」、神奈  
川縣鎌倉町二階堂。

倉田百三 廿四年二月、廣島縣庄原町、一  
高半、「處女の死」「絶對的生活」、東京市  
大森區新井宿四ノ一〇九。

藏原惟人 卅五年一月、東京、東京外語露  
語科卒、「藏原惟人藝術論」、東京市芝區  
芝公園十二號の四。

黒島傳治 卅一年十二月、香川縣蒲羽村、  
學歴なし、「武裝せる市街」「橋」、香川縣  
小豆郡蒲羽村。

山本有三 廿年九月、栃木縣栃木町、東大  
獨文科卒、「山本有三全集」「死の舞踏」  
(ストリンドベルヒ)、明大文藝科長、東  
京市外吉祥寺野田南一八二〇。

山田清三郎 廿九年六月、京都市、學歴な  
し、「地上に待つもの」、東京市淀橋區上  
落合二ノ七九二。

山内義雄 廿七年三月、東京市、東京外語  
佛語科卒、「贗金つくり」(ジイド)、「白  
き處女地」(エモン)、早大教授、神奈川  
縣鎌倉郡深澤笛田。

山岸光宣 十二年二月、高田市、東大獨文  
科卒、「現代の獨逸戯曲」「ゲーテ評傳」、  
文學博士、早大教授、東京市世田谷區北



澤四ノ四〇四。

矢野峰人 廿六年三月、岡山縣、京大文學部卒、「近代英文學史」「四行詩集」(オIマIカイヤム)、臺北大教授、臺北市大正町二ノ一三。

柳原輝子 十八年十月、東京、鳥居坂東洋英和女學校卒、「几帳のかげ」「指曼外道」東京市豊島區目白三ノ二六三〇。

柳田 泉 廿七年四月、弘前市、早大英文科卒、「カライル全集」「明治初期の翻譯文學」東京市小石川區西丸町二五。

柳澤 健 廿二年十一月、若松市、東大法科卒、「三鞭酒の泡」、外務省文化事業課長、東京市變島區長崎南町一ノ一八八六。

柳 宗悦 廿二年三月、東京、東大哲學科卒、「キリアム・ブレイク」「信と美」、京都市左京區下鴨膳部町九二。

矢田挿雲 十五年二月、金澤市、早大卒、「江戸から東京へ」「太閤記」、報知新聞社員、東京市大森區入新井六ノ四七。

矢崎 彈 四十年、新潟縣佐渡ヶ島、慶大文科卒、「新文學の環境」、東京市澁谷區代々木山谷二五二。

眞山青果 十一年九月、仙臺市、二高半、「大鹽平八郎」「玄朴と長英」、東京市小石川區第六天町四八。

小石川區表町七九。

小島政二郎 廿七年一月、東京、慶大文學部、「花咲く樹」「感情山脈」、東京市麻布區斧町一五五。

小杉天外 慶應元年八月、秋田縣六郷町、國民英學會に學ぶ、「筑前守茂興」「ちんぼ念佛」、神奈川縣逗子町櫻山。

小寺菊子 富山縣、徳田秋聲に師事、著書多し、東京市淀橋區百人町三ノ三二九。

小林秀雄 廿五年四月、東京市、東大佛文科卒、「文藝評論」「私小説論」、神奈川縣鎌倉扇ヶ谷三九一。

小宮豊隆 十七年三月、福岡縣犀川村、東大獨文科卒、著書多し、東北帝大教授、仙臺市北二番町六八。

後藤末雄 十九年十二月、東京、東大佛文科卒、「支那思想のフランス西漸」「佛蘭西精神史の一側面」、文學博士、慶大教授、東京市本郷區向ヶ丘彌生町三ノはノ三。

小松 清 卅四年六月、神戸市、神戸高商半、滯佛九年、「行動主義文學論」翻譯「王道」(マルロオ)NRF日本特置員、東京市杉並區馬橋四ノ五二九。

江口 渙 廿年七月、東京市、東大半、「新藝術と新人」「火山の下に」、東京市外吉

松村みね子 本名片山廣子、十一年、東京、「アイルランド戯曲集」その他翻譯多し、東京市大森區新井宿四ノ一三五二。

松村英一 廿二年十二月、東京、學歴なし、「短歌論鈔」「國民文學」を編輯す、東京市淀橋區西大久保三ノ一二八。

松岡 讓 廿四年九月、新潟縣上組村、東大哲學科卒、「漱石の思出」「漱石先生」、東京市品川區大井元芝町八一三。

正宗白鳥 十二年三月、岡山縣伊里村、早稲田專門文科卒、「正宗白鳥集」「故郷と異境」、東京市大森區南千束町二三七。

正木不如丘 廿二年二月、長野市、東大醫學部卒、「生死無限」「診療簿餘白」、醫學博士、長野縣上諏訪町湖心荘。

前田河廣一郎 廿一年十一月、仙臺市、中卒後渡米、「新選前田河廣一郎集」「本町通」(ルイス)、千葉縣御宿町新町濱。

前田夕暮 十六年七月、神奈川縣大根村、中學卒、歌集「水源地帯」散文集「朝青く描く」、東京市杉並區荻窪一ノ一六五。

深尾須磨子 兵庫縣、パリに前後五年遊ぶ、詩集「牝鶏の禰野」短篇集「マダムと快走艇」、東京市澁谷區千駄ヶ谷五ノ九〇二新宿ハッス。

深田久彌 卅六年三月、石川縣大聖寺町、

詳寺六一五。

江戸川亂歩 廿七年十月、三重縣名張町、早大經濟学部卒、「江戸川亂歩全集」、東京市豊島區池袋町三ノ一六二六。

江馬 修 廿三年十二月、長野縣高山町、中學半、小説、感想集多し、長野縣高山町。

青野季吉 廿三年二月、新潟縣佐渡ヶ島、早大卒、翻譯、評論集多し、東京市世田谷區世田谷三ノ二二四一。

秋田雨雀 十一年一月、青森縣黒石前町、早大英文科卒、「若きソヴェトロシア」「太陽と花園」、東京市豊島區雜司ヶ谷三ノ二二。

淺原六朗 廿八年二月、長野縣池田町、早大英文科卒、「愛慾の鋪道」「愛の非常線」東京市澁谷區千駄ヶ谷四ノ七五九。

阿部次郎 十六年八月、山形縣上郷村、東大哲學科卒、「地獄の征服」「世界文化と日本文化」、東北大教授、仙臺市土樋二四五。

阿部知二 卅六年六月、岡山縣湯郷村、東大英文科卒、「文學の考察」、文化學院講師、東京市杉並區荻窪二ノ九八。

安倍能成 十六年十二月、松山市、東大哲學科卒、「青丘雜記」「静夜集」、京城大教

東大哲學科半、「わが山山」「津輕の野づら」、神奈川縣鎌倉町二階堂。

福士幸次郎 廿二年十一月、弘前市、國民英學會卒、詩集「太陽の子」「詩學及詩論」、東京市深川區龜住町四七。

福田清人 卅七年十一月、長崎縣波佐見、東大國文科卒、「河童の集」「硯友社の文學運動」、東京市杉並區和田本町九〇一。

福田正夫 廿六年三月、神奈川縣小田原町、東京高師半、「福田正夫詩集」、東京市世田谷區北澤町五ノ八〇九。

藤澤桓夫 卅七年七月、大阪市、東大文科卒、「燃える石」、大阪市南區竹屋町九。

藤森成吉 廿五年八月、長野縣上諏訪、東大獨文科卒、「蜂起」「新選藤森成吉集」、東京市豊島區池袋町二ノ一二四三。

舟橋聖一 卅七年十二月、東京市、東大國文科卒、「白い蛇赤い蛇」「ダイウイング」明大講師、東京市淀橋區下落合一ノ四三五。

甲賀三郎 本名春田能爲、廿六年十月、滋賀縣日野町、東大應用化學科卒、「神木の空洞」「甲賀三郎集」、東京市澁谷區榮通一ノ四三。

幸田露伴 慶應三年七月、東京、菊池松軒に師事、「露伴全集」、文學博士、東京市

授、京城岡崎町六ノ五相澤方。

西條八十 廿五年一月、東京、早大英文科卒、「新選西條八十集」「西條八十譯詩集」。

早大教授、東京市淀橋區柏木三ノ四三三。

齋藤茂吉 十五年七月、山形縣堀田村、東大醫學部卒、歌集「朝の螢」「柿本人麿」、醫學博士、青山腦病院長、東京市赤坂區青山南町五ノ八一。

笹川臨風 三年八月、東京、東大國史學科卒、「江戸文藝史」「日本繪畫史」、文學博士、駒澤大學教授、東京市本郷區西片町一〇ほ二八號。

佐々木孝丸 卅一年一月、北海道釧路、筑波記録、東京市外吉詳寺九二一。

佐々木 邦 十六年五月、靜岡縣清水村、明治學院高等學部卒、「佐々木邦全集」、前慶大豫科教授、東京市澁谷區豊分町一。

佐々木信綱 五年六月、三重縣桑名村、東大古典科卒、歌集「鶯」「日本歌學史」歌誌「心の花」を主宰す、文學博士、東京市本郷區西片町一〇。

佐々木茂索 廿七年十一月、京都市、獨學、「新選佐々木茂索集」文藝春秋社編輯長、東京市麴町區平河町二ノ二。



佐藤惣之助 廿三年十二月、川崎市、詩集「西藏美人」隨筆集「釣心魚心」川崎市砂子町一ノ二六。  
 サトウ・ハチロー 廿六年五月、東京、中學半、詩集「爪色の雨」「ユーモア艦隊」東京市上野櫻木町二六。  
 佐藤春夫 廿五年四月、和歌山縣新宮町、慶大文學部半、「ぼるとがる文」「閑談半日」、東京市小石川區關口町二〇七。  
 里見 淳 本名山内英夫、廿一年七月、横濱市、東大英文科半、「渦心」「自然解」、神奈川縣鎌倉町雪ノ下四四二。  
 菊池 寛 廿二年十二月、高松市、京大英文科卒、「菊池寛全集」「貞操問答」、文藝春秋社長、東京市豊島區雜司ヶ谷金山。  
 貴司山治 本名伊藤好市、廿二年十二月、徳島縣鳴戸村、小卒、「同志愛」「暴露讀本」、東京府下吉祥寺五三四。  
 岸田國士 廿三年十一月、東京市、東大佛文科半、滯佛四年、「昨今横濱異聞」「鞭を弄ぶ女」、明大教授、東京市杉並區松庵南町二〇曙通。  
 北村小松 廿四年一月、青森縣八戸市、慶大英文科卒、「限りなき舗道」「望空夜話」東京市大森區南千束一四〇。  
 木下李太郎 本名太田正雄、十八年八月、

靜岡縣伊東町、東大醫學部卒、「木下李太郎詩集」「雪摺集」、醫學博士、東北大学教授、仙臺市茂市ヶ坂六。  
 木村 毅 廿七年二月、岡山縣勝間田村、早大英文科卒、「西園寺公望」「旅順攻圍軍」、東京日々社員、東京市淀橋區西大久保三ノ四七。  
 三上於菟吉 卅四年三月、埼玉縣櫻井村、早大英文科、「清川八郎」「雪之丞變化」、東京市赤坂區榎町三。  
 三木 清 卅一年一月、兵庫縣瀧野町、京大哲學科卒、獨佛に留學、「危機に於ける人間の立場」「人間學的文學論」、東京市杉並區高圓寺四ノ五三九。  
 三木露風 廿二年六月、兵庫縣瀧野町、早大卒、「三木露風詩集」「神への道」、東京府下三鷹村幸禮五八二。  
 三田村高魚 三年三月、八王子市、横濱法學學校卒、「江戸の女」、東京市中野區文園町二六。  
 水上瀧太郎 本名阿部章藏、廿年十二月、東京、慶大理財科卒、ハーバード大學に學ぶ、明治生命重役、「大阪の宿」「貝殻追放」、東京市麴町區富士見町一ノ一八。  
 三宅周太郎 廿五年四月、兵庫縣加古川町、慶大文科卒、「演劇評話」「文學の研究」、

東京市豊島區池袋町三ノ一六三七。  
 三宅雪嶺 萬延元年五月、石川縣、東大哲學科卒、著書多し、文學博士、東京市澁谷區代々木初臺五五四ノ二。  
 宮本顯治 四十一年十月、山口縣島田村、東大經濟學部卒、「レーニン主義文學論争への道」、中條百合子氣附。  
 三好十郎 卅五年四月、佐賀市、早大英文科卒、「炭塵」「切られの仙太」東京市澁谷區千駄ヶ谷町四ノ六一九。  
 志賀直哉 十六年二月、宮城縣石巻町、東大卒、「志賀直哉集」、奈良市上高畑。  
 島木健作 卅六年九月、札幌市、東北大卒、「獄」、東京市本郷區赤門前島木書院氣附。  
 島崎藤村 五年二月、長野縣神坂村、明治學院卒、「夜明け前」「桃の雫」、外遊中。  
 子母澤 寛 本名梅谷松太郎、廿五年二月、北海道石狩、明大法科卒、「國定忠治」「盗つ人且那」、東京市大森區新井宿二ノ一七四六。  
 下村千秋 廿六年九月、茨城縣朝日村、早大英文科卒、「天國の記録」「死より強し」東京市杉並區上荻窪八八一。  
 白井喬二 本名井上義道、廿二年九月、横濱市「日大政經科卒、「國史挿話全集」「白井喬二全集」、東京市世田谷區代田一

ノ七六三。  
 白石實三 十九年十一月、群馬縣安中町、早大英文科卒、「武藏野から大東京へ」「新版日本崎人傳」、東京市澁谷區代々木初臺五三四。  
 白鳥省吾 廿四年二月、宮城縣築館町、早大英文科卒、「現代詩の研究」「ホイットマン詩集」、東京市小石川區高田豐川町四二。  
 十一谷義三郎 卅年十月、神戸市、東大英文科卒、「笑ふ男笑ふ女」「ちりがみ草紙」神奈川縣逗子町櫻山二二二。  
 新村 出 九年十月、山口縣山口町、東大文科卒、「南國巡禮」、文學博士、京大教授、京都市上京區小山中溝町一九。  
 日夏耿之介 本名樋口園登、廿三年二月、長野縣飯田町、早大文科卒、「定本日夏耿之介詩集」「明治大正詩史」、早大教授、東京市杉並區阿佐ヶ谷六ノ一一七。  
 平田小六 卅七年十月、秋田縣大館町、中學卒、「囚はれた大地」、東京市豊島區駒込二ノ二六九。  
 平田禎木 六年二月、東京市、一高半、オクスフォード大學に學ぶ、「英文學散策」「爐に侍りて」、東京市本郷區駒込曙町二二。

平林たい子 卅八年十月、長野縣中洲村、諏訪高女卒、「敷設列車」「耕地」、東京市中野區驛前一九生稻方。  
 平山蘆江 十五年十一月、兵庫縣湊村、中學半、「藝者花曆」「人間市場」、東京市牛込區市ヶ谷富久町一一三。  
 廣瀨哲士 十六年九月、岡山縣津山市外、東大佛文科卒、「フランス全史」「藝術哲學」(テニス)、慶大教授、東京市杉並區上荻窪四三七。  
 廣津和郎 廿四年十二月、東京市、早大英文科卒、「風雨強かるべし」「作者の感想」東京市淀橋區西大久保一ノ四四五。  
 本山荻舟 十四年三月、岡山縣藤戸の渡し、學歷なし、「名人崎人」「近世劍客傳」、東京市京橋三ノ三。  
 百田宗治 廿六年一月、大阪市、詩集「跳橋」「詩作法」、詩誌「樵の木」教育誌「工程」を主宰す、東京市中野區小澁三三。  
 森 荻菟 廿三年九月、東京、東大理學部及醫學部卒、「屍室斷想」、醫學博士、東大助教、埼玉縣大宮町外盆裁村。  
 森田草平 十四年三月、岐阜縣鷺山村、早大英文科卒、「吉良家の人々」「ユリシイズル」(ジョイス)、法大教授、東京市目黒區上目黒一ノ一四三。

森山 啓 卅七年三月、新潟縣、早大文科半、詩、評論多し、東京市淀橋區戸塚町三ノ一一〇。  
 關口次郎 廿六年六月、福井縣敦賀町、東大獨文科卒、「母親」「鴉」、東京市澁谷區幡ヶ谷本町二ノ三三六。  
 芹澤光治良 卅五年五月、沼津市、東大經濟學部、滯佛數年、「勿體ない御時勢」東京市中野區小瀧町五二。  
 菅 忠雄 卅二年二月、東京市、上智大獨文科半、小説多し、文藝春秋社員、神奈川縣鎌倉町二階堂大塔宮裏。  
 杉山平助 廿七年六月、大阪市、慶大理財科卒、「文藝從軍記」「氷河のあくび」、東京市目黒區綠ヶ丘二三〇一。  
 鈴木 清 四十年、秋田縣旭村、山形高校半、「監房細房」、秋田縣平鹿郡旭村塚堀字塚越。  
 鈴木信太郎 廿八年八月、東京市、東大佛文科卒、「ボエジ」、東大助教、東京市豊島區西巢鴨町一ノ三五一九。  
 鈴木善太郎 十七年一月、福島縣郡山市、歐米を巡遊、モルナールの翻譯多し、東京市品川區北品川六ノ三四五。



# 趣味・娛樂

## 競馬

### 競馬の歴史

我が國古來から各地に競馬はあつた。賀茂の祭禮に行はれる競馬は殊に有名であつた。しかし明治維新後外國の競馬に倣つて行つた競馬の最初は北海道札幌で、明治十一年開拓使育種場内に橢圓形馬場を作り競馬規則を發表して春季に舉行した。續いて明治十二年十二月馬匹増殖の主旨で三田育種場(今の四國町)に開催されたのが本土での嚆矢。札幌競馬はこの後身で、明治天皇の天覽を賜はつた事もあつた。三田の方も民間の催しで東京ではその後不忍池畔、戸山學校で行つたこともあつたがこれは全部廢滅してしまつたのである。

明治十五年在留外國人が設立し馬券を賣る競馬を始めたのが日本レースクラブの前身で、これと相前後して函館競馬が行はれることとなつた。しかし馬券を賣らない競馬は永續の可能性なく、函館の他は全部滅

失、日本レースクラブのみ隆々としてゐた。

その後日露戦争によつて馬匹の不足不備が國家に大影響を持つことを悟り、ここに明治三十九年政府の許可を得て府下池上に東京競馬會が設立された。これが我が國の眞の意味の馬券發賣の元祖であつた。その成績が良いので引つゞいて、川崎、松戸、板橋、京都、鳴尾、小倉、宮崎、新潟、藤枝、札幌等新設或は復活して大變な勢ひであつたが、種々の弊害が起つて來たといふ理由で、四十一年松戸秋季を終りとして馬券を禁止される事になり、我が競馬はこゝに一頓挫することになつた。政府は競馬規定を設けて補助金を出して繼續方を講じたが到底挽回の策なきを知り、大正三年には現在の地方競馬とやゝ相似たる勝馬投票券を添へ投票的中者に景品券を贈るといふ姑息手段を考へだしたが、これとて衰頹を防ぐのみの方法で、一方明治四十四年東京、小倉、京都、藤枝(今の福島)、新潟、松戸(今の中山)、札幌、函館、宮崎の九競馬の代表者が協議して毎年秋季定會を開くことになつた。これが現在の帝國競馬協會で大正九年阪神、日本も加はり社團法人として許可されここに大同團結を遂げ、十數年に互

### 競馬の現状

る馬券復活の運動に熱中し、漸く大正十二年第四十七議會で政府提出の競馬法案が通過し七月から實施され、昭和四年及び昭和五年、更に昭和六年と三度改正が行はれ、復活後十年基礎益々固く競馬黄金時代が築かれて來た。こゝに於て馬政計畫も第一次を終了、愈々第二期に入ることとなり、ここに競馬の地盤固めの意味を含め、昭和十一年第六十九議會に四度目の改正案が政府より上程可決され、秋から實施されるのであるが、この案によつて、十一競馬俱樂部は財産等凡てを一つの日本競馬會に合流し益々その發展及び強化を試み、且つその政府納金の増額により各種社會事業と馬政事業の圓滑運行を期待されてゐる。

帝國競馬協會(東京芝區新櫻田町)——近く變形して日本競馬會となるもの——に於てその事務一切を統轄連絡してゐる。出走馬の名登録、血統登録、騎手の服色登録等を行ひ、この登録を完了せざる馬は公認競馬に出走せしめない事になつてゐる。

各俱樂部毎に一年春秋二季開催して賣上る勝馬投票券の金額は頗る尅大な數字を示しその一割五分を俱樂部の手数料及び政

府納金に充てるのであるが、農林省に入るこの政府納金も従つて年額四百萬圓に近く、これは一部を救護法の財源に充てることになつてゐる。その財源となる勝馬投票券は全國十一ヶ所殆んど凡て二十圓券で特別に單勝式十圓券の所もある。馬券は單複一枚づゝ買ふ事が出来る。最高拂戻は二百圓と限定されて最低は元金の二十圓と規定され他に特別拂戻金(特配)がある。

地方競馬：全國各府縣には畜産組合聯合會の主催によつて許可される地方競馬がある。これも近來異常な向上進歩を示し、設備等も殆んど公認競馬の域にまで到達せんとしてゐる。

勝馬投票券は一枚一圓で、公認競馬の二十圓券に比して、大衆的である爲、フアンは頗る多く、四日間の一季開催中に百萬餘圓を賣上ぐる程の盛況である。昭和八年八月より農林省令により規則改正せられ、公認競馬同様に馬名登録、騎手登録等の事務を帝國馬匹協會(麴町區内幸町東洋ビル内)に於て統轄してゐるが、全國百ヶ所餘りの地方競馬の連絡は相當困難とされ、將來幾多の改善が必要とされてゐる状態である。

### クラシックレース記録

趣味・娛樂——競馬

- ▲東京優駿(二千四百米)十一年春 トクマサ 55 伊藤正 三・四・一
- (このレースは明け四歳馬最初の大競走で英國競馬界のダービー・レースと同じシステムによる競走である。本賞金一萬圓、附加賞一萬圓餘、我が國最高の賞金が懸けられてゐる重大な競走である)
- ▲阪神四歳牝馬(二千二百米)十一年春 ピアスアロートマス 55 高橋要 三・七・三
- ▲阪神四歳牝馬(二千四百米)十年秋 シヤダイツアテ 55 伊藤勝 三・三・三
- (これは東京ダービーに對して、英國のオークスレースに範をとつたもの、明け四歳牝馬のみを出場せしめる本賞五千圓の競走で、春は二千米、秋は四歳馬の成熟を見て距離を延長してある)
- ▲札幌ステークス(二千米)十年秋 イチノヤ 56 清水茂 三・九・〇
- (北海道産の四歳牝馬の競走で、北海道唯一のクラシックレース、このために札幌競馬俱樂部としては過大な三千圓の一着賞金を出してゐる)
- ▲中山ステークス(二千四百米)十年秋 ナスタマ 55 井川 三・四・三
- (四歳牝馬のためのステークスで、東京優駿以後の名馬の進境を見るべき重大

- な意義を持つてゐる。本賞三千五百圓、附加賞五千圓内外の大賞金である)
- ▲農林省賞典(三千二百米)
  - 東 十 秋 アカイシダケ 56.5 尾形 三・三・三
  - 京 十 春 ホンイ 58 稗田十 三・四・四
  - 阪 十 秋 スモールジャック 58 諏訪 三・三・一
  - 神 十 春 クキンアスパイ 57 伊藤勝 三・三・二
  - 日本記念十一春 ハッピーユーピア 58 田中和 三・三・〇
  - 京都記念十一春 アキツキ 58 内藤潔
  - (このレースは農林省の大賞盃を獲得する長距離競走、前季新呼競走の一、二、三着に入賞した馬を出場資格としてゐる。東京、阪神のみであるが記念競馬の爲に特に日本及び京都に此のレースを設けた。注目されるのは京都でア古抽のみに對する初めての長距離競走である)
  - ▲中山五歳馬特別(三千二百米)十年秋 トイチ 58 佐藤修 三・三・一
  - (十 秋) フツウ 55 稻葉秀 三・二・五
  - (十一 春) トイチ 58 佐藤修 三・三・一
  - (五歳呼馬のレースで、重量は長距離レ



1. スの勝利度数による増加削減される

▲東京五歳馬特別(二千四百米)春秋

〔十秋〕 ミスアキヲ 60 佐々木安 二・三九・三

〔十一春〕 フ ソ 稲葉秀 二・四四・三

〔中山と異なる點は四歳當時競走に出場した馬といふ條件が加はつてゐるのと重量がハンデキヤップになつてゐることである〕

▲横濱特別競走(三千二百米)春秋

〔十秋〕 ナ シ ヨ ヲ 武田文 三・四三・三

〔十一春〕 クレオバトラトマス 65 伊藤勝 三・三九・二

〔この競走は前年の競馬に出走した、五歳、六歳の古馬を出走資格とし、八年春から重量はハンデキヤップとなつた〕

▲京都農林賞典牝馬(三千二百米)春秋

〔十秋〕 シヤンダークトマス 54 稗田 三・三五・〇

〔十一秋〕 クレオバトラトマス 56 伊藤勝 三・三三・二

〔前年の競馬に出走して賞を得た六歳以下の牝馬のみのレースで、十年秋から農林省賞典が下附される事となつた。京都

▲農林省賞典障碍競走(四千四百米)春秋

〔十秋〕 オ 1 シ ス 63 佐藤修 五・〇二・二

〔十一春〕 シュビターユートピア 60 中口 五・〇二・四

〔最初中山大障碍競走といはれたレースで、農林省賞典は十年秋より下付されたのである。参加資格呼馬に限らずサ系抽ア系抽馬も参加でき、サラ抽は二疋ア抽は五疋を減ぜられる。但し牝馬の馬齢重量に依る減量は一疋である。本賞金一萬圓賞金及び附加賞で、ダービーに對抗する日本唯一の最長距離障碍競走であり、大賞金レースである〕

▲小倉ア抽障碍競走(三千六百五十米)

〔十秋〕 ケントップ 60 近藤 四・三三・二

〔十一春〕 タ フ 62 鈴木正 四・六〇・〇

〔ア抽の代表的レースで昭和九年春季より行はれてゐる。九年度は三千六百米であつたが、現在は五十米延長されてゐる。重量は出走の際増加重量六疋以上の馬は五疋に止め、五疋以下の馬は規定に依る重量より二抽を減ずる規定で、賞金は三千七百圓ア抽最高賞金のレースであ

牝馬聯合と通稱されてゐたレース

▲小倉特別競走(三千二百米)春秋

〔十秋〕 トリーサー 57 濫川 三・三六・四

〔十一春〕 マンシユウ 58 大久保龜 三・四四・四

〔九州産馬のみ出走権を持つ大レースである〕

▲目黒記念(三千四百米)春秋

〔十秋〕 アカイシダケ 64 尾形 四・〇二・三

〔十一春〕 ミスアキヲ 58.5 佐々木安 四・〇九・二

〔前年の競馬に出走した馬盡く出走資格がある。重量はハンデキヤップ、東京二哩一分と通稱されてゐるが、同俱樂部が目黒から府中に移轉したのでこの名稱を付したものである〕

▲中山特別(四千米)十一年春

アカイシダケ 61 尾形 四・四九・二

〔呼馬は盡く登録権がある。重量は馬齢重量より牡馬は五疋、牝馬は六疋を減じ、一回毎に一疋を増すことになつてゐる。日本に於ける平場の最長距離レースである〕

離競走となつてゐる。

日本最高記録

◇…二千六百米(駢歩)…◇

〔ア系新抽〕 ワカミツ 53 星 一・四七・二〔八春京〕

◇…千八百米(駢歩)…◇

〔ア系新抽〕 ゴリユウカツ 55 吉田政 一・五九・三〔九春札〕

〔新〕 ミラクユートピア 55 中村一 一・五五・〇〔九春阪〕

〔ア〕 カシ 62 櫻井 一・五七・二〔九秋阪〕

〔古〕 ヒロウイツク 60 相羽 一・五五・〇〔五春福〕

〔古〕 キンガセカンド 57 函館 一・五三・四〔七春福〕

◇…二千二百米(駢歩)…◇

〔ア系新抽〕 ゴリユウカツ 53 吉田政 二・二二・二〔九春札〕

〔新〕 ミラクユートピア 56 中村一 二・〇六・〇〔九春阪〕

〔ア〕 カシ 76 櫻井 二・〇九・三〔十秋京〕

〔古〕 ライオ 61 清水権 二・〇八・四〔三春阪〕

〔古〕 ヤマヤス

◇…二千二百米(駢歩)…◇

〔ア系新抽〕 シルクドーター 54 布施文 二・三三・四〔九秋小〕

〔新〕 サンモリツツ 56 杉浦 二・〇二・四〔十一春京〕

〔ア〕 タスト 63 杉浦 二・六六・二〔十一春日〕

〔古〕 カツタークイン 63 武田文 二・四二・二〔九秋小〕

〔古〕 クラミン 62 元石 二・二〇・二〔十春京〕

◇…二千三百米(駢歩)…◇

〔ア〕 タカヒサ 60 金澤 二・三三・二〔十一春東〕

〔古〕 クラツクスマート 74 尾形 二・三三・〇〔九秋東〕

〔新〕 マリーユートピア 53 大久保房 二・七三・三〔十一春東〕

〔古〕 スパシヨシ 63 伊藤勝 二・七三・一〔十春東〕

◇…二千四百米(駢歩)…◇

〔新〕 ツキヤス 54 田中和 二・四九・一〔十秋日〕

〔ア〕 カシ 57 相羽 二・六六・〇〔九秋京〕

▲皇室御賞典(二千米)

〔十秋〕 ミスアキヲ 59 佐々木安 二・〇二・二

〔十一春〕 アトラン 62 高木良 二・〇九・二

〔十秋〕 スモールツヤツク 56 諏訪 二・〇二・四

〔十一春〕 エレギヤラトマス 56 井川 二・〇八・四

〔日〕 アカイシダケ 63 尾形 二・一〇・一

〔本〕 トクマ 59 伊藤正 二・〇七・四

〔函館十秋〕 テンシヨウドー 57 浅野 二・二五・二

〔小倉十一春〕 コウラルパール 55 星 二・〇八・二

〔福島十一春〕 マツミヤチダケ 56 荒井 二・〇七・〇

〔札幌十一春〕 イエミ 64 上村 二・〇七・一

〔このレースは長き邊りより特に馬匹改良の思召を以て、優良馬匹に御紋章入りの大銀盃を賜はるもので、各馬主の最も光榮とする所、現在は全て二千米の中距離



- [古] 抽 リンカーン
- [古] 呼 柴田寛 三・三〇〇 [四秋阪]
- [古] 呼 中村一 二・三〇〇 [九春福]
- ◇…二千六百米(障)…◇
- [ア] 抽 タカヒサ
- [古] 抽 ヨコツナ
- [古] 呼 アサハギ
- ◇…二千七百米(障)…◇
- [ア] 抽 ヒロウイック
- [古] 呼 美馬信 三・五〇二 [十秋阪]
- [古] 呼 サラナツク
- ◇…二千八百米(障)…◇
- [古] 呼 マリーユトピア
- ◇…三千二百米(障)…◇
- [古] 呼 ハクコウ
- ◇…三千四百米(障)…◇
- [古] 呼 スモールジャック
- ◇…四千二百米(障)…◇

- [古] 呼 ハクリユウ
- ◇…二千二百米(障)…◇
- [ア] 抽 フクフシ
- [古] 抽 永松 二・三〇一 [九秋阪]
- [古] 抽 シヨウト
- [古] 呼 ビンオ
- ◇…二千三百米(障)…◇
- [ア] 抽 ロクコウザン
- [古] 呼 後野 二・三九二 [八春札]
- [古] 呼 西野 二・四六一 [八秋小]
- [古] 呼 ミスピアス
- ◇…二千四百米(障)…◇
- [ア] 抽 アルセーヌ
- [古] 抽 木村 二・四三三 [十春日]
- [古] 抽 イチフザ
- [古] 呼 シヤダイノホル
- ◇…二千五百米(障)…◇
- [ア] 抽 コスモス
- [古] 抽 中路 二・五七四 [十一春新]
- [古] 抽 スヒヤ
- ◇…四千二百米(障)…◇

- [呼] 馬 サイルキヤツア
- ◇…二千六百米(障)…◇
- [ア] 抽 ケンキ
- [古] 抽 渡邊正 三・〇三二 [小一春新]
- [古] 抽 モダンボーイ
- [古] 呼 ヤマミチ
- ◇…二千七百米(障)…◇
- [ア] 抽 サシゴ
- [古] 呼 和田 三・〇〇二 [九秋阪]
- [古] 呼 ダービー
- ◇…二千八百米(障)…◇
- [ア] 抽 タフク
- [古] 抽 鈴木正 三・七七一 [十春日]
- [古] 抽 クラックマリヤ
- [古] 呼 稗田十 三・四四四 [九春日]
- [古] 呼 ダービー
- ◇…二千九百米(障)…◇
- [古] 抽 オシヨロ
- [古] 呼 古賀 三・三三三 [十春中]
- [古] 呼 シュビターユートピア
- ◇…四千二百米(障)…◇

- ◇…三千米(障)…◇
- [ア] 抽 テンオ
- [古] 呼 齋藤 三・三六八 [十一春京]
- [古] 呼 ハシシ
- ◇…三千二百米(障)…◇
- [ア] 抽 タフク
- [古] 呼 小畑 三・四七四 [十秋阪]
- [古] 呼 アスベル
- ◇…三千三百米(障)…◇
- [呼] 馬 サイユース
- ◇…三千六百米(障)…◇
- [ア] 抽 ヒロコ
- [古] 呼 法理 四・三九四 [九秋小]
- [古] 呼 トカチイチマル
- ◇…三千六百五十米(障)…◇
- [ア] 抽 ダイヤキン
- [古] 呼 松田一 四・七三三 [十春小]
- [古] 呼 スイウ
- ◇…四千二百米(障)…◇
- [呼] 馬 シュビターユートピア
- ◇…四千四百米(障)…◇
- [呼] 馬 中口 五・〇一四 [十一春中]

- ◇…三千二百米(障)…◇
- ツルシマ
- ◇…三千四百米(障)…◇
- リヨ
- ◇…三千六百米(障)…◇
- キングスポート
- ◇…三千八百米(障)…◇
- キングスポート
- ◇…四千二百米(障)…◇
- ユニオンジャック
- ◇…四千二百米(障)…◇
- マイフアザ
- ◇…四千四百米(障)…◇
- ナガサキ
- ◇…四千五百米(障)…◇
- オツタ
- ◇…四千六百米(障)…◇
- ミシシツピ

- ◇…四千八百米(障)…◇
  - キングスポート
  - ◇…五千米(障)…◇
  - ベストニツク
  - ◇…五千二百米(障)…◇
  - アイダホ
  - ◇…六千二百米(障)…◇
  - オンタ
- 大橋 七・四二二 [九秋東]
- 瀧直 七・〇三三 [九春阪]
- 村田 七・四四〇 [十春阪]
- 加藤猛 八・二二二 [十春阪]
- 瀧直 九・五二二 [十秋阪]
- 〔註〕この最高記録は、馬場のコンデイション等を考へず、たゞ日本に於ける各種目各距離のベストタイムを掲出したもので、昭和九年からは米國産トロッター系の出現で、繋駕のレコードは盡く更新されてしまつた。駈歩では特筆する程の事はなく、ア抽カンロが京都で示した二千米二分九秒三のレコードのみが注目される。
- 種牡馬ベストテン (昭和十年度)
- |   |        |    |       |
|---|--------|----|-------|
| 順 | 馬名     | 勝鞍 | 一着賞金  |
| 1 | トウルマソル | 一八 | 二七、三九 |
| 2 | シヤンモア  | 五  | 一五、三〇 |







松岡 國松

井上家は本因坊よりの出にして、代々因碩と稱し、現代は十六世である。

七段 井上 因碩  
五段 池上 清 秋山民五郎  
野村 方毅

將棋

大成會(東京市赤坂區青山北町五ノ四一)棋道の全國的統一されてゐた、日本將棋聯盟では、昭和十年十一月神田七段の昇格問題に端を發し、遂に分裂し、同聯盟から脱退した、花田、金子、神田七段等を中心として、新たに革新協會を起し、以來對立を續けてゐたが、これを苦慮し小菅劍之助八段が乗り出し、紛擾解決に當り、棋界の統一、大同團結を説いた處、茲に昭和十一年六月廿九日を以て日本將棋聯盟、日本將棋革新協會、大阪十一日會等總ての將棋會を一應解散して、新たに全日本の將棋會を打つて一丸とする、新團體「大成會」が創立された、斯くて八ヶ月に亙る棋界の分裂も、元の鞘に納まり、棋道の向上、進展の爲めに進むことになつた、この大同團結と

共に聲明書を發表した。

「大成會聲明書」

棋界の統一は多年の希望でありましたが遂に達成せられ本日(以て日本將棋聯盟、日本將棋革新協會、十一日會の三團體を解散し、全國を打つて一丸とせる將棋大成會が創立されました、本會は會員克く自制、克く結束、斷乎として諸情弊を剪除し、一意棋界の進歩發展に邁進する覺悟であります、尙ほ名人位決定戰は新たに神田、萩原兩八段を参加せしめて續行致します

昭和十一年六月廿九日

將棋大成會會長第十三世

△東京所屬棋士

名人 關根金次郎  
八段 土居市太郎 大崎 熊雄  
金 易二郎 花田長太郎  
木村 義雄 金子金五郎  
萩原 淳  
七段 溝呂木光治 山本 樟郎  
宮松關三郎 小泉 兼吉  
齋藤銀次郎 渡邊 東一  
六段 石井 秀吉 飯塚勘一郎  
寺田 梅吉 平野 信助

△關西支部所屬棋士

八段 木見金治郎 神田辰之助  
六段 村上 眞一 中井 捨吉  
五段 藤内 金吾 辻 繁之助  
高濱 作藏 濫川奈良吉  
大野 源一 小笹吉次郎  
松田 辰雄  
四段 上田 三三 角田 三男  
神前 光三 畝 美代吉  
升田 幸三  
五段 坂田 三吉 竹内 丑松  
八段 小菅劍之助 高橋 其木  
七段 早川 隆教 小林慶之祐  
六段 時田慶三郎 吉川 清助  
五段 奧坂金次郎  
伊藤一太郎  
松田 政雄

△高段棋客

名人 坂田 三吉  
八段 小菅劍之助 竹内 丑松  
七段 早川 隆教 高橋 其木  
六段 時田慶三郎 吉川 清助  
五段 奧坂金次郎  
伊藤一太郎  
松田 政雄

舞踊 (一年史)

【九月】廿四日 石井小浪公會堂に公演「奇怪な昆蟲」「恐怖の踊」「時の踊」等を發表「藤陰靜枝作品小會を三越に催す」廿六日 柳橋かたばみ會明治座に開かれ「虎少將道行」上演。廿七日 石井みどり第一回發表會を日本青年館に行ふ「扉」「ダイナモ」等好評、日本舞踊協會第十回公演を二日間東劇で開催。廿八日 軍人會館で三曲舞踊大會開く(二日間)廿九日 先代花柳壽輔三十三回忌追善舞踊會歌舞伎座に行はる、檜健次第五回公演(青年館)  
【十月】二日 花柳壽輔第五回公演公會堂に開かれ新作「寂光」を發表。六日 水木歌榮舞踊會(仁壽)七日 山田五郎仁壽に公演。十二日 中村千世(若柳吉登代)舞踊會二日間仁壽講堂に開く。十三日 石井榮子第二回發表會青年館に開かれ「哀しき諧謔」「漂泊びと」「崎型三稜鏡」等を上演、ターキー祭(東劇)、藤陰靜枝作品小會(ホテル演藝場)十五日 花柳壽太郎柳壽會二日間ホテル演藝場に開催、藤間勘與志藤花會(飛行館)十七日 林きむ子銀閃會青年館に開かれ「冥府の想思鳥」

「火祭の夜」等を發表、津田信敏發表會(飛行館)廿日 珠寶會十二回公演公會堂に催され「摩耶夫人禮讚」「發掘」等を發表、西崎綠嫩葉會(白木屋)廿二日 崔承喜公演、洋舞朝鮮舞踊數種發表して好評。廿四日 花柳壽二郎發表會「吉野狐」上演(飛行館)廿六日 西崎綠嫩葉會軍人會館に開く、民俗藝能大會(公會堂)廿八日 下谷演藝大會二日間歌舞伎座に開く、葦町演藝大會も二日間明治座に開催。廿日 地唄舞大會(軍人會館)

【十一月】一日 秋のあづま踊り演舞場に開く、第二回花柳德榮會(白木屋)三日 若柳吉延會(仁壽)七日 河上鈴子發表會軍人會館に催され「ホレロ」「オロロ」等を發表。八月 若柳吉三郎納會(ホテル)九日 勘十郎藤陽會(飛行館)十日 柿澤充發表會(飛行館)十一日 花柳昌太郎第一回銀玲會(仁壽)田澤千代子思ひ出の會(軍人會館)十二日 江口隆哉、宮操子夫妻の發表會公會堂に催され「物體舞踊」を上演。十五日 清水和歌舞踊會(青年館)十六日 原田佳明白楊會(青年館)花柳德太郎納ざらひ二日間ホテル演藝場に催さる、坂東三津美會(仁壽)十七日 花柳祿壽會(仁壽)十九日

花柳德兵衛第三回公演を軍人會館に開き、「死面」「自己と善惡」を發表。廿三日 藤陰芳枝納會(三越)廿五日 澤モリ、を思ふ會(新宿座)廿六日 曙會公演を二日間歌舞伎座に催され「魔笛」を發表、藤間勘素娥の茂登女會公演二日間公會堂に開き「外郎賣」「短夜」等を發表。廿九日 益田トリア公演(公會堂)

【十二月】一日 高田せい子公演(公會堂)「芥子粒夫人」を上演。四日 藤間喜與惠發表會(仁壽)林龍男第一回公演(飛行館)十三日 花柳壽美之輔第一回寶壽會(仁壽講堂)十一月末 十二月初め五日間、スвейンの舞姫マヌエラ・デル・リオ來朝、公會堂に妙技を揮ふ。  
【一月】十七日 邦正美新作發表會軍人會館に開かれ「生絲アーム」上演。十八日 爽々會第一回公演(東寶小劇場)廿五日 花柳德太郎柳櫻會(白木屋)  
【二月】一日 柳櫻會別會(白木屋)廿二日 藤陰靜枝第一回發表會を青年館に開き「横笛幻想曲」を上演。廿六日 市川流升影會(仁壽)舞踊評論家の團體一月會生る。  
【三月】九日 中川三郎歸朝發表會(公會堂)十一日 花柳德之輔追悼舞踊會



(飛行館)▼十五日 名流舞踊の夕(公會堂)▼廿三日 第一回若柳光妙會(仁壽)▼廿八日 若柳吉與志芽柳會大會二日間歌舞伎座に催さる。▼廿九日 日本舞踊協會大會二日間東劇で開催、花柳德榮會(仁壽)▼卅日 東西廓の夕二日間明治座で開催、松島金惠會(仁壽) 哥澤芝松哥澤振りの會(ホテル演藝場)

【四月】▼三日 先代水木歌若追善舞踊會(仁壽)▼四日 水木歌壽榮第一回(飛行館)▼九日 東をどり初日(演舞場)▼十日 郷土舞踊の會三日間日本青年館で開く▼十一日 柳櫻會(白木屋)▼十二日 津田信敏、同咲子結婚。▼十五日 藤蔭千枝第一回發表會を青年館に催し、「白紙と秋」「地上の子」等を發表。▼十七日 花柳祿壽綠會(仁壽)▼十八日 先代水木歌若追善法要を大崎本立寺で執行、花柳徳四郎會(飛行館)▼十九日 花柳徳之志會(ホテル)▼廿三日 水木歌橋の會(仁壽)▼廿四日 藤間勘妙藤間會(飛行館)▼廿五日 珠寶會第十三回公演を公會堂に開き、「月の湖」「生命の焰」等を發表、エリアナバグロバ公演(蠶絲會館)▼廿六日 印牧季雄會(青年館)花柳壽太郎會(公會堂)▼廿八日 西崎綠嫩葉會第七回公演を公會

堂に開き「鈴」「火焰獅子」等を發表、石井美代美成會(有樂座)、柳橋むらさき會二日間明治座に催さる、藤蔭桃枝會(電氣クラブ)▼廿九日 赤坂温習會二日間歌舞伎座に開催。▼卅日 花柳德榮美第一回發表會を仁壽講堂に開き「繪踏」「櫻二題」を上演

【五月】▼一日 鈴木初江發表會(青年館)▼二日 津田信敏發表會(青年館)、本田武雄(花柳壽三郎)公會堂に公演。▼三日 石井みどり獨立第一回發表會を日本青年館に開く、千葉みづる公演(市政講堂)▼九日 井上徳雄第四回公演(飛行館)、坂東三津藏會(仁壽)▼十日 河野たつる會(仁壽)▼十二日 田澤千代子告別舞踊會を青年館に開き「或る日の千姫」上演。▼十五日 山田五郎門下生の會(飛行館)、ウキゲマンの舞踊映畫来る。▼十七日 高田せい子門下生修舞會(三越)、石井漢舞踊公演(公會堂)、林きむ子銀閃會公演青年館に催され「仁和寺の和尚」等を發表。▼十八日 藤間喜與惠會(仁壽)▼柳櫻會別會(飛行館)▼廿一日 第三回東京水木會公演(仁壽)▼廿二日 二日間藤間勘十郎第一回藤間會仁壽に開く。▼廿五日 藤蔭靜枝修舞會(青年館)▼廿七日 吾妻春枝春藤會二日間演舞場に催され「石燈籠」を上演。▼廿

八日 霞町温習會(明治座)▼廿九日 花柳研究會第廿一回公演二日間演舞場で開催せられ「義經千本櫻」を上演、柳橋つばめ會歌舞伎座に催さる。▼卅日 花柳徳兵衛温習會(飛行館)▼楢健次渡米の途に就く

【六月】▼四日 小森敏歸朝第一回發表會を日本青年館に開く。▼十日 石井漢氏謝恩舞踊會(公會堂)▼十三日 藤蔭芳枝第四回發表會を仁壽講堂に開く。▼廿日 花柳家元春季渡ひ會(仁壽)▼廿四日 橋秋子第三回新作發表會(青年館)

【七月】▼五日 花柳昌太郎第二回銀玲會(白木屋)▼田澤千代子渡米出發。▼八月▼十一日 石井榮子孃急逝す。▼世界的舞踊家アルヘンテイナ佛國で客死

舞踊家住所録  
 滝橋區東久保一ノ二七一小沼方 青山 圭男  
 京橋區銀座七ノ四 吾妻 春枝  
 澁谷區宇田川町六三松本方 東 勇作  
 世田谷區代田二ノ九五七 石井 郁子  
 目黒區自由ヶ丘一六九 石井 小浪  
 目黒區自由ヶ丘六二 石井 漢  
 豊島區長崎東町三ノ五一五 石井みどり  
 世田谷區北澤二ノ八六 井上 徳雄  
 世田谷區池尻町一九五 梅園 龍子  
 目黒區平町三〇五 江口 隆哉

赤坂區繪町乃木坂俱樂部 ガーネット  
 大森區久ヶ原六四一 栗島すみ子  
 杉並區永福町二六四 崔 承 喜  
 杉並區和泉町一〇一 堺 千和子  
 杉並區荻窪三ノ七〇 執行 正俊  
 澁橋區百人町三ノ二七九 清水 和歌  
 澁橋區柏木四ノ八六八 高田せい子  
 神田區神保町三ノ一七 田澤千代子  
 杉並區大宮前五ノ二九八 橋 秋子  
 赤坂區高樹町三 津田 信敏  
 淺草區田島町八六 中村 小虎  
 下谷區同朋町一 西川 喜洲  
 小石川區原町一二 西崎 綠  
 品川區南品川一ノ二三七 花柳悦太郎  
 京橋區木挽町六 花柳 壽輔  
 赤坂區青山高樹町八 花柳 壽鏑  
 赤坂區青山北町三ノ六七 花柳 壽美  
 京都區八丁堀二ノ二 志賀山勢以  
 下谷區上根岸八二 中川 三郎  
 四谷區内藤町一 花柳 珠實  
 麴町區平河町二ノ一 花柳昌太郎  
 淺草區左衛門町一 花柳徳兵衛  
 麹町區有樂町蠶絲會館内 エリアナ・バグロバ  
 日本橋區蠣殻町四ノ三 花柳徳榮美  
 日本橋區濱町三ノ一九 花柳 綠壽  
 豊島區西巢鴨四櫻小路 林 きむ子

本郷區丸山福山町七 坂東三津藏  
 芝區田村町三ノ四 坂東三津美  
 麻布區霞町六 花柳壽二郎  
 小石川區小日向臺町三ノ九八 花園歌子  
 四谷區鹽町三ノ三八 楡 健次  
 赤坂區表町二ノ一三 藤間喜與惠  
 麻布區霞町六 藤蔭 靜枝  
 麴町區三番町六ノ一二 藤間勘素娥  
 杉並區和泉町一〇一 藤田 繁  
 澁谷區青葉町三 藤蔭 芳枝  
 京橋區新堀町一ノ一四 藤間勘十郎  
 淺草區千束町二ノ三二〇 藤間 勘妙  
 世田谷區北澤四丁目四〇一 益田 隆  
 品川區西品川三ノ八三七 水木 歌若  
 芝區車町七四 水木歌素榮  
 蒲田區御園町二三三 水木 歌橋  
 本郷區向ヶ丘彌生町三ほの八 山田五郎  
 日本橋區芳町一ノ六ノ二 若柳 吉藏  
 麴町上二番町二 若柳吉登代  
 芝區新橋一ノ二二 花柳徳太郎  
 澁谷區中通り一ノ三四 藤間 勘齋  
 横濱市鶴見區平安町一ノ二五三 坂東三津五郎  
 京橋區港町三ノ一〇 坂東三津之丞  
 澁谷區千駄ヶ谷五ノ八九一 中村 福助  
 荒川區日暮里町九ノ一一一〇 柏木琴章  
 世田谷區北澤四ノ三六二 邦 正美

映畫

四谷區左門町九九 林 時夫  
 京橋區木挽町四皆川ビル 河上 鈴子  
 杉並區阿佐ヶ谷三ノ二九〇 小森 敏

三五年度下半期のアメリカ映畫は、コロムビアの「俺は善人だ」メトロの「男の敵」パラマウントの「生きてゐるモレア」西班牙狂想曲「R.K.O.の虚榮の市」「泉」心の傷手」等が先づ識者によつて優秀作と認められた。興行的にはユニヴァーサルの怪奇映畫「フランケンシュタインの花嫁」や「ナーのギャンク狩り映畫」「Gメン」コロムビアの歌手グレース・ムーア主演「歌の翼」、フォックスのシヤリー・テンペル映畫「私のテンプル」等を數へることが出来る。十一月にはパラマウントのスペクタクル物「十字軍」やメトロのグレタ・ガルボ主演作「彩られた女性」等があつたが「十字軍」は戦争シーンが興味を惹いた位だつた、後者はガルボ物の愚作であつた。「俺は善人だ」はギャンクスター、エドワード・ロビンソン主演、流行のギャンク物をユーモラスに取扱つてゐて、アメリカ映畫らしい、一つの典型を示してゐた。「男の



敵」はジョン・フォード監督の復活を物語るもので、ゲイター・マクラグレンの好演と共に歴史的な力作であつた。「泉」はアン・ハーディングが名演技を見せ、「心の傷手」ではカザリン・ヘップバーンとシヤルル・ボワイエの共演が生彩を見せてゐた。「生きてゐるモレア」はベン・ヘクト・マツクアーサープロの第二作、人気者ノエル・カワード主演の異色篇、アメリカ映畫に清新なものを吹込まふといふ意氣は解るが、相等缺點の多い作であつた。歐洲映畫は「別れの曲」でシヨパンの若き日を描き、未完成交響樂より巧緻なところを見せたが、それ程一般受けはしなかつた。デンマーク映畫「パロの嫁取り」はクヌート・スムツセン博士が製作したエスキモーの記録映畫、ソヴェート映畫「陽氣な連中」はソヴェート最初のシヤズ・コメデイといふだけの稚拙な作品、チエツコの「春の調べ」は性的問題を自然の中で大膽に取扱つて異色振りを發揮してゐた。「乙女の湖」はマルク・アレグレ監督がたど／＼しい中にフレッシュなものを見せシモーヌ・シモンが俄然人氣を獲得した。「たそがれの唯納」はフォルスト監督の第二作、古いスキヤンダルを物語りつゝ、ウイン情緒を描いてゐた。

故カール・ツオの聲の再生など却々クレンをきかす。ソヴェート「雷雨」はオストロフスキの小説の映畫化、モーパッサンのユントの映畫化「沐浴」は文藝作品として評判が高かつた。且てのウファのプロジウサー、エリツヒ・ボムマーが「リリオム」を作つたが彼の名聲に反し、デユヴィツイエ監督の「モンパルナスの夜」は一風變つた智能的な探偵映畫だつた。彼のトーキー第一作「資本家ゴルダ」も封切られた。ナチス管下のドイツ映畫に昔日の榮光なく、オースタリーのサツシヤ映畫なぞ華だつた。邦畫界は、先づ松竹現代劇がこの年度末に、蒲田から大船へ移轉した。これで日活の多摩川、新興の大泉と全部が新スタヂオへ移つたことになる。蒲田の大作「お琴と佐助」は純文學と邦畫トーキーの握手といふ點で、大きな意味を持つた。日活の時代劇「百萬兩の壺」は山中貞雄監督の戲畫趣味の頂點を示す作。下加茂の衣笠貞之助監督「雪之丞變化」は林長二郎の女形姿と衣笠の巧致な手法とで大衆の興味を百パーセントに惹き、非常な興行成績をあげた。この外、松竹映畫では清水宏監督の「戀愛豪華版」小津安二郎監督の「東京の宿」など問題になつた。「戀

愛豪華版」には、今までの抒情詩人清水になかつた温い皮肉が盛込まれてゐたが「東京の宿」は小津調の感傷を語るマンネリズムの作品。下加茂作品は「雪之丞變化」が代表する以外これといふものに乏しかつた。日活の時代劇は殆んど山中貞雄の一人舞臺で「百萬兩の壺」に次ぐ前進座との提携作品「街の入墨者」では内容的な進歩はなかつたが、圓熟が反つて彼の前途に危惧の念を抱かした程、従來の大衆文學的映畫との絶縁を物語つてゐた。稻垣浩監督の「千両磔」は如何にも彼らしい垢抜けのしたストリーイ物であつた。田阪具隆監督の「明治一代女」は眞摯な態度と彼の甘い雰囲気には獨自なものがあつたが、作品的には優れたものではなかつた。清瀬英次郎監督が現代劇に轉向しての「人生天氣豫報」や、「リングの王者」は好ましい小品だつた。新興は現代物には碌なものもなく、時代物に伊藤大輔監督の「新納鶴千代」位のもので「長崎留學生」の野淵昶監督も「白牡丹」ですつかりミツをつけて仕舞つた。P.C.Lは成瀬己喜雄監督の佳篇「妻よ薔薇のやうに」を出すやうになり漸く道樂風視された作品が目指す軌道に乗つてきた。J.Oは悲しき作品「かぐや姫」一本、

大都是無聲映畫で低い大衆をねらひ、「阿修羅八萬騎」などとにかく興味を惹いた。第一映畫は溝口健二、伊藤大輔等の監督を持ちながら頼りない製作をつづけてゐた。なほ三五年度に於ける邦畫各社の製作本数を掲げてみると、松竹蒲田五十一本（トーキー十七本、サウンド版三十二本）松竹京都三十三本（トーキー十六本、サウンド版十六本）右太プロ十二本（サウンド版十一本）日活多摩川三十三本（トーキー十五本、サウンド版十三本）日活京都二十九本（トーキー十一本、サウンド版九本）太秦發聲十四本（トーキー）東京發聲三本（トーキー）入江プロ三本（トーキー）新興京都三十五本（トーキー、サウンド二十五本）阪妻二本（トーキー）寛プロ十本（トーキー四本）新興大泉三十八本（トーキー八本、サウンド版二十五本）高田プロ四本（トーキー三本）千惠蔵プロ十本（トーキー九本）第一映畫十本（トーキー）P.C.L十七本（トーキー）J.O二本（トーキー）大都映畫百一本（無聲）極東映畫四十一本（無聲）マキノ四本（トーキー十一本サウンド版三本）

の製作者フランク・バック氏來朝○J.O常務大澤善夫氏歐米映畫界を視察して歸朝○水久保澄子自殺事件。九月○外務省文化事業後援で東亞サウンド・ニュースが海外輸出映畫「現代ニッポン」製作に乘出す○杜重日活常務辭任○新興キネマ臨時株主總會の結果百萬圓増資○小林東實社長渡米○國際觀光局能樂を撮影十月○濱口富士子死去○水原玲子死去○大辻司郎歸朝松井翠聲と松竹シヨウ・ボート組織○マキノ・トーキー生る○新興現代劇大泉に移轉完了○栗島すみ子劇團旗あげ十一月○洋畫フアンの想ひ出深き赤坂葵館閉づ○スペイン政府の抗議によりパ社映畫「西班牙狂想曲」本月中上映禁止○新宿大東京開館○前バラマウンツ副社長兼製作部長エマニエル・コーヘンコロムビア入社。三六年度上半期は「幽霊西へ行く」や「白き處女地」「シヤン・ダーク」「ミモザ館」等却々歐洲映畫に優作があつた。アメリカ映畫には「晩春」「ロイドの牛乳屋」「人生は四十二から」「オペラハウス」「生命の悦び」等があり、「ザ・ミュージック・ゴーズ・ラウンド・エンド・ラウンド」を主題にしたアメリカ製流行歌映畫「意氣な紐育つ子」など面白かつた。アステア・ロジヤ

スの「艦隊を追ふて」はつまらなかつたが、このカッパルの人氣は素晴らしい。それとカナダの五ツ兒映畫が二本來た。R.K.Oは記録映畫で廿世紀フォックスのは映畫化されたもので好評だつた。アメリカ映畫は今年になり、キャング物からスパイ物、西部物に赴く傾向を示しつゝあつたが、スパイ物はむしろ歐洲物に多く、また歐洲物はアメリカの西部物、南部物に對して沙漠物が多くなつた。「幽霊西へ行く」は、新興英國映畫のアレキサンダー・コルダーがルネ・クレール監督を招いて製作したもので、クレールにとつては最初の英語トーキーであつた。評家は従來のクレール作品の諷刺が英國風に鋭さを鈍らされてゐるとして比難もしたが、輕妙洒脫な作品であつた。フランス映畫「白き處女地」はデユヴィエ監督の眞摯な態度からくる一抹清らかで新鮮なものが感じられた。シヤツク・フェテ監督の「ミモザ館」は母性の心理を映畫としてはデリケートに描いてゐた。レオン・マツケリイ監督の「ロイドの牛乳屋」はトーキーになつてから殆んど、舞臺出の連中によつて占有されたかたち喜劇界に、映畫畑のロイドが矢張り依然たる強味を見せた作。調子は低いが充分



面白く笑へた。リスキン脚色キャプタ監督の「オペラハット」はゲリーイコーパーを主演の大人のお伽話を完成した「或る夜の出来事」より一層リアリティは不足してゐるが、そして空想も貧しいが、現代アメリカ人が持ちうるお伽話はこの程度のものであらう。ミツキイ・マウス物は別として——或はこの點小品的だが「生命の悦び」の方がインテリには悦ばれた。アン・ハーデインが主演の「晩春」は彼女の好演もさる事ながら佳篇であつた。監督としては「情無用ツ」のジョージ・マーシャル「薔薇はなげ紅い」のキング・グイター「白き處女地」のジュリアン・デュヴァイユ「幽霊西へ行く」のルネ・クレール、新派劇的構成の巧みさをみせた「マズルカ」のウイリイ・フォルスト、「あかつき」の群集シートの迫力、ジャン・ダークのイデオロギイに見るべきものあつたグスターフ・フイツキイ、「ミモザ館」のジャック・フエデ「上から下まで」のG.W.パプスト等を数へることが出来る。

俳優ではゲリーイコーパー、ロバート・ドーンナット、アリ・ホール、アン・ハーデイグ、ジャン・ギパン、アイリン・ダン、フランシス・ローヒ、マアナ・ロイ等が特に

い演技を見せてゐた。邦畫の三六年度上半期は、前年に比して優れた作品を出した。日活の「人生劇場」を筆頭とする純文藝の眞摯な映畫化から再び「文藝映畫」なる言葉の再認識が行はれた。

これは邦畫トキキが技術的には一應進歩の段階に行きついたので、暫し忘れてゐた内容への考慮が拂はれてきたことによる。斯る傾向は先年度までトップを切つてゐた蒲田調の没落となり、興行者は目標への混乱を來し、いい作品なら當るといふ漠然たる感念を抱かせたが一方、日活の渡邊邦男のやうに、粗笨だが大衆受けそのもののやうな映畫を作る監督もハッキリと現れた。

この上半期ほど、各スタヂオのマークがマーク価値だけでは信用されず、新興勢力が乗り出したことは珍らしい。

日活の「人生劇場」は文藝映畫のベストとして、第一映畫の「浪華悲歌」は市井映畫へのよき傾向として、千恵プロの「赤西彌太」は時代劇の一流作品としてそれら賞讃された。「浪華悲歌」は消費的な抒情調に酔つてゐた溝口健二監督が、覺めて現實を見廻した。その眼が素直に扱へた大阪

市井生活の一景といつた作。山田五十鈴の女主人公があるが、無慈悲に市井に投げ出してゐた。

「人生劇場」は内田吐夢監督第一回トキキとして、作品的に拙い點もあつたが、この一篇にあふれる逞ましい意欲は歴史的なものだつた。清水宏監督の「有難うさん」は彼の寫實的精神を物語り、伊丹萬作監督の「赤西彌太」は飄逸な作品、P.C.L.の「桃中軒雲右衛門」は成瀬己喜雄監督がヴァンチュールを敢てした處に價值があり、木村莊十二監督の「兄いもうと」の眞剣な製作態度は賞められていいものだつた。大船作品「家族會議」は、島津保次郎の逞しさを語るが、俳優が貧しく、高杉早苗を光らすに役立つたのは惜しまれた。

俳優では、「家族會議」の高杉早苗、「桃中軒雲右衛門」の細川ちか子、「臘夜の女」の吉川満子、「吾輩は猫である」の徳川夢聲「浪華悲歌」の山田五十鈴、「人生劇場」の小杉勇、その他原節子、原健作、小林重四郎、山本禮三郎、岸井明、「兄いもうと」の竹久千恵子等が出色であり、監督では上記の人々の他「熱情の詩人啄木」の熊谷久虎や「河内山宗俊」の山中貞雄や五所平之助齋藤寅次郎等を擧げることが出来る。

### 流行——昭和十一年

すべての流行を風靡した流線型洪水時代の反動と、かの二・二六事件の餘波を受けて昭和十一年前半期の流行界が一抹の淋しさを見せたのは事實である。が進み行く國の流行は決してそのまゝ永く止まることをゆるさない。「オリムピック・シテイ東京」は遂に實現し、市中に溢れる五輪の旗、そして日に高まり行く五輪狂躁曲がデパートの各ショウウィンドに氾濫し、敏感にとり入れられた五彩の輪のデザインが華やかにこの年の流行をリードして行く。

**和服** 「型」の定められた和服にとつては布そのものが流行を語る。まづ織と染とに分けると俄然織着尺に主眼を置かれるやうになつたのもこの年の特記すべきことである。つむぎ風の光らないものが非常に多く見られ、結城つむぎのやうな高級品から安物では豊田つむぎの流行も素晴らしいものであつた。勢ひ流行に變りない大島つむぎも比較的多く、つむぎと云へば一般のやすりであつたのが技術の進歩は飛模様、鹿兒島大島、村山等銘仙風の美しい色物をも出す様になつた。又お召も縞がよるこばれ

流行

てある一面に紋織お召が断然巾をかきかせ、金銀糸は依然として流行してゐるが、その入れ方が整理されて來たし地紋を生かした無地の着尺を相當までに着こなせるやうになつたのも注目すべきことであらう。帯は袋帯、名古屋帯の全盛期であつた。帯と云へば春から夏は勿論、冬でも白地が中心をなしてゐたのが、夏物にも色物が多く見られるやうになつた。尙ステイブルファイバー（人造・羊毛）の進出は茲二三年來の傾向だが、濠洲問題の關係から更に今年に著しく、モスリン代用としてその眞價が漸く認められて來たが、質の上にも價の上にもこれからは相當の競争戦が展開されよう。

色調「春夏」冬の衣をかなぐり捨てて、潑刺たる麗かな春光にスマートな輕装を樂しむ頃の色彩は「八重雲」「曙櫻」「若草」「淡雪」「花菖蒲」など、久しく續いた納戸系統から紫、朱から紅、紅からピンクへの方向を示しグリーン系にすつと黄味を加へた「水穂茶」も春から夏ものに新味を見せ、從來のすべてがうす色で、仄かな感じの春ものが、うす色の地なら柄模様を濃色でくつきりと明朗に出すとか、同系統の完成されたものよりも反対色の調和美、粹、上品、モダン等のよくカクテルされたよさが強調され

た點も新しい傾向である。「名寶模様」新彩文様調「桃山調」などよび名は異れども意圖するところは各々同じで、光琳、山樂或は狩野等々のあらゆる日本の持つ國粹的誇りを近代の新しい解釋、新しい意匠新らしい技巧によつてこの年の初頭が飾られた。「秋冬」春の明快さに引かへて、秋から冬へは力強き莊重な味が自然の姿にマツチされ、流行の色も明るいうちに深味のある幾分濃い目の色相を主張してゐる。一般に「菊葉色」「こがね茶」など熟りの秋を思はせるに十分な色を基調に、紅、綠、紫、茶等この秋からは多彩的傾向が認められ、色数が相當に多く使はれるやうになつた。模様にはさして變化なく、春からの日本趣味、古典調の連續全盛期であると同時に、その傳統趣味に對し模様・色調共にモダンな國際趣味的の調子を取容れたものと、新舊兩方面に流行の主眼點が置かれた。更に從來は生地地の地紋と模様とがはつきり區別されてゐたのがかなり接近し、地紋と染模様の融合で服飾模様の一進歩を企て、ゐることも新傾向と云へよう。

「三越」同店は例によつて「流行色」なるもの、提唱を避けてはゐるが、と云つても決して基調をもたない譯ではない。若向き



には紫、エンジ、地味向として藍鼠、納戸茶の三色がついての傾向だが、春とはまた異つた深味のあるゆかしい色合で秋から冬の服飾界を飾つた。模様は大體大柄の古典模様を強調してゐる。

〔高島屋〕線を主とする表現、色を主とする表現、それら特色ある面白味を發揮してゐるが現代の服飾藝術は殆ど色による表現に傾いてゐる。基調色として提唱する春の「三月富士」「三月紫」「三月鼠」秋の「菊葉色」「こがね茶」「聚樂紀」などは近代人の生命の歡喜を現すもので、強烈と微温の間を行く原色の快いシムフオニーといへよう。模様は傳統日本の美を汲む「新彩文様調」「新聚樂文様」と國際的近代美を生かした「春の新様からくさ調」「秋の新彩文様調」を唱へてゐる。

〔松屋〕江戸初期の藝術として残る光悦、光琳の藝風を取容れた「横金文様調」わが國染織藝術の源流で天平時代に發達し、後に鹿子絞、匹田と總鹿子が流行して染鹿子の代品まで作られた清麗高雅な縞縞を近代調に復興させ、洗練された服飾美を創生してゐる。色は「紫」「錦茶」「臘脂」「鼠」「深緑」の五色を基調とする。

1等にももうけるやうになつた。帽子は極端な深いもの、浅いものは忘れられ、アリの前はぐつと上つて正面に造花を派手につけるとか大きな蝶結び等のアクセントの強いものを見せ、アマダに被るスタイルの著しく多くなつたことが特徴で、これは婦人を若く見せるに効果的と云はれる。アフターヌーンスタイルとしては、ベール付きが斷然多くなつたこと、更にオリンピック型等、昭和十一年の特産物であらう。スーツの流行につれソフト風の感じのものが多く取り容れられてゐる。夏物でパナマをリース編にした物が使はれるやうになつた事も特記する。靴の中心はサンダルに描くスポーツには勿論、アフターヌーン、イブニングにまでもこの流行は著しい、但同じサンダルとは云へそのスタイル、生地に於いては大きな變化を見せてゐる。飾りに大きいビジュウをつけたスタイル、ヒールは依然としてローヒールの天下がつづいた。色はチョコレートから濃淡の二色を扱つたものに流行は移動し、ドレスとの配色の考慮されて来たために、ブルーとかグレーなどの今まであまり見られなかつた色までが盛んに登場して一段の新し味を見せた。

春の基調色に選び、前季から提唱した國風桃山調の延長として更に「春の桃山調」の完成へと努め、桃山時代の壁畫、中期以後の狩野山樂一派の畫風に見る絢爛な色彩効果による和やかな氣分に重點を置き、流行の背景をなす社會情勢の動きに注意し、更に建築、交通の傳統までも考慮して飽くまでも國粹趣味を支持してゐる。

〔伊勢丹〕春から提唱して来た「新東洋美」の高調、昔ながらの模様新時代の感覺を吹込んだ新創作意匠圖案が流行の根元をなしてゐる。基調色としては「香紫」「祥瑞」「峰巒」「豐潤」「饒秋」である。

〔白木屋〕色は「錆紅、青、黄」「赤茶」「黄緑」を基調とする、模様は「華文新調」を提唱し、平安とか豊、織、徳川等の各時代に取扱つた共通的な工藝、服飾文化を綜合的に現代化したもので、隨つてその様式に於て頗る廣範圍に亘るものが多くある。

洋装 洋装のモードほどテンポの早いものはない。まづスタイルはハイネツク全盛で、デザインを中心は上につつ胸を派手にこらすやうになつたのは、胸の貧弱な日本人にうれしい傾向と云へよう。袖も相當に凝つて、殊に肩付けの扱ひが誇張されて来た。スカートは短くなり、二十五種

五輪旗章登録問題の經過

次回オリムピックシテイ東京！喜びと感激を載せた電波は伯林——東京間を飛んで、明けて八月一日、市役所の玄関を始めとして、全市至る所オリムピックの五輪の旗で埋められた。街頭に、早くも姿を現はし始めた、ハンドバッグ、草履、コンバクトを始め、装身具・玩具・日用品・等等等、五輪模様の大水が街頭に氾濫しかけた時、寢耳に水の「オリムピック五輪マークを勝手に使はれては困る」と云ふ、意匠登録者の聲明。世界衆知の、しかもアマチュアスポーツの最高峯オリムピックのマークが、いつの間にか商業用に意匠登録してあつたとは？體協幹部ですら耳を疑つたが事實は、二年前オリムピック東京開催を豫期した王子區赤羽町居住の醫師井上正文(三〇)なる人により、オリムピックの五輪を模様とした、意匠登録が冊種に互つて行はれてゐた。忽ち之に對しその無効を主張する叫びが轟々と高まり當の特許局登録課長山口喬氏も某新聞の間ひに答へて「登録されてゐたとは氣がつかなかつたが、どうして斯るものを登録させたか」と不審がり百貨店聯盟邊りも無効訴訟を提起する意向と傳へられ、俄

前後中心とするが、足に自信のある者は三十五種にまで上つてゐる。尙スカートの扱ひが簡素になつたことは總體的にすつきりとした感じを見せてゐる。ドレスの外にスーツが外出着として重點を置かれ、スタイルには、ロンドン風の落つたものがよくこぼれるやうになつた。ついでにはスワガーコートも流行が目ざましいもので、最初の程度まで着こなせるかに相當危ぶまれたが、バックをフールに、コートをつぶりととして下のスカートは細く、スカートとコートの長さの差約三〇種を中心とするスタイルは銀座のメリアを颯爽と潤歩した。「色」はブルーの全盛期、春から夏、秋から冬へと少しも衰へも見せず、近年にない流行振りであつた。これに配合のいい黄、白など適當に扱はれ、更に配色として新しく現はれたものにブルーに對してピンク、グリーン、クリーム及ラストレットに黒等ホタンヤベルト・ハンドバック、帽子にまで使はれた。次いでにはグレー系統が多く、エンジは全くかけを潜めた。「生地」オーガデー、タフタが漸く勝れ氣味となり、夏物にシアサツカが壓倒的勢力をもつて現はれた。柄は殆んどチェック、花物は飽かれて水玉風の飛模様が麻にもウール地、タフタ

然、流行界の寵兒オリムピック五輪旗章をめぐつて、大紛争が起らうとして来た。調査の結果井上氏の他に二三化粧品商その他が、特許局意匠商標部の意見として「此の意匠登録は五輪マークそのものではなく之を使用した品物の登録だから類似品と見られない限り何に使用しても自由である」としてゐる。即ち浴衣の模様として登録されてゐる場合ハンドバックに五輪マークを附しても差支へなく、浴衣同志でも五輪マークの置き方が登録されたものと違へばよいと云ふ事になるがクイベルタン男によりオリムピック精神の象徴として定められたマークが流行界の商品マークとして争はれようとは全然豫期されなかつた事實であり、四年前ロスアンゼルス大會に於て次回開催地が伯林と決定するや獨逸政府は直ちに禁令を發してスポーツ精神の表章を商品に使用すべからずと嚴禁したのと思ひ合せてスポーツ精神を理解せぬ我が當局の統制の程が今更乍ら比較され、一部に於ては登録を無視してどん／＼商品を製り抗議を受けた場合無効訴訟を起して争ふのが最善の方法だとさへ主張する人もあり此の問題の進展は今後注目されてゐる。



家庭知識

榮養

食物の榮養價は熱量を以て計算し、熱量を表すには、カロリーといふ語を用ゐる。カロリーとは清水一リットルを攝氏十七度から十八度に温むるに要する熱の量である。養分の熱量は次の如くである。

蛋白質 一瓦 (一瓦) カロリー  
脂肪 一瓦 (一瓦) カロリー  
炭水化物 同 (一瓦) カロリー  
而して日本人大人體重十三貫の男子が普通の労働をなすに必要なる一日の標準食量は凡次の如きものである。

食品分析表 (百々に付)

Table with 3 columns: 品名 (Food Name), 蛋白質 (Protein), 脂肪 (Fat), 炭水化物 (Carbohydrate), 熱量 (Calories). Includes items like 小麦 (Wheat), 大豆 (Soybean), 砂糖 (Sugar).

Main food analysis table with columns for various food items and their corresponding nutrient values (protein, fat, carbohydrates, calories).

Table listing various types of meat and their fat content (脂肪多き/少き).

Table listing various types of fish and their fat content (脂肪多き/少き).

Table listing various types of shellfish and their fat content (脂肪多き/少き).

ビタミン類の作用性状及分布

作用: 眼疾を豫防し傳染病に對する抵抗を増す  
性状: 脂肪及其溶媒に溶解熱に對して抵抗強く酸化によりて破壊せられる  
分布: バタ、肝油、卵黃、魚油、牛乳、キャベツ、チンヤ、菠薐草、乾海苔等に多量含有せられる

家庭知識— 食品分析表・ビタミン類の作用性状及分布



家庭知識——家庭常備薬

ウイタミンB 脚氣を豫防し新陳代謝を促進す

ウイタミンC 壊血病を豫防す

ウイタミンD 佝僂病を豫防す

ウイタミンE 生殖機能を維持し不妊症を豫防す

家庭常備薬

△重曹 重炭酸ナトリウム即重炭酸曹達の略名。胃酸過多症(所謂胸やけ)によく、吸入の材料に用ゐられ、また豆のやうなものを柔く煮るに役立つ。

△硼酸 危険のない消毒薬である。水には極少量(三分の一)位しか溶けない。四奴を水二合に溶かせば一般のうがひ料となり、目にやにが滲むのを拭ふため、楊枝を使ふことの出来ない幼児や乳児の口中を拭くため、その他用途極めて廣い。

△ヒマシ油 食すぎや食あたりで腹痛のときにこれを呑むと悪いものを下して下ふ。分量は大人ならば三十グラムから二十五グラム、子供ならば二匙位。これは假令飲み

水及稀アルコールに溶けアルカリ及強度の加熱により破壊せられ酸に依て安定を増す水、アルコール、エーテルに溶け加熱により容易に破壊されアルカリにも抗抵抗弱く酸には抵抗強し  
脂肪及其溶媒に溶け加熱及酸には抵抗強くオゾンにより破壊せらる紫外線により活性を得  
脂肪及其溶媒に溶け熱光線酸化等に對して抵抗強し

過ぎては殆ど悪い不快な副作用はないから安心して用ゐられる。

△リスリン 本名グリセリン。灌腸用には水で半々に薄めたものを、十グラム位用ゐる。冬期ひびやあかぎれにはリスリンだけだとべたべたして氣持が悪いから、アルコールで半々に薄めて用ゐるがよい。

△アルコール 消毒薬、水で半々に薄めて用ゐる方がよい。用途甚だ廣い。窓硝子や鏡等の曇をこれで拭ふと綺麗になる。

△沃度丁幾 小さな怪我や、一寸した皮膚病に有効な消毒劑である。皮膚病のかゆみなどは直に治る。若し濃過ぎてしみたりする時にはアルコールで薄めるがよい。  
△カンフルチンキアルコールに樟腦を溶かしたものである。一寸挫いた時や、肩のこ

應急手當

△卒倒 患者を側臥させ衣類を弛め殊に胸部を露出させ呼吸を容易ならしめる。次に顔面と胸部とに冷水を吹きかけ、又は鼻さきにアンモニア水、芥子などを吸入させる。鳥毛などで鼻腔内を刺戟するもよい。その他芥子泥を頂部又は足部に貼るも一方法である。これでも尙ほ知覺を恢復しなければ人工呼吸法を施す。知覺を得たならば濃い茶、コーヒー又は酒類を飲ませる。この場合患者は静かな所に置かねばならぬ。腦充血の卒倒ならば頭を高くして冷やさねばならぬ。

△昏睡 ひきつけ 身を安静にして頭部を高め顔部赤色なるか又は發熱あれば頭に氷嚢を置き、次に足部を温める爲め湯タンポ熱湯(薄く芥子をとかした)で絞つたタオルで足部をまくか又は胸部(乳房と乳房との間)に芥子泥を塗るといふ時もある。一般にひきつけた場合にはリスリン又は石炭酸水で灌腸するがよい。

△凍死 温い室に運び入れる前に水で絞つた布片で身體各部を摩擦し體温が出たらば温室に運び入れ温い衣類で保護し四肢は熱布で包む。尙ほ興奮劑として茶、珈琲、酒

類を與へるがよい。

△鼻出血 脱脂綿又は細く切つたガーゼで鼻腔内を塞ぎ、鼻部に軽い氷嚢をあてる。尙ほ止まねば明礬水、過クローリ化鐵液に浸したガーゼを詰める。

△口腔出血 殺菌して脱脂綿、ガーゼを以て強く壓迫するか、食鹽又は硼酸の一茶匙を水二倍に溶かしたもので含嗽する。

△咯血 安静にして談話などせず、コップ半杯乃至一杯の食鹽水を飲ませる。

△腸出血 腹部に微温濕布をする。痔出血と間違ひ易いから注意を要する。

△痔出血 温浴後アドレナリン坐薬、イヒチオール坐薬を押し込み、若し痛みが劇しければ肛門部を氷嚢で冷却する。

△急性出血 四肢の創傷ならば傷口の上方部を手拭、布片又は軟いゴム管で縛り、同時に殺菌したガーゼ又は脱脂綿及繃帯で創口を縛り、傷いた四肢を少し高く擧げて居る。創口に不潔物があれば清水、硼酸水、又は石炭酸水で洗つた後右の方法を取る。

△菌類及びぶく中毒 早く吐き出させるがよい。氷片を飲み込ませ心臓部に芥子泥を貼る。これは應急の手當である。速かに醫治を乞はねばならぬ。

△鮪、青魚類、貝類、蝦類の中毒 胃の内容

卵黄、米、麥の胚、酵母、肝臟、魚卵、穀類、果實、油類等におほく含有せらる  
蜜柑、レモン等の果實、トマト、大根、サラダ等の野菜 乳汁等に多く含有せられる  
ウイタミンAと共存すること多し  
米、麥の胚、葉綠素植物、油類に存在す

り、手足のだるい時等に塗ると効果があ  
る。この薬は直に氣が抜けて利かなくなる  
惧がある。

△アンモニア水 蟲に刺された時に用ゐる。  
△石炭酸 消毒用は三十倍、傷口を洗ふには五十倍のを用ゐる。

△絆創膏 絹絆創膏、ゴム絆創膏及び亞鉛華絆創膏がある。亞鉛華絆創膏が一番宜しい。絆創膏は皮膚にガーゼや脱脂綿などを止めるために用ゐるもので、すりむき傷などに貼つてはいけない。  
△ビツク氏硬膏 顔にニキビなど出来た時これを小さく切つて貼り付けて置くと膿ま  
ずに吸収される。

物を吐き出させ、ヒマシ油を飲ませ、急に  
下痢せしめ、重曹水(コップ一杯の水に重  
曹一茶匙を溶かしたもの)を飲ませ、又は  
氷水、茶などを與へる。

△瓦斯中毒 新鮮な空氣の所に運び去り、  
人工呼吸を行ひ、意識が回復したら興奮劑  
を與へる。

△急性アルコール中毒 冷水、濃い茶、珈  
琲等を與へて安臥させる。永く冷氣に當つ  
た場合には温い室に運び、また腦溢血を起  
した者は頭部を冷す、さめたら茶、珈琲等  
を與へる。

△蟲類の刺傷 アンモニア水又は砂糖をつ  
け更に二パーセントの鉛糖水で冷毒法を施  
す。

△蛇類の咬傷 直に傷口の上部を布片で固  
くしばり、血行を止め、創口を十分吸引す  
るか或は局部を少し切開して出血せしめ、  
十分吸引する。次に局部を沃度丁幾、三バ  
ーセントの硝酸銀水乃至石炭酸で腐蝕せし  
め、尙ほ二パーセントの過マンガン酸加里  
液でよく洗滌し、且、同一液で濯法する。

同時に興奮劑を與へて體温を保つやうにす  
る。犬、猫、鼠等も大體上の手當をする。  
但し、犬は狂犬病の恐があるから速かに醫  
師を招かねばならぬ。



△火傷 指先その他小さい場所を火傷した時は直に紙に飯粒を稍厚い位に練り著けて、その火傷の部分に貼り、空気に觸れさせぬやうにきれて結び、紙が自然に剥がれて来るまでその 紙を置く。稍広い面積を火傷した場合は、油を塗るか或は灰汁の中に入れて一時の苦痛を凌ぎ、速に醫師の手當を受くべきである。

△人工呼吸法 これに二法ある。第一法は假死者の衣類を脱がせ仰臥させ、枕又は疊んだ衣服を腰の下に置く。術者はその上に跨がり両手で患者の胸の両側乳房の下(胸の下)を力をこめて静に上方(頭の方)に壓迫し、肺、肋骨を上舉して呼吸状態とし、次にその手を放して呼吸状態とする。右の方法を繼續する。時間は一時間以上を要する。その反覆する速度は一分間に約十五回(大人の呼吸数)即ち術者の呼吸に合せて行へば宜しい。これを行ふ際注意すべき事は助手をして常に假死者の口を開け舌を外方に引き出させることである。第二法は假死者の衣類を脱がせ仰臥させ胸下に枕を置き假死者の両手を胸の両側に置き術者は假死者の頭部に坐り假死者の両腕の中間即ち肘の所を両手にて持ち假死者の頭の方へ擧げ次に静に吸の位置にかへす。かうすれば前者は吸

氣となり後者は呼吸となる。その速度及び繼續時間は前法同様である。場合によつては第一法及び第二法を併用するも宜しい。

しみぬき

△血 卸大根を局部にのせ暫くその儘にして置く。この方法を數回繰返すと大抵きれいになる。

△肉汁や膿 揮發油又はベンジンで脂肪分を去り微温湯で洗ふ。

△乳汁 水で落ちない時はアムモニア水研砂水又は揮 油で洗ふ。決して高温に加熱してはならない。

△鐵錆 薄い酸の温液又は熱液で洗ふ若し酸で染色を損ずる虞あらばグリセリンと石鹼を適宜に混ぜた液を塗り數時間放置する。

△墨や朱 布のり、姫のり、飯類、小鳥の糞で採み出して除く。

△トリモチ 先づ種子油で除き去つた後油分を揮發油又はベンジンで除く。

△酢 薄いアムモニア水で洗ふ。

△煙草のやに アルコール、揮發油又は味噌汁で洗ふ。

△インキ 煮え立つた牛乳で拭けば大抵落ちる。それでも落ちない時はレモン汁で洗

洗濯の仕方

△木綿物 石鹼や洗濯ソーダで洗つてもよし、又米の磨き汁にソーダを入れて洗ふもよい。紺物は絶対に石鹼を使はず、少量の酢を入れて洗ふと紺の色がよくなる。

△カラー 洗濯曹達と石鹼で普通の通りに洗ふ。餘り汚れが落ちなければ、一パーセントの漂白粉の液に一分間浸して十分水洗ひする。仕上は糊をつけて乾燥し、きりを吹いて火のしをかける。

乾いてから一度蒸せば綺麗になる。△革の手袋 革の手袋は牛乳や石鹼で洗ふと皮がゴワ／＼になつて固ることがあるから注意を要する。これを洗ふには初めベンジンに三十分程漬けて置き、手にはめて摩擦すると綺麗になる。

△毛布 毛布を洗ふには先づよく振つて毛の間に入り込んでゐる塵垢を拂ひ落してからバケツ一杯位の冷水に大匙一杯のアムモニアを混ぜたものゝ中に浸し、二三十分位置く。そして更にこれをねば／＼する位に濃い石鹼水の中にやはり大匙一杯のアムモニアを混ぜたものゝ中に浸し、二、三十分位過ぎてから清水で洗ひ出すのであるが、それには少くも三回か四回は水を取りかへなければならぬ。そしてすつかり綺麗になつたものを三十分ばかり水に浸して絞らな

いでのまゝ竿にかけて干すのである。絞らないといつても水を切らなければならぬがそれには両手で挟んで水を押し出すか又は板で軽く挟んでもよい。

乳兒發育標準

Table with columns for Age (月齡), Sex (男, 女), Weight (體重), and Height (身長). Rows include Newborn (新生兒) and 1-year-old (1年).

幼兒發育標準

Table with columns for Age (年齢), Sex (男, 女), Weight (體重), and Height (身長). Rows range from 1 year to 12 years (1年 to 12年).

小兒の體温と脈搏

體温は日本流儀では脇下と股とを計る。體温を計る檢温器には一分計といふものがあ



るが通常體温を計るのには一分位では駄目で、大抵五分位か太いになると七八分かけておくがよい。肛内などで計る方法もあるが、わが國ではあまり行はない。體温は通常子供では朝が三十六度四分、夕が三十六度七八分位あるが普通で、朝夕の差は四五分位が常である。その差が一度以上におよぶときは異常のある時である。子供によると朝夕の體温が前の標準よりも二三分位高いものもある。さういふのは體質の關係から起つてゐるので、濕疹などのでき易い様な子供に往々ある。それから體温を計る場合に心ておくことはあはれたり、さわいだりした直後だと五、六分位高いことがある。例へば夏などに子供をあつめて十分間相撲をやらして、その前とその後で計ると、子供によつては一度位高くなるものがある。これと同じで非常に子供が泣いた後に計ると、時によつて三分から五分高くなることがないとはいへない。それから脈と呼吸であるが、これは年齢が少なければ少ないだけ、寢てゐる時に計らないと誤り易い。子供は非常に周圍に反應しやすいから、起きてゐる時に計ると本當の數を得られない場合が多い。脈や呼吸の數は一分間どの位かといふと年齢によつて異なるが大

體は次の通りである。

年齢	脈	呼吸
生れた時分	一二〇	四〇—三〇
満一歳	一〇〇	三〇
七歳頃	八〇	二五—二〇
十三歳頃	七〇—六六	二〇

種痘

嬰兒は生後七十日位から種痘を施しても差支へはないが、一般に六ヶ月目から十ヶ月目位の間に打られる。この期間の小兒は身體の抵抗力も強く知覺が遲鈍であるから種痘によつて起る苦痛は割合に少い。生後七十日未滿の小兒には天然痘がひどく流行してゐないかぎりは見合せた方がよろしい。種痘の時期は春と秋が一番適してゐる。といふのは室内にゐても汗が流れる程でもなく従つて皮膚病と直接關聯しないからである。天然痘流行の時以外は夏の種痘は避けねばならない。未痘者に接種した時二日目の終りにその局部を見ると創痕が残つてゐるばかりで三日目になると局部に軽い炎症が起り稍と膨れて来る。四日目には尖端に水泡が出来て痒くなる。發熱するのは八日目ごろで十二日目には次第に炎症も消えてゆく。

### 井戸水の消毒

井戸水を完全に消毒して、飲料に適するやうにするには、まづ漂白粉十匁をビール瓶に入れ、水を加へよく振り混ぜて堅く栓をして置く。これを井戸水が五石位ならば漂白粉一匁(前記の方法でビール瓶に拵へたものならば十分の一)を入れ、釣瓶を動かしながらよくまざるやうにする。この方法を一日に二回(午前九時、午後九時)行へば、完全に消毒される。

### 乳齒

乳齒は普通生後七八ヶ月頃から生えるが、稀には一年経つても生えぬこともある。最初下顎に前齒(内門齒)が二枚生え、滿二ヶ月頃までには全部二十枚が出揃ふ。その順序は、

- 下顎内門齒(二枚) 六一—七月
- 上顎内門齒(二枚) 七一—八月
- 上顎外門齒(二枚) 八一—九月
- 下顎外門齒(二枚) 十一—十二月
- 第一白齒(四枚) 十二—十五ヶ月
- 犬齒(四枚) 十八—二十ヶ月
- 第三白齒(四枚) 二十一—二十四ヶ月

であるが、子供によつて可成の遅速がある。

この乳齒は六七歳頃から脱け始め、永久齒が乳齒の生えた順序で十二三歳頃までに全部生え換る。

### 住居と日光

「光線の來ぬ處には醫者が來る」と云ふ諺がある。住居には日當りのよいと云ふことが第一要件である。出来ることならば家屋の凡ての部分に日光を得たいのだが、少くとも居間寢室等は東又は南向にしたいものである。但し西陽は有害であるから避ける方がよい。尙家屋を建築するに當つて、總べての部屋に陽を當てようとするには、家の向を正東とか正南とかにせず、東南とか西南とかに向ふやうに斜に向けるがよろしい。

### 蚤の退治法

蚤の爲めに安眠が妨げられることは、甚だ大なるものであるが、それ許りでなく蚤はベストの媒介者として極めて危険なものである。これを退治するには大掃除の時に疊を上げて縁について居るゴミを綺麗に拂ひ落とし、疊を日光に少くも五時間位さらして置く。床の上のゴミも綺麗に取る。このゴミが蚤の卵の棲息地である。疊を床の上に

### 釣魚ごよみ

敷く時に、床に新聞紙を敷き詰めて、疊を敷き、疊と疊との間にナフタリン粉を入れ、(ナフタリン粉は、疊一枚當り五匁位入れ、ば宜しい。値段は百二十匁で二十錢位。)蚤は疊の合せ目から飛び出すのだからナフタリン粉は床一面にまく必要はない。押入れ等も常にゴミを拂つてナフタリン粉をまいて置く。この方法を一年に二度も行へば家庭内で繁殖する蚤は退治が出来る。

一月 (河)ふな、たなご、わかさぎ、はや、(海)はぜ、まこかれひ、あなご、せいご、青ぎす、めなだ。

二月 (河)ふな、たなご、はや、(海)あなご、せいご、まこかれひ。

三月 (河)ふな、たなご、こひ、はや、わかさぎ、やまべ、(海)かれひ、めばる。

四月 (河)やまべ、やまめ、たなご、こひ、はや、ふな、ひがひ、もろこ、わかさぎ、うなぎ、(海)あいなめ、かれひ、めばる、いしもち、いか。

五月 (河)こひ、やまべ、なまづ、はや、手長えび、なまづ、うなぎ、(海)青ぎす、あぢ、あいなめ、かれひ、めばる、いしもち、いか、あぢ、こち、すいき。



# 便覽

## 租稅稅率摘要

### 地租

地租の課税標準は土地臺帳に登録したる賃貸價格とす。賃貸價格は貸主が公課、修繕費其他土地の維持に必要な経費を負担する條件を以て之を賃貸する場合に於て貸主の取得すべき一年分の金額に依り之を定む。

賃貸價格は十年毎に一般に之を改訂す。地租の稅率は百分の三・八とす。

### 所得稅

**第一種**

**甲 法人の普通所得**  
 本法施行地に本店又は主たる事務所を有する法人 百分の五  
 本法施行地に本店又は主たる事務所を有せざる法人 百分の十

# 覽

### 乙

法人の超過所得 超過所得金額を左の各級に區分して遞次に各稅率を適用す

普通所得金額中資本金額に對し年百分の十の割合を以て算出したる金額を超過する金額 百分の四  
 同百分の二十の割合を以て算出したる金額を超過する金額 百分の十  
 同百分の三十の割合を以て算出したる金額を超過する金額 百分の二十

**丙**  
 法人の清算所得 清算所得金額を左の如く區分し各稅率を適用す  
 積立金又は本法其他の法律に依り所得稅を課せられざる所得より成る金額 百分の五  
 其他の金額 百分の十

法人が各事業年度に於て納付したる第二種の所得に對する所得稅額は命令の定むる所に依り當該事業年度の第一種の所得に對する所得稅額より之を控除す  
 前項の場合に於て控除すべき第二種の所得

### 第二種

得に對する所得稅は第一種の所得計算上之を損金に算入せず  
 前二項の規定は法人の清算所得に對する所得稅に付之を準用す

本法施行地に於て支拂を受くる

**甲 公債の利子** 百分の四  
**乙 配當及賞與** 百分の七・五  
**丙 信託會社が其の引受けたる貸付信託の信託財產に納付したる第二種の所得に對する所得稅額は命令の定むる所に依り當該貸付信託の利益に對する所得稅額より之を控除す**  
 前項の場合に於て控除すべき第二種の所得に對する所得稅は其の貸付信託の利益に之を加算す

**第三種** 前二種に屬せざる個人の所得  
 所得金額を次の各級に區分し遞次に各稅率を適用す但し山林の所得と山林以外の所得とは之を區分し山林に付ては其の所得を五分したる金額に對し此の稅率を適用して算出したる金額を五倍したるものを以て其の稅額とす。

千二百圓以下の金額 百分の〇・八  
 千二百圓を超過する金額 百分の二

千五百圓を超過する金額 百分の三  
 二千圓を超過する金額 百分の四  
 三千圓を超過する金額 百分の五  
 五千圓を超過する金額 百分の六・五  
 七千圓を超過する金額 百分の八  
 一萬圓を超過する金額 百分の九・五  
 一萬五千圓を超過する金額 百分の十一  
 二萬圓を超過する金額 百分の十三  
 三萬圓を超過する金額 百分の十五  
 五萬圓を超過する金額 百分の十七  
 七萬圓を超過する金額 百分の十九  
 十萬圓を超過する金額 百分の二十一  
 二十萬圓を超過する金額 百分の二十三  
 五十萬圓を超過する金額 百分の二十五  
 百萬圓を超過する金額 百分の二十七  
 二百萬圓を超過する金額 百分の三十  
 三百萬圓を超過する金額 百分の三十三  
 四百萬圓を超過する金額 百分の三十六

**免稅** (イ) 第三種の所得は千二百圓に満たざる時は免稅。ロ、ハの控除を爲したる爲千二百圓に満たざるに至りたる時亦同じ。

(ウ) 第三種の所得總額一萬二千圓以下なるときはその所得中勤勞所得(賞與又は賞與の性質を有する給與、俸給、給料、歳費、年金、恩給、退隨料及此

等の性質を有する給與)に付左の金額を控除す。

一、所得總額六千圓以下なるときは勤勞所得の十分の二。  
 二、所得總額六千圓を超過するときは勤勞所得の十分の一。  
 三、所得總額六千圓を超過する勤勞所得以外の所得六千圓未滿なるときは勤勞所得中勤勞以外の所得と合して六千圓に達する迄の金額の十分の二、其他の金額の十分の一。

(ハ) 所得總額三千圓以下なるときは其の所得を有する者の申請に依り其の所得より其の年三月一日現在の同居の戸主及家族中年齡十八歳未滿若しくは六十歳以上の者又は不具癱疾者一人に付百圓を控除す。

(ニ) 自己若しくは家族又は其の相續人を保險金受取人とする生命保險契約の爲に拂込またる保險料は年額二百圓を限り本人の申請に依り其の所得より之を控除す。

### 資本利子稅

資本利子稅は甲種の資本利子(公債、社債、

産業債券若しくは銀行預金の利子又は貸付信託の利益)及乙種の資本利子(第三種の所得に付納稅義務を有する者の第三種の所得中營業に非ざる資金又は預金の利子)に付之を賦課する。稅率は甲種も乙種も資本利子金額百分の二。

信託會社が其の引受けたる貸付信託の信託財產に付納付したる資本利子稅額は命令の定むる所に依り當該貸付信託の利益に對する資本利子稅額より之を控除す  
 前項の場合に於て控除すべき資本利子稅は其の貸付信託の利益に之を加算す  
 個人がその營業用の土地に付納付したる地租額は命令の定むる所に依り其の營業收益稅額より之を控除す  
 前二項の場合に於て控除すべき地租又は資本利子稅は純益計算上之を損金又は必要經費に算入せず

**營業收益稅**  
 營業收益稅は營業の純益に付之を賦課す。その稅率は

法人 百分の三・四  
 個人 純益金額千圓以下なるとき 百分の二・二  
 純益金額 千圓以下の金額 百分の二・二



千圓を超 千圓を超ゆる金額  
の利益一萬圓以上なる者の利得金額千圓未  
満なるときは臨時利得税を課せず。

臨時利得税

臨時利得税は次の利得に付税率により之を  
賦課す

法人の利得 利得金額百分の十  
營業收益税法第二條に掲ぐる營業 礦業  
又は砂鑛業を含むに困る個人の利得  
利得金額百分の八

法人の利得は現事業年度(昭和十年一月一  
日以後に於て終了する各事業年度)の利益  
が既往事業年度(昭和六年十二月三十一日  
以前三年内に終了したる各事業年度)の平  
均利益を超過する場合に於て其の超過額を  
以て法人の利得金額とす。利得金額年千圓  
未滿なるときは臨時利得税を課せず。個人  
の利得とは個人の利益が昭和六年以前三年  
の平均利益を超過する場合に於て其の超過  
額を以て個人の利得金額とし、個人の利益  
が一萬圓未滿なるときは超過額中二千圓を  
控除したる金額を以て利得金額とす。個人

の利益一萬圓以上なる者の利得金額千圓未  
満なるときは臨時利得税を課せず。

酒税

酒造税

- 第一種 酒精分二十三度以下の濁酒 一石に付 金參拾六圓
- 第二種 酒精分二十三度以下の清酒、白 酒及酒精分三十度以下の味醂、 燒酎 一石に付 金四拾圓
- 第三種 酒精分三十度を超え四十五度以 下の燒酎 一石に付 金壹圓八拾錢
- 第四種 酒精分二十三度を超ゆる清酒、 濁酒、白酒、酒精分三十度を超 ゆる味醂及酒精分四十五度を超 ゆる燒酎 一石に付 酒精分一度毎に 金壹圓八拾錢

酒類及酒精含有飲料税

造石税 一石に付原容量百分中純酒 精の容量一箇毎に 金壹圓八拾錢  
但一石に付四十二圓の割合を下ること

を得ず  
麥酒税 一石に付 金貳拾五圓

清凉飲料税

- 第一種 玉ラム、壘詰のもの 一石に付 金七圓
- 第二種 其の他の壘詰のもの 一石に付 金拾圓
- 第三種 壘詰以外のもの 炭酸瓦斯使用料一箇に付 金參圓

鑛業税

鑛區税 鑛區一千坪毎に(試掘 金參拾錢  
鑛産物 鑛産物の價格の百分の五  
砂鑛區税 河床 砂鑛區域一町毎に參拾錢  
砂鑛區域一坪毎に參拾錢

狩獵免許税

- 一等 所得税二百圓以上を納むる者又は其 の家族 金五拾圓
- 二等 所得税を納むる者又は其の家族 金參拾圓
- 三等 一等及二等以外の者 金拾五圓

骨牌税

砂糖消費税

- 一、砂糖
  - 第一種 砂糖色相和蘭標本第十一號未滿 の砂糖 樽入黒糖 百斤に付 九十錢  
樽入白下糖但し分蜜したるもの、 白下糖以下の砂糖に加工して製造 したるもの及全部又は一部の新式 機械に依り製造したるものを除く 百斤に付 一圓八十錢  
其他のもの 百斤に付 二圓二十五錢
  - 第二種 砂糖色相和蘭標本第十八號未滿 の砂糖 百斤に付 四圓五十五錢
  - 第三種 砂糖色相和蘭標本第二十二號未 滿の砂糖 百斤に付 六圓七十五錢
  - 第四種 砂糖色相和蘭標本第二十二號以 上の砂糖 百斤に付 七圓七十五錢
  - 第五種 氷砂糖、角砂糖、棒砂糖其他類 似のもの 百斤に付 九圓五十錢
  - 第一種 蜜 氷砂糖を製造する時に生ずる糖
- 二、糖蜜

相續税

一組毎に 麻雀 三圓、その他 五拾錢

家督相續税率

課税價格	相續人が被相續 人の家族たる直 系卑屬なるとき	相續人が被相續人の指したる 者(民法第九百八十二條に依り 選定せられたる者)被相續人の家 族たる直系尊屬又は入夫なる時	相續人が民法第九百八 十五條に依り選定せら れたるものなる時
五千圓以下の金額	千分の五	千分の六	千分の八
五千圓を超ゆる金額	千分の六	千分の七	千分の十
一萬圓を超ゆる金額	千分の七	千分の八	千分の十五
二萬圓を超ゆる金額	千分の八	千分の十	千分の二十五
三萬圓を超ゆる金額	千分の十	千分の十五	千分の三十五
四萬圓を超ゆる金額	千分の十五	千分の二十	千分の四十五
五萬圓を超ゆる金額	千分の二十	千分の二十五	千分の六十
七萬圓を超ゆる金額	千分の二十五	千分の三十	千分の七十
十萬圓を超ゆる金額	千分の三十	千分の四十	千分の八十
十五萬圓を超ゆる金額	千分の四十	千分の五十	千分の九十
二十萬圓を超ゆる金額	千分の五十	千分の六十	千分の百
三十萬圓を超ゆる金額	千分の六十	千分の七十	千分の百
四十萬圓を超ゆる金額	千分の七十	千分の八十	千分の百
五十萬圓を超ゆる金額	千分の八十	千分の九十	千分の百
七十萬圓を超ゆる金額	千分の九十	千分の百	千分の百
百萬圓を超ゆる金額	千分の百	千分の百	千分の百
二百萬圓を超ゆる金額	千分の百	千分の百	千分の百
三百萬圓を超ゆる金額	千分の百	千分の百	千分の百
五百萬圓を超ゆる金額	千分の百	千分の百	千分の百